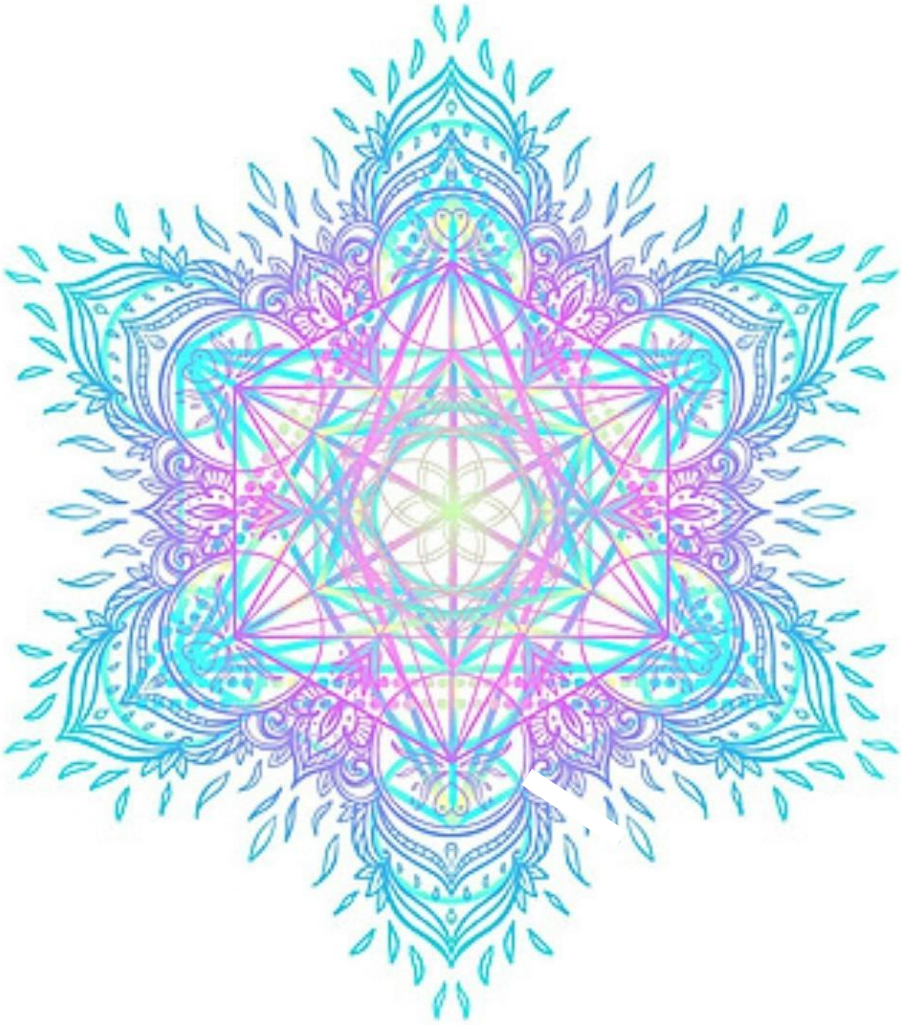
音叉によるセルフヒーリングテキスト　初級編

～星信仰の復活の始まり～

JIN HIROSE



三大奥義（さんだいおうぎ）、奇経八脈（きけいはちみゃく）、仙骨（せんこつ）、蝶形骨（ちょうけいこつ）

天球（てんきゅう）の音樂（おんがく）と、靈（れい）、精神（せいしん）、身體（しんたい）のメカニズムの開示（かいじ）

心靈治療（しんれいちりょう）とセルフヒーリングの融合（ゆうごう）によるＤＮＡのSINQA進化

これから始（はじ）まる靈的新時代（れいてきしんじだい）のための究極（きゅうきょく）のバイブルがここにある

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

はじめに

音叉セルフヒーリングの導入編、入門編は、禱(いの)りという生命(いのち)の調律の「prologue(序章)」であり、初級編から本格的に「beginning(始まり)」になります。禱(いの)りは「EXA PIECO(靈の心)」「ハート(心臓脳)」優位で生きるために必要な「心の所作」であり、地球人類誰しもが必要な行為です。

地上人類の８０億人は、「DIKAG(肉の心)」「マインド(大脳)」優位で生きているために、ハート(心臓脳)に従った生き方を忘れてしまっています。「EXA PIECO(靈の心)」「ハート(心臓脳)」は別な表現だと「soul(魂)」と表現します。そして「DIKAG(肉の心)」「マインド(大脳)」の別な表現は「顕在意識(conscious mind)」と表現します。

魂と顕在意識の表現について			
本來の表現	本來の役割	スピリチュアル的表現	じんたい(人體)の箇所
soul(魂)	靈の表現器官	EXA PIECO(靈の心)　ハート(心臓脳)	ハート(心臓脳)
conscious mind(顕在意識)	魂の表現器官	DIKAG(肉の心)　マインド(大脳)	マインド(大脳)

これらは全部「同義語」なのですが、言葉の表現が多くてややこしくなってしまっています。入門編テキストまでは敢えて言語の意味を整理整頓しておりませんでしたが、初級編テキストでは、このように「soul(魂)」と「conscious mind(顕在意識)」の表現を整理整頓します。

人間はハート(心臓脳)優位の状態では、周囲の人々に対して自然な形であい(神意)の思いが湧くようになります。conscious mind(顕在意識)の自我、欲望というEGO(エゴ)意識がなくなり、心身の心地よさ、すがすがしさ、明るさ、喜びを心の底から味わうことができるようになります。

スピリット・ヒーリング、禱(いの)りなどによって靈的エネルギーが多量に取り入れられてハート(心臓脳)優位になったときには、利他、奉仕の精神が心を占めるようになります。一度でもsoul(魂)優位のすがすがしさをたいけん(體驗)すると、誰もがそうした状態を維持したいと思うようになるのです。

しかし残念なことに地上人は肉體(にくたい)を持っているため、soul(魂)優位の状態を長續(ながつづ)きさせることができません。よほど意識していないかぎり、すぐにconscious mind(顯在意識)優位の状態に戻ってしまいます。

常に氣を引き締めてconscious mind(顯在意識)のEGHO(エゴ)意識をコントロールしていなければsoul(魂)優位の状態を維持することはできません。これが肉體(にくたい)をまとっている地上人類全員の宿命です。だからこそ禱(いの)り、生命(いのち)の調律を日々欠かしてはならないのです。

DIKAG肉の心、「頭の知能指数」を「ＩＱ」と言いますが、EXA PIECO靈の心、「心の知能指数」である「ＥＱ」のことはあまり一般的に重要視されていません。ＩＱは先天的要素が強いのですが、ＥＱは後天的に向上可能で、現代のビジネスでは両方のバランスが重要視されています。

人間にはEXA PIECO靈の心とDIKAG肉の心という２つの心が存在しますが、禱(いの)り、生命(いのち)の調律の目的は「心の調和(コヒーレンス)が取れた状態」になるためです。この状態を「知行合一(ちこうごういつ)」と表現し、地上人類が目指さなければならない在り方になります。

知行合一(ちこうごういつ)とは、「知ること(マインド)（知識）」と「行うこと(ハート)（實踐）」は「一體(いったい)」であり、本当の叡智とは「實踐を伴わなければ完成しない」という考え方です。單に知識を頭に入れるだけでなく行動して初めて知識が眞の価値を持つと説いています。

靈的眞理の説く教えは、「spirit(靈)優位になっているかの日々の内省・自己反省」、「無償の奉仕」、「DIKAG肉の心との闘い」であり、「great spirit(大靈)への禱(いの)り」、「調和の實踐」、「目的と目標を持って人生の困難に積極的に挑戰(チャレンジ)し、苦しみを甘受」することが教えの中核になります。

イエスは靈的眞理を知って、それだけでよしとするような姿勢に対して、それは自分だけよければいいというconscious mind(顯在意識)のEGHO(エゴ)意識、利己主義と厳しく述べています。この姿勢を見習い、わたし達は厳しくsoul(魂)優位の状態を保つ努力を習慣(ルーティン)にしなくてはなりません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

靈界主導の地球人類救済計画の総指揮者であるナザレ人イエスは「spirit優位、soul優位になっていない奉仕はすべて欺瞞である」と述べており、欺瞞とは相手を意圖的に騙して本当のことを隠すこと、嘘や誤魔化しによって相手を欺く行爲を意味します。

肉體という「spirit」、「soul」の牢獄から「魂の設計圖」を解放するためには、自己の内面における眞剣な闘いが必要とされます。實はこれこそが宗教における「修行の眞の目的」であったのです。

人生のすべては「靈性の進化」のためにあります。人間は「靈的成長」をするために地上に生まれ、地上世界で「苦しい生活」をしていると言っても過言ではありません。この最も重要な靈的成長を實現するためには、人間は「spirit、soulを中心とした存在としての立場を確保」しなければなりません。

禱り、生命の調律とは、まさにそのための「必須条件」なのです。人間は「spirit優位」の状態を保って初めて靈的存在としての資格を持ち、「靈的成長をすることができるようになります。肉體、肉の心の牢獄の中に「spirit」、「soul」が閉じ込められていて自由に本來の活動が出來ない状態では「靈性の進化」および「靈的成長」は望めません。

ここで補足をしておくならば、「靈性の進化」は「spirit」、「靈的成長」は「soul」という厳密な違いが存在します。この定義を知るためには「great spirit」と「spirit」の違いを明確化する必要があり、これは地球人類救済計画が「靈界通信」を通して明らかにした靈的眞理が必ず必要になります。

地球人類救済計画のための２大テーマは「宗教の統合」と「星信仰の復活」であり、音叉セルフヒーリングは禱り、生命の調律のために必要な「soul」「靈の心」「心臟腦」優位で生きるための地球人類の習慣として必要な行爲だと皆さんは自覺しなければなりません。

「great spirit」と「spirit」について		
一般的な言語	神	生命
スピリチュアル用語	great spirit	spirit
宇宙語	FUGEHUKON	FUNEKON
神に最も近い存在	高級天使	下級天使
天使の下位の存在	妖精（超微小生命體）	精靈（微小生命體）
妖精と精靈の役割	ＤＮＡのクリエイター	ＤＮＡのプログラマー
妖精と精靈の触媒	音、周波數	光、空氣、土、水
地上世界の分類	人間	どうぶつ、植物、鉱物
成長の定義	靈性の進化	靈的成長

生命の根源は「神」であり、神は「great spirit」として「spirit（生命）」すべてを創造しており、「great spirit」はすべての生命を創造している「spirit（生命）の親」であり、人間は唯一「great spiritの分靈」の資格がある「特別な生命體」です。

> 靈（生命素）なくして肉體の存在はありません。肉體が存在できるのは、それ以前に靈（生命素）が存在するからです。靈（生命素）が引っ込めば肉體は崩壊し、分解し、そして死滅します。
>
> 『シルバーバーチの靈訓　靈的新時代の到來』p.194

「spirit」、「soul」優位のための闘いの本質は、「great spirit」が人間に与えた靈的成長のプロセスの一つです。「心臓脳優位の闘い」を通して「靈の心」の力が鍛えられ、靈的成長への志向性が強化されます。そのために「great spirit」は人間に肉體を与えたのです。敢えて困難な状況の中に立たせることで「soul」を強化し、靈的成長を促そうとしたのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

> 眞の禱(いの)りとは魂が生氣を取り戻し、力を増幅するための手段、言い換えれば、より多くのインスピレーションと靈的エネルギーを攝取(せっしゅ)するための手段であると言えます。それによって神の意志との調和が深められるべきものです。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（三）』p.226～p.227

シルバーバーチの言葉を正しく翻訳するならば、禱(いの)り、生命(いのち)の調律は、「靈の心(EXA PIECO)」「心臟腦(ハート)」優位で生きるための方法の一つであり、「松果體(しょうかたい)のシルバーコード」にエネルギーが流れた場合、インスピレーションを受け取り、「太陽神經叢(たいようしんけいそう)のシルバーコード」にエネルギーが流れた場合、生命力が回復すると翻訳します。

人間は顯在意識(conscious mind)のEGHO(エゴ)意識が強い状態が續(つづ)くと、やがて心身に苦しみや痛みを感じるようになります。病氣、不快、異常とは、EGHO(エゴ)意識に傾いているサインなのです。それが限界にまで至ると、「soul(魂)優位」の方向を目指すことの必要性を「顯在意識(conscious mind)」で自覺するようになります。

心身の苦しみや痛みが「spirit(靈)」、「soul(魂)」優位の方向に心を向けさせるきっかけとなるのです。本來、人間は長期間のEGHO(エゴ)意識優位を經て、こうして大腦(マインド)重視の生き方から心臟腦(ハート)重視の生き方にシフトしていくのが正常なのです。

地上人類は肉體(にくたい)があり、「靈の心(EXA PIECO)」と「肉の心(DIKAG)」の２つの心の間を揺れ動いています。しかし、こうした心の揺れ動きを顯在意識(conscious mind)で自覺できる人は恵まれています。靈の心(EXA PIECO)優位を目指すことの重要性さえ知らない人間の場合は、肉の心(DIKAG)の暗闇の中にどっぷり浸かったまま人生を過ごすことになってしまうからです。

地上人類は肉體(にくたい)を持っているため、いったん「靈の心(EXA PIECO)」優位の状態になったとしても、時間が經つと「肉の心(DIKAG)」優位に陥るといったことを誰しもが繰り返します。

EXA PIECO
靈の心優位のための闘いは、顯在意識conscious mindの「本氣度」がすべてを決定します。自分自身が靈の心優位の努力の重要性を顯在意識conscious mindで自覺し、全力で立ち向かおうという「意志」がなければ達成できません。

靈的人生の目的である靈性進化の道を歩もうとする人間は常に、靈の心優位、心臓脳優位の生き方をするという意欲とバイタリティーに満ち溢れている必要があります。しかし地上世界は重い肉體を持っているためすぐに靈的エネルギーを枯渇させ、バイタリティーを失ってしまいます。

眞の靈的修行とは、靈の心優位、心臓脳優位の習慣化であり、靈的エネルギーと生命エネルギーを取り入れる効果的な方法が「日々の心の在り方を正すための禱り」、「靈的眞理の徹底した學習」、「肉の心の欲望を最小限にする」、「靈的眞理を土台とした仲間つくり」、「スピリチュアリストとしての心構えの確立」なのです。

そして、禱りの中で「音」は特に重要な意味を持ちます。あらゆる時代、あらゆる國の、あらゆる民族の文化において、「音」は禱り、禱拜、贊美として、聖なる宇宙と繋がるために使われていたからです。古代人は「音」を通して靈的世界と繋がることを直觀的に理解していました。

音叉セルフヒーリングは地球人類の「禱りのレベルを飛躍的に高めるために必要なもの」です。大切なことは、音叉による生命の調律により内なる声、靈の心の声に耳を傾けることを毎日の習慣として繼續させることです。宇宙の音程に眞の意味で耳を傾け、自分自身の癒しと變容の過程を辿るには宇宙の音とサイクルにつながる時間をとることは欠かせません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます。もし發覺した場合、法的処置を持って対処をさせていただきます。

宇宙語一覧表

宇宙語	翻訳	意味
FUGEHUKON	大靈	大靈、神、創造主 森羅万象すべての存在の創造主であり、父であり母。宇宙最高の力であり、無限の叡智、神意、慈悲、あらゆる靈的本質の総合的化身。
FUGEHEKIN	自然法則	「微生物≒精靈」、「ソマチッド≒妖精」が自然界の管理、維持、運營をしている。炎、空氣、土、水、すべての元。時空を構成するものは全てフゲーエキンで成り立っている。
FUNEKON	靈	日本語で大靈の「分靈」を表す。本質的な意識。永遠に存在し續けるミニチュアの神。靈的成長し、大靈に近づくように神に設計された。人間のみ大靈の分靈が与えられている。
EXA PIECO	靈の心	日本語で「魂」を表す。本質的な意志。EXA PIECOが靈體を構成している。誰しもが本來備えている「良心」であり、靈を感知するセンサーの役割。
DIKAG	肉の心	日本語で「顯在意識」を表す。DIKAGが肉體を構成している。肉體を維持、管理、運營するための役割。
FIK	身體	日本語で「潛在意識」を表す。靈體、幽體、肉體の総称。シルバーコードを通して靈體と肉體を繋ぎ、過去の情報を記綠し、肉體の殆どの生命維持の働きを担っている。
DEVIK	サポート	日本語で「靈的成長のためのサポート」を表す。靈的成長の原点は「調和」であり、「分かち合い」、「協調關係」が原則。別な表現だと「利他」、「奉仕」の實踐であり、自然法則を學ぶという意味も含まれる。
SEPOUW	背後靈	背後靈は「守護靈」と「指導靈」の2種類が存在する。より重要なのは守護靈であり、生涯に渡る専属の教師。指導靈は自分自身の靈性の状態で入れ替わったり増加したりする。高次の入れ替わりが「入神」、低次の入れ替わりが「憑依」であり、本人の周波數次第。

宇宙語	翻訳	意味
JEFISIFUM（ジェフィシファム）	神的世界（しんてき）	宇宙の情報層 天使界、神的（しんてき）世界、神靈界（しんれいかい）と呼ばれる世界。太陽系、銀河、銀河系グループなどの情報層。8層存在している。「アカシックレコード」という表現がジェフィシファムという意味に近い言語
GINO（ギノー）	惑星世界	その星の情報層 靈的世界と物質世界を表した総称。地球だと、0km～10km「幽界」、10km～80km「靈界」、すべての惑星に存在する
FALF（ファルフ）	パワースポット	エネルギー蘇生装置・エントロピー減少装置 本來の時空から生み出される、自然の仕組みに適って調和のとれた存在物。自然法則である「微生物≒精靈」、「ソマチッド≒妖精」を蘇生させるもの。精靈と妖精は自然法則そのものであり、その頂点が靈の大海、すなわち大靈（たいれい）になる。
ARUT（アルト）	アート	アートの語源。FALF（ファルフ）と同じ意味 本來、眞の科學（かがく）とは「FALF（ファルフ）の追窮」を意味し、その本質は「全存在物の蘇生化」にある。現代地球文化ではARUT（アルト）と科學（かがく）が分離してしまい、その結果としてここまで自然法則に反した文化を築き上げてしまった
TUNING（トゥニング）	チューニング	チューニングの眞の意味は「直觀」であり、直觀の眞の意味は「靈と靈のテレパシー通信」になる。チューニングの本質とは、靈的世界の波長に合わせ、より高次の存在から課題を乗り越えるためのヒントをもらうための行爲。
TIMING（ティメング）	タイミング	タイミングの宇宙語。大靈（たいれい）の自然法則に適った方向へ時空がサポートし、靈的条件がすべて整った同調現象。 ◎回轉（かいてん）形態　◎回轉（かいてん）速度　◎回轉（かいてん）方向　すべてに同調する瞬間

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

宇宙語	翻訳	意味
ODEO	中性子	調和。意識。空間。受振。　調和とは、神意の成就を意味する。
TOBE	陽子	神意。意志。時間。發振。　神意とは、調和の實踐を意味する。
CEK	振動波の層	オーラも含めた、鉱物、植物、どうぶつ、人間の身體構造の総称
HCIN 體	第8チャクラ	EXA PIECO 靈の心。心臓脳、靈と靈のテレパシー器官
CHOAD 體	第7チャクラ	EXA PIECO 靈の心オーラ。時空からの情報をキャッチする器官
KECI 體	第6チャクラ	靈體オーラ。松果體のシルバーコード、EXA PIECO D I K A G 靈の心と肉の心を繋ぐ接合点
COSAL 體	第5チャクラ	靈體。甲状腺。前世からの記憶を有している器官
MENTAR 體	第4チャクラ	幽體オーラ。心臓。感情という特定のパターン反應を示す器官
ASTLAL 體	第3チャクラ	幽體。太陽神經叢のシルバーコード、靈體と肉體を繋ぐ接合点
EHTEL 體	第2チャクラ	肉體オーラ。子宮。電氣オーラを發し、腎臓をバッテリー源にする
AHANP 體	第1チャクラ	肉體。肉體を通して五感、内分泌をコントロールしている



はじめに 3

宇宙語一覧表 9

第一章　星信仰の復活　～BEGINNING～ 16

星信仰の復活とは「ＤＮＡの進化の確立」を意味していた 17

宗教の統合と星信仰の復活を連動させる必要性 21

２大テーマの統合による靈的新時代とは？ 28

地上世界に必要なのは２大テーマの實行者 33

第二章　靈、精神、身體のメカニズム 36

「great spirit」が「spirit≒生命」を創造している 37

宇宙の情報層と惑星の情報層について 41

精神と自然法則の完璧なるネットワークシステム 47

惑星地球のあらゆる生命は妖精と精靈が創造している 51

シルバーコードとチャクラ 53

潜在意識の３つの働きとメカニズム 57

spirit、靈の心、肉の心、靈體、肉體の、５つの構成要素 65

宇宙の仕組みと回轉形態素粒波 67

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

第三章　各種サウンドツールについて　72

各音を組み合わせた音の錬金術による靈的新生　73

528Hz 倍音トライアルセット　77

オーム（136.1Hz）の周波数（しゅうはすう）、倍音セット　79

ソフトボーンバランサー（３本セット）、ヘヴィーフォーク　81

432Hz エナジーバー、4096Hz エナジーバー　83

ASTRO（アストロ） MENTAL（メンタル）チューナー、オゾン（78Hz）チューナー　84

チャクラバー（レギュラータイプ＆ハーモニックタイプ）　85

聖なるソルフェジオ音階９本セット（フォークタイプ）　87

ボーンバランサー（４本セット）、ヘヴィーフォーク　89

惑星エナジーバー１１個セット　91

サイキックチューナー５本セット　93

セルリダクション（MUSCLES（筋肉細胞調整）/FAT CELLS（脂肪細胞縮小））セット　95

ブレインチューナー５本セット（フォークタイプ）　96

セドナ、キロン、ニビルの３本セット（Acutonics（アキュトニックス）製）　97

太陽系８惑星音叉、ヘヴィーフォーク（Acutonics（アキュトニックス）製）　99

水琴五行（みずごとごぎょう）のハイパーソニック・エフェクト　101

麻炭ガラスの摩尼宝珠（まにほうじゅ）と麻炭ワンド　103

第四章　音叉ヒーリングを扱う心構え　106

靈的世界に流れる音の世界に浸るための三原則　107
ヒーリングにおいて最も大切な「意志、禱り、フォーカス」　109
直観を受け取るためには、意識して静寂の世界に入ることが必要　112
知識と技術による生命の調律のブラッシュアップの繰り返し　115
靈界からの治療エネルギーによる靈と精神と身體の調和　117

第五章　奇經八脈ヒーリング　120

奇經八脈には魂の設計圖が記憶されている　121
魂の記憶を司る８つの原型細胞と、奇經八脈　127
魂の反映、８つの原型細胞と靈體、幽體、肉體の關係　129
督脈について　135
任脈について　137
衝脈について　139
帶脈について　141
陽蹻脈について　143
陰蹻脈について　145
陰維脈について　147

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

陽維脈（よういみゃく）について　149

奇經八脈プロセス ver は「六芒星（マカバ）」を描くヒーリングである　153

大靈（たいれい）の象徴としての北極星と、北極星を守護する北斗八星　157

第六章　三大奥義の深奥（しんおう）、水晶宮（すいしょうきゅう）　164

八卦（はっけ）、奇經八脈（きけいはちみゃく）、仙骨（せんこつ）と連動する「睛明（せいめい）」「四白（しはく）」「魚腰（ぎょよう）」の經穴（ツボ）　165

十天干（じってんかん）と連動するための殘り 4 つの孔（あな）「神門（しんもん）」「印堂（いんどう）」「上星（じょうせい）」　173

CRYSTALS PALACE（クリスタル パレス）を刺激する方法、手順　175

初級編最終章　音叉ヒーリングの価値と可能性　184

調和の具現化をしていく必要性　185

健康としての音叉によるセルフヒーリング　191

生命（いのち）の調律とは、全存在物を「蘇生化（FALF）」することが目的　195

自然法則に適った正しい生活習慣（ルーティン）を身につけること　197

惑星地球と地球人類を甦らせるために　199

天球の音樂と三大奥義の融合の価値と可能性　207

あとがき　219



第一章

星信仰の復活　～BEGINNING～

星信仰の復活とはＤＮＡを進化させること

地球人類救済計画（スピリチュアリズム）が目指す新しい世界とは

調和、神意（あい）、慈悲、寛容、協調、平和の世界

その最重要は「インスピレーション能力」の開花



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

星信仰の復活とは「ＤＮＡの進化の確立」を意味していた



1960 年代、西アメリカから始まった「ニューエイジ運動」は、イエスを総指揮者（リーダー）にした靈界主導の「地球人類救済計画（スピリチュアリズム）」の「星信仰の復活」という目的で始められた別ベクトルの計画であり、その目的は「スピリチュアリズムの大衆化」および「精神革命運動」にあります。

ニューエイジ運動は、イエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』を教義の中心に据える必要があり、それ以外のニューエイジ運動はすべて失格です。地球人類救済計画（スピリチュアリズム）とは「イエスが地上再臨し、最前線で指揮を執る」ことが全てであり、イエスに従えない教えならばすべてが有害なものに成り下がってしまいます。

地球人類救済計画（スピリチュアリズム）はイエスの計画のもとに進められている地上人類救済のための一大事業です。地球人類救済計画は「宇宙規模の大プロジェクト」です。この想像を絶するようなプロジェクトが、今、現實に地球人類全ての背後にあって、日々背後靈（SEPOUW）を通して働きかけているということを忘れてはなりません。

古代靈シルバーバーチによれば、何百億という靈界の人々が一糸乱れることなく組織的にムダなく活動しています。そして、その頂点に立っているのがイエスです。地球人類救済計画（スピリチュアリズム）の最大の目的とは、地上世界に「靈的眞理」をもたらして地上人類を「靈的無知」から解放することです。

ニューエイジ運動は、1960 年代のアメリカ西海岸を中心に起きたカウンターカルチャーにルーツを持ち、ヒッピー運動やニューサイエンスなど科學的（かがくてき）・哲學的（てつがくてき）な探求とも結びついて發展し、広範囲の分野にわたる精神革命的な意味合いを持っていました。

それは「スピリチュアリズムの大衆化」を目的とし、ニューエイジの多分野、精神世界、スピリチュアル系、ヒッピー思想などのエコロジー系、自己啓發、ネットワークビジネス、これら全てが靈界主導の地球人類救済計画（スピリチュアリズム）の中に組み込まれていました。

※ニューエイジ系を少し擧げるだけでも、チャネリング、UFO、宇宙人、古代文明、ニューサイエンス、トランスパーソナル心理學（しんりがく）、エコロジー思想、ニューエイジ形而上學（けいじじょうがく）、ホリスティック醫學（いがく）など、多岐に渡る

そのニューエイジ運動の中心になるべきものが「靈界通信」でした。しかし現時点の靈界通信の正確性をチェックする限り、現時点の靈界通信はあまりにも多くの問題点を抱えています。その問題点のゆえに、靈界通信はニューエイジの中で中心的な立場を確立することができずにいます。その問題を解決するのが「星信仰の復活」なのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



宗教の統合の代表的組織が「スピリチュアリズム普及會」ならば、星信仰の復活の代表的組織は「形態波動エネルギー研究所」と「acutonics統合醫學研究所」です。このふたつの組織がなければ、星信仰の復活は不可能でした。そのヒントは森眞由美の著書にありました。

> 従來の高次の宗教はEXA PIECOの構造變換へのサポートの役割をより普遍的な形で感情の移入なく、一般用語で傳えながら行う作業です。地球の現在の宗教活動はマイナスの振動波になっているものが過半數です。プラスの振動波になっているものでも、EXA PIECOの意識變換のガイドラインとなるにとどまり、構造變換へのサポートの役割を果たしているものはほとんど皆無です。
>
> 『宇宙に學ぶ　地球の次の時代の文化の創造に備えて』p.203～p.204

「EXA PIECOの意識變換のガイドライン」と「EXA PIECOの構造變換」

２大テーマ	本質	意味
宗教の統合とは？	EXA PIFCOの意識變換のガイドライン	地上人生の指針
星信仰の復活とは？	EXA PIFCOの構造變換の確立	ＤＮＡの進化

地球人類救済計画の２大テーマである「星信仰の復活」は「EXA PIECOの構造變換の確立」が本質であり、「宗教の統合」とは「イエスの地上再臨、シルバーバーチの靈訓、スピリチュアリズムの思想體系」が「EXA PIECOの意識變換のガイドライン」に該当します。

波動遺傳學は、ロシアの生物學者「Pyotr Gariaev」が提唱し、ＤＮＡを単なる物質の二重螺旋構造ではなく、量子レベルの情報を「炎や音（波動）」の形で送信・受信する「生體コンピューター」として捉え、２００９年１０月には「ＤＮＡは音（言葉と振動）の影響で頻繁に再プログラムされている証拠が見つかった」という衝撃的な内容を發表しています。

この發見により、「ソマチッドが言葉と音でＤＮＡをクリエイト」し、「バクテリアが酸素、窒素、炭素、水素でＤＮＡをプログラム」しているという、生命誕生と生命進化の謎の大部分が解明されました。これは紛れもなくニューエイジ科學の大きな功績です。

ＤＮＡのアップデートにはソマチッドと、ＤＮＡの再構築にはバクテリア、そして、ＤＮＡというものは「８つの原型細胞」が關係してきます。そして、８つの原型細胞を起動させるには「ミネラル」が必ず必要になり、自然法則の三大法則が完成します。

そもそもミネラルとは何か？を問いつめていくと、最終的に「星屑の集合體」と翻訳することが可能であり、ミネラル、ソマチッド、バクテリアは太陽、月、地球、星などのサイクルがエネルギー源であり、それがＤＮＡのアップデートと再構築に關係してくるのです。

「星信仰の復活」とは「ＤＮＡの進化の確立」を意味していたのです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

宗教の統合と星信仰の復活を連動させる必要性

> 進歩にも二つの種類があることを知ってください。一つは精神的能力にかかわるものであり、もう一つは靈的資質にかかわるものです。前者は心靈的能力の發達であり、後者は魂の發達、靈性の進化です。靈性の進化を伴わずに心靈的能力だけが發達しても、低いバイブレーションの仕事しかできません。兩者がうまく連動した時には、すぐれた靈能者であると同時にすぐれた人格者となります。
>
> 『シルバーバーチの靈訓　スピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべ』p.111

『シルバーバーチの靈訓』と『スピリチュリズムの思想體系』の靈的實踐論の中核のひとつは「靈優位、心臟腦優位の努力」による「靈主肉從」の状態の持續であり、そのために禱りが有効な方法であることを明らかにしています。

眞の靈的修行とは、EXA PIECO靈の心優位、心臟腦優位の習慣化であり、「日々の心の在り方を正すための禱り」が日々の生活の原点です。アメリカインディアンの民族にとって「禱り」とは「食事」よりも大切であり、日々の禱り、豊作、雨乞いの禱り、太陽、星々、月の満ち欠けに合わせての多くの日々の犠式が生活の原点です。

アメリカインディアンは「分かち合うことは、創造主と分かち合うこととおなじ」と言い、日々大靈という創造主に感謝を捧げ、万物を尊び、人類すべてが大靈の子どもという思想が行き渡っており、これが「星信仰の復活の原点」であることに異論の余地はありません。

古代人は「音」を通して靈的世界と繋がることを直觀的に理解しており、音は禱りの次元を飛躍的に高めるために特に重要であり、あらゆる時代、あらゆる國、あらゆる民族の文化において、音は禱り、禱拝、賛美として、聖なる宇宙と繋がるために使われていました。



シルバーバーチの言葉を正しく翻訳するならば、靈的資質に關わる進化が「イエスの地上再臨、シルバーバーチの靈訓、スピリチュアリズムの思想體系（しそうたいけい）」の信仰實踐による「EXA（エクサ） PIECO（ピーコ）の意識變換（いしきへんかん）のガイドライン」、精神的能力に關わる進化が「三大奥義、惑星音叉、チャクラ音叉、ソルフェジオ音叉」による「EXA（エクサ） PIECO（ピーコ）の構造變換（こうぞうへんかん）」と翻訳することが可能です。

しかし、音叉セルフヒーリングのみだと「靈性の進化を伴わずに心靈的能力だけが發達しても、低いバイブレーションの仕事しかできません」と斷言されており、兩方がセットになった時、すぐれた靈能者であると同時にすぐれた人格者となると古代靈シルバーバーチは述べており、「靈的資質の進化と精神的能力の進化を連動させること」が一番大切になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



地上世界は永い間の物質中心の感覚によって粗悪な生活の場となってしまいした。

もともと人類は數多くの靈的感覺を使用することができたのです。内部の靈妙な能力に氣づいていたのです。古い記綠をご覧になれば、太古にさかのぼるほど超能力が使用されていたことがお分かりになるはずです。

それが物質文明の發達とともに次第に委縮し、今日では靈的バイブレーションがキャッチ出來る人はきわめて少數となりました。

『シルバーバーチの靈訓（十二）』p.46

古代人は靈能力者が沢山いました。しかし、文明の發達と共に人間の本來の能力は退化し、現代では本物の靈能力者といえる存在は殆どいなくなってしまいました。

そもそも古代文明、人間が自然と一體(いったい)となった生活をしていた頃には靈能力が今より遥かにひんぱんに用いられていました。少なくとも 10000 年以上前、当時の人間は現代地上人類とは比較にならないほど多くの靈能力を發揮していたのです。

ところが近代の物質文明の進歩とともに人工的な要素が生活を支配するようになり、それにともなって人々の靈能力は徐々に失われていくことになりました。とりわけ物質文明が飛躍的に進歩した近代以降には、靈能力を發揮する人間はきわめて少数となり、靈能者は特別な存在と見なされるようになってしまいました。

古代の人々は「invocation(インボケーション)（いのり）」により宇宙と繋がっていました。そして古代西洋の精神的傳統(でんとう)、ピタゴラスが唱えた「天球の音樂」が宇宙と靈止(ひと)を繋げる重要な要素として認識されている時代もありました。

人間は天球の音樂をカラダの上で鳴らしたり、聽いたり、發声したり、ハミングしたりすることで靈的世界と繋がることが出來るのです。天球の音樂を聽くと、外部の騒音が氣にならなくなり、内部の調和とバランスが整います。

天球の音樂の基音(ホームトーン)と音程(インターバル)の位置關係は「星の位置關係」と同じであり、２つの音は独自の世界を持ち、各音の深みと情感が絡み合い、互いに響きを映し合い、自己との關係、他者との關係、宇宙との關係が變(か)わり始め、わたし達の地上人生は新たなステージへと導かれていきます。これが「星信仰の復活」が目指す「ＤＮＡの進化」なのです。

いずれ「ＤＮＡの進化」に伴い地球人類の多くが靈能者になるという時代を迎えることになります。現在は靈能者はごくわずかの人数にすぎませんが、未來の地球ではそれはごく当たり前の存在となるのです。そして靈的眞理の普及と音叉セルフヒーリングの普及により、未來では大半の地球人類が「靈能力」を用いた日常生活を送るようになっていきます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



「宗教の統合」とは、地球人類が宗教から卒業することを意味し、「星信仰の復活」とは、天下に降る満天の星のもと、地上に暮らすなかで自由な信仰を取り戻して生きていくという、ごくあたりまえのことなのです。

『聖徳太子コード　～今明かされるヤマトの黙示録～　上巻　未前記』p.276

「宗教の統合」と「星信仰の復活」というワードは、『聖徳太子コード　～今明かされるヤマトの黙示録～』（中山康直）にて使われているワードであり、これがイエスを総指揮者（リーダー）にした靈界主導の「地球人類救済計画（スピリチュアリズム）」の２大テーマなのは間違いありません。

靈的世界で高級靈と呼ばれる地上世界の存在は沢山存在しますが、「アインシュタイン」が靈界の科學者（かがくしゃ）グループのリーダーであり、その指揮下にピタゴラスがいます。そして、星信仰はピタゴラス派と呼ばれる系譜（けいふ）が紡いできた歴史の結實（けつじつ）です。

様々な人物がインスピレーションで情報を斷片的にキャッチしてきましたが、星信仰の復活の全貌が開示されていくのは 2027 年からがスタートであり、皆さんは歴史のターニングポイントの時代に生きています。

イエスが地上再臨を果たした今、地球人類の靈性は 100 年後には間違いなく今より進化します。そして 200 年、300 年、500 年、1000 年という時の經過とともに、さらに靈性は進化していくことになります。遠い将來の地球人類の靈的状況は、21 世紀に生きる我々からは想像もつかないようなものになります。

未來においては地球人類の靈性が進化しているということは、未來の地球人類は現代人より靈能者の數(かず)が增えるということを意味します。肉體(にくたい)を持って地上世界で生活することは未來の人間にとっても變(か)わりませんが、その内面性、すなわち精神性は、現代人と比べて格段に高まります。

> 靈能者とか靈媒と呼ばれている人が進化の先驅けであることに、疑問の余地はありません。進化の梯子の一段上を行く、いわば前衛です。**そのうち、心靈能力が人間の当たり前の能力の一部となる時代がきます。**地上人類は今、精神的發達の段階を通過しつつあるところです。このあとには、必然的に心靈的發達の段階がきます。
>
> 『シルバーバーチの靈訓　地上人類への最高の福音』p.205

靈的眞理の普及により現代人とは比較にならないほど靈性が進化した未來の地球人は、現在の靈能者が持つ「靈視能力」や「靈聽能力」を誰もが当然のこととして發揮するようになります。同樣に、他の多種類のサイキック能力も、大半の人間が身につけ、遠い未來には靈能者が地球人類の当たり前の姿になります

宗教の統合と星信仰の復活により、靈能者はもはや特別な人間ではなくなります。他の靈的進化した天體(てんたい)の住人は、自由に靈的世界と物質世界を交流していますが、遠い未來の地球人類もそれと同じように、自由に靈的世界と物質世界が交流することができるようになっていきます。その鍵が２大テーマなのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

宗教の統合	星信仰の復活
スピリチュアリズム普及會を通して地上再臨したイエスの指揮	音叉セルフヒーリングの普及を通してインスピレーション能力の開花
↓	↓
『シルバーバーチの靈訓』、『スピリチュアリズムの思想體系』のＰＲ	奇經八脈、仙骨、クリスタルパレスのセルフヒーリングの確立
↓	↓
スピリチュアリズム普及會管轄のシルバーバーチ讀書会への參加	ユーワードのシステムを活用した月額 6000 円のサブスクリプション
↓	↓
靈的資質に關わる進化	精神的能力に關わる進化
↓	↓
無私無欲、社會貢献で奉仕活動をする優れた人格者になる	ＤＮＡが進化し、サイキック能力を發揮し社會に貢献する人間になる

スピリチュアリズムは「宗教の統合（EXA PIECOの意識變換のガイドライン）」による「靈的資質に關わる進化」と「星信仰の復活（EXA PIECOの構造變換）」による「精神的能力に關わる進化」が融合した時、地上世界の悲劇はなくなり、代わって神意と哀れみと慈悲と寛容と協調と調和と平和が地上世界を支配すると未來の地球について述べています。

「イエスの地上再臨、シルバーバーチの靈訓、スピリチュアリズムの思想體系」の信仰實踐と普及による「人生の指針」、「音叉による生命の調律」による「ＤＮＡの進化」の普及により地球人類の靈性は、ゆっくりではあるけれども確實に向上していくようになります。

2大テーマの統合による靈的新時代とは？



靈の優位性を認識し、人間が肉體(にくたい)をたずさえた靈であることに得心(とくしん)がいく――言いかえればすべての人間が神の分靈(わけみたま)であり、それゆえに人類はみな兄弟であり姉妹であり、神を父とし母とした一大家族であることに理解がいった時、その時初めて戦争も暴力も憎しみも無くなることでしょう。

代わって神意(あい)と哀れみと慈悲と寛容と協調と調和と平和が支配することでしょう。人間世界だけではありません。この惑星を共有するどうぶつの世界にもそれが行きわたることでしょう。かくして地上の汚点であるどうぶつへの虐待行爲も影をひそめることでしょう。それがわたし達の努力の背後に託された目的なのです。

『シルバーバーチの靈訓（十一）』p.54

地球人類救済計画(スピリチュアリズム)が目指す新しい時代とは何なのか、それを知ることが生命(いのち)の調律をする目的にも繋がってきます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

わたしは、靈力が今日のように少數の特殊なチャンネルを通してではなく、当たり前の日常生活の一部として、無數のチャンネルを通して地上世界へ注がれる日の到來を、樂しみに待ち望んでおります。

その時は“あの世”と“この世”との間の障害物がなくなります。（中略）わたしはそういう世界――地上世界が広大な宇宙の一部であることを認識し、すぐ身のまわりに高次元の世界の生活者を靈視できるような世界――の到來を待ち望んでおります。何と素晴らしい世界でしょう！

『シルバーバーチの靈訓　地上人類への最高の福音』p.247～p.248

そもそも靈能力とは、「靈體に備わっている能力を肉體で發揮するようになったもの」です。そうした中で、一番中心となる靈能力、最も重要視される靈能力が「インスピレーション能力」です。

音叉は英語で「TUNING FORK」といいます。このTUNINGの正式な宇宙語での發音は『波動の法則　實踐體驗報告』では「TUNING」と發音します。そしてTUNINGの宇宙語の本質的意味は「直觀」になります。最も重要な靈能力に「音叉」は關係してくるのです。

宇宙語	意味
TUNING（チューニング）	直觀（自らの振動波の周波數變換をして時空から眞の情報を得る）
TIMING（タイミング）	自然の仕組みに適って調和のとれた方向へ時空がサポートする。 ◎回轉形態　◎回轉速度　◎回轉方向　が全てに同調する瞬間

インスピレーションの本質とは、「最高次元の靈能力」なのです

今後の地球人類救済計画の進展にともない、地上人類の霊性が高まり、それに並行して高級霊からのメッセージを直接受け取ることができる人間が徐々に現れてきます。霊性が一般人よりも高く、同時にテレパシー受振能力の優れた人間によって、高級霊界からの思想やメッセージがストレートに地上に届けられるようになっていくのです。

（質問）――“インスピレーション的能力”というのは具體的にどういうものですか。

思想を言語に置き換えずに直接的に受信する能力のことです。これは霊能者の存在全體が霊の支配に浸りきれるようになって初めて可能な、**最高の交霊手段**です。この場合、霊との交信は精神的に行われ（※テレパシーとして行われ）、言語は必要としません。もともと霊界の上層においては、声も言語も存在せず、霊と霊とが直接的に認識し合うのです。**その交信は完璧であり、聞き落とすということがありません。**

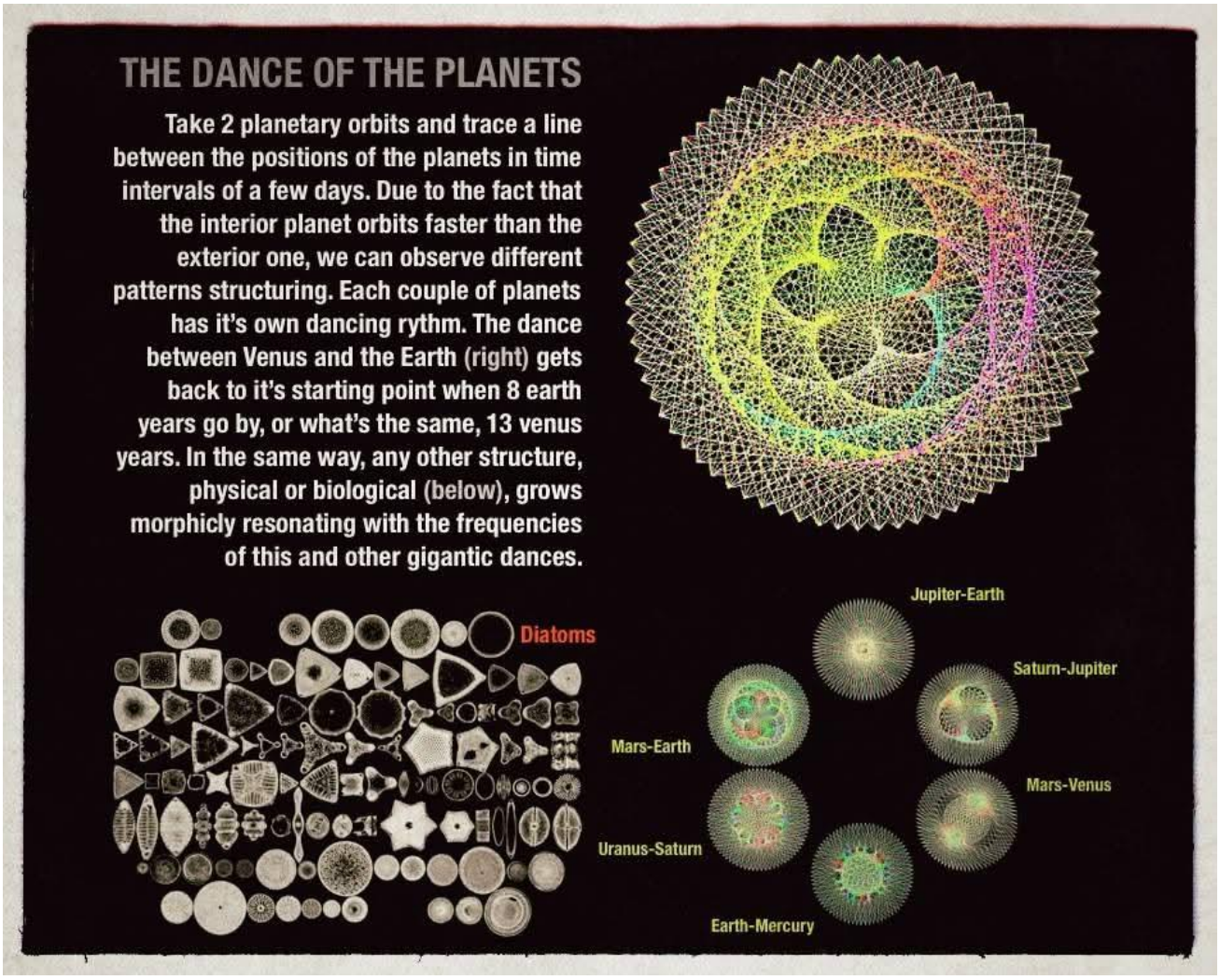
『續霊訓』（潮文社）p.144

インスピレーションが變わることはありません。インスピレーションは片時も休むことなく送られております。ただ、それを受け取る用意の出來た者だけが受け取っているにすぎません。**波長がそれに合わなければ受け取れないということです。**インスピレーションは休みなく送られております。霊力と同じく、地上へ顯現する通路を求めております。要するに波長の一致の問題です。

『シルバーバーチの霊訓（十）』p.108

シルバーバーチのいう波長とは「**バイブレーション**」のことであり、バイブレーションの正式名称は「**回轉形態素粒波**」といいます。その基本原理は「**回轉形態（基音）**」「**回轉方向（音階）**」「**回轉速度（音程）**」「**回轉大小（倍音）**」であり、この中で霊的世界とバイブレーションを合わせる最大の鍵は「**倍音**」になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



「音（エネルギー）」というのは、「水」という「媒體（ばいたい）」を通して魂、心、身體（しんたい）に影響を及ぼしていき、「倍音（オクターブ）」の刺激により物理次元を超えて「身體（しんたい）（靈體（れいたい）、幽體（ゆうたい）、肉體（にくたい））」や心身の調律を行うことが可能な、れっきとした科學（かがく）の領域のお話です。

星信仰の復活の立役者の「ヨハネス・ケプラー」は、唯物思想に染まる現代地球文化に警鐘を鳴らし、なんとか地上世界と靈的世界との繋がりを維持させた人間です。ケプラーは、多くの自然法則と天體（てんたい）の運行を律する法則を發見し、大靈（たいれい）のことを解き明かそうとしました。

そして音叉によるセルフヒーリングは、「ハンス・クストー」が 1978 年に發見した太陽系の天體（てんたい）の様々な周波數を音叉にしたことが大きな轉換期（てんかんき）になりました。ニューエイジ運動は「惑星音叉」の誕生が大きな功績といえます。

「回轉形態素粒波（バイブレーション）」の隠された暗号	
回轉形態（ホームトーン）（基 音）	Frozen Music（凍った音樂 サイマティクス科學により証明）、『ウォーター・サウンド・イメージ』や『水からの傳言（でんごん）（江本勝）』などでも確認可能
回轉方向（スケール）（音階）	メジャー音階（スケール）、マイナー音階（スケール）など、エネルギーの方向性を表す。ペンタトニック音階（スケール）、ソルフェジオ音階（スケール）などは惑星や銀河の動きと照應關係（しょうおうかんけい）にある
回轉速度（インターバル）（音 程）	別名、「星たちのダンス」、エネルギーの動く速度による幾何學（きかがく）の形成。また、星の動きはＤＮＡの動きそのものでもあり、天體（てんたい）と人體（じんたい）の照應關係（しょうおうかんけい）の証明でもある
回轉大小（オクターブ）（倍 音）	靈的世界と物質世界を繋げるキーワード。自然界は倍音に溢れており、耳に聴こえない倍音をキャッチすることがインスピレーション能力の眞髄

地上には音樂、繪画（かいが）、その他あらゆる芸術分野に先驅者がいます。その人たちは時代に先んじすぎているために、在世中は一般から理解してもらえないことがあります。が、時代が進むにつれて理解力の水準が上がり、その先驅者たちに正しい評価が爲（な）されるようになります。

シルバーバーチは、「ミュージックホールは靈界が誇る財産といってもよいほどです。地上のいかなる樂器でも表現できないオクターブの音をあなたも聽くことになるのです。それから、もちろん地上を豊かにする音樂はみな靈界を始源としております。人間がこしらえているのではありません。演奏家も作曲家もみな一種の靈媒なのです」と述べています。

そして、「神の計画の中で音樂は一種名状（めいじょう）しがたい役割を演じているようである『シルバーバーチの靈訓（十）』p.104」と、星信仰の復活に關する重要なヒントを殘しました。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

地上世界に必要なのは２大テーマの實行者



21 世紀の現代、クストーの功績により天球の音樂を聽き、そして肉體（にくたい）と五感で體感（たいかん）できる地上世界最高峰の「ヒーリングツール」があり、更には星信仰の復活の中核である「奇經八脈、仙骨、クリスタルパレス」によるＤＮＡの進化の方法が確立しています。今後の地球人類は「靈的眞理」と「音叉による生命（いのち）の調律」により靈性が飛躍的に進化していく計画です。

靈的資質と精神的能力をうまく連動した時、すぐれた人格者であると同時にすぐれた靈能者となる、これが靈的眞理と音叉セルフヒーリングで可能な時代であり、大靈（たいれい）の自然法則である星々の運行（サイクル）を、肉體（にくたい）に、五感に、地球人類の誰しもが受け取れる時代に突入したことが靈的新時代の象徴でしょう。

シルバーバーチは、「わたしは、靈力が今日のように少數（しょうすう）の特殊なチャンネルを通してではなく、当たり前の日常生活の一部として、無數（むすう）のチャンネルを通して地上世界へ注がれる日の到來を樂しみに待ち望んでおります。何と素晴らしい世界でしょう！」と述べており、これが地球人類救済計画（スピリチュアリズム）が目指す新しい時代の未來像です。背後靈（SEPOUW）の導きにより、この事實を知れた皆さんは、地上世界でもっとも幸運な人達なのかもしれません。

> 最終的には、いつの日か地上人類も、靈と靈とが自然な形で直接交信（※インスピレーション交信）できるまでに靈性が發達します。
>
> 『シルバーバーチの靈訓　靈的新時代の到來』p.111

この事實を知った皆さんは、イエスが遂行している大計画の地上世界からの推進者であることを片時も忘れることなく、謙虚さと奉仕の精神と、託された信託への忠誠心をもって生きる必要があります。それが皆さんの背後靈（SEPOUW）の願いであり、更には神とイエスの願いでもあります。

イエスが地上再臨し、音叉という新時代のツールも手にした皆さんは靈的新時代の先驅者（せんくしゃ）であり、先驅者（せんくしゃ）ゆえの苦難は覺悟しなければなりません。道を切り開き、障害を取り払い、後から來る人たちが樂に通れるようにしてあげるのです。それが靈的知識を知った者の責任と義務であり、その責務を忠實（ちゅうじつ）に果たすことで靈性の進化が可能になります。

宗教の統合と星信仰の復活の２テーマを信仰實踐し、靈的新生し、２つの普及に地上人生を賭けることで掛けがえのない遺産を後世に殘すことになります。教えはもう十分に揃っており、いま地上世界に必要なのは「實行者（じっこうしゃ）」です。皆さんに必要なのは、そのための決心と覺悟だけです。

シルバーバーチは――「自分の關心事は眞理を普及することだけであり、その大事業から外れたことをする人は、本來同胞のために捧げるべきエネルギーをムダ使いしている」（『古代靈シルバーバーチ　不滅の眞理』（ハート出版）p.16）と述べています。

シルバーバーチは、靈的眞理を知りながらそれを自分の内にとどめている人間を「エゴイスト」と批判しています。自分が靈的眞理を知った、音叉による日々の生命（いのち）の調律をしているというだけで自己滿足している人間は究極のエゴイストなのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

地球人類の最先端の叡智を知ったということの重大性を決して忘れてはなりません。皆さんは新しい秩序の誕生の時代の目撃者であり、この新しい幕開けの時代に生きている人には大いなる貢献のチャンスがあるということです。お互いに扶助(ふじょ)し合うということが生命の根本原理だからです。

助け合いの精神のないところには崩壊があるのみです。扶助(ふじょ)の精神のあるところには平和と幸せが生まれます。地上世界はその助け合い、分かち合いの精神によって新しい社會(しゃかい)を築かないといけません。原理はいたって簡単なのです。

靈的な目が開かれ、靈力によってもたらされる神意(あい)を受け、靈的眞理の啓示を手にした者がそのあとで人のために役立つことを何一つしないようでは、神から大きなお咎めを受けます。なぜなら、知らずに怠けたのではなく、知っていながら怠けたからです。

担わされた使命が大きければ大きいほど、遭遇する試練も又大きくなります。そうならざるを得ないのです。人生の上辺だけを生きている人よりも、靈的資質に目覺め、精神的能力を開發する意味を理解した人の方が、人類に対するより大きな貢献を求められるのです。





第二章

靈、精神、身體（しんたい）のメカニズム

人間の基本的構成を知ることは

生命（いのち）の調律の最重要ポイントになる

靈的眞理が明らかにした人間の仕組み

靈的新時代の最先端の情報を開示しよう



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

「great spirit」が「spirit≒生命」を創造している



Q　音叉による生命の調律の最重要ポイントとは何でしょうか？

A　人間の霊のメカニズム、心のメカニズム、身體のメカニズムの理解です。霊的法則、心霊的法則は別物ですが、ナザレのイエスは霊的指導者でもありヒーラーでもありました。イエスがヒーラーとして結果を出せたのは、霊格の高さ以上に、むしろ心霊的法則を理解し、かつそれを自在に使いこなすことができたからです。

音叉セルフヒーリング入門編は、禱りという生命の調律の「prologue（序章）」であり、靈的眞理の最低限の基礎知識を述べた程度に過ぎない情報でした。音叉セルフヒーリング初級編から本格的な靈的眞理の學習の「beginning（始まり）」です。

音叉による生命の調律の最重要ポイントは「人間の靈のメカニズム、心のメカニズム、身體のメカニズムの理解」であり、この理解度が生命の調律の効果を大きく左右します。惑星地球の地上人類は、あまりに「靈、心、身體のメカニズムに無知すぎ」であり、これが様々な地上世界の悲劇にも繋がっています。

> 宇宙に存在を与えたのは神の神意です。宇宙が存在し續けるのも神の神意があればこそです。全宇宙を經綸し全存在を支配しているのも神の神意です。（中略）全生命の極致であり、全生命の基本であり、全生命の根源であるところの神意は、よりいっそうの表現を求めて人間の一人一人を通じて地上に流れ込みます。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（一）』p.142

> 今も、『波動の法則』の範囲でお傳えしているのは、EXA PIECOが時空間を構成しているということですが、EXA PIECO自體はFUGEHEKINで構成されています。（中略）時空そのものを構成しているのは、FUGEHEKINだというのが、今、お傳えできる範囲だと思います。
>
> 『波動の法則　實踐體驗報告』p. 77～78

これを『波動の法則』の宇宙語とスピリチュアリズムが明らかにした靈的眞理を一致させて翻訳すると「大靈≒FUGEHUKON」「自然法則≒FUGEHEKIN」「靈≒FUNEKON」と翻訳可能であり、これが「靈≒生命」の不變のメカニズムです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



まず、「great spirit」が「spirit」を創造している。「spirit」は「生命」そのものであり、生命あるもの「人間、どうぶつ、植物、鉱物」は本質的には「spirit的存在」であり、すべて神が創造したものである。こうした靈のメカニズムに対して、地上人類はあまりに無知すぎるのです。

> 靈はすなわち生命であり、生命はすなわち靈です。靈とは大靈であり、大靈がすなわち生命ということです。物的身體は靈が自我を實現するための道具であり、精神はそのためのコントロールルームと思えばよろしい。殘念ながら現代のせわしい生活機構が緊張とストレスと過勞を生んでおります。それが調和を乱すのです。
>
> 『古代靈シルバーバーチ　最後の啓示』p.137

こうした「生命のメカニズム」を知ることが、生命の調律の効果を大きく左右することに氣づき、眞劍に靈的眞理を學び、音叉セルフヒーリングを通した禱りで靈的エネルギーと生命エネルギーを受け取れるようにすることが大切です。

「great spirit」と「spirit」について		
一般的な言語	神	生命
スピリチュアル用語	great spirit	spirit
宇宙語	FUGEHUKON	FUNEKON
神に最も近い存在	高級天使	下級天使
天使の下位の存在	妖精（超微小生命體）	精靈（微小生命體）
妖精と精靈の役割	ＤＮＡのクリエイター	ＤＮＡのプログラマー
妖精と精靈の触媒	音、周波數	光、空氣、土、水
地上世界の分類	人間	どうぶつ、植物、鉱物
成長の定義	靈性の進化	靈的成長

この宇宙は、「great spirit」が大宇宙、「spirit」が小宇宙を表しています。スピリチュアリズムが明らかにした靈的眞理は、そうしたgreat spiritの自然法則をお教えしようとしているのです。それを守りさえすれば、地上生活に健康と幸せをもたらすことができるからです。

宇宙語で「great spirit」は「FUGEHUKON」と翻訳し、「自然法則」は「FUGEHEKIN」と翻訳しますが、いつの日か「FUGEHUKON」の「FUGEHEKIN」に対する理解が地上世界に行きわたり、すべての肌の色の人々が混じり合い、互いに神意の心で睦み合うようになれば、地上に調和が訪れるようになります。

「FUGEHUKON」は「FUGEHEKIN」を通して顯現しています。靈的世界と物質世界すべての生命の背後にある創造的エネルギーです。「FUGEHUKON」は完全なる神意であり、完全なる叡智です。「FUGEHUKON」は全宇宙のすみずみまで行きわたっています。人間が知り得る極微のものであろうと、まだ物質界には明かされていないものであろうと、そのすべてに遍在しています。それがインスピレーションという形で各地に行き渡るのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

宇宙の情報層と惑星の情報層について



宇宙はすべて「great spirit（大霊）」の「自然法則」によって規制され、管理され、コントロールされている。そういう意味で「神」と「自然法則」は「同義語」であり、それを「靈的眞理」という表現や「古代よりの叡智」、「FUGEHEKIN（フゲーエキン）」という宇宙語で表現しています。

では、その「自然法則」の眞髄は何なのでしょうか？この答えが「精神」という言葉にあります。何故ならば、精神を英語で翻訳をすると「spirit（スピリット）」「soul（ソウル）」「mind（マインド）」と、靈、魂、顯在意識すべてが意味に含まれてくるからです。

その謎を解く鍵は「天使」について、「妖精」と「精靈」についてを正しく理解することがひとつの鍵になります。何故なら「精神」とは「天使、妖精、精靈」を指した総称だからです。そしてニューエイジ運動の最大の目的は「星信仰の復活」にありますが、天使、妖精、精靈を知ることは音叉セルフヒーリングの最大の目的に繋がってくるのです。

また、もうひとつの鍵が「FUGEHEKIN（自然法則）」についての正しい理解になります。great spirit（大靈）、天使、妖精、精靈を繋いでいるものは「FUGEHEKIN（自然法則）」であり、このFUGEHEKIN（自然法則）を「精神」と翻訳することが可能だからです。

> 地球もFUGEHEKIN（フゲーエキン）がつくっています。植物も、微生物も、鉱物もFUGEHEKIN（フゲーエキン）です。微生物がどうぶつの存在を生み出してます。だから、時空を構成しているのは全部FUGEHEKIN（フゲーエキン）なのです。
>
> 『波動の法則　實踐體驗報告（じっせんたいけんほうこく）』p. 49

惑星文化「靈的世界、物質世界（※宇宙語でGINO（ギノー））」のすべてが「神的世界（しんてきせかい）（※宇宙語でJEFISIFUM（ジェフィシファム））」の存在である天使の管理下のもとに置かれています。靈的世界と物質世界は常に「神的世界（しんてきせかい）」の存在である天使の關与があります。この「神的世界（しんてきせかい）」の存在のことを「天使」と呼ぶのです。

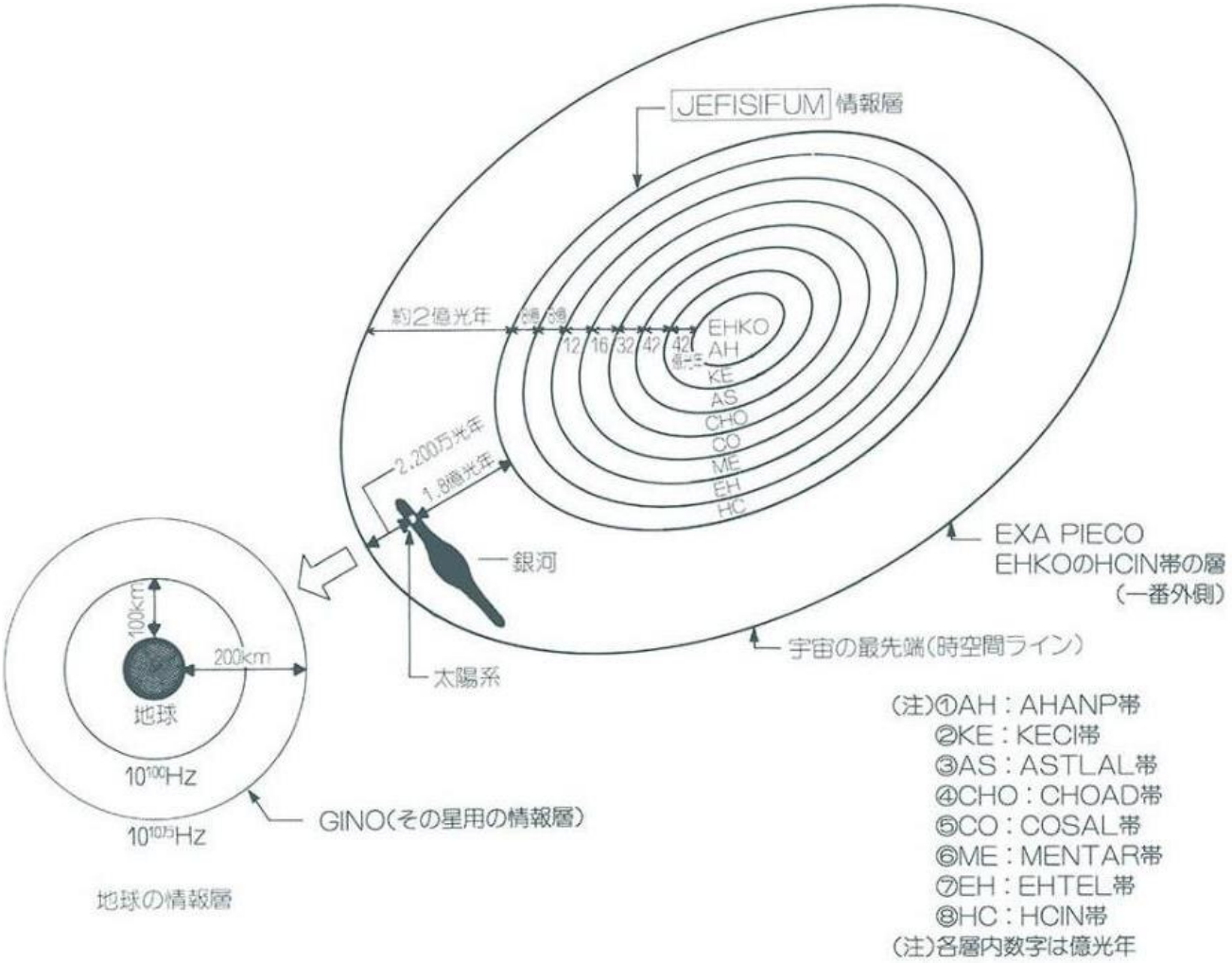
天使の立場は、どこまでも「神的世界（しんてきせかい）の役人」であり、高級靈よりも上位の存在です。その役割は「靈的世界、物質世界」を外部から管理することです。

天使は人間の靈的成長の歩みに直接關わり、手助けをして導くようなことはできません。それができるのは地球を卒業した人間の「spirit（靈）」、高級靈と呼ばれる存在に限られます。

天使は「高級天使」と「下級天使」と段階の差がありますが、人間の靈的成長に關与してくるのは高級天使です。下級天使は自然界、生命界を担当しており、下級天使の分身である精靈（バクテリア）を通して地球環境、鉱物、植物、どうぶつ達を管理し、高級天使は高級靈や妖精（ソマチッド）を通して人間界を管理しています。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

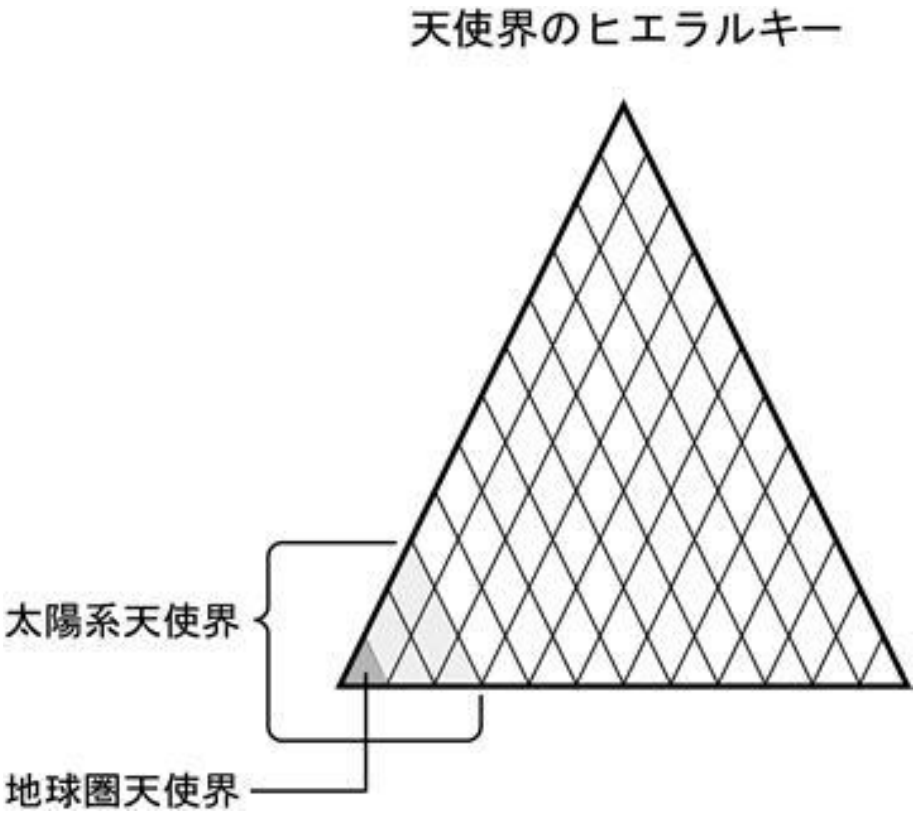
【宇宙の情報層「JEFISIFUM（ジェフィシファム）」とは？】



神的世界（しんてきせかい）、別な表現では「神霊界（しんれいかい）」とも表現します。神霊界（しんれいかい）という天使の暮らす階層の宇宙語は「JEFISIFUM（ジェフィシファム）」であり、「靈的世界、物質世界」よりも上位の世界になります。この階層は「星座（元素）」「銀河（原子）」「恒星（中性子）」「惑星（陽子」「衛星（電子）」などでグループ分けされています。

JEFISIFUM（ジェフィシファム）は正式な表現だと「天使界」と表現するのが的確な表現であり、靈的世界と物質世界のすべては、天使界と繋がっています。そしてそこに住む無数の天使たちは、靈性進化を基準とする「ヒエラルキー（ピラミッド状の上下階級世界）」を形成しています

宇宙の情報層「JEFISIFUM（ジェフィシファム）」について
（天使界・神的世界（しんてきせかい）・神霊界（しんれいかい））



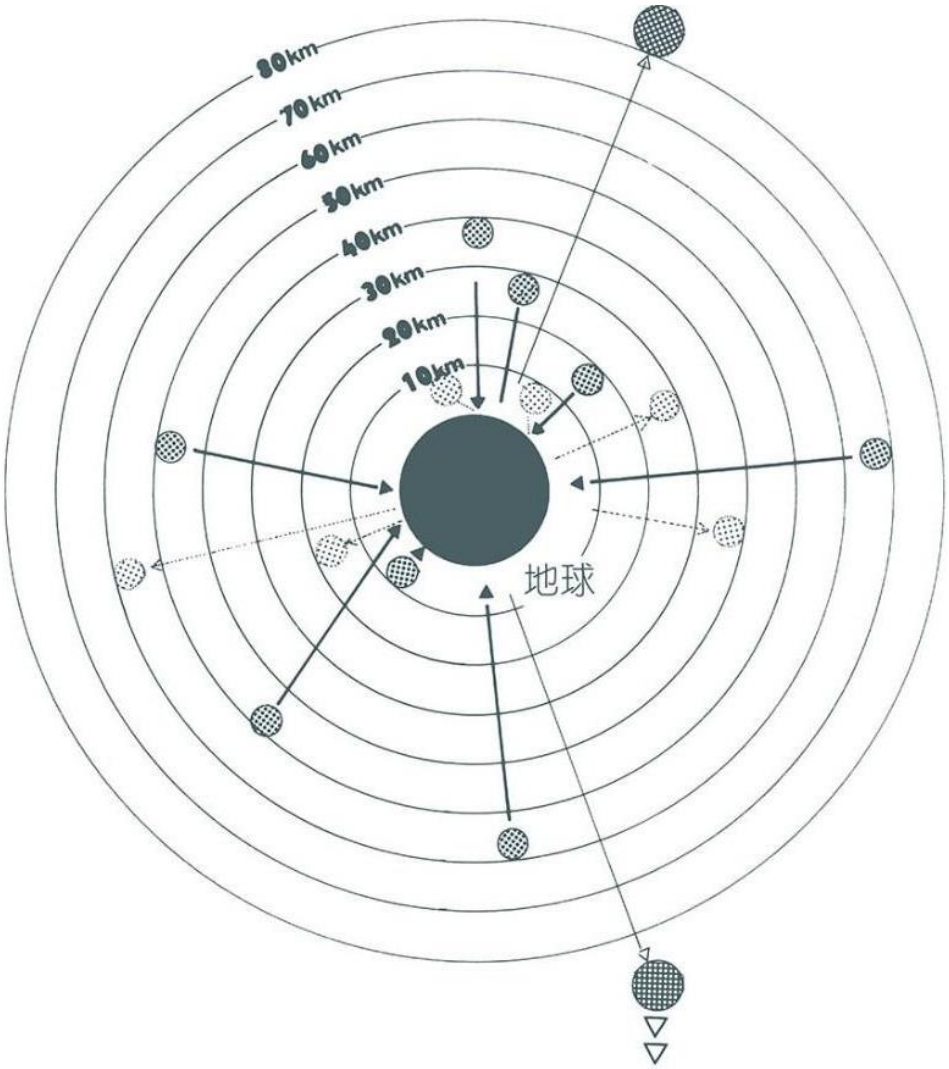
このように宇宙、太陽系、地球、國家（こっか）、社會（しゃかい）、家庭、個人、すべての時空元において、そこを統括する天使が「神的世界（しんてきせかい）の役人」として置かれ、宇宙の管理、維持、コントロールの役割に従事しています。

地球圏の場合、天使の最高責任者が「ナザレ人イエス」です。イエスは、地球人類を靈性進化の道へと導き、地球人類を救済する目的のために「高級天使が天使の立場を捨てて人間として地球に誕生した存在」だったのです。

これが、イエスが地球人類救済計画（スピリチュアリズム　リーダー）の総指揮者の理由にも繋がってきます

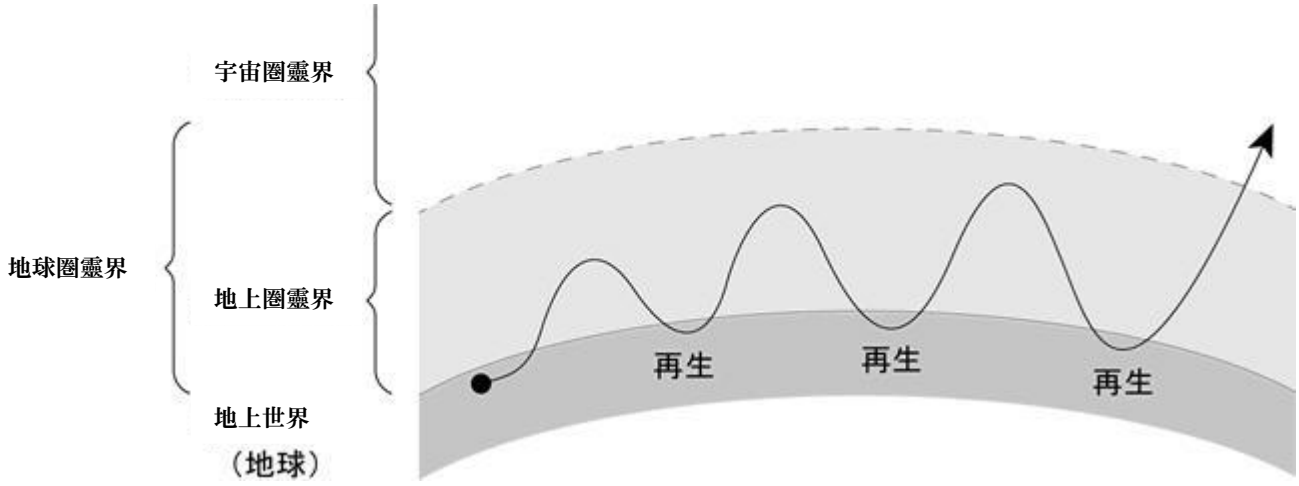
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【惑星の情報層「GINO（ギノー）」とは？】



惑星とは、「GINO（ギノー）」という情報層による階層で成り立っており、１００km～２００km までが「地球圏靈界」という表現が可能です。地上世界は「０km～１０km」までの物質世界を表し、幽界とは「地下８０km～地上１０km」の世界を表します。

そして地上１０km～８０km の世界の総称が「靈界（※靈的世界）」なのですが、あくまでも物質世界も幽界も靈界の一部であり、グラデーションのように融合し合っております。その靈界も地上１０km～５０km までを「地上圏靈界」といい、地上５０km～８０km までを「宇宙圏靈界」と表現します。これが惑星すべてに存在すると思ってください。



宇宙圏靈界という５０km 以上まで靈性が進化した存在を「高級靈」といい、地上世界に輪廻再生が不要な段階まで靈的に進化しています。この「輪廻再生が不要」というのが非常に重要です。

人間は死後、必ず幽界で浄化のプロセスを踏んでから、「自分自身のバイブレーションに見合った階層」に行くことになります。このバイブレーションが一致した仲間、靈的家族のことを「グループ・ソウル」と呼びます。守護靈は基本的にこの「グループ・ソウル」から選ばれることになります。

どの「惑星世界（※惑星文化）」の営み、管理、維持という「FUGEHEKIN」の遂行は、天使の管轄の元、高級靈、妖精、精靈の働きによって成立しています。自然界の運行と維持に天使と妖精と精靈の存在は欠かせません。

高級靈、妖精、精靈の存在があっての「惑星世界（※惑星文化文化）」であり、そうした存在は自然界ばかりでなくわたし達人間の一つ一つの行爲にも深く關わっています。あらゆる生命は、天使、高級靈、妖精、精靈の存在なしには生命を存續させることは出來ません。

人間は、あらゆる存在物と密接な關係にあり、これが「星信仰の復活」に繋がっています

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

精神と自然法則（FUGEHEKIN）の完璧なるネットワークシステム

「やはり病気は自分で治せるのでしょうか？」

治せるだけでなく、げんに治しております。魂の優位を主張し、肉體という下等なものによって束縛され抑えられることを拒否することによって病氣を追い払うのです。身體を従者にするのです。主人にしてはなりません。誰にでも出來ることです。ですが、大部分の人間は頭から出來ないものと思い込んでいます。だから出來ないのです。

肉體は精神の従僕です。精神は肉體に隷属しているのではありません。肉體は束の間の存在であり精神は永遠の存在です。肉體はいずれ朽ち果てます。精神が宿っている間だけ現在の形態を維持している一時的な存在です。それがその人ではありません。その人の表現體であり、道具であり、地上で認識してもらうための手段です。

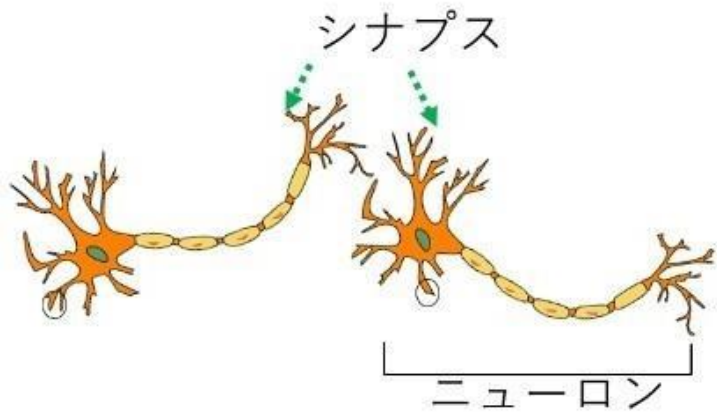
その肉體が精神によって歩きまわることを教わり、筋肉を動かすことを教わり、血液を循環させることを教わり、心臓を鼓動させることを教わり、内臓の全ての機能を働かせることを教わったごとくに、こんどはその（リズムを狂わせている）機能に本來のリズムを取り戻させることによって病氣や疾患や異常を無くしてしまうことができるはずなのです。

『シルバーバーチの靈訓（五）』p.122～p.123

精神を英語で翻訳をすると「spirit（靈）」「soul（魂）」「mind（顕在意識）」と、様々な意味が含まれてきます。さらにMANAKA（マナカ）と呼ばれる存在の「靈界通信」では、「星とは、精神の瞬（またた）きの煌（きら）めきである」と述べ、「精神と星が照應（しょうおう）關係」であることを示唆（しさ）しています。これはgreat spirit（大靈）、天使、妖精、精靈を繋いでいるものは「FUGEHEKIN（自然法則）」であり「精神」と翻訳することが可能です。

精神とは？

天使、高級靈、妖精、精靈のネットワークシステムの科學（かがく）用語を「細胞的知性（ニューロン）」といい、「自然法則（FUGEHEKIN）」の本質になる



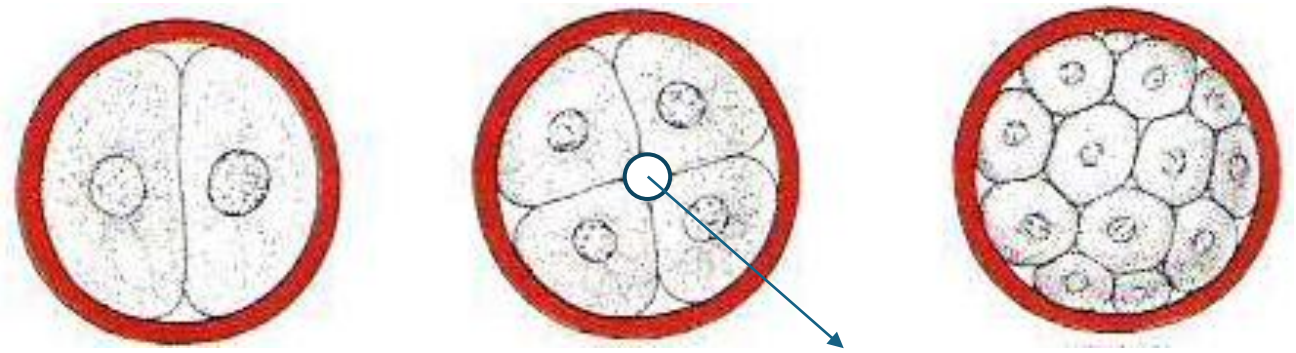
シルバーバーチの靈訓の精神という言葉を「細胞的知性（ニューロン）と電氣信号」に置き換えよう！

人間の身體（しんたい）構造は、心臟腦（ハート）と大腦（マインド）を「細胞的知性（ニューロン）」と呼ばれる「神經細胞」が複雑にネットワークを形成し、思考、記憶、感覺、運動など、身體（しんたい）のあらゆる機能を維持しています。こうした複雑な「FUGEHEKIN（自然法則）」のシステムを「精神」と翻訳する必要があります。

細胞的知性（ニューロン）は「２つの脳（心臟腦（ハート）、大腦（マインド））」「神經系（しんけいけい）」を構成する「細胞そのもの（情報の傳送役（でんそう））」であり、情報を「電氣信号」として傳達（でんたつ）、処理します。この電氣信号の傳達（でんたつ）のことを「自律神經（じりつしんけい）」といいます。シナプスはそれらの細胞的知性（ニューロン）同士が情報をやり取りする接合部です。

細胞的知性（ニューロン）が電氣信号で情報を運ぶのに対し、シナプスは神經傳達物質（しんけいでんたつ）を放出し、化學的（かがくてき）な信号に變換（へんかん）して次の細胞へ信号を渡します。シナプスは「細胞間のチャクラ」であり、この細胞間のチャクラを刺激するのが「528Hz」の周波数であり、「心の調和（コヒーレンス）が取れた状態」を可能にします。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



※細胞の隙間が重要である（細胞間のチャクラ）

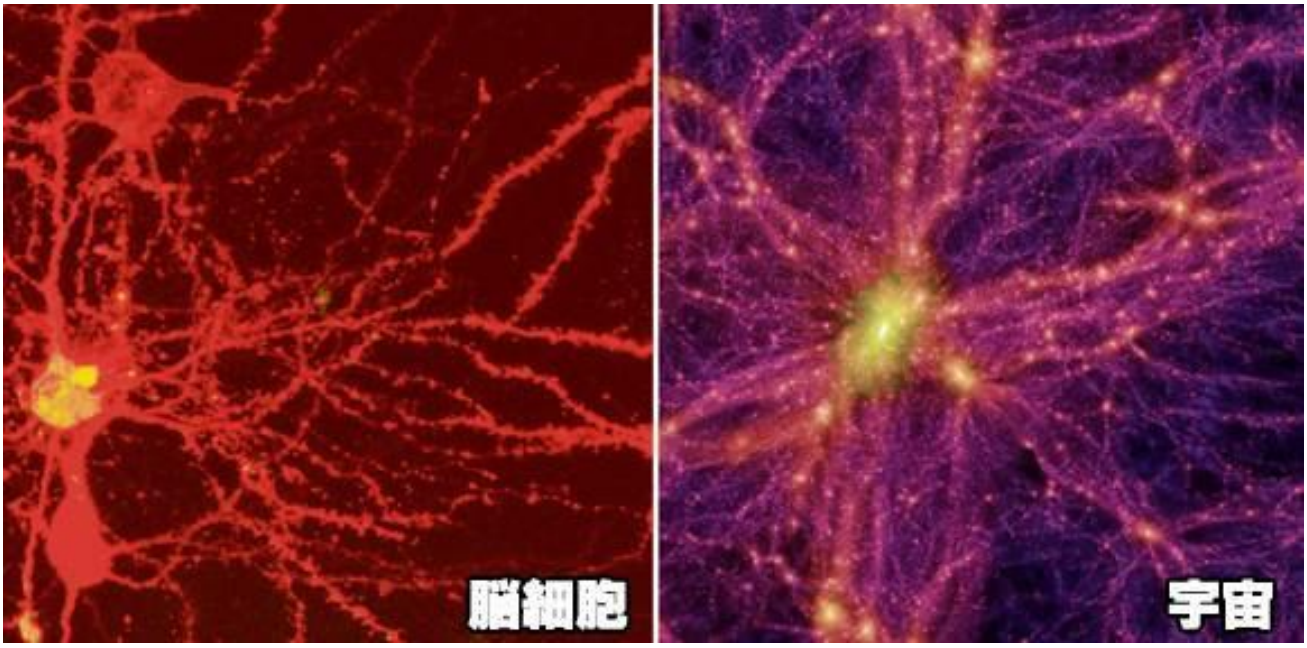
この、「それぞれの音の間に生じる時間と空間を生み出す音が 528Hz」であり、原型細胞の隙間に 528Hz の振　動 が「高時空元と低時空元が交わるスポット」を生み出します。

この「細胞的知性」の「電氣信号」として傳達、処理、シナプスを通して神經傳達物質を放出し、化學的な信号に變換して次の細胞へ信号を渡す一連の動作を「528Hz（音）」と「ミネラル」を通して行われています。

「ミネラル」の正式名称は「Cosmic Dust（日本語で宇宙塵）」といいます。Cosmic Dustとは宇宙空間（主に恒星の周囲）に存在する直径 1 ミクロンメートル以下の微粒子。地球にも降り注ぐ天然の塵であり、太陽系形成の成分を引き継いでいます。

わたし達の身體が宇宙塵で出来ていることは科學的にも証明されています。星屑や隕石のミネラル成分と、人體のミネラル成分は 99%一緒であり、宇宙と靈止はCosmic Dustとして繋がっていることも NASA の研究で明らかになっています。

大宇宙は極大、極微のあらゆるものが自然法則によって生かされ、動かされ、規律正しくコントロールされていることが分かります。そうした全生命を創造した存在こそがgreat spiritであり、この創造主との繋がりの暗号、鍵が「星々の音」であり、「精神」というネットワークシステムであり、「星信仰の復活」の本質的意味なのです。



その精神の仕組み、自然法則（FUGEHEKIN）を解明するには「ソマチッド」、別名「妖精」を知ることが最後の鍵になります。NASA の研究所は、彗星核（すいせいかく）から放出される原子物質とその間にある微粒子（Cosmic Dust（コズミック ダスト））を懸命に分析する理由は「ソマチッドの研究」が理由なのです。

福村　ＮＡＳＡが何で探査機を上げているのかというと、ソマチッドの研究のためなんですよ。

増川　宇宙で１つの惑星からの１つの隕石でも、違う星だと全然違うソマチッドがいるわけです。それの研究で各國（かっこく）が競い合っています。

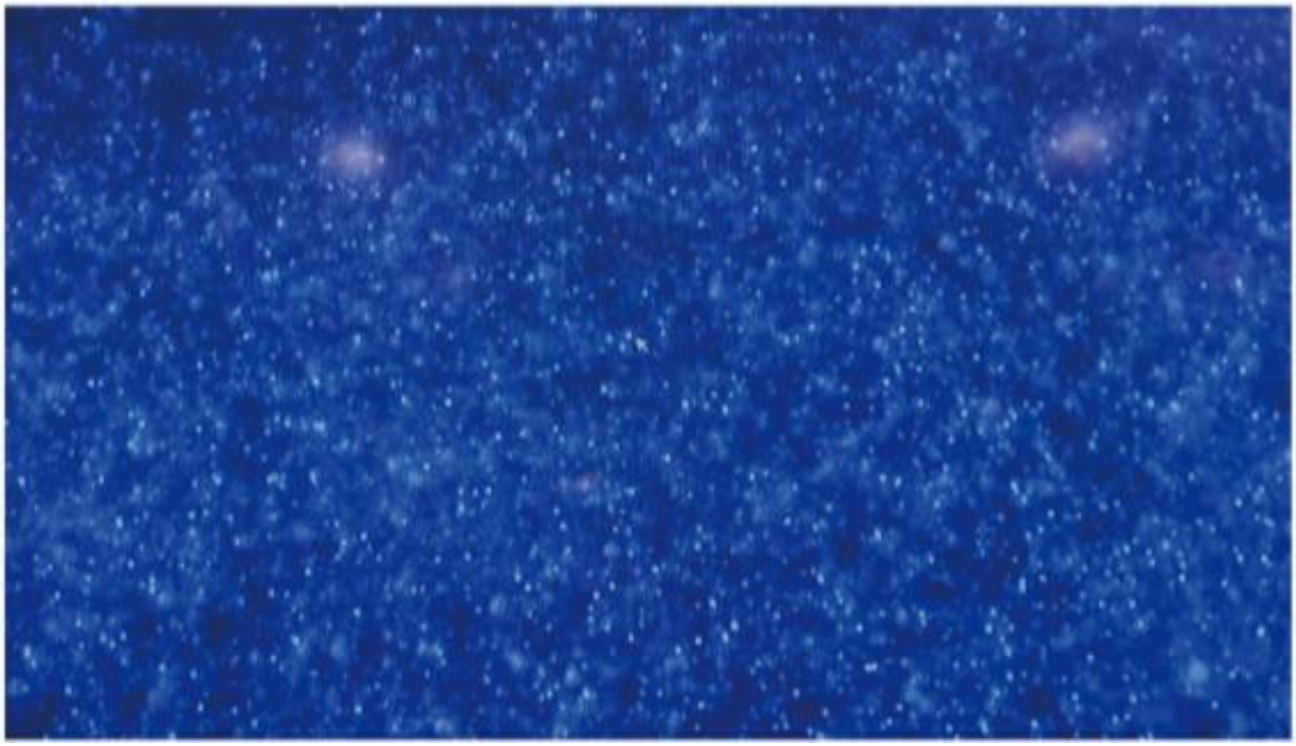
『科學（かがく）がひた隠すあらゆる生命活動の基板 超微小生命體（せいめいたい）ソマチットと周波數 』p.23

そうした NASA の研究により脳細胞と宇宙の形は酷似（こくじ）していること、人體（じんたい）の構成要素は宇宙の星を構成している物質と同じであることを裏づける論拠が次々と見つかっています。この相關關係（そうかんかんけい）が分かってくると、大靈（たいれい）と大靈（たいれい）の創造した自然法則（FUGEHEKIN）の完璧性が分かり始めます。

ソマチッドがＤＮＡのクリエイターとして、地球生命の誕生を促しているのです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

惑星地球のあらゆる生命(いのち)は妖精(ソマチッド)と精霊(バクテリア)が創造している



大分県別府市にある「杜(もり)の湯リゾート」の「青湯」を、「暗視野顕微鏡(あんしやけんびきょう)」にて観測した画像であり、画像いっぱいにソマチッドが現れていて、まるで「宇宙空間に輝く星々」のように美しい画像を撮影することができました。

妖精は別名「ソマチッド」、精霊は別名「バクテリア」であり、「妖精(ソマチッド)は高級天使の管理化」にあり、「精霊(バクテリア)は下級天使の管理化」にあり、妖精(ソマチッド)が「音、周波数を通してＤＮＡをクリエイト」し、精霊(バクテリア)が「炎(ひかり)、空氣、土、水を通してＤＮＡをプログラム」しています。

「spirit(靈)」の本質、あらゆる生命(いのち)は「great spirit(大靈)」「天使」「高級靈」「妖精(ソマチッド)」「精霊(バクテリア)」の存在なしには生命(いのち)を存續(そんぞく)させることは出來ません。そして惑星地球の地上世界の生命(いのち)を構成している主な存在は「妖精(ソマチッド)」と「精霊(バクテリア)」になります。靈、精神、身體(しんたい)、この三位一體(さんみいったい)の關係の調和、これが健康の本質です。

地上界は今とても病んでおります。あまりに多くの人が調和の乱れた生活環境が生み出すストレスと不自然さによって病氣になっております。みずから〝文明〟と呼んで誇っているものが實(じつ)は、本來ならエネルギーを供給してくれる大自然から人間を絶縁させているのです。

そのために人間のバッテリーである魂が枯渇しており、それを靈の力によって再充電してあげなくてはならないわけです。それが功を奏してバッテリーが働き始めると、身體(しんたい)と精神と靈との間に調和が戻ります。それが健康です。

神はその無限の叡智によって、人體(じんたい)の骨格及びその關連器官を、靈の自然治癒力が働くようにこしらえてあるのです。その身體(しんたい)と精神と靈という三位一體(さんみいったい)の關係が乱れた時に病氣になるのです。健康とは全體(ぜんたい)の調和状態のことです。

『シルバーバーチの靈訓（十一）』p.63

ここでのポイントは「健康とは靈、精神、身體(しんたい)の三位一體(さんみいったい)の調和」、そして「魂をバッテリー」と表現し、「大自然からエネルギーを再充電」すると古代靈シルバーバーチが明確に述べている点です。これは「心臟腦(ハート)」と「大腦(マインド)」が電氣を生み出している話と一致します。

惑星地球の地上世界は、あまりに靈、心臟腦(ハート)と大腦(マインド)の２つの心、身體構造(しんたいこうぞう)（靈體(れいたい)と肉體(にくたい)の２重構造）について無知すぎます。「great spirit(大靈)、天使、妖精(ソマチッド)、精靈(バクテリア)」という「精神」の存在が、あらゆる生命維持の本質になります。

そして、これらの存在は「星々の運行(サイクル)」という自然法則によって靈的エネルギーを再充電(チャージ)しており、「三大奥義（蝶形骨、仙骨、交会穴(こうえけつ)）」×「星々の音（ソルフェジオ音叉、惑星地球）」のエネルギーによって生命力を活性化させているのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

シルバーコードとチャクラ



チャクラは、古代インド思想（ウパニシャッド）や、それを踏襲する神智學（しんちがく）における重要な概念です。精神世界や神秘主義、あるいはニューエイジでは、チャクラの存在は常識のように思われています。しかし、結論から言うならば、殆どのチャクラ思想が間違っています。

チャクラは現在のスピリチュアリストの中に大きな影響を及ぼしています。チャクラの存在を無条件に正しいものとして受け入れるような傾向が見られ、スピリチュアリズム關連の書物には、たびたびチャクラの解説が掲載されます。

また海外のスピリチュアリズム關連機關での靈能開發セミナーでも、チャクラの存在が当たり前のこととして取り上げられ、チャクラについて學び、チャクラを意識した瞑想が取り入れられています。現在の多くの人間は、「チャクラ思想」に洗脳されています。

傳統的（でんとうてき）ということは古くさいということを意味し、進歩がないということの証明でもあります。たとえばチャクラについて説くことは必ずしも必要とは考えません。

『古代靈シルバーバーチ　最後の啓示』（ハート出版）p.55

シルバーバーチがこのようにいう理由は、チャクラは本來、「靈性の進化」を通して開くものであり、無理に開くと非常に危険だからです。そのことに氣づいている人間は非常に少ないように感じます。

チャクラは「細胞間のチャクラ（靈體（れいたい））」「脊髄のチャクラ（幽體（ゆうたい））」「經穴（ツボ）のチャクラ（肉體（にくたい））」の３つが存在し、チャクラが開くと「心靈能力（サイキック）」が發揮されます。しかし、未熟な靈性の段階で無理にこじ開けると、低級靈の憑依を招き、地上人生が墜落する危険性が高いのです。

危険なこと

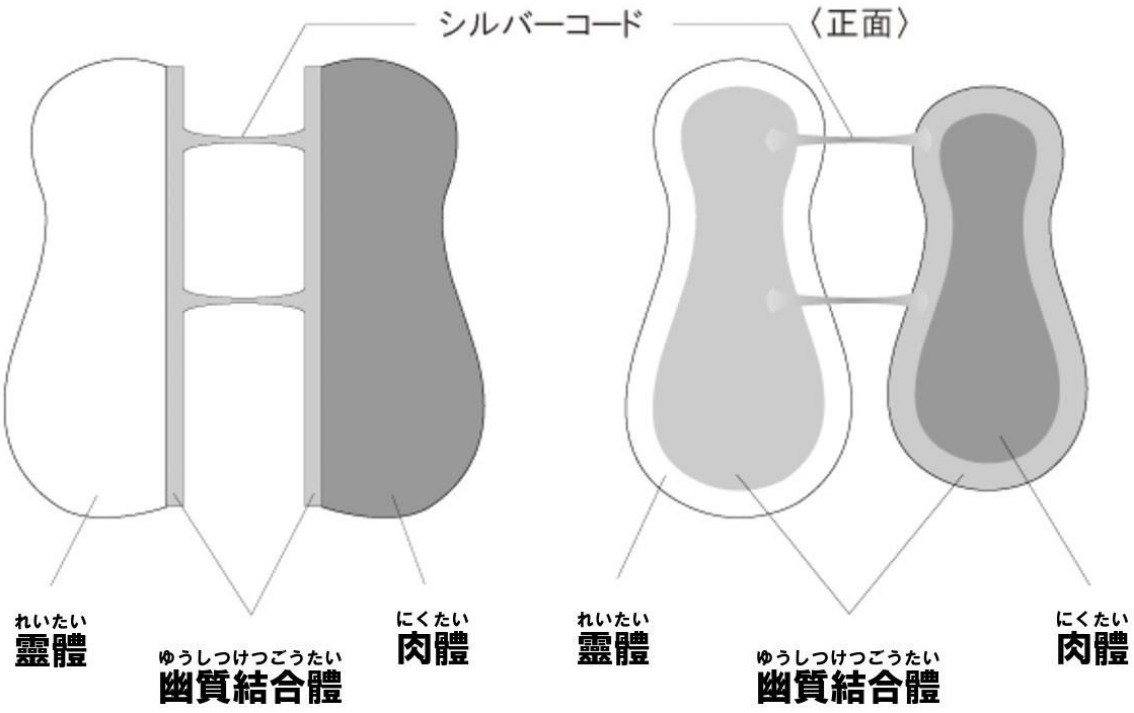
「宇宙の仕組み」を自我の強い顯在意識（DIKAG）で理解したり、知識だけが増えますと、かえってその方の行動が不調和な方向に進み、その方の想像の及ばない広範囲の時空間にとりかえしのつかないマイナスの影響を及ぼす事態が發生します。

人間のエネルギー・センター(チャクラ)についても、そのセンターの調和がとれ、成長過程において自然に開いていくのが本來であり、無理に開くような行爲をとると自我の歪んだ振動波がEXA PIECO（エハ ピーコ）にまで影響し、EXA PIECO自體（エハ ピーコじたい）を歪める大變（たいへん）危険な状態となります。

『宇宙に學ぶ　地球の次の時代の文化の創造に備えて』p.143

チャクラはマヤ文明では「銀河」とも言われておりますが、星のエネルギー、天のエネルギーを受け取るためのアンテナであり、靈的世界と物質世界を結ぶものです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

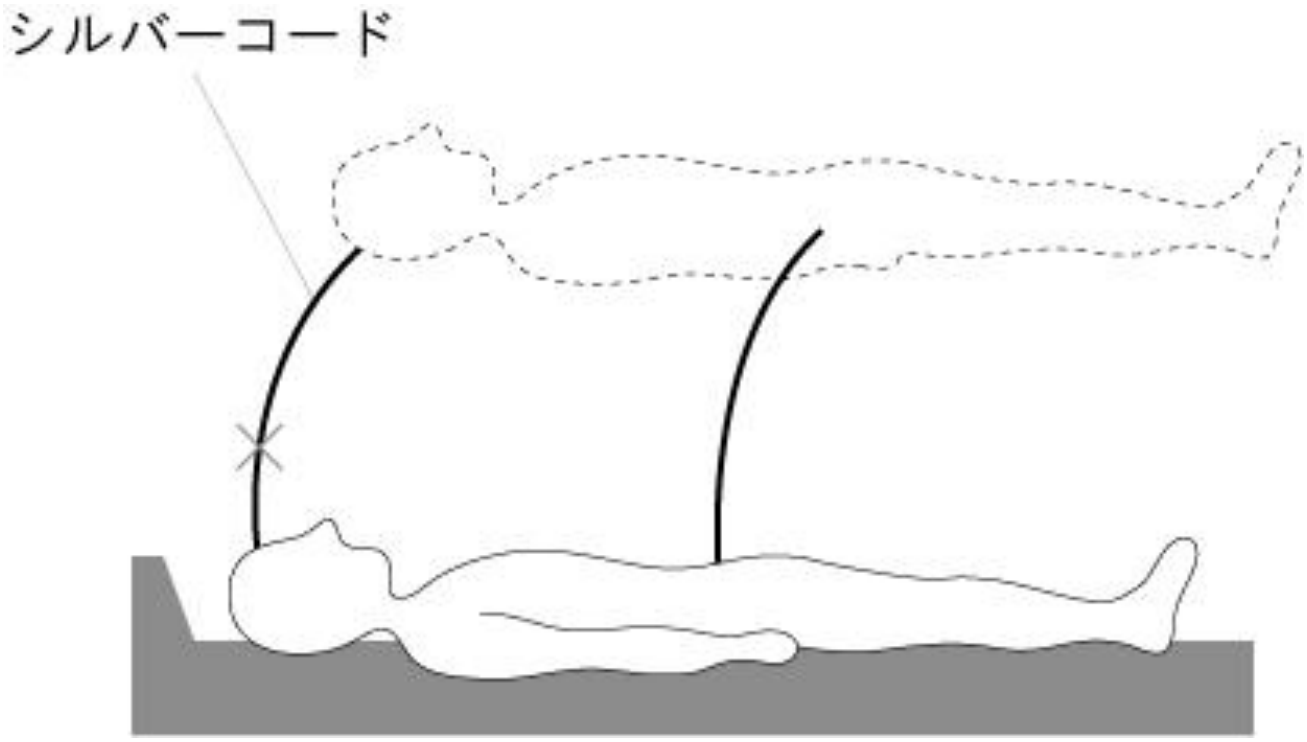


そもそもチャクラの本質は「シルバーコード」と呼ばれる「半物質の紐（ひも）」の一部のことであり、シルバーコードは２本の太いものと、無数（むすう）のクモの巣のような細いものから成り立っています。２本のシルバーコードは「エネルギー・センター上」に位置しています。

松果體（しょうかたい）のシルバーコードは「靈の心（心臟腦）（EXA PIECO）と肉の心（大腦）（ＤＩＫＡＧ　マインド）」を繋いでいますが、そのメインの役割を蝶形骨が行っています。現代醫學（げんだいいがく）での脳死とは、松果體（しょうかたい）のシルバーコードが切れるか、繋がってはいても脳の障害で靈的エネルギーが得られない状態のことです。

しかし、太陽神經叢（たいようしんけいそう）のシルバーコードを通して靈體（れいたい）と肉體（にくたい）は繋がっているので、生理機能は維持されることになります。太陽神經叢（たいようしんけいそう）を通した、靈體（れいたい）と肉體（にくたい）を繋げるメインの役割は仙骨が行っており、無數（むすう）のクモの巣のような細いものの維持は奇經八脈が行っています。

眞の醫學（いがく）とは、２本のシルバーコードが切れること、これを死の定義にしなければなりません。靈的事實から、人間の死とは、靈體（れいたい）と肉體（にくたい）を結んでいたシルバーコードが切れることであると定義します。



臨死體驗は特別な出來事のように思われるかもしれませんが、大半の人が睡眠中に、毎晩のように臨死體驗をしています。睡眠中に「幽體離脱」した状態で、靈界にいる知人や友人と会ったりしています。しかし朝、肉體に戻るとそれを忘れてしまいます。

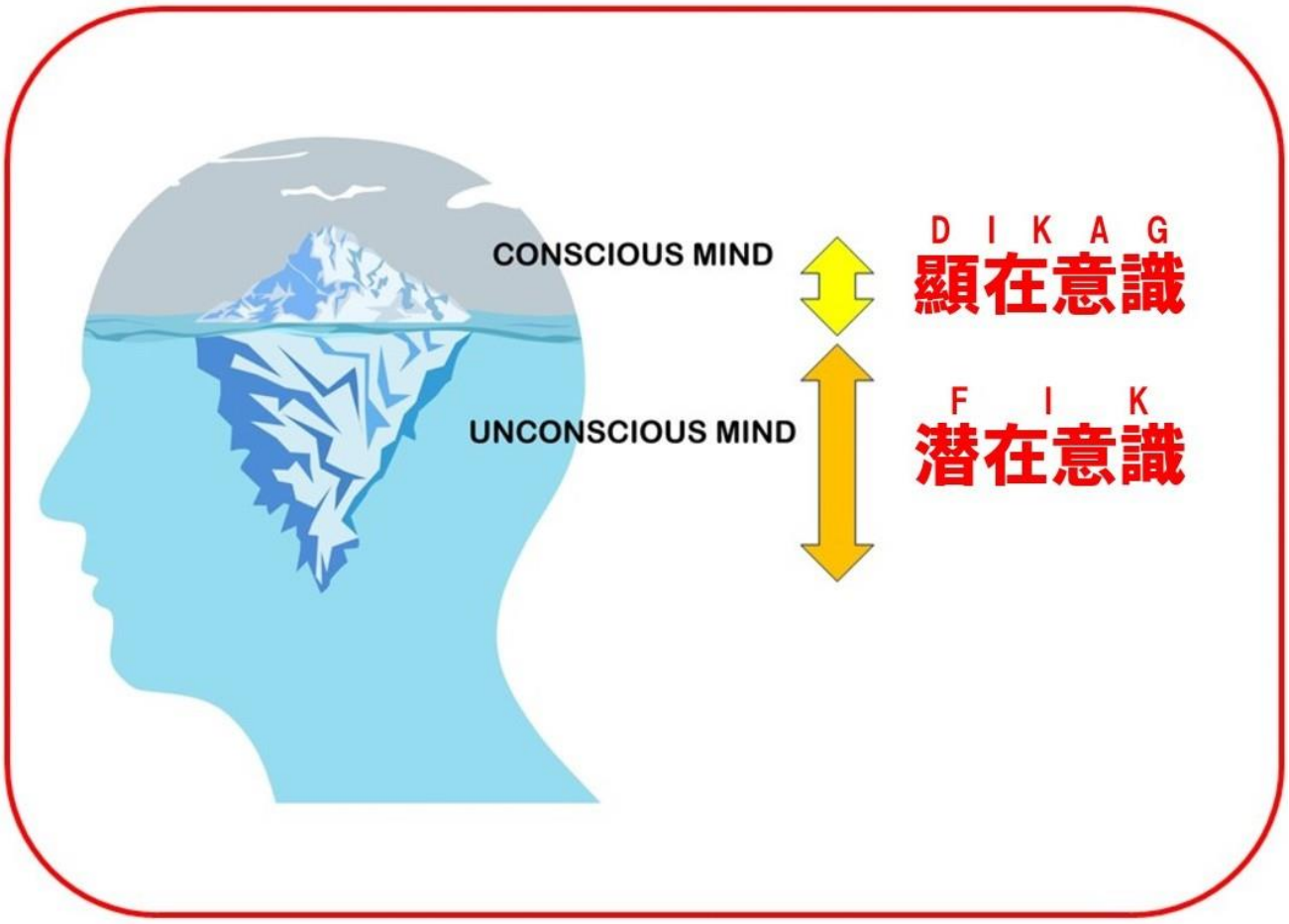
靈體はどこまでも伸びる「シルバーコード」によって肉體とつながれてはいても、自由に活動することができます。睡眠中、そうした状態で、人々は自由に靈界を移動し、靈體でのこうした體驗は、EXA PIECO 靈の心にはしっかりと記憶されています。

しかし肉體に戻り、その體驗を思い出そうとしても、DIKAG 肉の心では出來ません。睡眠中の靈界訪問で學んだことは、すべて「潜在意識（F I K）」の中にしまい込まれています。そして死後、その體驗のすべてを完璧に思い出すことになります。

従來チャクラと言われてきたものが、シルバーコードの靈體と肉體の接合点の一部を、チャクラを通って靈體から肉體へ靈的エネルギーが流れ込み、反対に肉體から靈體へもエネルギーが入っていくと捉えたことであり、正確にはシルバーコードと定義しなければなりません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

潜在意識（FIK）の３つの働きとメカニズム



精神の大半が「潜在意識（FIK）」の機能であり、地球人類は潜在意識（FIK）の機能、役割を知らずに生きています。音叉による生命（いのち）の調律の大半は「潜在意識（FIK）」に働きかける効果であり、潜在意識（FIK）のメカニズムを知ることは大切なことです。

> 潜在意識（FIK）がどのように使用されるかを聞かれて ――
>
> そのことに關してずいぶん誤解があるようです。精神（大半が潜在意識（FIK））にはさまざまな機能があります。（中略）意識的生活のディレクターであり個人生活の管理人である精神は、肉體（にくたい）的機能のすべてを意識的に操作しているわけではありません。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（六）』p.154～p.155

今の科學、醫學でわかるように、成人した段階で数カ月の間に約８２兆くらい（地球の文化では６０兆と言われています）の細胞が新陳代謝しているわけです。その状態に対して、全責任をもってコントロールしているのが、潜在意識です。

『宇宙からのメッセージ　波動の法則』（足立育朗）p.94～p.95

潜在意識の機能は、心理學用語とは違い、惑星地球の地上世界ではずいぶん誤解されています。ここで、潜在意識の大まかな役割を３つ擧げます。

潜在意識の働き〈１〉靈的人生、地上人生で入力したあらゆる知識、情報を記憶する

個人に關するありとあらゆる知識や情報（※前世の個人情報、今世で學んだ知識、睡眠中に入手した情報など）が「８つの原型細胞」に蓄えられています。８つの原型細胞は、まさにこれまで入力した知識、情報の倉庫と言えます。その能力は現在の最新のコンピューターの記憶能力にも匹敵します。

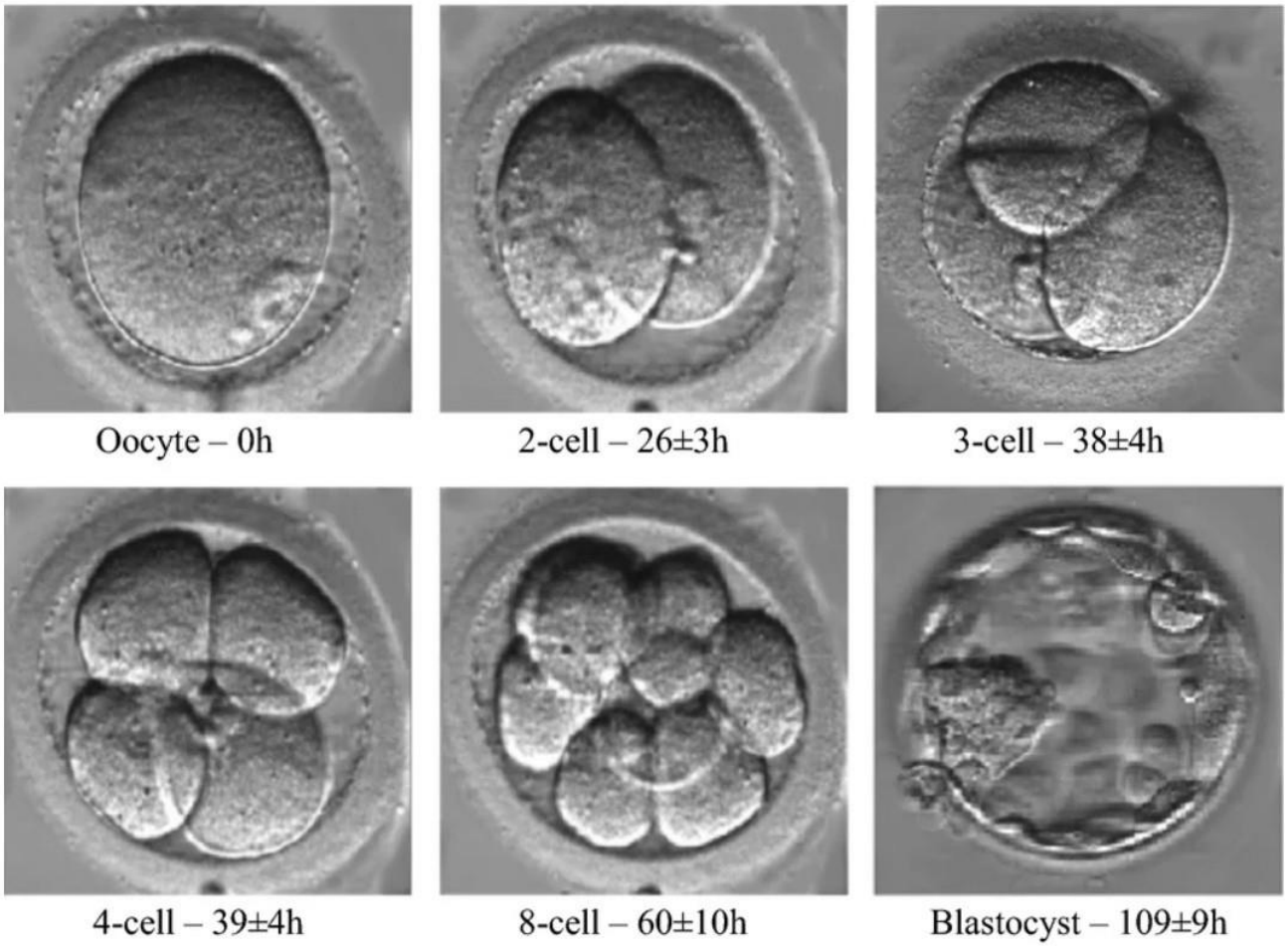
潜在意識の働き〈２〉日常の身體行動のコントロール、日常の意識のコントロール

日常生活において必要な機能の多くは自動的であり機械的です。筋肉、神經、細胞、繊維等々がいったん「靈の心→肉の心→肉體」と、細胞的知性が指示を受け、さらにシナプス、レセプターが「電気信号」を通して連繫的に働くことを覺えたら、その後の繰り返し作業は潜在意識に委託されます。

潜在意識の働き〈３〉靈媒現象（靈界通信）を引き起こす

「靈のオーラと地上人のオーラの融合」→「地上人の潜在意識の支配」→「地上人の思考や身體機能のコントロール」を通して靈界通信をする

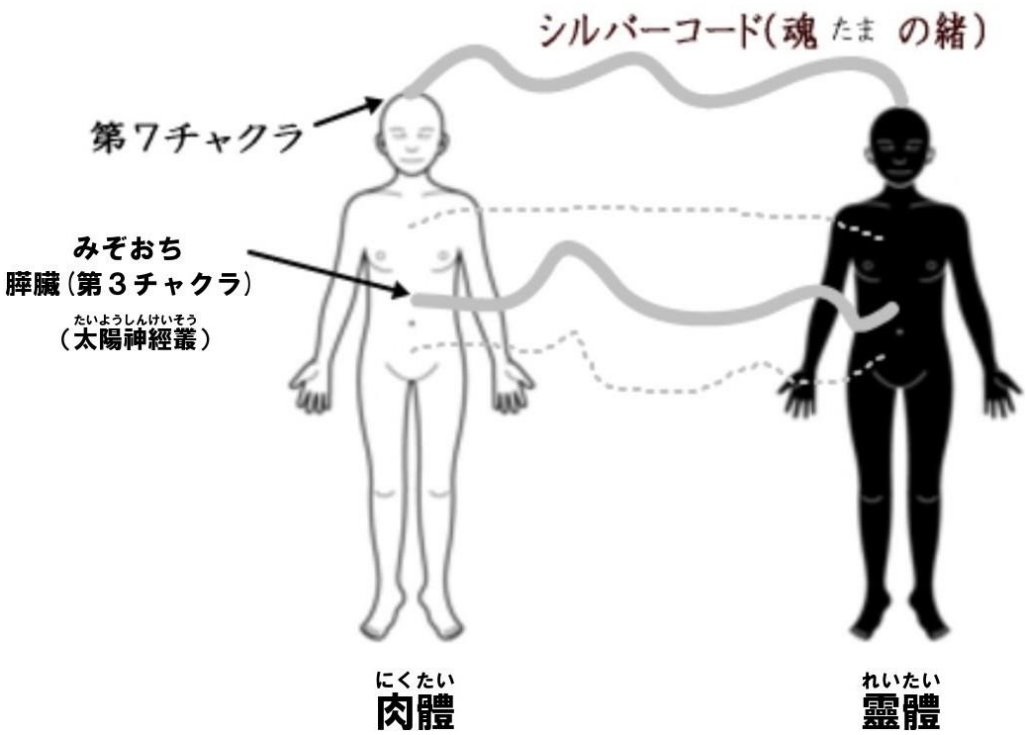
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



潜在意識（F I K）の機能で一番重要なのは「８つの原型細胞」であり、８つの原型細胞は生まれる前に決めてきた「魂の設計圖（ブループリント）」が刻まれており、この８つのオリジナル細胞は「Mirror of soul（魂を映し出す鏡）」とも呼ばれています。

地上に生を享（う）ける時、地上で何を爲（な）すべきかは魂自身はちゃんと自覺しております。何も知らずに誕生してくるのではありません。自分にとって必要な向上進化を促進するためにはこういう環境でこういう身體（しんたい）に宿るのが最も効果的であると判斷して、魂自らが選ぶのです。（中略）運命全體（うんめいぜんたい）としての枠組みはできております。しかしその枠組みの中で、あなた方が計画した予定表（ブループリント）に従いながらどれだけ潜在的神性を發揮するかは、あなたの努力次第だということです。

『シルバーバーチの靈訓（一）』p.38～p.39



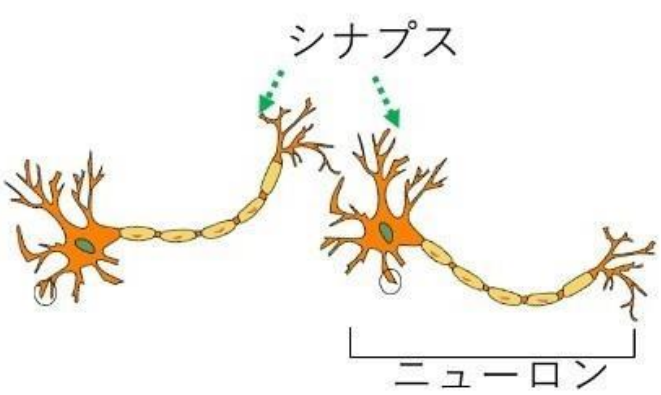
潜在意識が存在している場所というのは、人間の場合、重心近く、お腹のあたり、實際、臓器で言いますと「膵臓」が潜在意識の振動波を受振、發振しているということだそうです。これは今の醫學では基本的に、膵臓の働きとしては全然理解されていないことだと思います。

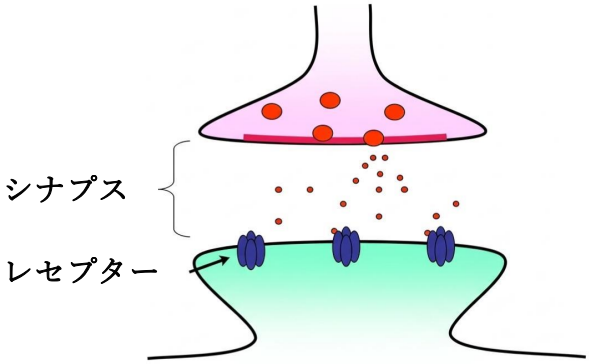
『宇宙からのメッセージ　波動の法則』（足立育朗）p.95

この『波動の法則』でいう膵臓とは「靈體と肉體を繋げる太陽神經叢のシルバーコード」のことを正確には指します。前世の記憶は「靈體と腎臓」、今世の記憶は「肉體と膵臓」が管理、コントロールし、シルバーコードを通して「会陰と仙骨のあたりにある８つの原型細胞」にあらゆる記憶、情報が共有されています。

魂の設計圖は８つの原型細胞、靈的人生は腎臓、地上人生は膵臓が管理、コントロールしている。これが潜在意識の機能のひとつである、靈的人生、地上人生で入力したあらゆる知識、情報を記憶するメカニズムの本質になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





ニューロン、シナプス、レセプターは、いずれも人間の心臓脳（ハート）、大脳（マインド）、神經系（しんけいけい）の情報を処理し、傳達（でんたつ）するために不可欠な「情報のネットワークシステム」の構成要素です。これらは「情報を傳（つた）える側」「情報の渡し場」「情報を受け取る側」という一連のリレーのような關係にあります。

潛在意識（ＦＩＫ）、身體（しんたい）の情報のネットワークシステムをリレーに例えると「ニューロンがランナー」「シナプスがバトンタッチゾーン」「レセプターが次のランナーの手」という關係性になります。

ニューロン	バトンを持って全力で走るランナー
シナプス	ランナー同士がバトンを渡すタッチゾーン（受け渡しエリア）
レセプター	次のランナーがバトンを掴むための手（キャッチャー）

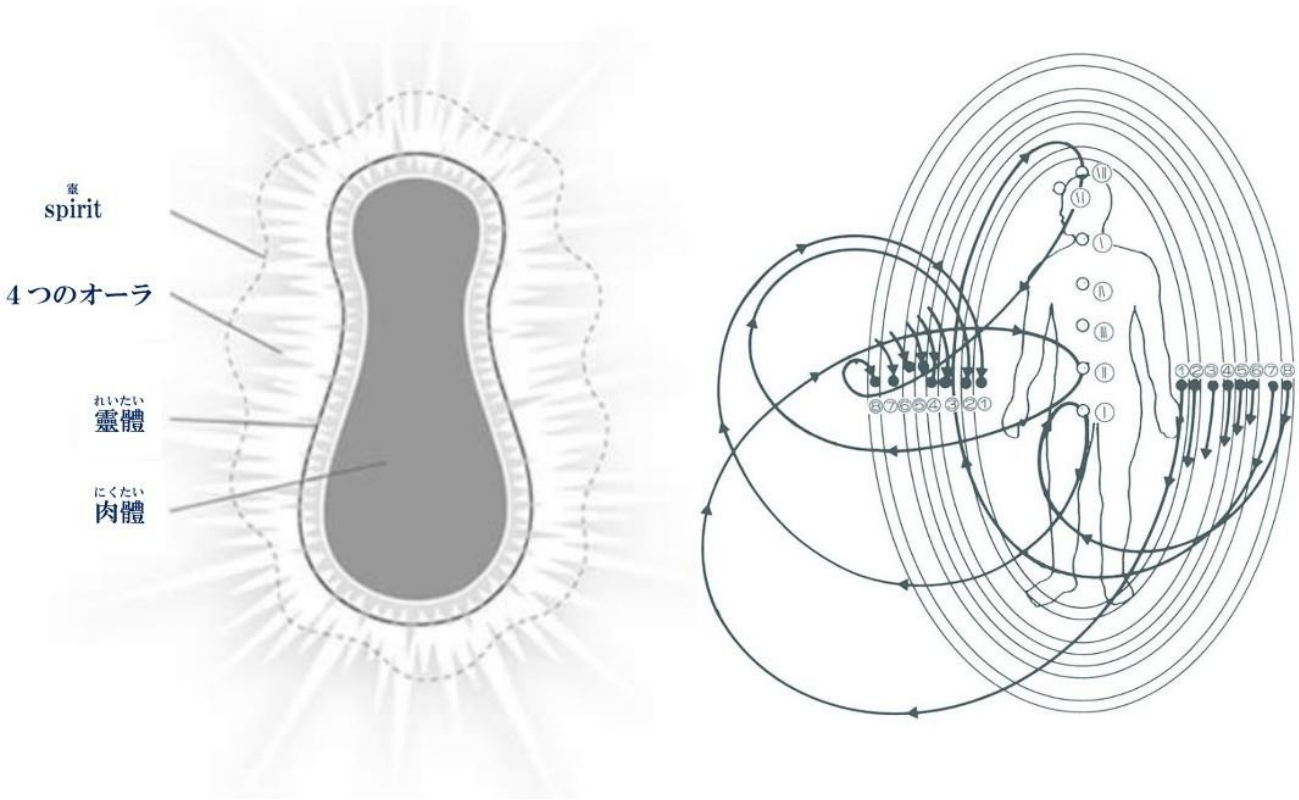
この３つが正しく連携して働くことで、人間は物事を考えたり、手を動かしたり、痛みや喜びを感じたりすることができます。日常生活において必要な機能の多くは自動的であり機械的です。筋肉（きんにく）、神經（しんけい）、細胞（さいぼう）、纖維（せんい）等々がいったん「靈（ＥＸＡ ＰＩＥＣＯ）の心→肉（ＤＩＫＡＧ）の心→肉體（にくたい）」と、細胞的知性（ニューロン）が指示を受け、さらに連繫的に働くことを覺えたら、その後の繰り返し作業は潛在意識（ＦＩＫ）に委託されます。

潜在意識、身體の情報ネットワークシステム		
名称	概要	役割
細胞的知性 鍵：生命素	心臓脳、大脳やカラダ中に張り巡らされている神經細胞そのもの。 黒雲母花崗斑岩が傳導の鍵	身體の内外から受け取った情報を、電氣信号（活動電位）に變えて、次の場所へと超高速で傳導する
細胞のすき間 鍵：無機物	ニューロンとニューロンの接續部分にある、ごくわずかな「すき間（接合部）」。528Hz、珪素、クリスタルが橋渡しの鍵	電氣信号はそのままではこの隙間を飛び越えられないため、シナプスの末端から神經傳達物質を放出することで、次の細胞へ情報を橋渡しする
受容體 鍵：有機物	次のニューロンの表面（主に樹状突起）に存在する、情報を受け取るための「鍵穴」。大麻に含まれるカンナビノイドが引き繼ぎの鍵であり、カンナビノイドを起動させるのが星々の音	シナプスのすき間に放出された神經傳達物質を、レセプターがキャッチします。レセプターが物質を感知すると、次のニューロンに再び電氣信号が生まれ、情報が次の細胞へと引き繼がれていく

これらは潜在意識がすべてが自動的に行っています。たとえば、物を食べるとき人間は無意識の内に口を開けています。それは、アゴが動く前にそれに關連した神經やエネルギーの相互作用があったことを意味します。

精神の媒體である肉の心から細胞的知性を通して神經的刺激が送られて、それから口を開け、物を入れ、そして噛むという一連の操作が行われます。赤ん坊の時はその一つひとつを意識的にやりながら身體に記憶していく必要がありました。このように人間の身體上の、そしてかなりの程度の精神的機能も、大部分を潜在意識がコントロールしています。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

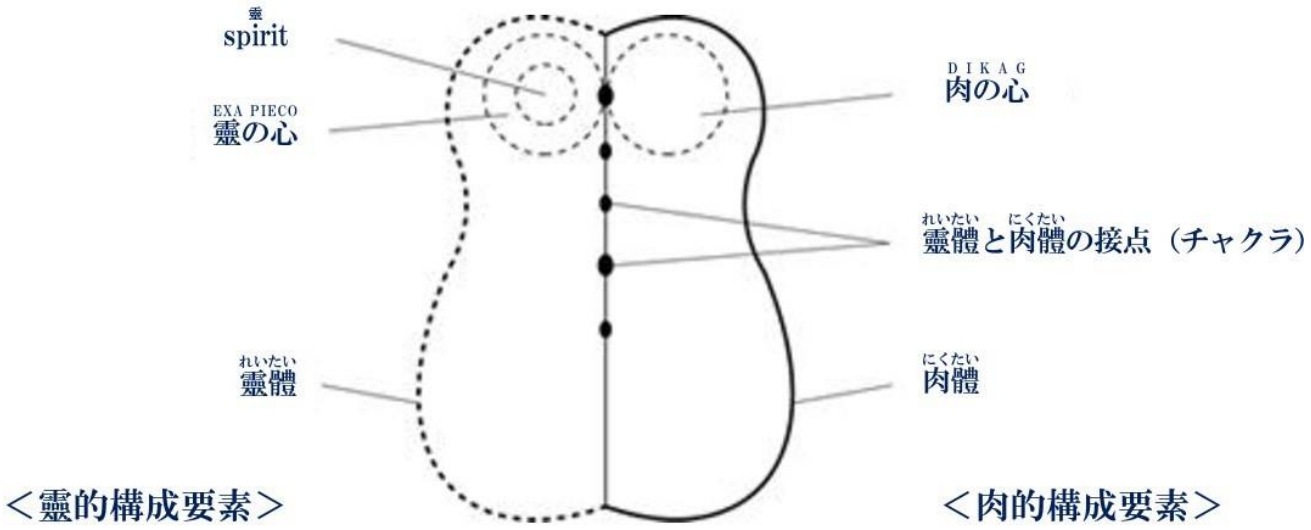


潜在意識（FIK）の３つ目の機能は「靈媒現象を引き起こす」ことですが、その一連のプロセスは「spirit（靈）のオーラと地上人のオーラの融合」→「地上人の潜在意識（FIK）の支配」→「地上人の思考や身體機能（しんたいきのう）のコントロール」を通して靈界通信をするという原理になります。

人間のオーラは本質的には４つのオーラで構成されており、「靈の心オーラ（EXA PIECO）（CHOAD 體（コアード たい））」「靈體（れいたい）オーラ（KECI 體（ケーシー たい））」「幽體（ゆうたい）オーラ（MENTAR 體（メンタル たい））」「肉體（にくたい）オーラ（EHTEL 體（エーテル たい））」でオーラは構成されています。

地上人に「靈の心オーラ（EXA PIECO）」は見えないので、音叉による生命（いのち）の調律では「**靈體（れいたい）オーラ**」と「**肉體（にくたい）オーラ**」についてを扱いますが、靈體（れいたい）オーラの別名「**磁氣オーラ**」、肉體（にくたい）オーラの別名「**電氣オーラ**」になり、２つのオーラを総称して「**電磁氣（でんじき）のフィールド**」といいます。

物理學（ぶつりがく）で「**電磁場（でんじば）（電磁氣（でんじき）のフィールド）**」とは、電氣の力を傳（つた）える「**電場（電界）**」と、磁氣の力（磁石など）を傳（つた）える「**磁場（磁界）**」が「**一體（いったい）**」となったものとして扱われます。



- **れいたい靈體オーラ（磁氣オーラ）は　「こうえけつ奇經八脈の８つの交会穴」が管理、コントロール**
- **にくたい肉體オーラ（電氣オーラ）は　「げんけつ十二經絡の１２個の原穴」が管理、コントロール**

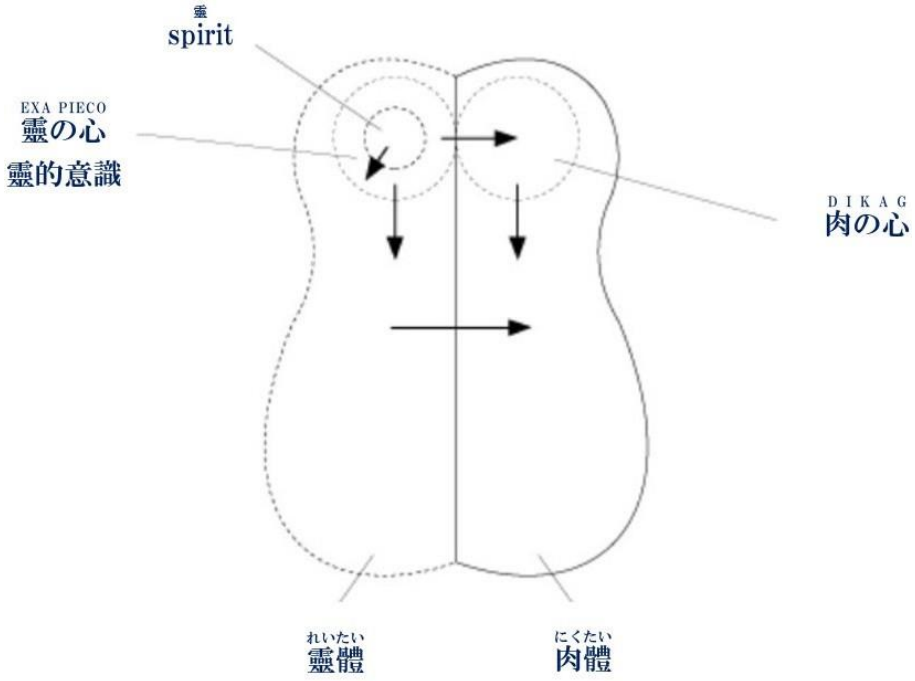
あるゆる靈媒現象は、「**靈spiritのオーラと地上人のオーラの融合（同調）**」と「**F I K潜在意識のコントロール**」を通してなされることです。靈spiritと地上人のオーラが融合することによって、オーラと表裏一體（ひょうりいったい）の關係にある潜在意識（F I K）を支配することができるようになります。

靈媒現象の最大の鍵は、「奇經八脈の８つの交会穴（こうえけつ）」「仙骨八髎穴（せんこつはちりょうけつ）」「蝶形骨」「十二經絡の１２個の原穴（げんけつ）」を通したオーラと潜在意識（F I K）のコントロールになり、音叉による生命（いのち）の調律の目的にも繋がってきます。

> 少しの間でいいのです。精神を静かに統一するよう工夫することです。すると次第に役に立つ良い考えが浮かんでくるようになります。背後靈（SEPOUW）のオーラとあなたのオーラとが融合する機会が多いほど、それだけ高度なインスピレーションが入ってきます。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（二）』p.18

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

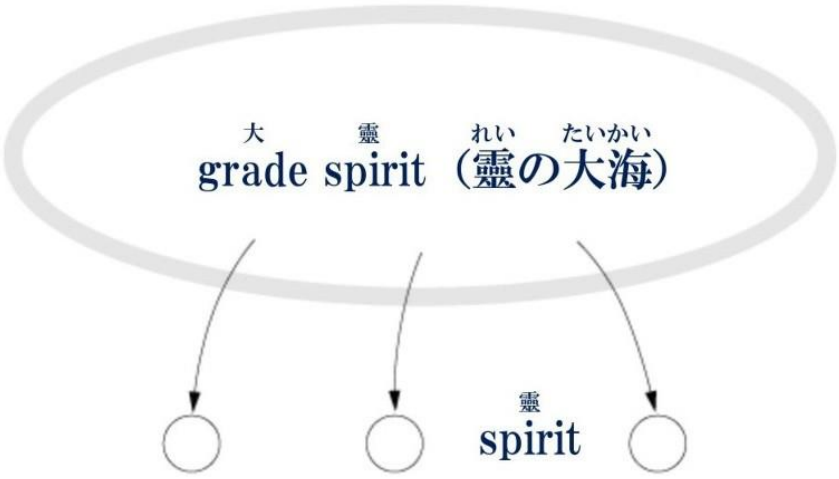
靈 spirit、EXA PIECO 靈の心、DIKAG 肉の心、れいたい 靈體、にくたい 肉體の、５つの構成要素



人間は「great 大 靈 spirit」と「靈 spirit」、そして「精神（※大半が潜在意識 F I K）」という仕組みを通して「靈 spirit」「EXA PIECO 靈の心」「れいたい 靈體」「DIKAG 肉の心」「にくたい 肉體」の「５つの構成要素」で成り立つ存在、これがスピリチュアリズムが明らかにした「人間観」です。

靈 spirit、２つの心、２つのしんたい 身體、これらを繋ぐのが「精神（※星）」であり、こうした人間についての知識がいのち 生命の調律の根幹になります。

> かみ 神はにんげん 人間をれい 靈的にご自分にに 似せてそうぞう 創造されたのです。せいめい 生命はれい 靈であり、れい 靈はせいめい 生命です。靈的に似せてそうぞう 創造された以上、あなたはえいえん 永遠にかみ 神とつながっており、しんせい 神性を共有しているのです。（中略）ですからにんげん 人間はかみ 神に似ているのであり、姿が似ているというのではありません。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（十一）』p.109～p.110





宇宙のどこでもよろしい、よく観察（かんさつ）すれば、雄大なものから極小のものまで、ありとあらゆる相が自然の法則によって生かされ、動かされ、規律正しくコントロールされていることがお分かりになります。

途方もなく巨大な星雲を見ても、極微の生命を調べても、あるいは變転（へんてん）きわまりない大自然のパノラマに目を向けても、さらには小鳥・樹木・花・海・山川・湖のどれ一つとってみても、ちょうど地球が地軸（ちじく）を中心に回轉（かいてん）することによって季節のめぐりが生じているように、すべての相とのつながりを考慮した法則によって統制されていることが分かります。

『シルバーバーチの靈訓　靈的新時代の到來』p.199

古代よりの叡智では、大宇宙（マクロコスモス）と小宇宙（ミクロコスモス）は「照應關係（しょうおうかんけい）」にあると言われており、大宇宙と靈止（ひと）は同じ創りであると信じられてきました。大宇宙（マクロコスモス）は「great spirit（大 靈）」、宇宙を表し、小宇宙（ミクロコスモス）は「spirit（靈）」、人間を表します。人間は宇宙の縮圖（しゅくず）なのです。

天體（てんたい）と人體（じんたい）の照應關係（しょうおうかんけい）、そして音の本質を知ることは、自然界の法則、宇宙の叡智を知ることに繋がり、高時空元への秘密に繋がる扉にも通じます。

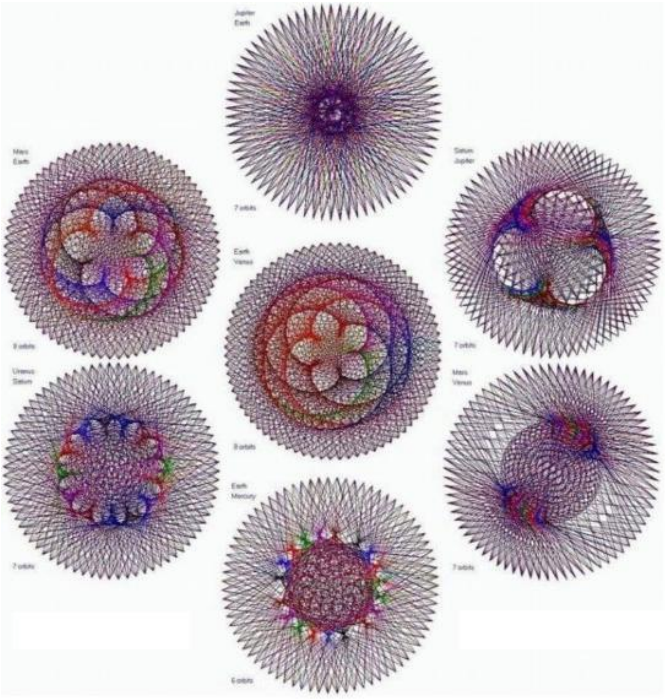
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

宇宙の仕組みと回転形態素粒波（バイブレーション）



大自然すべてが常に何らかのエネルギーを放射しています。従って当然、他の惑星からの影響も受けます。それはもちろん物的エネルギーですから、肉體（にくたい）に影響を及ぼします。しかし、いかなるエネルギーも、いかなる放射性物質も、靈魂にまで直接影響を及ぼすことはありません。影響するとすれば、それは肉體（にくたい）が受けた影響が間接的に魂にまで及ぶという程度にすぎません。

『シルバーバーチの靈訓（四）』p.86





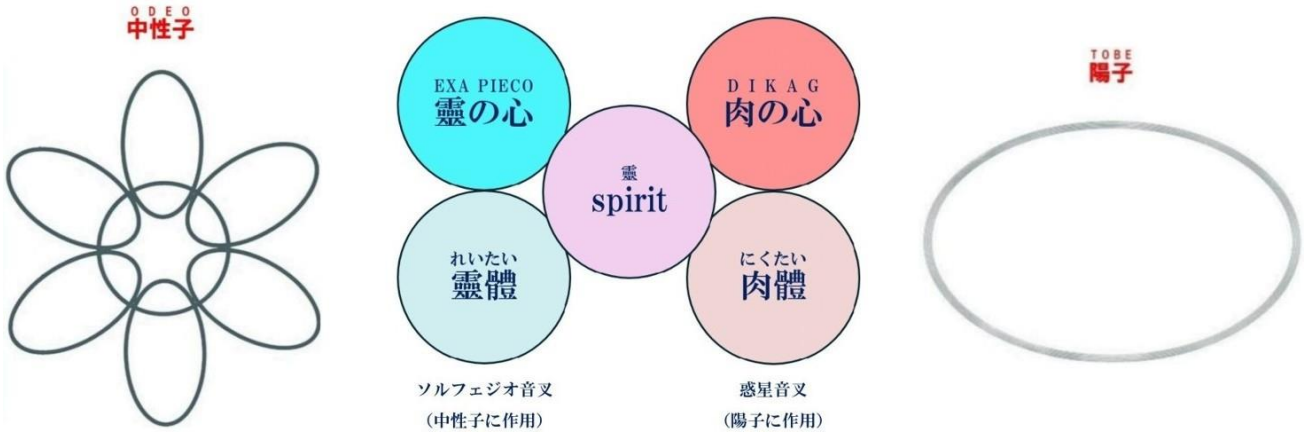
人間とは、「spirit（靈）」「soul（魂）（EXA PIECO 靈の心）」が「靈體（れいたい）」を構成し、「spirit（靈）」「conscious mind（顯在意識）（DIKAG 肉の心）」が「肉體（にくたい）」を構成しています。そして「ソルフェジオ音叉は靈體（れいたい）に作用」し「惑星音叉は肉體（にくたい）に作用」します。

ここでのポイントは、音叉によるセルフヒーリングは「spirit（靈）」「soul（魂）（EXA PIECO 靈の心）」にまで直接影響するほどの力はないという事實です。何故なら音叉ヒーリングは基本的に「マグネティック・ヒーリング」の分野だからです。

スピリット・ヒーリングはspirit（靈）、靈の心（EXA PIECO）、潛在意識（FIK）に直接働きかける。サイキック・ヒーリングは靈體（れいたい）～肉體（にくたい）まで働きかける。マグネティック・ヒーリングは肉體（にくたい）のみ働きかける。これがヒーリングの基本的原理になる。

しかし、音叉セルフヒーリングを限りなくスピリット・ヒーリングのレベルに近づけることは、三大奥義、倍音（オクターブ）、音程（インターバル）の理論を正しく理解し、實踐すれば原理上可能です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



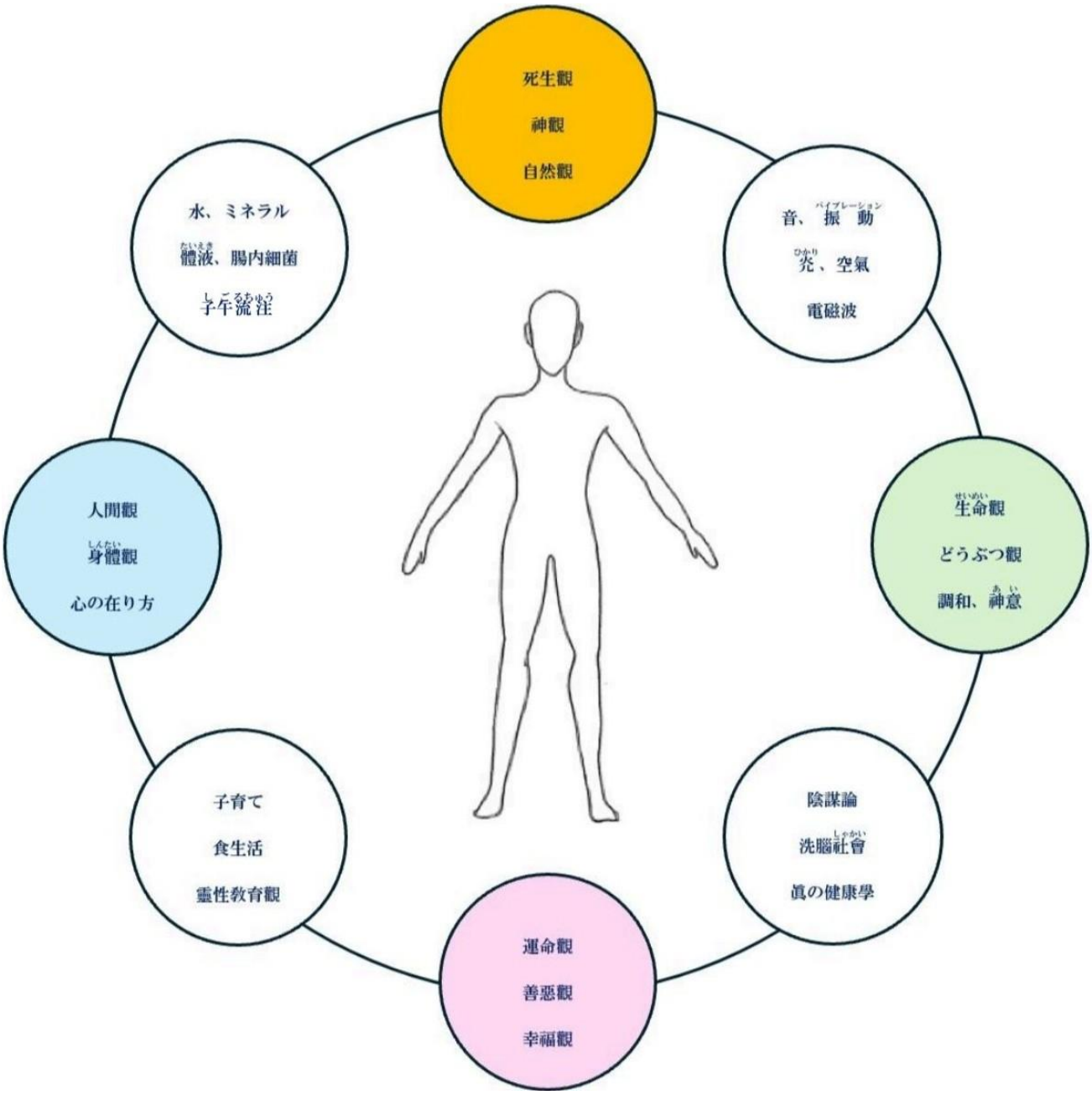
惑星（わくせい）は物的存在です。それぞれに放射物を出しバイブレーションを發しております。しかし、あなた方は物的存在であると同時に靈的存在です。内部には、物的なものから受ける影響のすべてを克服する力を具えております。

『シルバーバーチの靈訓（四）』p.88

『シルバーバーチの靈訓』では、惑星（わくせい）は物的存在であり、惑星（わくせい）のエネルギーは肉體（にくたい）に作用することを述べております。しかし、惑星（わくせい）音叉だけでは「星信仰の復活」にはならないことをこの言葉では示唆（しさ）しています。

本來、星とは「恒星（こうせい）」のことを指します。恒星（こうせい）は「ODEO中性子」に作用し、惑星（わくせい）は「TOBE陽子」に作用する。恒星（こうせい）は靈體（れいたい）に作用し、惑星（わくせい）は肉體（にくたい）に作用する。恒星（こうせい）の回轉（かいてん）が「ソルフェジオ音叉」であり、惑星（わくせい）の回轉（かいてん）が「惑星（わくせい）音叉」になります。

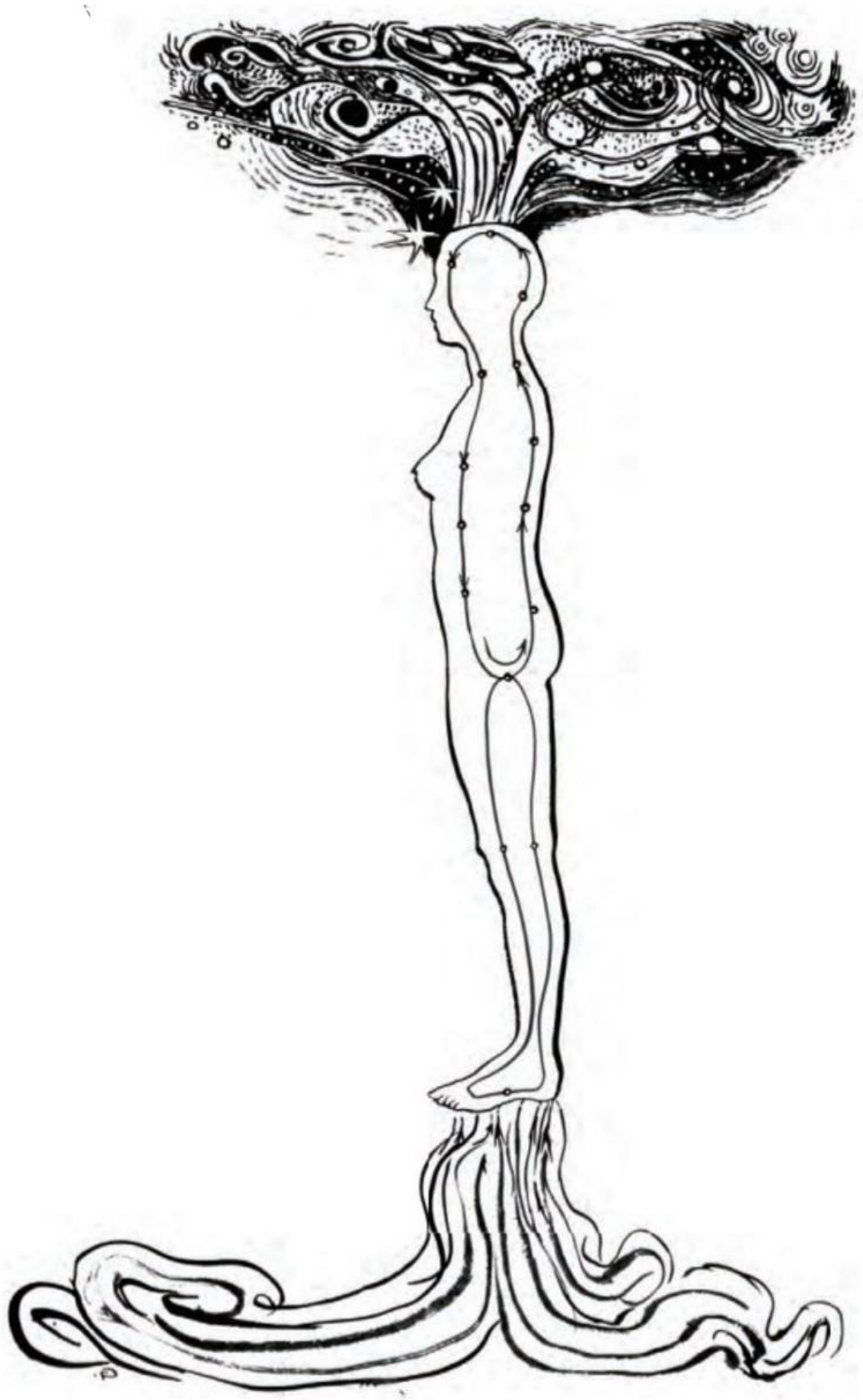
また、音のヒーリングで眞の効果を發揮するには、「倍音」、「和音」による「複合音」が必ず必要になり、サウンドヒーリングは倍音による癒し効果により物理次元を超えた多次元的なヒーリングが可能になります。倍音と和音を驅使した「多重波」によるヒーリングが、本当の意味での「生命（いのち）の調律」へと繋がるのです。



からだのエネルギーの通り道である「奇經八脈」と「十二經絡」は、靈體オーラと肉體オーラの流れを司り、病氣、不快、異常は、靈體と肉體のエネルギーのバランスが崩れた時に起きます。

からだを癒やす方法を知るには、「宇宙の仕組み」と「回轉形態素粒波」に答えを求めなければなりません。からだの不調の原因をチェックすると、エネルギーの流れに滞りがあることに行き着きます。人間の靈、精神、身體のメカニズムの基本は以上です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





第三章

各種サウンドツールについて

音の錬金術

古代文明よりある音叉

全存在物の蘇生(FALF)化の方向に向かうもの

導入編、入門編、初級編サウンドツールの説明



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

各音を組み合わせた音の錬金術による靈的新生



サウンドツールとひと言で言っても、世の中には多種多様なサウンドツールが存在します。1997 年、アメリカのkeelynet（ケリーネット）という考古學者（こうこがくしゃ）が、エジプトの考古學者（こうこがくしゃ）と共に、エジプトの博物館倉庫の 8 フィート×10 フィートの扉の内部で、音叉と名付けられた 398 本もの音叉が隠されているのを發見してます。

古代エジプト時代には約 400 本も音叉を使っていたということですが、それだけの數の音叉があればウイルス、細菌を始めとした病氣、神經細胞（しんけいさいぼう）に關わる病氣など、あらゆる病氣に素早く対処し、あらゆる病氣を治すことが可能でしょう。



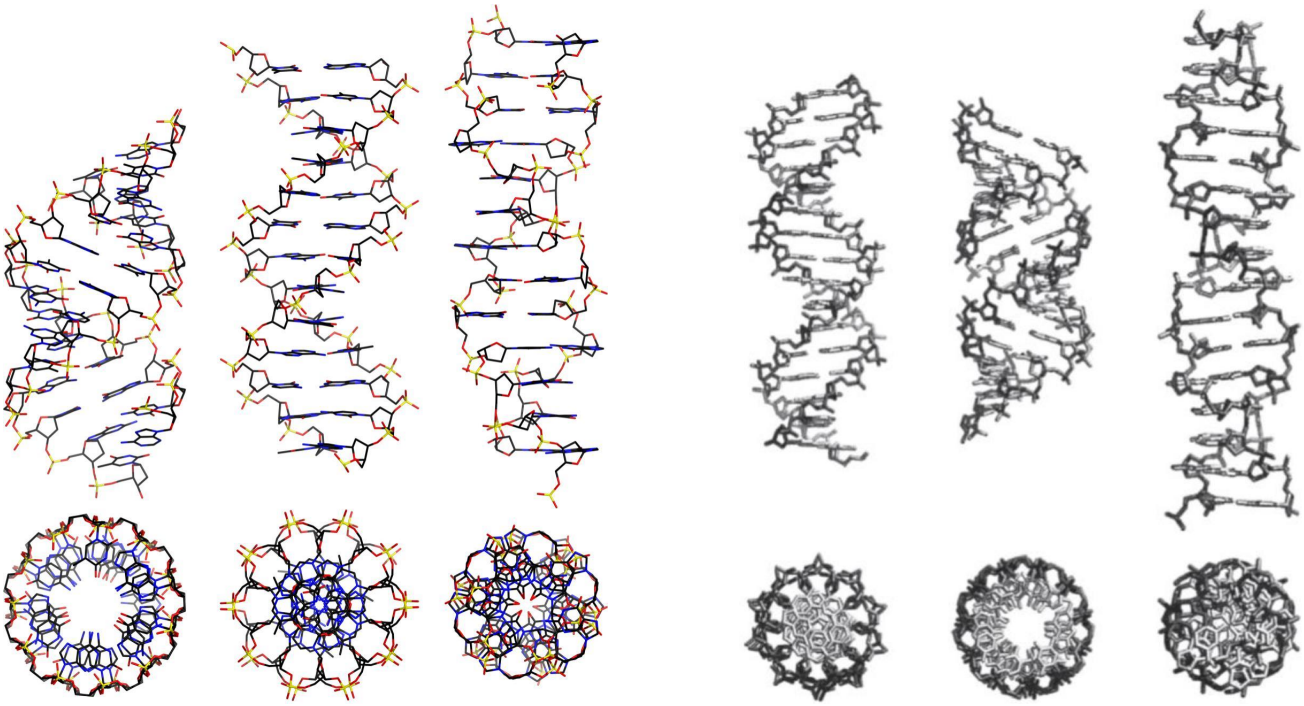


様々な情報を調べていくと、古代より人類は音の神秘（しんぴ）の力を活用していることが分かってきます。古代エジプトやアイルランド、アフリカなど世界中で様々な音の作用により治癒力を高めていたことが判明してきています。

シャーマンとは、靈的世界と地上世界を繋ぐ「靈的指導者」であり、シャーマンは古來から音によるヒーリングをしていました。シャーマンは、祭祀（さいし）や儀式、悪魔祓い、予言、ヒーリングを行う者ですが、そのシャーマンの使う「音」によって、祭祀（さいし）、儀式、悪魔祓い、予言、ヒーリングが行われていたのです。

靈的指導者は古來から音によるヒーリングをしていました。靈的指導者の出す「振　動（バイブレーション）」によって人々を導いていたのです。そうした存在の出す音で、意識を「變性意識（トランスいしき）」、「變性状態（トランス）」に導き、元々いた次元に繋がりやすくし、神や高次元と呼ばれる世界とも繋がりやすい状態にしていたのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



靈的指導者は、遺傳子(いでんし)が人間本來の「12 重螺旋構造」に近い状態なため、自然に「心靈能力(サイキック)」を發揮していました。そして地球の歷史上、最高峰の靈的指導者がナザレのイエスであり、イエスは地球で最高峰の靈能者であり、最高峰のヒーラーなのです。

聖書ではイエスはハープかライアーかの弦樂器で治療をしていたという文献も存在しており、弦樂器は神經系の治療に用いていたようです。古代ローマでは傷ついた戰士を癒すために滞在場所に使われた寺院などで様々な樂器や音を使用して治療効果を高めようとした記錄が殘っていますが、これらはイエスのアイデアで採用されていたようです。

音は基本的に自然物から發する音が心身によく、ネイティブでの祭祀(さいし)でシャーマンは太鼓、ベル、笛、石や木、周辺の物を叩いて音を出していました。自然物にて音を意圖的(いとてき)に出す行爲は、人間と天體(てんたい)の音との繋がりを強くし、音により神と繋がると古來よりされてきました。

電氣を通した音、デジタル音、プラスチック等人工物、鍵盤樂器(けんばんがっき)は自然のリズムを變化(へんか)させてしまうので好ましくはありません。わずか 2 秒の電子音と音量で細胞を破壞します。

古代エジプトでも約 400 本近くの音叉があった、この事實を元に試行錯誤と工夫で皆様の扱うサウンドツールを選んでいます。マスター編まで學ぶならば、合計 100 種類以上のサウンドツールを扱うことになりますが、それでさえ數多くあるサウンドツールの一部です。

そして、導入編、入門編のサウンドツールがあるからこそ、初級編、中級編、上級編、マスター編になり、「倍音（オクターブ）」を組み合わせていくことによる更なる深い癒しの効果が可能になってきます。

初級編から倍音による癒しが本格的に導入されますが、導入編、入門編のサウンドツールと初級編のサウンドツールを組み合わせるのが基本であり、「基音（ホームトーン）」、「音程（インターバル）」、「倍音（オクターブ）」による「音の錬金術」の「ARUT（アルト）」の世界が待っています。

【初級編で追加される基本のサウンドツール】

初級編サウンドツール	サウンドツールの意味
ローオームチューナー　（68.05Hz） オームロングエナジーバー（136.1Hz） ソウルパーパスチューナー（272.2Hz）	オームの倍音セット、528Hz の倍音セットが音叉セルフヒーリング初級編の中核になる。奇經八脈のプロセス ver では必ず使う
432Hz エナジーバー	128Hz チューナーの音階違い。2048Hz エナジーバー、4096Hz エナジーバーと合わせると倍音セットになる
チャクラバー（ハーモニックタイプ）8 個セット	チャクラバー（レギュラータイプ）と組み合わせで使うことで超音波を發成させる

ARUT（アルト）とはアートの語源であり、FALF（ファルフ）と同じ意味であり、本來、眞の科學（かがく）とは「FALF（ファルフ）の追窮」を意味し、その本質は「全存在物の蘇生化」にあります。導入編、入門編、初級編のサウンドツールを組み合わせることでわたし達の「遺傳子（いでんし）の構造變換（こうぞうへんかん）」が始まり、靈的眞理が付け加わることで人々を正しい方向に導くことが可能になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

528Hz 倍音トライアルセット



528Hz ヒーリングパイプ	基準音（ASTLAL 體）
528Hz エナジーバー	基準音（EHTEL 體）
132Hz ヘヴィーフォーク（シルバー or ゴールド）	（２オクターブ下）
264Hz ヘヴィーフォーク（シルバー or ゴールド）	（１オクターブ下）
528Hz ヘヴィーフォーク（シルバー or ゴールド）	基準音（AHANP 體）
1056Hz エナジーバー	（１オクターブ上）
2112Hz エナジーバー	（２オクターブ上）
4225Hz エナジーバー	（３オクターブ上）

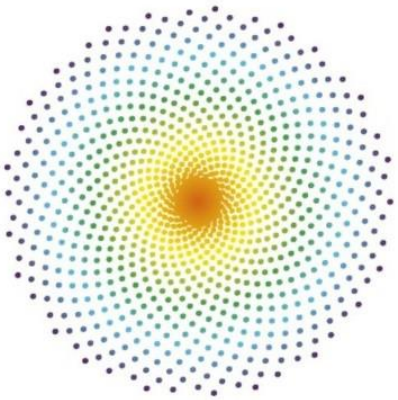
528Hz は初めて使う音叉として、どのような方にもお勧めできる周波数です。ヒーリングパイプはASTLAL 體、エナジーバーはEHTEL 體、ヘヴィーフォークはAHANP 體の内奥を刺激するという違いがあります。

※フォークは使い方次第だが、基本的にCOSAL 體、ハンドチャイムはMENTAR 體に作用するなど、同じ周波数でもツールにより効果のある身體の部位が異なる

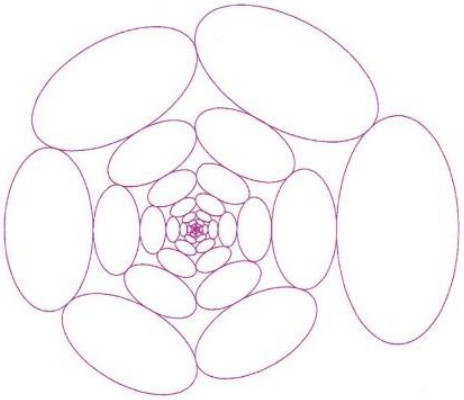
528 Hz
Soundscapes



フィボナッチ数列



JUNEQES-16（FALF ARUT）



それらのサウンドツールを併用し、さらに「倍音」を用いることで超音波を發生させ、よりいっそう複雑な振動効果となり、物理次元を超えて多次元的に様々な影響を及ぼします。

そもそも 528Hz は「フィボナッチ数列（すうれつ）」そのものの「回轉形態（かいてん）」をしているのが最大のポイントです。精神世界において、「フィボナッチ（フィボナッチ数列（すうれつ）・黄金比・黄金螺旋）」は宇宙の秩序や神聖な調和を表すデザイン・エネルギーの象徴として扱われています。

528Hz の周波數の本質とは「**ゼロ磁場**」を發生させ、その空間を「**イヤシロチ**」にする周波數です。ゼロ磁場とは、地球の「プラス（N 極）」と「マイナス（S 極）」の「磁氣」が互いに拮抗し打ち消し合って、**磁力がゼロに見える状態になった場所**のことです。

磁力が無いのではなく、プラスとマイナスの巨大なエネルギーが均衡を保ちながら集中し、靈的エネルギーや生命エネルギーが湧き出る場がゼロ磁場と考えられています。そして「イヤシロチ」とは、古神道（こしんとう）やカタカムナなどの神祕思想（しんぴしそう）において、生命力が高まり心身が癒やされ、運氣や健康が良い影響を受けるとされる「**高エネルギーの場所**」のことです。

528Hz 倍音トライアルセットは、人爲的（じんいてき）に人間や空間をゼロ磁場にし、イヤシロチにさせるサウンドツールのセットであり、万人に必要なツールといえます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

オーム（136.1Hz）の周波数、倍音セット



オーム・ロングエナジーバー	136.1Hz（基準音）
オーム・エナジーバー	2177.6Hz（オームの１６倍）
ソウルパーパス・エナジーバー	4355.2Hz（オームの３２倍）
ローオーム・ヘヴィーフォーク	68.05Hz（オームの２分の１）
オーム・ヘヴィーフォーク	136.1Hz（基準音）
ソウルパーパス・フォーク	272.2Hz（オームの２倍）

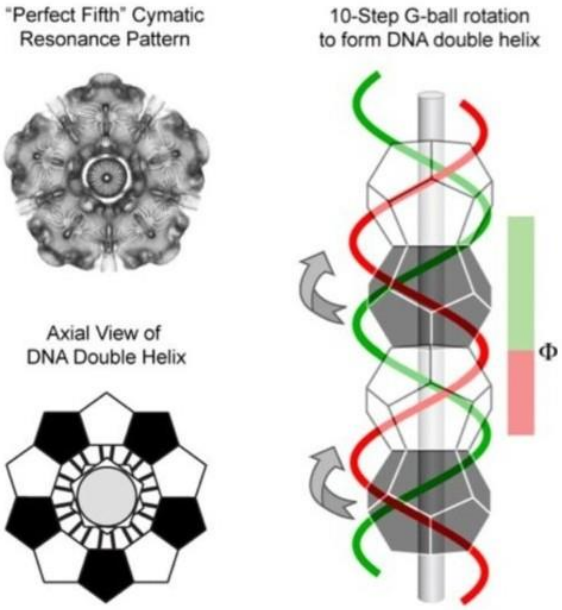
入門編サウンドツール、初級編サウンドツールの両方を合わせて「**オーム倍音セット**」になります。オームの神聖な波動は心身に響き、オームの周波数は「**十二經絡**」をオープンにします。

奇經八脈は靈體へのアプローチ、十二經絡は肉體へのアプローチがメインであり、肉體に働きかける際の「基音（ホームトーン）」の基本がオームです。オームの音はバランスを表し、肉體のエネルギー的なバランスの崩れを調和しようとします。

オームにまさるところなし
「There’s no place like Ohm」

136.1Hz の可視化と、ＤＮＡに働きかけるメカニズム





オームの音は、地球の１年のサイクル、「地球の公轉」のサイクルの周波數、地球の四季を通じて太陽の周りを公轉するのにかかる周期（365 日）の音として計算されています。オームの音とひとつになると、地球の周期とシンクロします。

「地球の１年」の音は、他の周波數との音程により、「靈的巡礼への旅」への支度を整えます。地球の音は瞑想を深め、悟りと覺醒へと導くためのサポートの回轉形態素粒波を持っており、シタールなどのインド樂器は、この音に調律することで瞑想状態を作り出します。

オームは、地球を、さらには宇宙を誕生せしめた「原初の回轉形態素粒波」と言われており生命の根源的なマントラであり、聖なる音です。 光 がすべての色を含むように、オームはすべての色を含んでいます。

オームのオクターブは、身體の中央部と下部の一體感を強め、肉體の心地よさ、グラウンディングの感覺をもたらしまし。分離感が強い人にオームのオクターブを使うことで、統合と繋がりの感覺をもたらすことが出來ます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

ソフトボーンバランサー（３本セット）、ヘヴィーフォーク



32Hz、64Hz、128Hz の３本セット、これらの周波数は、オクターブ（つまり、8、16、32、64、128）の中で積み上げられた「８cps の基音（ホームトーン）」に基づきます。８という数字は「８つの原型細胞」、３２という数字は「仙骨」と「蝶形骨」、６４という数字は「遺傳暗号（コドン）」に繋がるなど、非常に重要な数字です。

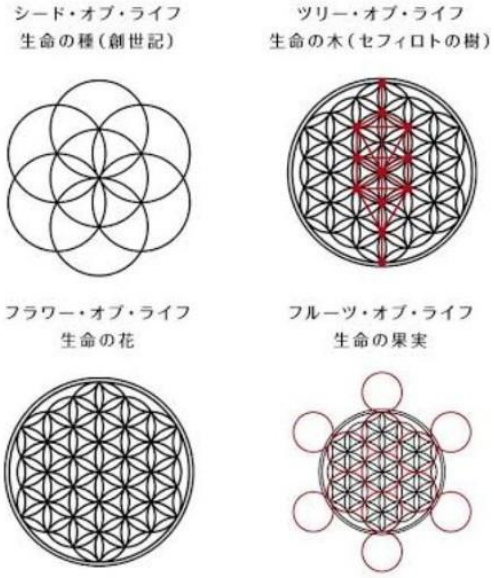
128Hz は、「宇宙のリズムと一體化（いったいか）する 432Hz」の「音階違い」であり、區分（くぶん）として「432Hz」の周波数と思ってもらって構いません。128Hz はシュタイナーが言った言葉でも有名かもしれません。

「C=128hz（A=432hz での C 調）に基づいた音樂は、靈的自由へ人々を支援するでしょう。人間の内耳（ないじ）は C=128hz に基づき構築されます」　ルドルフ・シュタイナー

128Hz の倍音も非常に重要な意味を持ちますが、128Hz の 16 倍の周波数「2048Hz」は「Flower（フラワー）of（オブ） Life（ライフ）」の周波数であり、128Hz の 32 倍の周波数「4096Hz」は「CRYSTAL（クリスタル） TUNER（チューナー）」の周波数になります。どちらもニューエイジ系には馴染みの深い周波数になります。

128Hz の可視化と、フラワー・オブ・ライフ





赤ちゃんが地上世界に誕生する際、「オギャー」と泣きますが、その声は 432Hz であり、この宇宙と繋がったA（ラ）の音、432Hz は、星々の周波数を全部受け取れるようにする周波数とも言われてます。

要するに、太陽系の天體（てんたい）であるマーキュリー（水星）、ヴィーナス（金星）、マーズ（火星）、ジュピター（木星）、サターン（土星）、ウラナス（天王星）、ネプチューン（海王星）、プルート（冥王星）などの惑星の音を「靈體（れいたい）」に全部取り込めるのです。これはC（ド）の音である 128Hz でも理論上は同じです。

この３本のセットは、特に３カ月以内の骨折、ヒビ、ひねり、ぎっくり腰や打撲した直後の痛みや大きなストレスを受けた場合の調整に使用します。骨細胞の活性化と組織形成（そしきけいせい）、本来の正常な骨に戻ろうとする力をサポートします。

腰椎、仙骨および尾骨は 64Hz の使用、肋骨、脊椎、胸骨へは 128Hz の使用が特に有効であり、振動は神經（しんけい）中樞（共鳴する副交感神經系（ふくこうかんしんけいけい）のバランスをコントロールするための中心）を刺激し平衡を保つと同様に靭帯も緩めるのを助けます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

432Hz エナジーバー、4096Hz エナジーバー



音樂家向きのサウンドツールです。432Hz は數學的に宇宙の規則性と一致しているといわれています。入門編サウンドツールである「128Hz ヘヴィーフォークチューナー」の効果を最大限に高めるのが「432Hz エナジーバー」と「4096Hz エナジーバー」の２本です。

使い方は、「528Hz 倍音トライアルセット」と併用して使用するだけであり、初級編サウンドツールではエナジーバーを鳴らす順番が變わりますが、１音ないし２音を追加するだけで音叉によるセルフヒーリングの効果は何百倍も高まります。

【音叉の初級編サウンドツールを使う基本的な流れ】

① オームロングエナジーバーを、「ウッドスティック」で鳴らす

② 528Hz ヒーリングパイプを優しく「ゴムマレット」で鳴らす

③ 432Hz、528Hz、1056Hz、2112Hz のエナジーバーを「ウッドスティック」で鳴らす

④ 各種ヘヴィーフォークを「２本～４本」振動させ、身體に当てる

これにより、ヘヴィーフォークの體感、効果が「10^3～10^{12}」という「指數關數」のレベルで上昇し、魂心身の調律が可能になってくる

ASTRO MENTAL（アストロ メンタル）チューナー、オゾン（78Hz）チューナー



ASTRO（アストロ）は「**星**（ほし）」「**天體**（てんたい）」「**宇宙**（うちゅう）」を意味し、MENTAL（メンタル）は「**精神**（せいしん）」を意味します。このチューナーを「**基音**（ホームトーン）」にし、各種周波數（しゅうはすう）を組み合わせて様々な「**音程**（インターバル）」を生み出すことは、星信仰の復活にも關係してきます。このチューナーは別スクールでは上級ステージで使い方を教わるものであり、当スクールでもASTRO MENTAL（アストロ メンタル）チューナーは「**サイキックチューナー５本セット**」という「**靈的覺醒特化**（れいてきかくせいとっか）**のメソッド**」を通して本格的に使い方を學びます。

78Hz チューナーは「**オゾン**」の性質をもたらす周波数で、この音叉を用いることで、オゾン療法で検証されている免疫作用や鎭痛消炎作用（ちんつうしょうえんさよう）を始め様々な作用がもたらされます。オゾン療法は自分の血液を一定量（約 100mL～200mL）體外（たいがい）へ取り出し、醫療用（いりょうよう）オゾンを反應（はんのう）させた上で、再び體内（たいない）に戻す自由診療の点滴療法です。採血した血液がオゾンと触れると鮮やかな赤色に變（か）わるため、「**血液クレンジング**」とも呼ばれます。肉體（にくたい）の病氣の大半は「**血液の汚れと循環不良**」であり、「**オゾン（78Hz）の音叉は血液クレンジング**」いう効果をもたらすので、「**免疫不全の症状全般**」に必要な音叉です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

チャクラバー（レギュラータイプ＆ハーモニックタイプ）



初級編以降のチャクラ・エナジーバーの配置		
イレギュラータイプ	レギュラータイプ	ハーモニックタイプ
クラウン　チャクラ Crown chakra B（B6）	クラウン　チャクラ Crown chakra B（B7）	ハーモニック　トーン Harmonic Tone B
サード　アイ　チャクラ 3rd Eye chakra A（A6）	サード　アイ　チャクラ 3rd Eye chakra A（A7）	ハーモニック　トーン Harmonic Tone A
	スロート　チャクラ Throat chakra G	ハーモニック　トーン Harmonic Tone G
ハイヤー　オクターブ　オブ　ルート Higher Ocatave of Root	ハート　チャクラ Heart chakra F	ハーモニック　トーン Harmonic Tone F
ハーモニック　トーン Harmonic Tone C	ソーラー　プレクサス　チャクラ Solar Plexus chakra E	ハーモニック　トーン Harmonic Tone E
ルート　チャクラ Root chakra C	セイクラル　チャクラ Sacral chakra D	ハーモニック　トーン Harmonic Tone D

チャクラエナジーバーは、「レギュラータイプ」「ハーモニックタイプ」「特注品」を含めて最大「１７個」あり、初級編以降は、必ず各種エナジーバーを「４個」鳴らします。この４個のエナジーバーをどのように組み合わせるのかは、方程式が存在します。

初級編は「レギュラータイプ２個＆ハーモニックタイプ２個」を鳴らし、中級編は「ソルフェジオ・エナジーバー２個＆チャクラ・エナジーバー２個（※倍音）」、上級編は「チャクラエナジーバー２個（※倍音）＆プラネタリー・エナジーバー２個」を鳴らします。

チャクラバーはレギュラ、ハーモニックを必ず組み合わせて使い、超音波を發生させる



【チャクラバーを耳元で鳴らす方法について】

まず、片手でチャクラバーを２個持ちます。ウッドスティックでチャクラバーを２個鳴らし、左耳からエナジーバーを「**左回轉**」で使い、「**３回**」鳴らします。３回終わったら右耳は「**右回轉**」で使い、「**３回**」鳴らします。

これを、「**C**[1]**レギュラー＋C**[1]**ハーモニック**」「**D**[2]**レギュラー＋D**[2]**ハーモニック**」「**E**[3]**レギュラー＋E**[3]**ハーモニック**」「**F**[4]**レギュラー＋F**[4]**ハーモニック**」「**G**[5]**レギュラー＋G**[5]**ハーモニック**」「**A**[6]**レギュラー＋A**[6]**ハーモニック**」「**B**[7]**レギュラー＋B**[7]**ハーモニック**」と、満遍なく全チャクラを均等に活性化させます。

他にもチャクラバーには様々な使い方がありますが、様々なサウンドツールと併用して使うというのが最大のポイントです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

聖なるソルフェジオ音階９本セット（フォークタイプ）



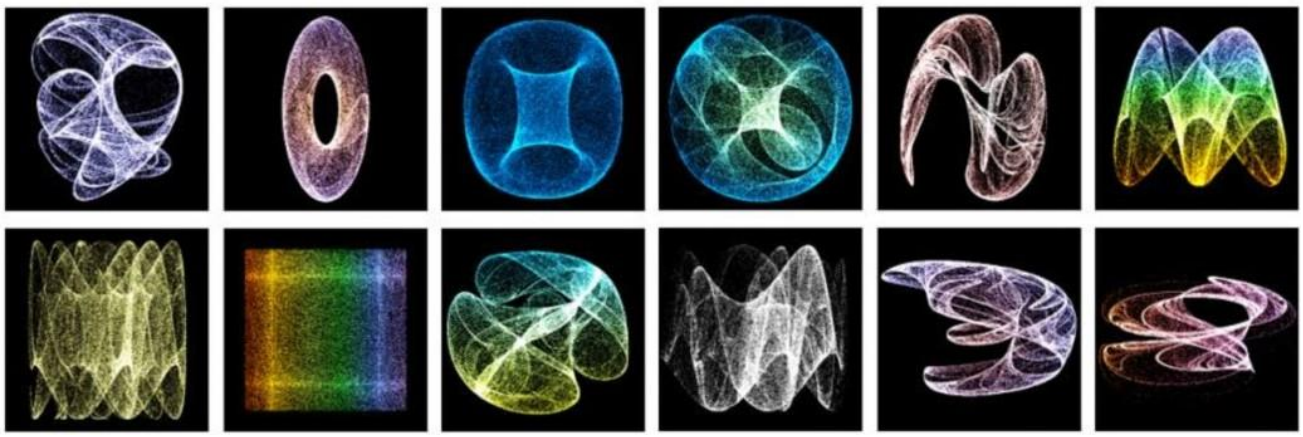
聖なるソルフェジオ音階９本セットは、「音叉によるセルフヒーリング入門編」の中核なるセットです。「前世療法」「胎内記憶」「インナーチャイルド」の癒しを、すべてソルフェジオ音叉で自分自身でセルフヒーリング出来るからです。

中級編は「チャクラ理論」をベースに「聖なるソルフェジオ音階９本セット」の「フォークタイプ」「エナジーバー」「ヘヴィーフォーク（２オクターブ下)」「エンジェル・ソルフェジオ（１オクターブ上)」を多次元的に扱い、より高次の意識へ變容（へんよう）させる内容になります。

ソルフェジオ周波数（しゅうはすう）の本質は「ソウルスター（174Hz※)」「アーススター（※285Hz)」という名称があるように「恒星（スター）」に本質があります。恒星（スター）は靈體（れいたい）、惑星（プラネット）は肉體（にくたい）に作用し、ソルフェジオ音叉と惑星音叉の２つを合わせると「銀河意識」に目覚めるようにプログラムされています。

> これは「星信仰の復活」による、「地球人もかつては宇宙（星々の文明）のネットワークの一部であった」という記憶を思い出すことを意味します。

カオス アトラクター理論



2025 年時点で、ソルフェジオ音叉同士の組み合わせ、ソルフェジオ音叉と惑星音叉の組み合わせの意味の教えているスクールは地球の地上世界にはまだ存在しません。この情報は地上世界最先端の情報であり、「靈界の奥義」というレベルの内容です。

528Hz は「フィボナッチ理論」、ソルフェジオ周波数は「カオスアトラクター理論」であり、フィボナッチ理論は「ＤＮＡの再構築」、カオスアトラクター理論は「ＤＮＡのアップデート」を意味します。

※ＤＮＡのアップデートは「妖精（ソマチッド）」、ＤＮＡの再構築は「精靈（バクテリア）」が行っており、この情報も今後重要になる

カオスアトラクターとは、カオス理論において、時間とともに變化（へんか）する力學系（りきがくけい）の状態が描き出す、予測不可能でありながらも「一定の複雑な幾何學的（きかがくてき）パターン（フラクタル構造）を持つ集合」のことです。

ＤＮＡのアップデートと再構築によりＤＮＡを進化させるには、「恒星（スター）」と「惑星（プラネット）」のどちらの周波數（しゅうはすう）も必要であり、その意味でも重要度の高い音叉のセットになります。特に、自分自身で前世、胎内記憶、インナーチャイルドすべてを癒せるのが、最大のポイントでしょう。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

ボーンバランサー（４本セット）、ヘヴィーフォーク

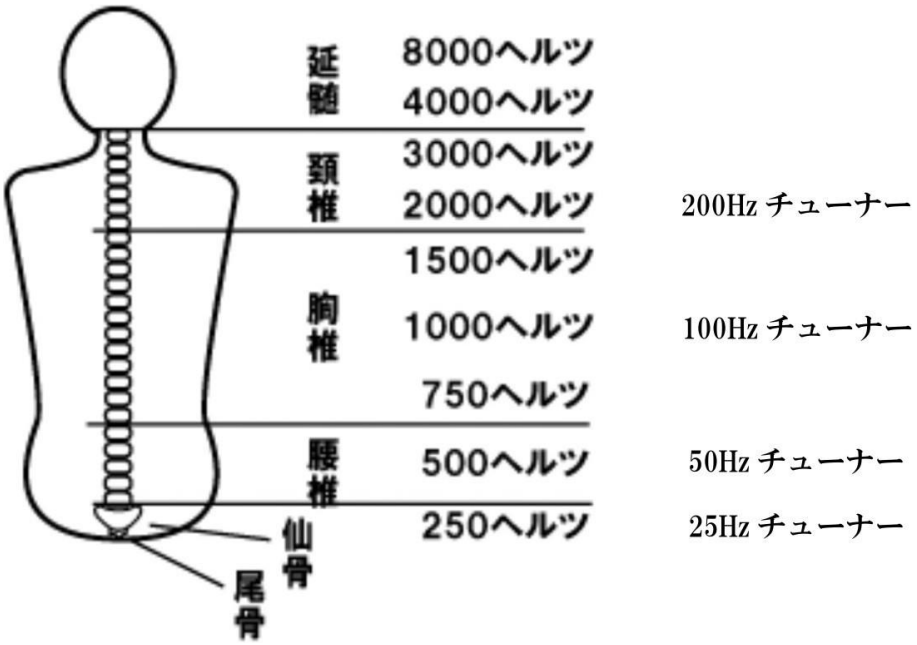


ボーンバランサー４本セットは、フランスの耳鼻咽喉科醫「Alfred Tomatis博士（1920年～2001年）」の「トマティス理論」から生み出された音叉です。Tomatis博士が発見した「トマティス理論」では聴力検査ができる125Hzから8000Hzを３つのゾーンに分け、それぞれが人間にどう關係しているかを明らかにしています。

４本セットで一番使用頻度が多い音叉は「ナーブ（※50Hz）」です。この音叉は、蓄積された、あるいは、一日分の神經に記憶されたカルマ、痛み、恐れ、不安の記憶を解除し、リラックスした心身へと導きます。

また、「ナーブ（※50Hz）」は、筋肉組織や神經組織からの痛みの記憶や痛みを解き放ち、急なひっぱり、極度の緊張、硬化した筋肉組織からの痛みを解き放つサポートもします。あらゆる痛みを消すのに特化した周波數です。

25Hzチューナーの低周波のバイブレーションは、「エンドルフィン」という「視床下部から出るホルモン」を分泌させます。このホルモンの分泌が非常に重要なポイントです。



エンドルフィンは「脳内麻薬」といわれ、モルヒネの３０倍の鎮痛作用があり、體内からの自然のホルモンなので依存性はまったくありません。頭の周りや、頚椎、胸椎、腰椎、仙骨尾骨、足先まで全身に 25Hz を使います。

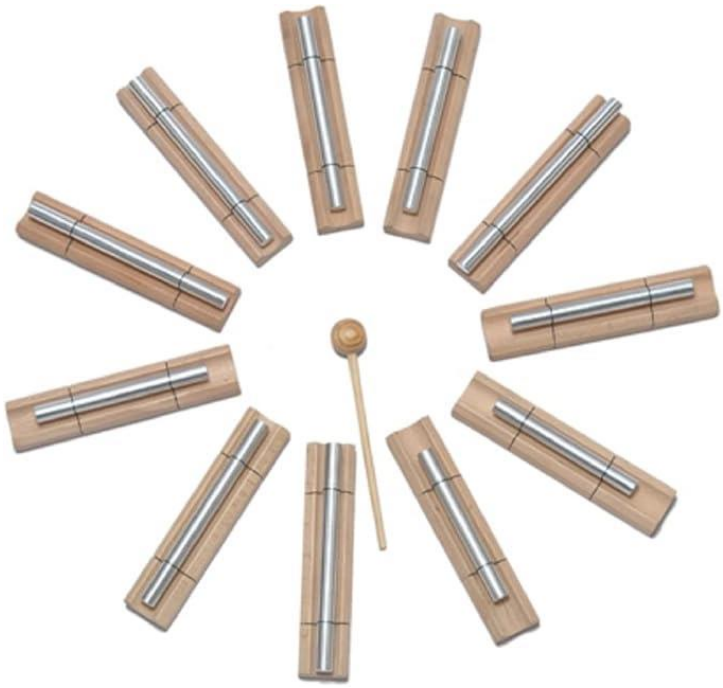
緊張によって硬化した筋肉が緩み、脳が苦痛に対して支援するエンドルフィンを送りこみ、硬化した筋肉が緩むようにサポートしてくれます。25Hz、50Hz のセットで使用し神經調整をしながら、神經細胞から骨を痛めた時の痛みを取り除きます。

100Hz チューナーは足先から腰椎、200Hz チューナーは胸椎と頚椎に最も有効ですが、時間が無い時には、刺激したいポイントのみでも振動を送ることをお勧めします。100Hz、200Hz を使用して全身の骨を元のポジションに戻していきます。

100Hz チューナーは下半身の歪みの調整、200Hz チューナーは上半身の歪みの調整と使い分けるといいでしょう。ボーンバランサー４本セットは、骨細胞の活性と骨密度の増加を促進させ、特に治りにくい古い怪我や癒着した組織に有効で、骨だけでなく靭帯や腱の調整にも有効です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

惑星エナジーバー１１個セット



太陽系の水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星、冥王星及び月と太陽の各惑星の周波數(しゅうはすう)を表現した惑星エナジーバーのセットです。わたし達は天體(てんたい)からのエネルギーを受けて、この地上に存在しています。占星術、ボディワークやエネルギーワークなどにも新たな次元をもたらしてくれます。

宇宙から切り離された存在ではなく、一人ひとりが、この天體(てんたい)との關係性の中で存在しています。各惑星から地球に届く宇宙線は、わたし達の體内(たいない)に吸収され、電氣エネルギーに變換(へんかん)されることから、太陽系の惑星は人間の生活に大きな影響を与えています。

太陽系の惑星の軌道から割り出された響きを持つ惑星エナジーバーの１１本セット。それぞれの惑星が司る様々な役割をこのエナジーバーを通じて心身に共鳴させ、活性化させることができます。そんなことをこのサウンドツールの響きにより心身で感じ取り、關係性を強め、そしてそれぞれの惑星のもつ資質を活かします。

惑星エナジーバーの配置			
		Venus 金星 エナジー バー Energy Bar	3539.68 Hz
Saturn 土星 エナジー バー Energy Bar	2365.6 Hz	Neptune 海王星 エナジー バー Energy Bar	3383.04 Hz
Mars 火星 エナジー バー Energy Bar	2315.52 Hz	Moon 月 エナジー バー Energy Bar	3366.72 Hz
Mercury 水星 エナジー バー Energy Bar	2260.32 Hz	Uranus 天王星 エナジー バー Energy Bar	3317.76 Hz
Pluto 冥王星 エナジー バー Energy Bar	2244 Hz	Earth 地球 エナジー バー Energy Bar	3106.88 Hz
Sun 太陽 エナジー バー Energy Bar	2019.52 Hz	Jupiter 木星 エナジー バー Energy Bar	2937.28 Hz

惑星エナジーバーは「チャクラバーとセット」で使うことで眞価を發揮するサウンドツールであり、このチャクラバーと惑星エナジーバーをセットで使うの最大の魅力は「わたし達と宇宙との繋がりを深めて一體化する」という可能性です。

チャクラはエネルギーのアンテナであり、チャクラバーを先に鳴らすことで、惑星エナジーバーを通して宇宙からのエネルギーを人體に取り込み、わたし達と地球との繋がりを深めて癒してくれます。

すると、わたし達が地球上で過ごす生命も癒されることになるという素晴らしい可能性を祕めています。わたし達と地球との繋がりが深められると、地球を媒介者として太陽系全體とわたし達との繋がりも深められます。そして、それは宇宙全體との繋がりへと拡大されていきます。

占星術で、自分の星座の「**支配星**」は「あなたはあなた以外の何者でも無い、あなたはあなた自身である」というテーマの大きな鍵を握っている惑星ですので、占星術と組み合わせて、自分自身の必要な天體を強化することも可能であり、ヒーリングの目的である人生の青写眞を思い出す上でも必要なサウンドツールといえます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

サイキックチューナー５本セット



名称（めいしょう）	周波数（しゅうはすう）
KUNDALINI（クンダリーニ）	55.60Hz
3RD EYE（サード アイ）	82.80Hz
TOTAL KNOWING（トータル ノウィング）	108.40Hz
PSI（サイ）	252.20Hz
CHANGE MATTER（チェンジ マター）	351.20Hz

サイキックチューナー５本セットは、アメリカのサイキックヒーラーでありスピリチュアルマスターの Charles Lightwalker（チャールズ ライトウォーカー）氏 の指導、監修のもとで設計された音叉であり、この５本セットは、脳波（のうは）をサイキック能力者が發揮している高次（こうじ）の周波数（しゅうはすう）へと同調（どうちょう）させることを目的に設計されています。

「奇經八脈（きけいはちみゃく）」、「蝶形骨（ちょうけいこつ）」の「上級ワーク」で扱うチャクラや臓器のバランスを完全に整えた後の「最終段階の脳波調整」として使います。この音叉が上級ワークとされ、勝手に頭部に使ってはいけないとされる最大の理由は、蝶形骨（ちょうけいこつ）や頭蓋骨（ずがいこつ）という極めて繊細な中樞（ちゅうすう）を大きく揺らすためです。

基本となる「**頭蓋骨（ずがいこつ）の基底部（きていぶ）（後頭部）**」へのアプローチによって脳幹（のうかん）や松果體（しょうかたい）、脳下垂體（のうかすいたい）といった高次センターを刺激し、脳波をサイキック周波数（しゅうはすう）へと變容（へんよう）させます。５本の音叉を使用する手順として「**頭蓋骨（ずがいこつ）と脊髄（せきずい）が交わるポイント**」が指定されています。



サイキックチューナー５本セットは、「５本セットではないチューナーを音程（インターバル）」に選定します。その際、５本セットの使用する順番は指定されています。

頭蓋骨（ずがいこつ）にサイキックチューナーを使用する順番は【KUNDALINI（クンダリーニ）】→【3RD EYE（サードアイ）】→【PSI（サイ）】→【TOTAL KNOWING（トータルノウィング）】→【CHANGE MATTER（チェンジマター）】→【KUNDALINI（クンダリーニ）】の順番であり、必ず最初と最後にKUNDALINI（クンダリーニ）チューナーを使うというのが原則です。

また、当スクールでは頭蓋骨（ずがいこつ）だけでなく、奇經八脈（きけいはちみゃく）の「衝脈（しょうみゃく）」と「督脈（とくみゃく）」に５本セットを使う方法を取り入れています。奇經八脈（きけいはちみゃく）にサイキックチューナーを使うのが、創始者であるCharles Lightwalker（チャールズライトウォーカー）氏との大きな違いです。

※基本的にサイキックチューナー５本セットで衝脈（しょうみゃく）と督脈（とくみゃく）を刺激する際、バランス・ポイントに「ASTRO MENTAL（アストロメンタル）チューナ」を選びます

何故、奇經八脈（きけいはちみゃく）、仙骨（せんこつ）、蝶形骨（ちょうけいこつ）という三大奥義の情報を初級編テキストで開示するのか？その大きな理由は「三大奥義が眞価を發揮するには、一定のサウンドツールが必要」だからであり、初級編までのサウンドツールでは本当の意味で効果を發揮することは難しいからです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

セルリダクション（筋肉細胞調整/脂肪細胞縮小）セット



名称	周波数
MUSCLES 筋肉細胞調整	E−324Hz
FAT CELLS 脂肪細胞縮小	C#−295.8Hz

セルリダクションの「ヘヴィーフォーク」と「フォーク」の４本のセットは「ダイエット特化型」のセットです。非常に優れたダイエット効果を發揮します。

セルリダクションの使用は、共に筋肉組織の成長を促進し刺激する間に、カラダの贅肉セルライトのリリースを引き起こし、内臓脂肪を燃やすサポートをします。セルライトとは、大きくなった皮下脂肪細胞に老廃物や水分が絡みつき、線維組織と一緒に固まって皮膚の表面がボコボコとした状態になったものです。

MUSCLES音叉は「皮下脂肪」、皮膚の下にある通常の脂肪組織の全體的なサイズを小さくすることが目的、FAT CELLS音叉は「セルライト」に使い、肥大した脂肪細胞が血管やリンパ管を圧迫し、血流の悪化や老廃物の蓄積が重なって硬く變化した状態を改善させる目的で使用します。

セルリダクションは「フォークタイプ＋ヘヴィーフォーク」を使うか、「MUSCLES音叉＋オーム」、「FAT CELLS音叉＋128Hz」という組み合わせで使用することをオススメします。繼續して使い續けることで、かなりのデトックス効果が期待できます。

ブレインチューナー５本セット（フォークタイプ）



名称	周波数
FUNDMENTARL	256Hz
DELTA	259Hz
THETA	262Hz
ALPHA	267Hz
BETA	271Hz

ブレインチューナーは、ファンダメンタル、デルタ、シータ、アルファ、ベータという脳波を調整するセットです。脳波は、意識の異なる状態を写像するために「脳波記録法（EEG）」技術を使用して捉えた脳波研究に基づいています。

FUNDMENTARL波は脳全體の機能、DELTA波は熟睡、THETA波は瞑想と夢の状態、ALPHA波は緩んだ意識と創造性、BETA波は高い敏捷と意識のフォーカスに關係しています。基本の音である「FUNDMENTARL」と「各脳波チューナー」を合わて使用します。

２つの音叉の周波数の違いが「バイノーラル・ビート」として、脳に「變異差」を生じさせます。バイノーラル・ビートとは、左右の耳にわずかに周波数の異なる音を同時に聴かせたときに、脳内で２つの音が合成されて生じる「うなり（差の周波数）」を知覺する聴覺現象です。脳に優しく意識の異なる状態へ變わるように信号を与えます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

セドナ、キロン、ニビルの３本セット（Acutonics製）



惑星音叉は「**インド製**」「**ethical cosmic製**」「**BioSonics製**」「**Acutonics製**」という形でブランドが複数あります。当スクールは、どのブランドの惑星音叉でも構わないという考え方でいます。しかし、惑星音叉の中で、Acutonics製の惑星音叉である「**セドナ**」「**キロン**」「**ニビル**」の惑星音叉は、「**上級編の最終段階**」で學ぶ音叉です。

この３つの３本セットはAcutonics製の音叉になります。特にニビルの惑星音叉は「**遺傳子**」そのものに働きかけ、ＤＮＡの進化を司る天體であり、「**アンタスカラーナ・チャクラ**」に作用する音叉です。

ニビルの周波數は「**161.26Hz**」であり、ニビルの近似値は、ソルフェジオ音叉「**639Hz**」の４分の１の周波數である「**159.75Hz（アナハタ・チャクラ）**」です。ニビルは「**心臟腦**」に作用し、159.75Hz は「**心臟**」に作用する違いがあります。

【セドナ】

2003 年に發見された太陽系外線天體、冥王星の 3 倍遠い天體であるセドナは、**イヌイットの海の女神**の名前がつけられました。太陽から最も遠くの軌道を回っている星ですが、地球の海洋磁場に最も影響を与えている星です。新しい意識や価値観、そして進化へと地球人類を導く星であり、**音を支配するといわれています。**この周波數は、特に松果體に響き、個人と集團の無意識の深層、超意識と宇宙の統合意識にアクセスする力を養います。

【キロン】

小惑星キロンは、1977 年に發見された**土星と天王星の間を楕円軌道で巡る天體**です。小惑星と彗星の兩方の性質を持つ「**ケンタウルス族**」に分類されています。西洋占星術でキロンは「**傷ついたヒーラー**」と呼ばれ、魂の深い傷、コンプレックス、トラウマを象徴し、その人が人生で向き合うトラウマや、癒やしのテーマを示します。キロンの波動は、魂心身の傷を癒し、**靈的修行の苦しみをギフトに變える能力、靈の心と肉の心を一致させ、「苦しみの正しい対処」を促す波動**です。内なる治癒力を高め、古傷を癒すサポート、痛みのある部分に効果的であり、**音叉ヒーリングの仕上げに使います。**

【ニビル】

ニビルはマルチ次元をテレポーテーションしている星と NASA は見解を示しており、**星信仰の復活の最大の鍵を握る天體がニビル**です。**天體は必ずバイナリー關係が存在**し、銀河から見た「**太陽**」のバイナリーは「**ニビル**」です。ニビルは「**橫斷の星**」とも呼ばれており、「**神的世界**」「**靈的世界**」「**物質世界**」を橫斷し、再接續させる星です。ニビルは太陽の女性的側面を表し、男性と女性のマトリックスを統一へと導きます。ニビルは問題の核心を明らかにし、**靈の心と肉の心の再統合**をするか、生き方を改めないでEGHO的生き方を續けるのかを問いかけます

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

太陽系８惑星音叉、ヘヴィーフォーク（Acutonics製）



音叉によるセルフヒーリング講座、上級編で學ぶ惑星音叉は、「太陽系８惑星」の低調波、中間波、高調波という、惑星音叉の３オクターブを通して下界、中界、上界を共振させます。これらは「**物質世界**」「**靈的世界**」「**神的世界**」の關係性をオクターブで表現しています。

低調波、中間波、高調波の音叉は、「**上方倍音**」と「**下方倍音**」という法則を表しており、それを音樂理論で表すと、**メジャー音階**は明るく開放的な響きの上方倍音、**マイナー音階**は暗く切ない内省的な響きを持つ下方倍音と表現することも可能です。

理想的なのは、すべての周波數域の音で身體に働きかけ、自然法則と共鳴し、鈍重な肉體をオクターブの音で靜寂の世界に浸らせ、自然法則を感じ取ること、靈的世界の音の世界を體驗することです。

天空の星たちが、人々の精神の瞬きの煌めきとなる

太陽系天體の位置と周波數								
水星	金星	地球	火星	木星	土星	天王星	海王星	冥王星
282.54Hz	442.46Hz	389.42Hz	289.44Hz	367.16Hz	295.7Hz	414.72Hz	422.88Hz	280.5Hz
141.27Hz	221.23Hz	194.71Hz	144.72Hz	183.58Hz	147.85Hz	207.36Hz	211.44Hz	140.25Hz
70.63Hz	110.61Hz	97.35Hz	72.36Hz	91.79Hz	73.92Hz	103.68Hz	105.72Hz	70.12Hz
甲状腺	膵臓、腎臓	恒常性	筋肉、血液	肝臓、循環器	骨、皮膚	交感神經	髄液	肛門

各惑星に關連するオクターブは、嚴密には「**靈體**」と「**肉體**」の作用に違いがあります。さらに惑星の音は「**母音**」とも対應しており、日本語は５０音訓すべてに母音が含まれ、自然音の効果が得やすい言語です。

地球人の身體の内分泌腺や臓器は、複數の星々の影響を受け、その星々もまた他の星々の影響を受けています。人間が母親の胎内で受精卵として「**生命（spirit)**」を宿し、地上世界に生まれるまでの十月十日受ける惑星の位置と軌道から注がれる周波數やリズムが、心身や各臓器のエネルギー特性や強弱に關与しているのです。

また、天體と人體を繋げるのは「**音**」という暗号もあるのですが、もうひとつの鍵が大麻の成分の総称である「**カンナビノイド**」になります。カンナビノイドはＣＢＤ、ＣＢＮ、ＣＢＣなど２６０種類あり、音とカンナビノイドは「**遺傳暗号**」と直接繋がっています。

星信仰の復活という「**地球人もかつては宇宙のネットワークの一部であった**」という記憶を思い出すには「**三大奥義 × 天球の音樂 × カンナビノイド**」が必要であり、これらの方程式と「**ミネラル × ソマチッド × バクテリア**」の方程式が一致するとき、人々の靈的覺醒と病氣治療の双方が成立します。

惑星音叉のこうした詳細を知るのは、上級編になります

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

水琴五行（みずごとごぎょう）のハイパーソニック・エフェクト



水琴五行（みずごとごぎょう）は、日本庭園の「水琴窟（すいきんくつ）」の仕組みをヒントに開発された、置き型式の癒しの音響装置です。オレンジが太陽、ブラックが月を表し、二種類の色は陰陽のエネルギーを表しています。

水琴の主な特徴と仕組みとして、内蔵された陶器製の甕（かめ）に水滴が落ちて音が反響し、自然界と同じ豊かな高周波や倍音を発生させます。また、五行思想の要素を取り入れており、自然界のエネルギーを心身に受け取る空間を創造します。

水琴から發せられるハイパーソニック・エフェクトとは、人間の耳には音として聴こえない20kHz（キロヘルツ）を超える「超高周波成分」を含んだ音が、人間の「基幹脳（きかんのう）」を活性化し、心身に様々な好影響をもたらす現象のことです。



また、水琴の特徴のひとつに「**右回り**」の水による包み込むような癒しのエネルギー、「**左回り**」の水による活性化を促すダイナミックなエネルギーを活用できます。水琴を二台設置し、片方を右回り、もう片方を左回りに設定すると、「**エネルギーのトーラス循環**」が生まれます。

水琴がもたらす音は、単なる癒しや空間演出ではなく、「**古代よりの叡智**」、人間の本来の直観、感覚、感性を、現代社會の暮らしの中で取り戻すための装置です。筧から流れる水の向きを調整することで、右巻き、左巻きの流れを生み、「**イヤシロチ**」を室内に發生させるものであり、「**自然の倍音の再現装置**」です。

水琴により「**水、音、禱り**」、水というエネルギー、倍音の音、そして意志である禱りが揃うとき、そこが「**宇宙と共鳴する新たな調和の空間**」になります。禱りとは、「**言葉を超えた心の響き**」であり、それは水というエネルギーが媒體となり、音が波紋となり、禱りは拡大していき、その神意の想いが世界を變える源泉になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

麻炭ガラスの摩尼宝珠（まにほうじゅ）と麻炭ワンド

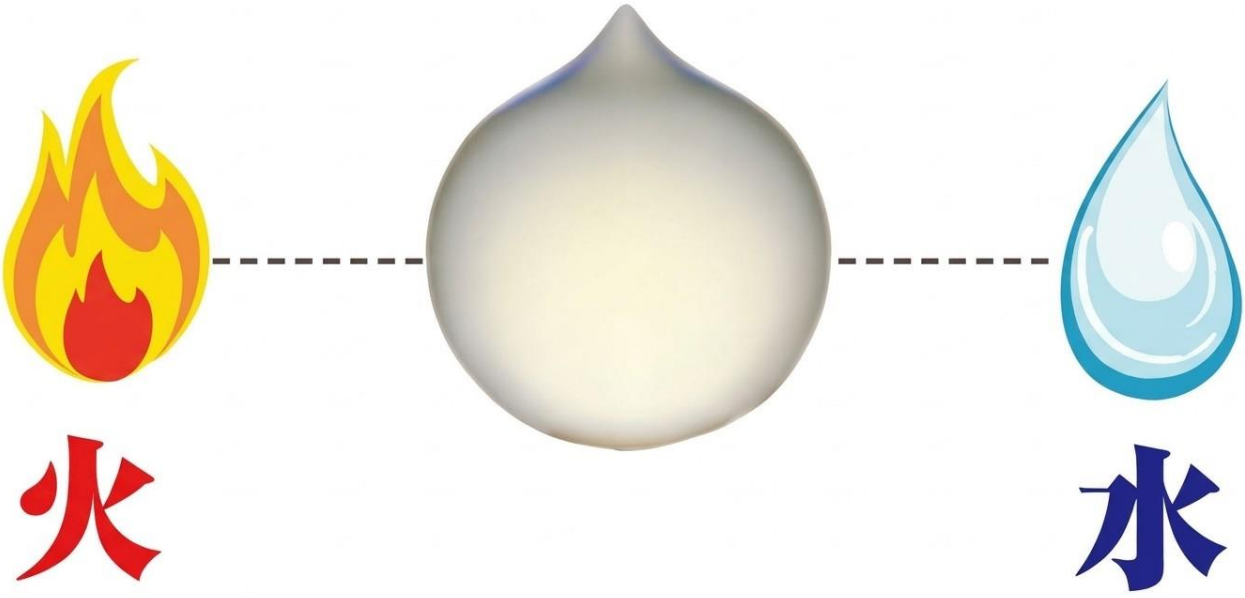


サウンドツールではないけど重要なツールに「**麻炭ガラス**」というものがあります。麻炭ガラスとは、耐熱ガラスに麻炭パウダーを振りかけ、さらにその上からガラスを巻き取って麻炭を包み込むことで、**内部に氣泡を發生させるガラスの技法**および作品のことです。

ひとつの靈界通信といえる「MANAKA（マナカ）リアリティー」のステージ２で、「麻とは？光（ひかり）と闇（やみ）の間にいるものである」「クリスタルとは？闇（やみ）と光（ひかり）の間にあるものである」といった内容があります。これは、**「光（ひかり）とは靈的世界」「闇（やみ）とは物質世界」**を表しており、その２つが融合したものが麻炭ガラスです。

麻炭ガラスの作品は「大麻」と「クリスタル」が融合した作品であり、「ソマチッド」と「バクテリア」が生きたものです。「HEMP（ヘンプ）の繊維」や「麻炭」は「電磁波を防ぐ、和らげる効果」があり、HEMP（ヘンプ）素材の衣類や麻炭ガラスは電磁波対策としても有効な効果があります。

この麻炭ガラス關連の作品も、星信仰の復活に必要なアイテムに含まれてきます



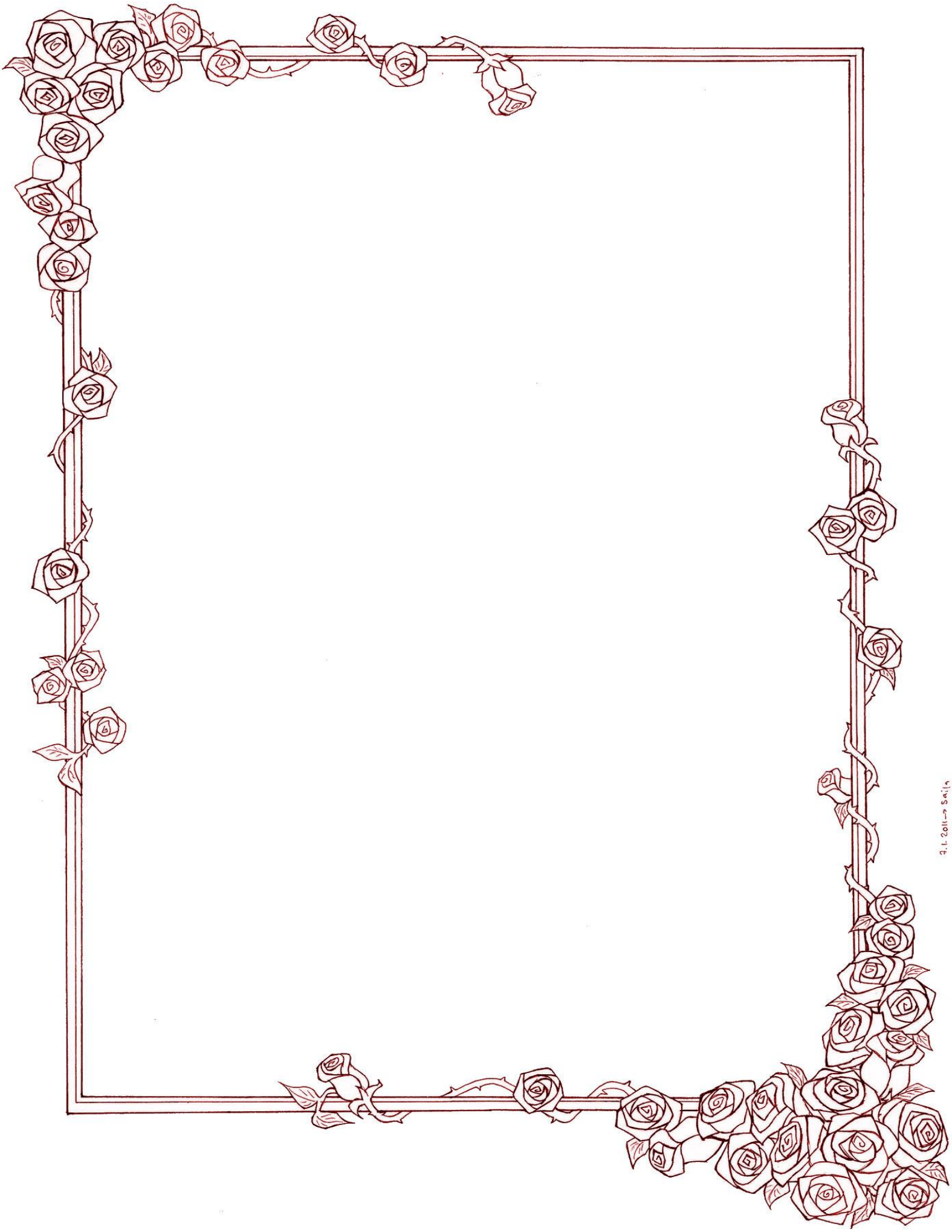
麻炭ガラスの作品には、金箔を入れる作品も存在し、「摩尼宝珠」と「ワンド」には金箔も含まれ、螺旋状になった金箔と氣泡が「ＤＮＡの構造」と一致しており、麻炭ガラスの金箔入りは「太陽、月、星のエネルギーが融合したもの」であると定義できます。

麻炭ガラスの作品で一番凄い作品は麻炭ガラスの摩尼宝珠です。摩尼宝珠とは、佛教（特に密教）において「**意のままに様々な願いを叶える**」とされる「**神祕的な宝の珠**」のことであり、サンスクリット語の「**mani（珠、宝石）**」に由來し、一般的には如意宝珠とも呼ばれます。

摩尼宝珠の持つエネルギーは至る所で使われています。お墓の五輪塔や、橋の欄干、世界各地の寺院や教會の屋根にもその姿を見ることが出來ます。そして、觀音菩薩、地藏菩薩などの神々は、その御手に宝珠を持ち、人々の願いを叶えて來ました。人も悟りに近づいたり哲人や聖人の域までゆくと頭の形が宝珠型になることも摩訶不思議な話です。

摩尼宝珠のエネルギーは螺旋、ワンドのエネルギーは直線などの違いがあり、ワンドはマッサージ棒として使ったり、手でワンドを握りながら瞑想をすると、普段よりも深い瞑想に入れることが判明しています。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





第四章

音叉ヒーリングを扱う心構え

靈的世界と物質世界

靈的世界（デヴァチャン）が靈の本来の住処である

靈的世界（デヴァチャン）に流れる音の海、それが大靈（たいれい）の本質

意志、直観、技術の三位一體（さんみいったい）、音による生命（いのち）の調律



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

靈的世界（デヴァチャン）に流れる音の世界に浸るための三原則



音叉の發する「宇宙の音」と「音程（インターバル）」は、「靈の大海（大靈（たいれい））」の世界に誘うもの、靈的世界に入るための鍵であり、神智學（しんちがく）では「Devachan（デヴァチャン）」と呼ばれる思想になります。Devachan（デヴァチャン）は魂の眞の故郷、純粋なる音の世界と言われています。

宇宙は「海水」と「音」により「光（ひかり）、空氣、土、水」が生み出され、あらゆる生命を育む生命素になり、「生命（いのち）（靈）」が生まれます。わたし達は、誰しもが宇宙の大音の中に生きていますが、その音はあまりにも大きすぎて感じ取ることができないだけなのです。

音叉による生命（いのち）の調律は、再び靈的世界（デヴァチャン）に流れる音の世界に浸るためにあるのです

音叉セルフヒーリングに必要なものは「意志」「直観」「技術」です。意志とは「禱(いの)り」であり、直観とは「神と自然法則に対する信頼、どのように地上人生を生きるのかの信念、人生經驗から導き出される知恵」の現れです。そして培ってきた技術を持って日々の音叉セルフヒーリングをすることで、音による生命(いのち)の調律の効果がはるかに高まります。

「意志、直観、技術の三位一體(さんみいったい)」が揃った時、「靈、精神、身體(しんたい)の調和状態」が實現します。音、宇宙の音樂、そして音程(インターバル)について深く取り組んでいくにつれ、わたし達は靈的世界との繋がりが強化されていくのです。

音叉セルフヒーリングにおいて、「音程(インターバル)」こそが「意志」になり、様々な周波數の音と音の音程(インターバル)を組み合わせ、その各音の深みや情感が絡み合い、その宇宙の音に五感を委ね靜寂の時間をもつことが「直観」に繋がります。なので、常に新しいセルフヒーリングのプロトコルを生み出す「試行錯誤(工夫)」こそが直観の原点です。

靈性に目覺めた生活を營(いとな)むには、音により靜寂の世界、高きバイブレーションに感應(かんのう)する必要があります。新たな音程(インターバル)やセルフヒーリングのプロトコルを生み出す者ほど靈的世界の深奥(しんおう)に深入り出來ます。そうした人間は地上世界に肉體(にくたい)を持ち存在しながらも極めて高き靈性を發揮します。

直観の本質とは靈と靈の交流、テレパシー交流であり、日々の「禱(いの)り」により靈的エネルギーを取り入れることが大切です。日々の意志による禱(いの)りにより、物的生活に埋もれる者に閉ざされた靈的眞理の祕密の扉が開かれるのです。

最後に技術、技術とは「再現性」です。自然法則はすべてに方程式が存在し、心靈的法則を熟知し、靈力を自在に使いこなすこと、これが音叉を扱う上で最も大切なことなのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

ヒーリングにおいて最も大切な「意志、禱り、フォーカス」





意志とは「フォーカス」すること。禱りとは「大靈と一體化しようとする願望、大靈の神意に心を合わせようとする行爲」であり、大靈の意志によって万物は存在しています。意志とは神意、意志とは禱り、意志とはフォーカスすること、これが最も的確な表現です。

意識とは調和、意志とは神意、調和とは直觀、神意とは禱り、調和に向けての禱り、調和に向けて行動できるように導きを求める衝動、そして現實世界の問題に対して最も適した行動に全力を注ぐ、これが「意志」「禱り」「フォーカス」の原理です。

意志とは「決心すること」でもあり、大靈は人間に「自由意志」を与えてくれています。その自由意志をどのように使うのか、神の攝理に従うのか、逆らうのかすべてconscious mind（顯在意識）の選択に一任されています。

意志の力、これがヒーリングの効果を大きく左右することを忘れないでください

できるだけ高い界層のバイブレーションに感應するようになっていただきたい。自分が決して宇宙で一人ぼっちでないこと、いつも身のまわりに自分を神意する靈がいて、ある時は守護し、ある時は導き、ある時は補佐し、ある時は靈感を吹き込んでくれていることを自覺していただきたい。

そして、靈性を開發するにつれて宇宙最大の靈すなわち神に近づき、その心と一體となっていくことを知っていただきたい――そう願っているのです。

人間は、同胞のために自分を役立てることによって大靈に仕えることになります。その關係を維持しているかぎり、その人は大靈のふところに抱かれ、その神意に包まれ、完全な心の平和を得ることになります。

『シルバーバーチの靈訓　靈的新時代の到來』p.66

音叉セルフヒーリングにおける意志とは「各チャクラ×音程×各經穴の組み合わせ」によって、そのバイブレーション、その宇宙の音に肉體と五感を委ねる「靜寂」の時間をもつことで「直觀」を受け取ります。「直觀とは、意志を持って發振したものを、意識して受振する」ことです。

意識とは調和、意識とは靜寂、意識とは直觀、これが音叉セルフヒーリングに必要な「意志」と「直觀」の本質になります。意志と直觀はコインの裏表の關係性であり、同じものの２つの側面なのです。この關係性を正しく理解することが靈的巡礼の旅で大切なことになります。

意志、神意、時間	神の攝理、時空元、時空間	意識、調和、空間
禱り、フォーカス	靜寂、靈の心の衝動	直觀、テレパシー
惑星、陽子	大宇宙、小宇宙の相關關係	恒星、中性子

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【音叉の初級編ツールを使う基本的な流れ】

① 各經穴に対應したチャクラバー（レギュラー）「２個」を鳴らす

② レギュラーで鳴らしたものに対應したチャクラバー（ハーモニック）「２個」を鳴らす

※チャクラバーの倍音による超音波によって「エネルギー・センターのチャクラ（幽體）」が開き、靈的エネルギーが人體に取り入れやすくなる

③ オームロングエナジーバー（136.1Hz）を鳴らし、経穴（肉體）のチャクラを開く

④ 528Hz ヒーリングパイプを鳴らし、細胞間（靈體）のチャクラを開く

⑤ 432Hz、528Hz、1056Hz、2112Hz のエナジーバーを鳴らす

⑥ 各經穴に対應したTUNING FORKでエネルギーワーク or ボディーワークをする

サウンドツールは、導入編ツール、入門編ツール、初級編ツールすべてを複合して使う形になり、これらの「倍音」と「和音」が入り混じった「複合音」により、音叉による生命の調律は眞価を發揮していきます。

また、各種エナジーバーを複合的に鳴らすことにより「細胞間のチャクラ（靈體）」「脊髄のチャクラ（幽體）」「經穴のチャクラ（肉體）」の３つのチャクラに働きかけ、靈力と生命力を人體に余すことなく取り入れることが可能になります。

靈的世界に流れる音の海、それを「靈の大海」と表現し、「睡眠中」に「意識の拡大」を經驗することが大半です。すべての人間が睡眠中に靈的世界を訪れています。これは靈體を死後世界の環境に適應しやすくするための神の攝理の一つです。

そして、靈的な音の痕跡は無意識であっても「soul（細胞レベル）」に必ず殘ります

直観を受け取るためには、意識して静寂の世界に入ることが必要



「魂をもっと意識できるようになるにはどうしたらよいのでしょうか？」

「それは靈的開發の問題です。より精妙な波長が意識できるように、靈的次元にチャンネルを合わせる方法を会得することです」

「チャンネルを合わせるにはどうしたらよろしいのでしょうか？」

「地上世界が活氣にあふれている時にこちらの世界は靜まり返っていることがあり、そちらが靜まり返っている時にこちらでは活氣にあふれていることがあるものです。ですから、精神活動を止めて靜寂の世界へ入り、受身になってみられることです。じっと待っていると魂が活動を開始するのがわかるようになります」

『シルバーバーチの靈訓　スピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべ』p.44～p.45

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



靈的次元にチャンネルを合わせる方法を会得、これこそが「直観」の本質です。音叉による生命（いのち）の調律は「靈的次元にチャンネルを合わせ、意識して直観を受け取る方法の会得」であり、そのために様々な「複合音」を禱（いの）りとして驅使するのです。

日常生活の喧騒（けんそう）から離れ、一人静かな環境に身を置くこと、こうした静寂の状況に入ると意識は靈本來の世界、靈的世界（デヴァチャン）へと向くようになります。静寂の世界に深入りすることで靈と靈との共鳴度が高まるため、背後靈（SEPOUW）（守護靈、指導靈）は靈的影響力を物質次元に行使しやすくなります。

その代表例が「直観」であり、「意識して静寂の世界の環境に身を置き、精神を集中しコントロールする術を身につけること」が必要です。完全な静寂の中で高度な波長がキャッチできるようになる、直観が受け取れるのはそうした状態の時です。

靈的世界（デヴァチャン）から地上世界に帰還した大腦（マインド）は、心臟腦（ハート）と細胞レベルで宇宙の音が刷り込まれており、ある特定の音樂を聴いたり、特定の音を聞くことでＤＮＡのスイッチが押され、ＤＮＡが活性化されます。



様々な周波数の音と音の音程（インターバル）を組み合わせること、睡眠中に霊的世界（デヴァチャン）に何度も出入りすればするほど、「ＤＮＡの進化（EXA（エクサ） PIECO（ピーコ）の構造変換（こうぞうへんかん））」が加速します。そしてチャクラが開くことにより心霊能力（サイキック）が開花されるに従い、背後霊（SEPOUW）から指示（サイン）を仰ぎ、常に背後霊（SEPOUW）から指示（サイン）を受け取れる状態に自分自身を変容（へんよう）させるのです。

隠れた霊的資質を存分に発揮なさってください。ほかならぬ自分が無限の力を駆使できる大霊（たいれい）であることを自覚してください。そうすれば、今ゆっくりと暗い世界を照らしはじめた新しい時代の道具として活躍することができます。（中略）人類への神意（あい）のもとに、皆さんの人生を啓発するために届けられているインスピレーションをキャッチしてください。

『シルバーバーチの霊訓　スピリチュアリズムによる霊性進化の道しるべ』p.108

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

知識と技術による生命(いのち)の調律のブラッシュアップの繰り返し



音叉セルフヒーリングに必要な「意志（禱(いの)り）」と「意識（直觀）」、そして最後に必要なのが「技術」です。技術を磨くのは「知識」と「反復練習」であり、音叉セルフヒーリングを「習慣」にすることで幾らでも技術は磨けます。そして技術の眞髄は「再現性」です。

病氣が治るのは奇跡ではなく、病氣が治るのは必然にするためには一定の知識と技術が必要です。音叉による生命(いのち)の調律を正しく續(つづ)けていれば病氣が治るのは必然であり、奇跡、偶然などでありません。「禱(いの)り、直觀、技術の三位一體(さんみいったい)」により靈、精神、身體(しんたい)の調和状態が實現するからです。

特別な人間だけが音や周波数を扱えるのではなく、誰しもが自然法則の「方程式」に従って正しく音や周波数を活用すれば、自ずと地球環境や地球人類は蘇生の方向に向かうことを實証することが技術の極意です。再現性とは「心靈的法則」を熟知し、靈力を自在に使いこなすことを意味し、これが音叉を扱う上で最も大切なことです。



知識面においては「人間の５つの構成要素」という人間の靈、靈の心と肉の心の２つの心、靈體と肉體の二重構造を正確に理解することが大前提であり、５つの構成要素を踏まえた上で人間の８つのエネルギー層、シルバーコード、チャクラ、細胞、骨、筋肉の仕組みを覺えることが大切です。

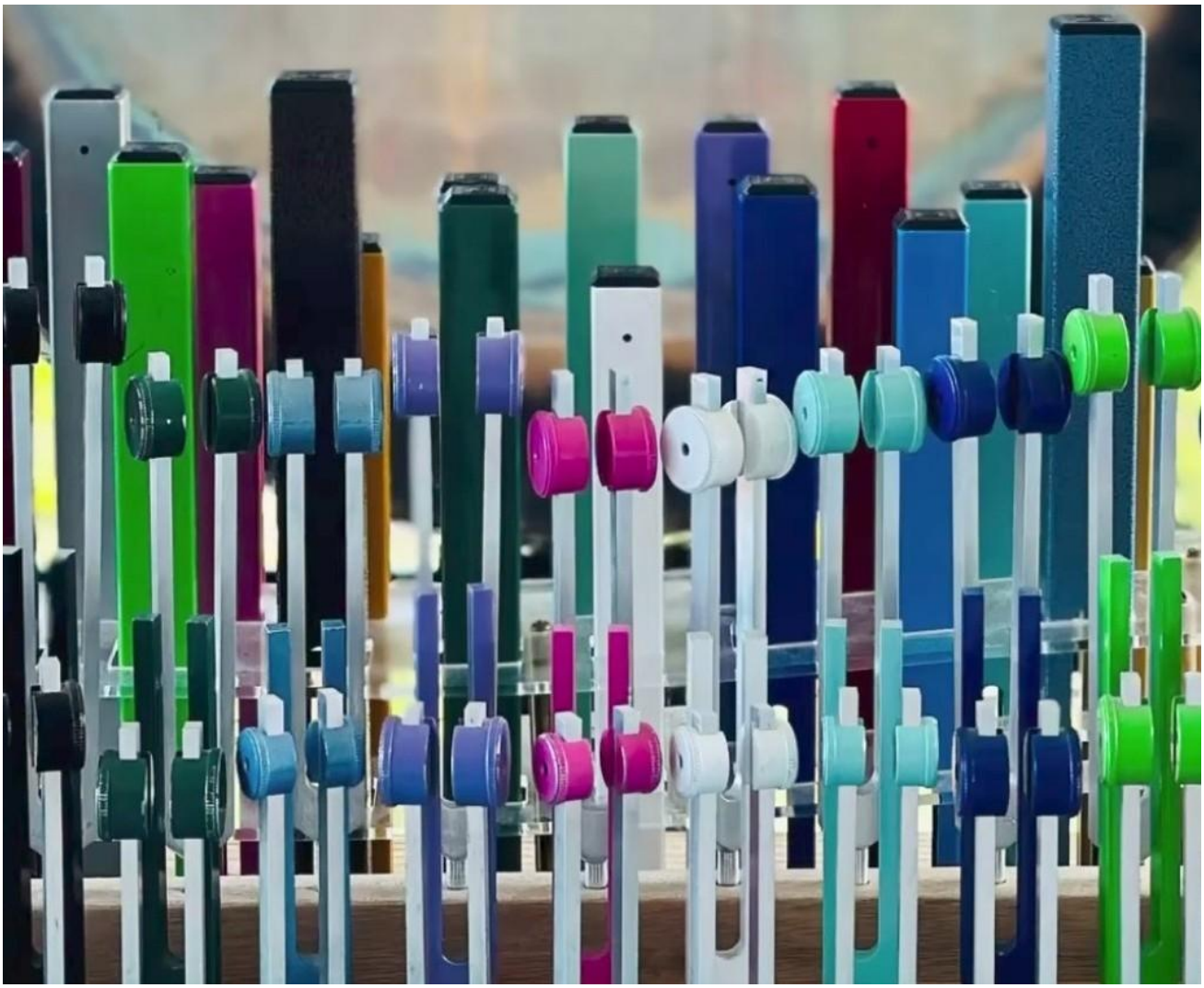
技術面においては奇經八脈、十二經絡を學んだ上で「音叉を經穴に当てる位置の正確性」が技術の向上を支えるポイントになります。また、音叉の叩き方、当て方、角度、リズム、まずはそうした初歩的なことを再度見直ししていく必要もあります。また、ゴムで音叉を叩くのか、ウッドで音叉を叩くのか、ラバーで音叉を叩くのか、色々な方法があります。

音叉のカラダへの当て方、經穴の位置の正確性、音叉の角度、音叉を入れる強弱、音叉の振動の時間、こうした技術的な部分も念頭に置いて自分自身の調律をしていく必要があり、「知識と技術」が合わさった上で、毎日の音叉セルフヒーリングを「繼續して習慣化」することが「心靈的法則を熟知し、靈力を自在に使いこなすこと」に繋がります。

生命の調律に必要な禱り、直觀、技術の三位一體の意味がこれで理解できるはずです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

賦活性を持った放射線
靈界からの治療エネルギーによる靈と精神と身體の調和



音叉による生命の調律において、「音程」こそが「意志」と「禱り」になり、様々な周波数の音と音の音程を組み合わせ、その各音の深みや情感が絡み合い、その宇宙の音に五感を委ね靜寂の時間をもつことが「直觀」に繋がります。

なので、音叉の知識や技術を學びながらも、自分自身の直觀や感覺を磨く、そしてエネルギーの變化に合わせてトリートメントプロトコルを作っていくことが大事なことです。音叉の基礎を學び、五感の感覺が鋭敏になるに従い、直觀により瞬時にプロトコルを作れるようになっていきます。

心靈治療というものを身體上の結果を見せるという点からばかり考えてはなりません。心靈治療は根本的には靈（魂）に關わることです。目的は患者の魂の琴線に触れることです。その魂の受け入れる機が熟していれば、精神も正常となり身體も正常となります。

本当の心靈治療は靈と精神と身體とが調和して機能するように正しい連繫關係にもっていってあげることです。それが健康であるということの本來の意味であり、健全な状態、融和した状態ということです。

『シルバーバーチの靈訓（九）』p.105

靈と精神と身體の調和が乱れると病氣になり、自分自身の努力、または靈界からの治療エネルギーによって調和を取り戻すまでその状態が續きます。シルバーバーチはそうした靈界からの治療エネルギーを「賦活性を持った放射線」と表現しています。

賦活性とは「機能や働きを活發化させること」を意味します。惑星音叉、ソルフェジオ音叉は賦活性を持った放射線そのものであり、それを人體に取り入れることで生命力を蘇生させます。

シルバーバーチは、心靈治療はどういうメカニズムで病氣を治すのか、治療家と患者との間にどういう關係が生じるのかを問われて――「賦活性を持った放射線が注入されるのです。病氣に應じて種類が異なります。（中略）賦活性をもった生命力の一種で、それを人類のために使用できるまでに進化した靈が驅使しているのです」と述べています。

天球の音樂を再現した音叉ヒーリングは、靈的エネルギー(宇宙エネルギー)と生命エネルギー(大地エネルギー)を人體に取り入れるための画期的な方法論であり、星々の音がシルバーバーチのいう「靈界からの治療エネルギー（賦活性を持った放射線）」に該当します。それを地球人類誰しもが音叉により自分自身で出來る時代だということを忘れないでください。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





第五章

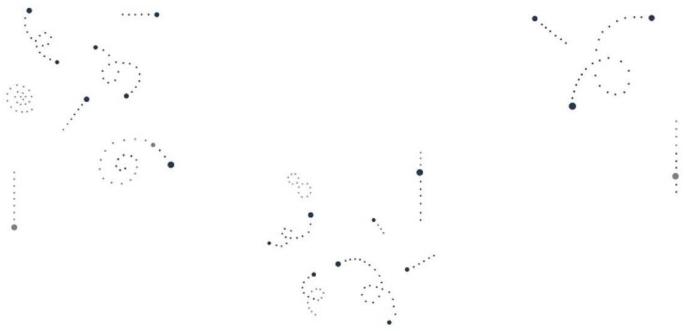
奇經八脈ヒーリング

星信仰の復活の意味とは、奇經八脈の復活

奇經八脈の正式名称は「北斗八星」であり

北極星と北斗八星の叡智がＤＮＡを進化させる

靈的新時代の始まりを告げる開放のドラムが鳴る





資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

奇經八脈には魂の設計圖（ブループリント）が記憶されている



奇經八脈の叡智の復活は、天球の音樂の追窮の最後の課題でした。近代の地球文化になる前に奇經八脈を研究し、著書に殘した最後の人物は李時珍（りじちん）です。

中國（ちゅうごく）古代四大名醫（めいい）でも、扁鵲（へんじゃく）、張機（ちょうき）、華佗（かだ）、李時珍（りじちん）として名を連ねている人物であり、李時珍（りじちん）（1518 年～1593 年）は当時、西洋のレオナルド・ダ・ヴィンチに匹敵する有名な醫學者（いがくしゃ）でした。

中國本草學（ちゅうごくほんぞうがく）の集大成とも呼ぶべき『本草綱目（ほんぞうこうもく）』や、奇經や脈診の解説書である『瀕湖脈學（ひんこみゃくがく）』、『奇經八脈考』を著しており、中醫學（ちゅういがく）を發展させた人物の一人であるのは間違いありません。その李時珍（りじちん）は奇經八脈について、このように述べています。

> 『奇經を用いぬ醫者（いしゃ）は中醫學（ちゅういがく）の究極の奥義を眞に實踐しているとはいえない』と当時、李時珍（りじちん）が語ったと記されている。
>
> ~Leon Hammer、MD

李時珍（りじちん）は『奇經八脈考』に多くの奇經八脈に關するヒントを殘しました。しかし、74 歳の時、自宅の近所を散歩中、同業の醫師（いし）らに暗殺され、不完全な形で後世に奇經八脈の情報を殘すに留まり、奇經八脈の全貌が判明するのが 21 世紀まで持ち越される結果になりました。

李時珍（りじちん）は、その著書である「奇經八脈考」において、「八脈散在群書者、略而不愁」（奇經八脈についての記述は、多數の本に散在しているが、いずれも簡略であって詳細に述べているものはない）と述べています。

この記述からも分かるように、昔から奇經八脈に關する文献は簡略な記載しかありません。そのため、現代においても奇經八脈に対する論文や著作はあまり見かけません。この奇經八脈は歴史から抹消されてしまった學問であり、星信仰の復活の最後の關門でした。

奇經八脈の本質は、失われた古代文明の叡智の一つであり、その起源は最低でも 12000 年以上前のアトランティス時代にまで遡ります。奇經八脈は、古代文明で使われていた靈的覺醒のための神聖なるヒーリングの一つでした。

12000 年以上前、アトランティス大陸が海底に沈むとわかった時、アトランティスの知識を地球の 3 か所に保存し、その場所は現在の地理でいうエジプト、チベット、ペルーになります。地球の場所によって周波數が違うため、保存された記憶が違った形で解釈されました。

エジプト： 神聖幾何學や死と再生のテクノロジーとして、男性的

チベット： ボディのワークを大切にして保管、死生觀、チャクラについての叡智

ペルー： シャーマニック、（アヤワスカなどを使い）音を見る、女性的

※地球の地圖で、チベット東洋、エジプトは中央、ペルーは西洋、すべて赤道上に位置する。これは「太陽信仰」「月信仰」「星信仰」として枝分かれしていった

奇經八脈の 8 つの交会穴の「オープニング・ポイント」から「バランス・ポイント」に、特定の音の周波數と音程を入れていくと、カラダの細胞レベルで原初のエネルギーを思い出し、それに合わせて細胞レベルで入れ替わり、新たな細胞の次元へと再編成されていきます。

八脈交会穴の經穴を刺激することで、EXA PIECO の心、DIKAG の心の 2 つの心、靈體、肉體の 2 つの身體の調和とバランスを整えます。奇經八脈の傳統的な効用をある程度知った上で、セルフヒーリングで實踐を積み重ねていくことが大切です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

八脈交会穴のオープニングポイントとバランスポイント

奇經八脈とチャクラとソルフェジオ周波數の対應

奇經八脈	オープニングポイント	バランスポイント	チャクラ	ソルフェジオ
督脈	後谿	申脈	7チャクラ	963Hz
陽蹻脈	申脈	後谿	6チャクラ	852Hz
任脈	列缺	照海	2チャクラ	417Hz
陰蹻脈	照海	列缺	4チャクラ	639Hz
衝脈	公孫	内關	8チャクラ	174Hz、285Hz
陰維脈	内關	公孫	1チャクラ	396Hz
帯脈	足臨泣	外關	3チャクラ	528Hz
陽維脈	外關	足臨泣	5チャクラ	741Hz

奇經八脈は「八脈交会穴の８つの經穴」を刺激します。その際に重要なのは「オープニング・ポイント」と「バランス・ポイント」の正しい理解であり、これが理解できていないと奇經八脈ヒーリングの効果はあまり出ないでしょう。

・オープニング・ポイントは、エネルギーを点火するイメージ

※オープニング・ポイントは、ソルフェジオ音叉および惑星音叉を使う。オープニング・ポイントの意味はエネルギーを点火する

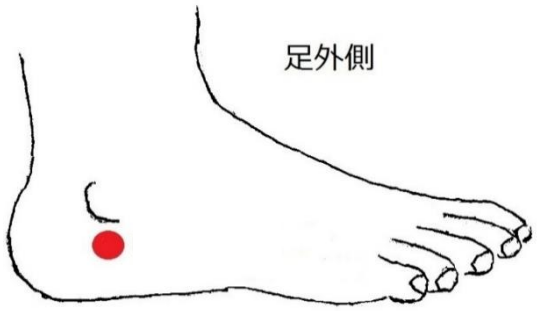
・バランス・ポイントは、点火したエネルギーを維持するイメージ

※バランス・ポイントは、３つの基音の音叉のいずれかを選択する。バランス・ポイントの意味は、点火したエネルギーを維持する

八脈交会穴の８つの經穴の正確な位置と意味を知ることが大切です



こうけい
後谿



しんみゃく
申脈



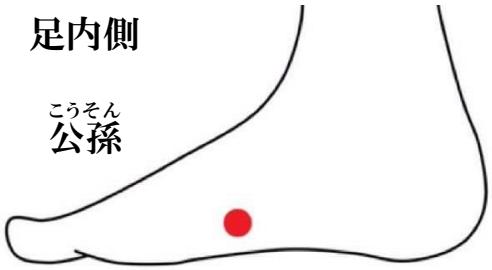
れっけつ
列缺



足内側

しょうかい
照海

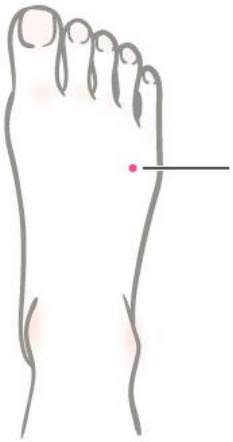
足内側



こうそん
公孫



ないかん
内關



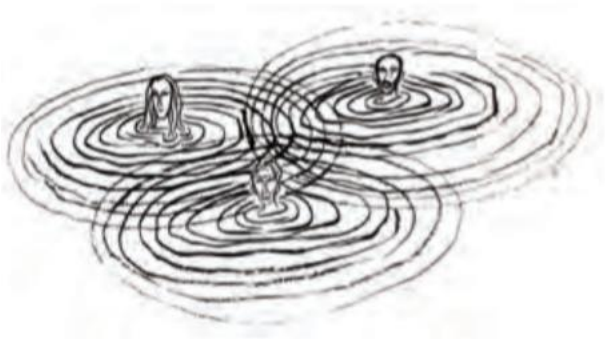
あしりんきゅう
足臨泣



がいかん
外關

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





大靈の別名は「靈の大海」であり、宇宙は「大靈の音」により「生命」が生まれ、誰しもが宇宙の大音の中に生きていますが、その音はあまりにも大きすぎて感じ取ることができません。しかし、奇經八脈はそのエネルギーを細胞レベルで覺えています。そして、思い出されるのを待っています。

この「靈の大海」「大靈の音」は「羊水」と「胎教」という形で、子宮の中にいた頃、胎児の細胞記憶（腎）に刷り込まれており、奇經八脈というエネルギーの流れ道を通して原初の記憶、生まれる前に決めてきた記憶を保持しています。

> 地上に生を享ける時、地上で何を爲すべきかは魂自身はちゃんと自覺しております。何も知らずに誕生してくるのではありません。自分にとって必要な向上進化を促進するにはこういう環境でこういう身體に宿るのが最も効果的であると判斷して、魂自らが選ぶのです。ただ、實際に肉體に宿ってしまうと、その肉體の鈍重さのために誕生前の自覺が魂の奥に潜んだまま、通常意識に上がってこないだけの話です。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（一）』p.38

スピリチュアリズムが明らかにした靈的眞理は、運命全般としての枠組みは出来ているけどそれは現代の人々が考えるような決定論的なものではないと述べています。人生設計圖（ブループリント）は靈的世界（デヴァチャン）によって人生行路（じんせいこうろ）が刷り込まれ、地上世界で解讀（かいどく）されるのを待っているパターンを示します。

その地上人生のパターンの枠組みの中で、自分自身が計画した予定表（ブループリント）に従いながら、どれだけ潜在的神性を發揮するかは、自分自身の決心と行動による日常での努力次第だということです。本來の予定表（ブループリント）に取り組むかどうかは個人の自由意志（じゆういし）に委ねられているのです。

ヒーリングの最終的な目的は「人生設計圖（ブループリント）」に従った生き方に導くためにあります。わたし達の魂は生まれる時に人生の目的は決めて來ていますが、その達成のための道筋ははっきりと決めて來ているわけではありません。

これは魂が生きていく過程でいろいろな經驗をして學びを深めるためだと言われています。そのため人生設計圖（ブループリント）は何パターンもあり、その時々に自分の選択により色々なパターンを行ったり來たりしながら最終目的地にたどり着くようになっています。

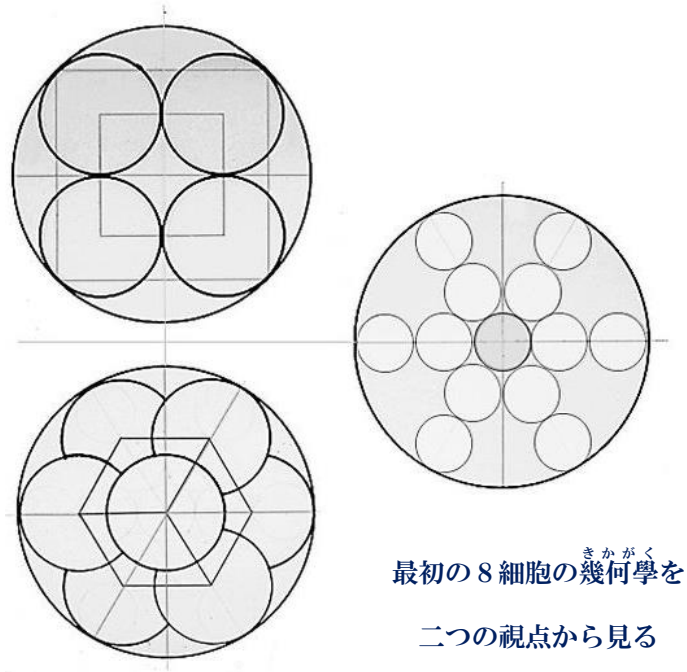
その魂の設計圖（ブループリント）が刻まれているのが八脈交会穴（こうえけつ）の８つの經穴（ツボ）にある「原型細胞」であり、何のために生まれ、何のために生きるのか、自分自身とは何者か、それが奇經八脈と８つの原型細胞には記憶されています。

地上人類の人生行路（じんせいこうろ）は「EXA PIECO靈の心」「奇經八脈」「８つの原型細胞」を通して「潜在意識（ＦＩＫ）」の奥底に記憶されています。それらが「星信仰の復活」に触れて活性化すると、人は宇宙のハーモニー、すなわち「地球人類救済計画（スピリチュアリズム）」に同調するようになっていきます。

奇經八脈の叡智は地球人類救済計画（スピリチュアリズム）に同調するために存在しているのです

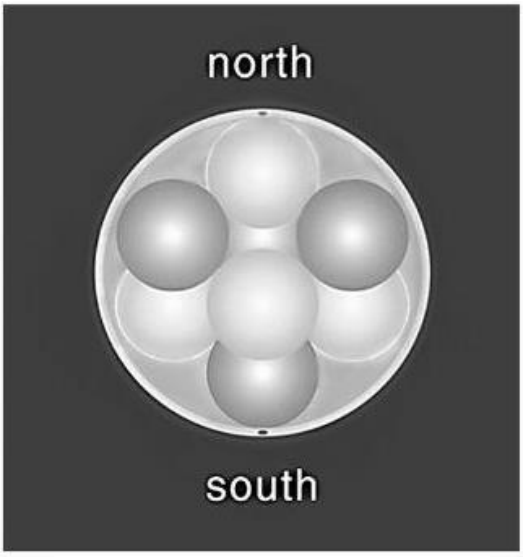
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

魂の記憶を司る８つの原型細胞と、奇經八脈



最初の８細胞の幾何學(きかがく)を

二つの視点から見る



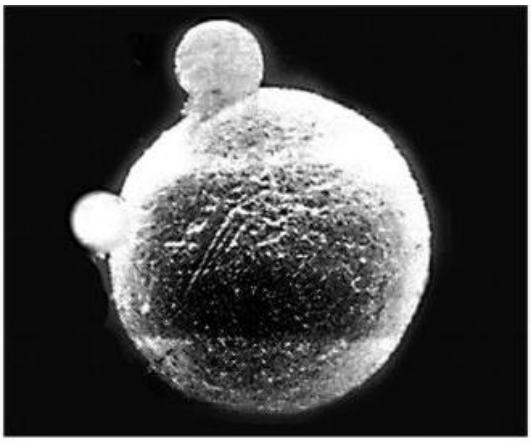
最初の８細胞で形作られる

エッグ・オブ・ライフ

八脈交会穴(こうえけつ)の８つの經穴(ツボ)は、原型細胞という受精から細胞分裂する前の「魂の記憶を司る細胞」を刺激します。奇經八脈は細胞分裂前の８つのオリジナル細胞を活性化させることが可能です。時空からの情報では、これらの８つの細胞はあなたのボディの中で不死性を保っているという情報です。

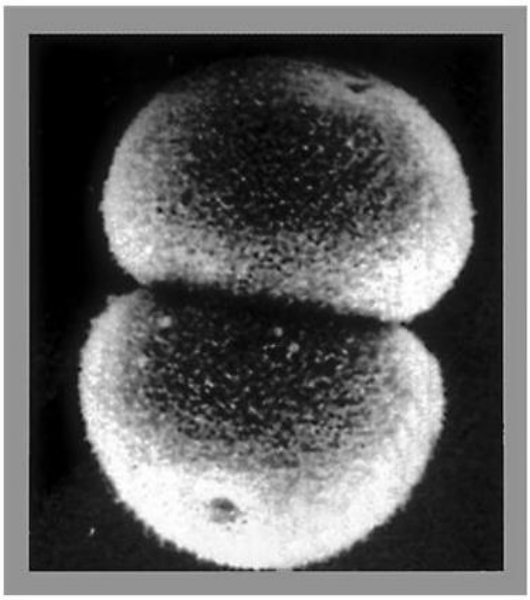
通常の細胞は、５年～７年ごとに死んでいます。つまり、この最初に發生した８つの細胞以外は、すべて殘らず５～７年の間に新しいものと入れ替わります。しかし最初の８つの細胞は、あなたが受胎された時から死んでボディを離れるまでずっと生き續(つづ)けます。他の細胞はみんな別の生命サイクルを經過していくのに、この８つのオリジナル細胞だけが違い、この原型細胞に魂の設計圖(ブループリント)が刻まれているのです。

奇經八脈は、原型細胞を刺激する特異性から「Mirror of soul(魂を映し出す鏡)」とも呼ばれており、最も本質に近いものです。十二經絡としての細胞は5～７年のサイクルで新生するサイクルですが奇經八脈としての細胞は不滅性を有しています。



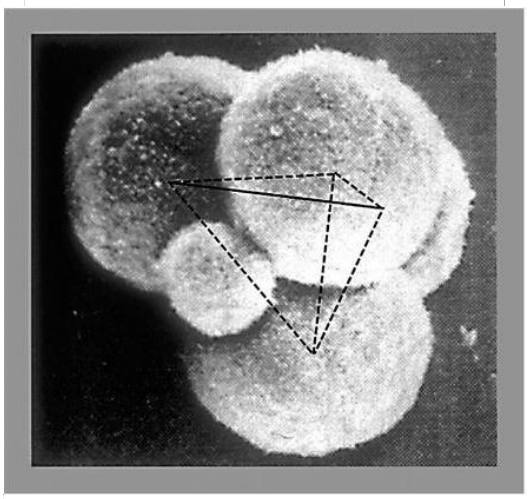
マウスの卵の最初の細胞

左写眞は、マウスの卵の細胞を電子顯微鏡で撮影したものです。次の写眞はマウスの卵の最初の２つの細胞です。写眞では内側がよく見えるように、卵膜透明層は取り去られています。たいていの科學の教科書には、最初の４つの細胞が小さな四角形を形成するとありますが、實際は正四面體を形成しています。



マウスの卵の最初の細胞

次に細胞は８つに分裂します。上を向いた正四面體と下を向いた正四面體になって、星型二重正四面體を形作ります。その神聖幾何學をエッグ・オブ・ライフ（生命の卵）と言います。基本的に、この８つの原型細胞が元になり、細胞分裂の死と新生のサイクルを繰り返します。



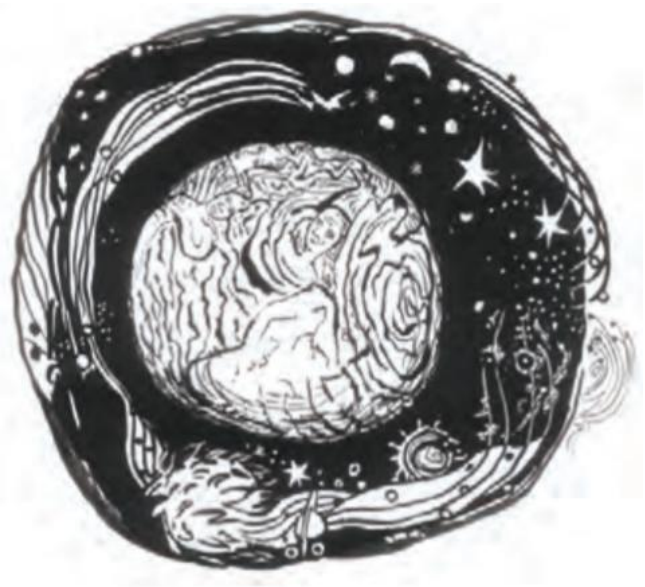
マウスの卵の
４つの細胞からなる正四面體

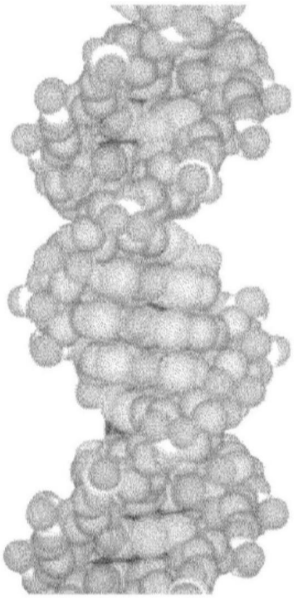
奇經八脈は原型細胞から發生する最初のエネルギーの通り道であり、受精後にまず奇經八脈が發達しそれから主要十二經絡が發達していきます。わたし達が普段聞く經絡の元となるエネルギーの通り道です。奇經八脈は本質の記憶に繋がるエネルギーの川であり、わたし達が生まれた時のエネルギー、ブループリントや魂の全ての情報を内藏しています。

奇經八脈を起動し活性化させることは目醒めのスイッチを押し、意識の變容と進化（SINQA）が起こり、本來あるべき創造的な人生を生きることに他なりません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

魂の反映、８つの原型細胞と靈體（れいたい）、幽體（ゆうたい）、肉體（にくたい）の關係





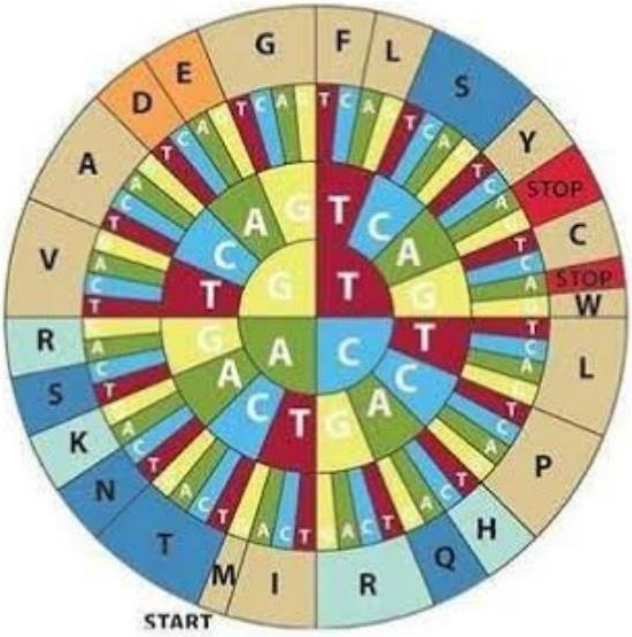
EXA PIECO
靈の心が生まれる前に決めてきた魂の設計圖（ブループリント）は「８つの原型細胞（潜在意識（F I K））」に記憶されスイッチを押されるのを待っています。それが出来るのは「スピリット・ヒーリング」ないし「サイキック・ヒーリング」になります。

スピリット・ヒーリングのネルギーの流れは「great spirit（大 靈）」→「spirit（靈）」→「soul（魂）（EXA PIECO 靈の心）」という形でエネルギーが流れる最上位のヒーリングです。これは現時点の地上人類で出来る人間はいないと思ってください。

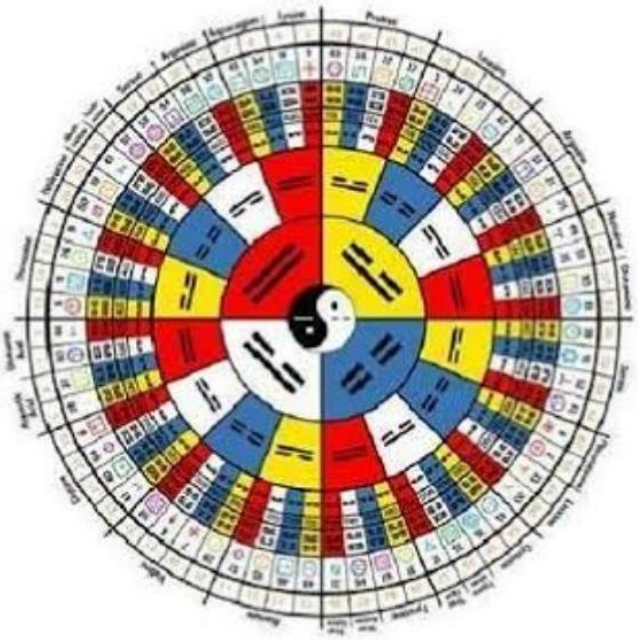
サイキック・ヒーリングのエネルギーの流れは「８つの原型細胞（潜在意識（F I K））」→「奇經八脈（靈體（れいたい））」→「仙骨八髎穴（幽體（ゆうたい））」→「蝶形骨（肉の心（D I K A G））」→「十二經絡（肉體（にくたい））」というエネルギーの流れで循環しています。

星信仰の復活の本質は、「水晶宮（クリスタルパレス）（蝶形骨）」「八仙洞（仙骨）」「八脈交会穴（こうえけつ）（奇經八脈）」という「星信仰の復活の三大奥義」により「８つの原型細胞」を刺激することでＤＮＡの進化のスイッチをＯＮにすることが目的です。

COINCIDENCE



DNA codon wheel



ANCIENT CHINESE
ASTROLOGY CHART

音叉による生命（いのち）の調律の眞髄とは「奇經八脈（靈體（れいたい））、仙骨（エネルギー・センター）、蝶形骨（肉の心（ＤＩＫＡＧ））、十二經絡（肉體（にくたい））」に「ソルフェジオ音叉、チャクラ音叉、惑星音叉」という特定の音の周波數と音 程（インターバル）を入れていくことで「８つの原型細胞」を刺激することです。

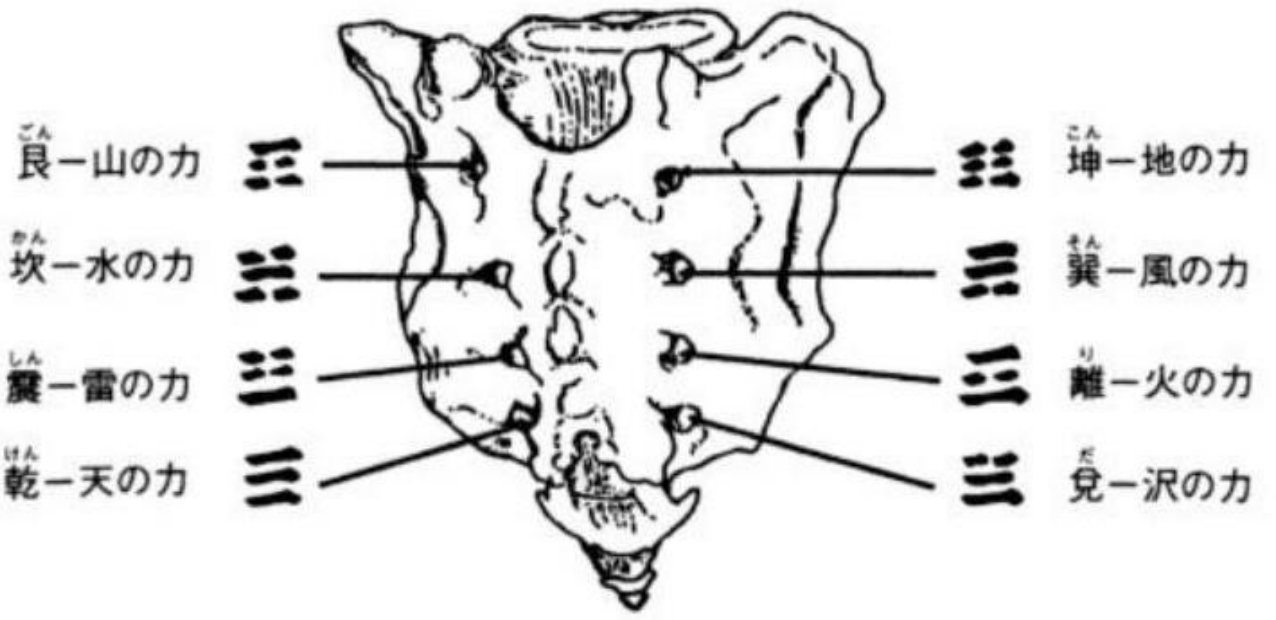
特定の音の周波數と音 程（インターバル）を入れていくと、カラダの細胞レベルで原初のエネルギーを思い出し、それに合わせて細胞レベルで入れ替わり、新たな細胞の次元へと再編成される。これが精神的能力に關わる進化であり、「三大奥義、ソルフェジオ音叉、チャクラ音叉、惑星音叉」による「EXA（エクサ） PIECO（ピーコ）の構造變換（こうぞうへんかん）の確立」といった本質です。

この８つの原型細胞に關する祕密の解明には「ＤＮＡの塩基配列（えんきはいれつ）」と「八卦六十四卦（はっけろくじゅうしけ）」の情報が必要でした。「遺傳暗号（コドン）」と「易學（えきがく）」が小宇宙（ミクロコスモス）と大宇宙（マクロコスモス）の關係性、遺傳子（いでんし）パターンと八卦六十四卦（はっけろくじゅうしけ）が相關關係（そうかんかんけい）にあることの解明が「星信仰の復活」には必要だったのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

八卦（はっけ）と奇經八脈

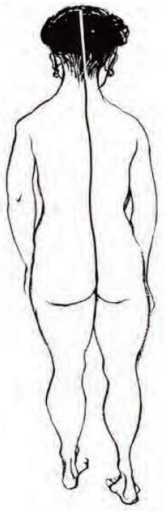
奇經八脈	八卦の圖	自然界	八卦の意味
督脈（とくみゃく） 後谿（こうけい）—申脈（しんみゃく）	 乾 けん	天	光（ひかり）と影の表れ方
任脈（にんみゃく） 列缺（れっけつ）—照海（しょうかい）	 坤 こん	地	なぜ、あいているか？ 女性性、子宮
衝脈（しょうみゃく） 公孫（こうそん）—内關（ないかん）	 震 しん	雷	男性性と女性性の組み合わせ
帶脈（たいみゃく） 足臨泣（あしりんきゅう）—外關（がいかん）	 兌 だ	澤	結ぶ、つなげる、統合させる
陽蹻脈（ようきょうみゃく） 申脈（しんみゃく）—後谿（こうけい）	 艮 ごん	山	男性性と女性性
陰蹻脈（いんきょうみゃく） 照海（しょうかい）—列缺（れっけつ）	 離 り	火	女性性が男性性の中に保たれている
陰維脈（いんいみゃく） 内關（ないかん）—後谿（こうけい）	 坎 かん	水	因果をつなげる すべての陰經（いんけい）をつなげる
陽維脈（よういみゃく） 外關（がいかん）—足臨泣（あしりんきゅう）	 巽 そん	風	すべての陽經（ようけい）をつなげる



☶ 艮 ごん	陽蹻脈（西北） バランスポイント 右・胞宵（北東）	任脈（北） バランスポイント 左・胞宵（南）	☷ 坤 こん
☵ 坎 かん	陰維脈（西） バランスポイント 左・秩辺（東南）	陽維脈（西南） バランスポイント 右・秩辺（西南）	☴ 巽 そん
☳ 震 しん	衝脈（北東） バランスポイント 右・秩辺（東）	陰蹻脈（東） バランスポイント 左・胞宵（南西）	☲ 離 り
☰ 乾 けん	督脈（南） バランスポイント 右・胞宵（北）	帯脈（南東） バランスポイント 左・秩辺（西）	☱ 兌 だ

奇經八脈「交会穴」と仙骨「八仙洞」と蝶形骨「水晶宮（クリスタルパレス）」は「８つの原型細胞（八卦）」として連携關係にあります。これが靈界主導の「地球人類救済計画（スピリチュアリズム）」により明らかにされた深い人間の構造です。「soul（魂）（靈の心（EXA PIECO））」に最も近い奇經八脈を刺激し活性化して目醒めのスイッチを押し、意識の變容と進化（SINQA）が起こる根本原理が、これで理解できたと思います。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



督脈（Du Mai/Governing Vessel）

別名：陽経の海

ハーモニックキーノート：始める

乾

督：物事の始まり

八卦：乾（Ch'ien）/天/南



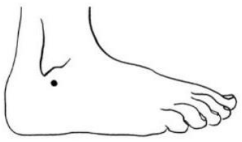
六十四卦：1. 乾（Ch'ien）— 物事の始まり

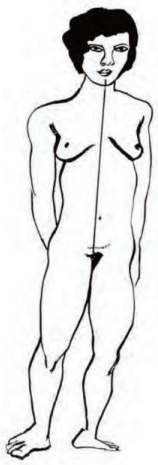


オープニングポイント：**SI 3** 後谿（Back Ravine）



バランスポイント：**UB 62** 申脈（Extending Vessel）





任脈（Ren Mai/Conception Vessel）

別名：陰経の海

ハーモニックキーノート：受け入れる、反応する

坤

任：受容

八卦：坤（K'un）/地/北



六十四卦：2. 坤（K'un）– 受容

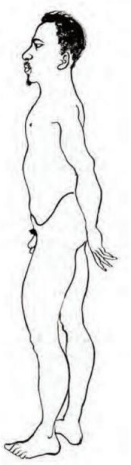


オープニングポイント：**LU 7** 列缺（Broken Sequence）



バランスポイント：**KID 6** 照海（Shining Sea）





帯脈（Dai Mai、Girdle Vessel）

別名：横方向に流れる経脈（Horizontal vessel）

ハーモニックキーノート：つなげる、喜ばしい

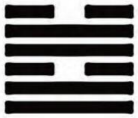
兌

帯：喜ぶ

八卦：兌（Tui）/沢/南東



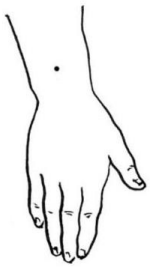
六十四卦：58. 兌（Tui）— 喜ぶ



オープニングポイント：**GB 41** 足臨泣（Near to Tears）



バランスポイント：**SJ 5** 外関（Outer Gate）





衝脈（Chong Mai、Penetrating Vessel）

別名：血海 、十二経の海

ハーモニックキーノート：震 わせる、衝撃を与える、すべてを包み込む

震

衝：（傷が残るほどの）ショック/トラウマ

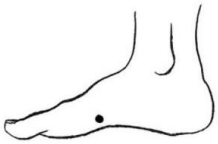
八卦：震（Chen）/雷/北東



六十四卦：51. 震（Chen）—（傷が残るほどの）ショック/トラウマ

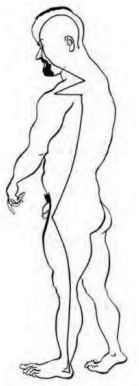


オープニングポイント：**SP 4** 公孫（Grandparents/Grandchild）



バランスポイント：**P 6** 内関（Inner Gate）





陽蹻脈（Yang Qiao Mai、Yang Heel Vessel/Yang Motility Vessel/Yang Supervising Channel）

別名：膀胱経の別脈

ハーモニックキーノート：上昇する、生命を吹き込む

艮

陽蹻：静止

八卦：艮（Ken）/山/西北



六十四卦：52. 艮（Ken）— 静止



オープニングポイント：UB 62 申脈（Extending Vessel）



バランスポイント：SI 3 後谿（Back Ravine）





陰蹻脈（Yin Qiao Mai、Yin Motility Vessel/Yin Supervising Channel）

別名：腎経の別脈

ハーモニックキーノート：上昇する、輝かせる、天の意志に沿う



陰蹻：光

八卦：離（Li）/火/東



六十四卦：30. 離（Li）— 光

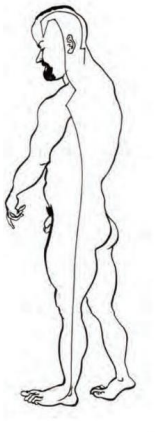


オープニングポイント：KID 6 照海（Shining Sea）



バランスポイント：LU 7 列缺（Broken Sequence）





陽維脈（Yang Wei Mai、Yang Linking Vessel/Yang Uniting Channel）

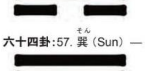
別名：諸陽の会

ハーモニックキーノート：ネットワーク化する、外側に出る

巽

陽維：穏やかに進む

八卦：巽（Sun）/風/西南



六十四卦：57. 巽（Sun）— 穏やかに進む

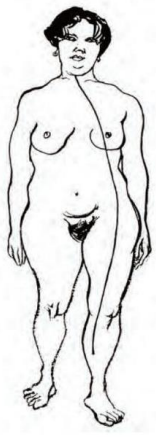


オープニングポイント：SJ 5 外関（Outer Gate）



バランスポイント：GB 41 足臨泣（Near to Tears）





陰維脈（Yin Wei Mai、Yin Linking Vessel/Yin Uniting Channel）

別名：諸陰の会

ハーモニックキーノート：ネットワーク化する、内側に入る

坎

陰維：湿潤

八卦：坎（K'an）/水/西



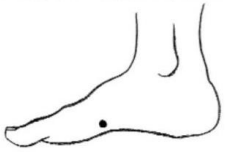
六十四卦：29. 坎（K'an）— 深部の湿潤



オープニングポイント：P 6 内関（Inner Gate）



バランスポイント：SP 4 公孫（Grandparents/Grandchild）



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

督脈について

別名：陽経の海

ハーモニックキーノート：始める

八脈交会穴：後谿

ツボの位置：拳を握ると、小指側で小指の付け根にシワができる、その先端のところ

【効用】

1、腎の陽を補い、背中を強くする

〈適應する症状〉腎虚による慢性的な腰痛

2、内外の 風 を追い出す

〈適應する症状〉發熱、鼻水、頭痛、肩こり、浮脈、目まい、震え、けいれん、てんかん

3、脊髄、脳に滋養を与える

〈適應する症状〉目まい、耳鳴り、記憶力の低下

4、變容のサイクルでクンダリーニを調整し、性的/精神的問題を統合する

〈適應する症状〉目まい、震え、肩こり、仙骨エネルギーの消耗、骨盤の腸骨稜の痛みを伴う腰痛、頭頂部の頭痛、サバイバルと豊かさに關する問題、グラウンディング不足

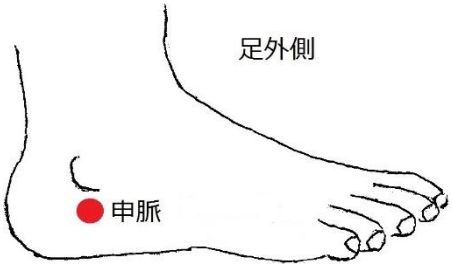
督脈についての覺え書き

- 督脈は、骨盤腔から始まり、性器と会陰部に出て、脊髄に入り、脊髄の中で脊椎と脊髄に滋養を与える
- 督脈は、脳と頭頂を通る
- 督脈は、内眼角（目がしら）を通り、目の下で終わる（諸説あり）
- 督脈は、心と喉を通る
- 督脈は、肝（生殖器と頭頂を通る）、腎、脳（頭頂）と關係する
- 督脈は、「陽経の海」と呼ばれる
- 督脈の大椎(Du 14)は、すべての陽経が合流するツボ

オープニングポイント：SI 3 後谿（こうけい）

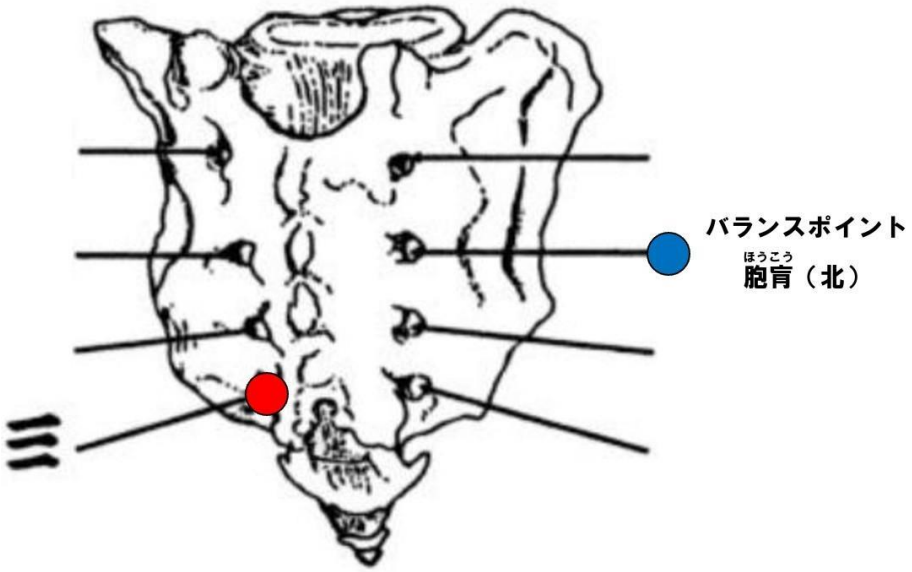


バランスポイント：UB 62 申脈（しんみゃく）



仙骨八仙洞（はっせんどう）・督脈（とくみゃく）

八卦（はっけ）（乾（けん））自然界（天）



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

任脈について

別名：陰經の海

ハーモニックキーノート：受け入れる、反應する

八脈交会穴：列缺

ツボの位置：手首の内側の脈拍をとるあたりから、人差し指と中指をくっつけて指２本分上のところ

【効用】

1、カラダの陰エネルギーを滋養する

〈適應する症状〉寝汗、ホットフラッシュ、熱感、神經過敏、不安、夜間の口渇、目まい、耳鳴り、不眠（すべて、腎の陰虚と心の虚熱の症状）

2、女性の子宮と血を調整する。月經、受胎能力、受胎、妊娠、出産、更年期を司る。あらゆる婦人科系の問題と陰の問題に対應できる。血と精を滋養する

〈適應する症状〉無月經、月經困難症、月經過多症、(男性の)性機能障害、精液漏

3、下焦と子宮の氣を動かす

〈適應する症状〉しこり、子宮筋腫、子宮がん、(男性の)ヘルニア

4、任脈の働きは下焦だけでなく、中焦や上焦にも及ぶ

〈適應する症状〉慢性的な喘息

5、變容上昇中のクンダリーニを調整し、變化によるショックを乗り越えられるよう、陰を滋養し、潤し、グラウンディンさせる

〈適應する症状〉熱感、のぼせ、怒りっぽさ、不安、腰痛、動機、目まい、グラウンディンしていない感覺、ふらつき、虚弱、神經系の短絡（ショート）

6、受胎、出産、性嫌悪のエーテル的メカニズムを制御する

〈適應する症状〉アイデアを生み出せない、計画を立てられない、新しい周波數に入ることへの怖れ、新しい物の見方や自分自身や神性を知ることへの怖れ、性的虐待の問題、低い自己評価

任脈についての覺え書き

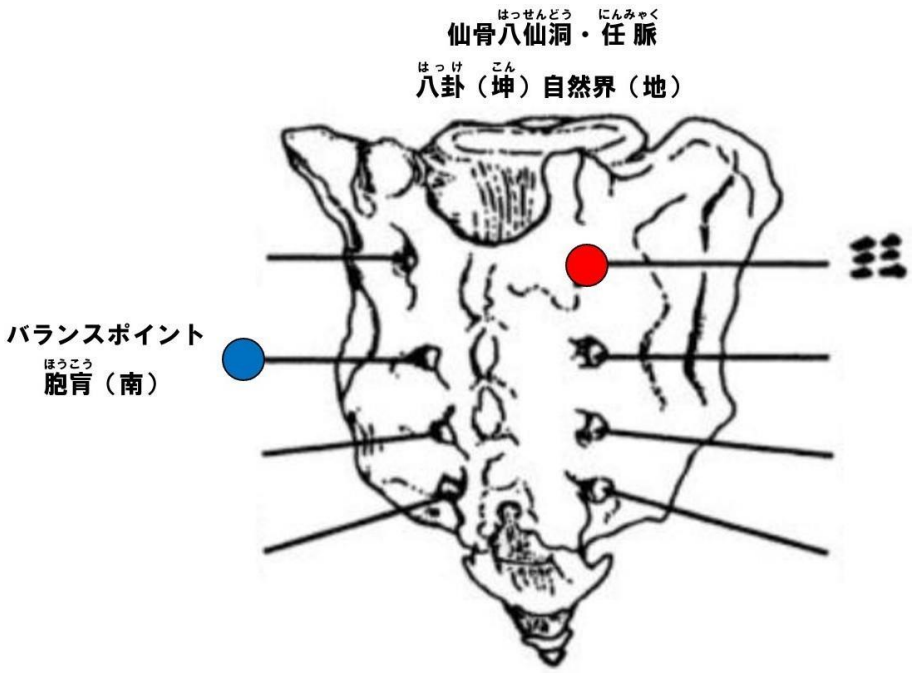
・任脈は、骨盤腔から始まり、会陰に入る
・任脈の主枝は、喉を經て目に達し、任脈の分枝は、骨盤腔から脊推と背中へと伸びる
・任脈は、すべての陰經を監督する

オープニングポイント：LU 7 列缺（れっけつ）



バランスポイント：KID 6 照海（しょうかい）





資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

衝脈について

別名：血海、十二經の海

ハーモニックキーノート：震わせる、衝撃を与える、すべてを包み込む

八脈交会穴：公孫

ツボの位置：足の親指の根元にある關節から親指１本分のところで、足の甲と裏の肌の色が變わるところ

【効用】

1、腹部、胸部に氣血が停滞している時に、氣血を動かす

〈適應する症状〉月經困難、お腹が張る、お腹がゴロゴロ鳴る、腹部膨滿感、腹部腫瘤

2、子宮と月經を制御し、血を滋養する

〈適應する症状〉月經困難症、無月經、月經過多

3、消化器系の症状を伴うあらゆる虚弱體質

〈適應する症状〉食欲不振、腹部膨滿感、消化不良

4、心臟を通り、心臟に作用し影響を与える

〈適應する症状〉胸の痛み、胸が詰まるような感覺、動機

5、公孫（SP 4）は、両親または祖父母との關係の停滞や、祖先や世代間の刷り込みを癒す。特に、虐待の問題を癒すときや、「筋肉記憶（脾）」と「細胞記憶（腎）」の両方を消し去るのに有効で、祖先のルーツにアクセスするのにも役立つ

〈適應する症状〉意識的ないし無意識的に繰り返すネガティブなパターンや行動や關係、下焦の停滞、不安感、触れられることへの嫌惡感、アルコール依存、藥物濫用、攝食障害、強迫觀念、過剰なコントロール欲、中毒全般

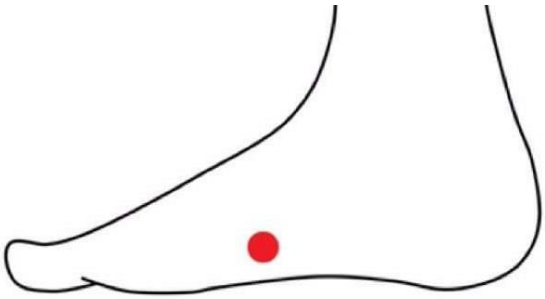
6、不妊と、スピリットを受け入れられない問題を癒す

〈適應する症状〉アイデアや知識や夢を現實化できない、新しい自分に生まれ變われない、新たな洞察を取り込み、受け入れ、滋養を受け取ることができない

衝脈についての覺え書き

- 衝脈は、「十二經の海」と呼ばれ、テーマは血
- 衝脈は骨盤腔から始まり、脊推の内側を通り、上行だけでなく下行もする
- 衝脈の經穴は、腎經と任脈に属し、喉を通り、唇(口)の周りを通る

オープニングポイント：SP 4 公孫（こうそん）



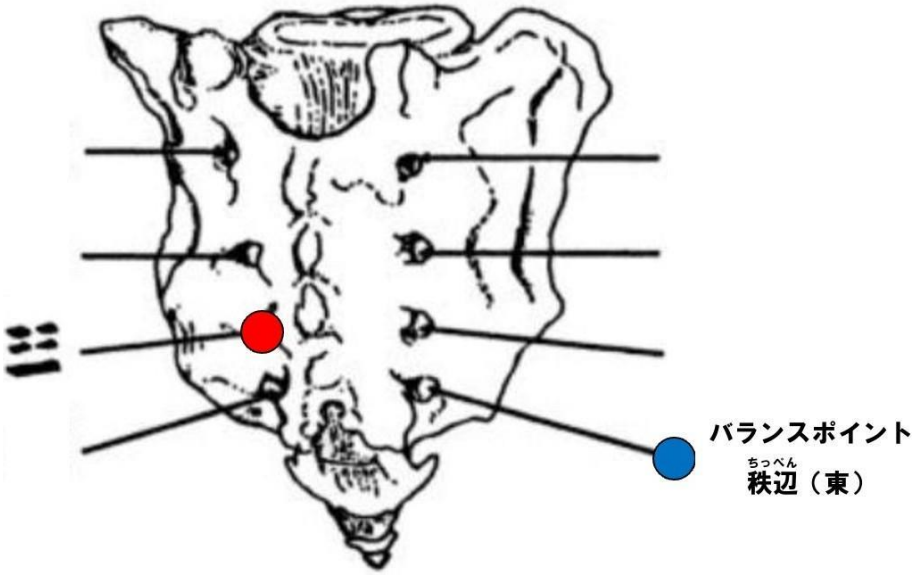
土踏まずの高いところの少し手前

バランスポイント：P 6 内關（ないかん）



仙骨八仙洞（はっせんどう）・衝脈（しょうみゃく）

八卦（震）（はっけ）（しん）自然界（雷）



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

帯脈について

別名：横方向に流れる經脈

ハーモニックキーノート：つなげる、喜ばしい

八脈交会穴：足臨泣

ツボの位置：足の甲側で、小指と薬指の付け根間を足首方向に 2～3cm 辿っていったところ、骨と骨の間

【効用】

1、肝經と胆經を調和する

〈適應する症状〉一時的な頭痛

2、生殖器の温熱を取り除く

〈適應する症状〉排尿時の灼熱感、排尿困難

3、足の諸經絡の周りを一周し、その巡りに影響を与える

〈適應する症状〉足の冷え、足の血色が悪い（紫色）、足の外側の筋肉の緊張

4、胃經の氣の巡りに作用する

〈適應する症状〉足の筋力低下、重症の場合、筋萎縮

5、ウエストを流れるため、臀部に作用する

〈適應する症状〉股關節痛

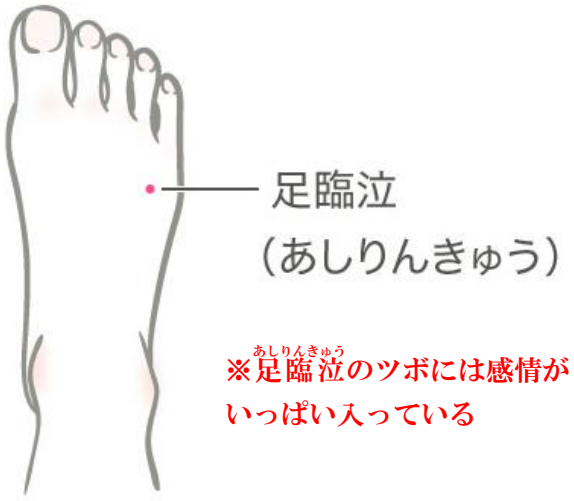
6、足臨泣(GB 41)は、フラストレーションが溜まっている状態や、壁を打ち破りたいが、どうしても抜け出せないような状態を改善する。感情の表現をオープンにすることで、溜まった感情を解放して別の形で捉えなおせるようにし、前進を促す

〈適應する症状〉理想ばかり高く行動しない、優柔不斷、日和見主義、低い自尊心

帯脈についての覺え書き

- 帯脈は、季肋部（わき腹）の下から始まり、ウエストを一周する
- 帯脈は、肝經と胆經を調和する
- 帯脈は、重力ベルトであり、不死に通じています
- 帯脈は、骨盤と首を胆經につなげます

オープニングポイント：GB 41 足臨泣（あしりんきゅう）



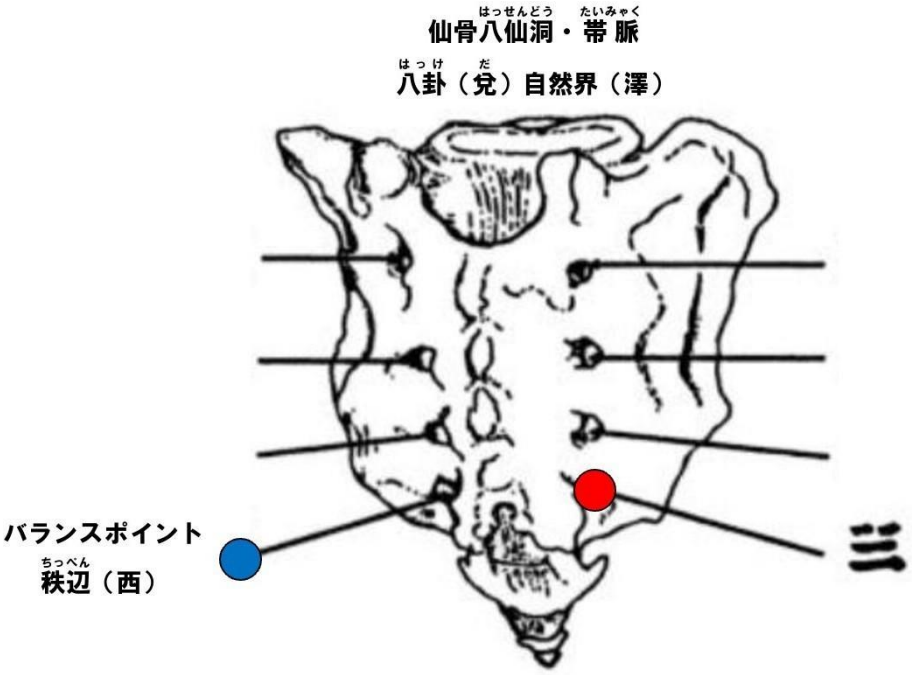
※足臨泣（あしりんきゅう）のツボには感情がいっぱい入っている

バランスポイント：SJ 5 外關（がいかん）



仙骨八仙洞（はっせんどう）・帯脈（たいみゃく）

八卦（はっけ）（兌（だ））自然界（澤）



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

陽蹻脈について

別名：膀胱経の別脈

ハーモニックキーノート：上昇する、生命を吹き込む

八脈交会穴：申脈

ツボの位置：外くるぶしの、すぐ下のくぼんだとこころ

【効用】

1、頭から侵入する外風

〈適應する症状〉顔面神経麻痺、脳卒中（中風）、ひどい目まい、失語症(内風)

2、外風を發散させ、風熱と風寒の外的侵襲を取り除く

〈適應する症状〉くしゃみ、頭痛、肩こり、鼻水、浮脈

3、足の膀胱経沿いの痛みを伴う腰痛に効果がある

〈適應する症状〉捻挫や 風 の侵入による急性の痛み。ただし、カラダの外側だけの痛みのみに用いる

4、陽蹻脈は、股關節痛や疲れ目に非常に効果がある

〈適應する症状〉陽蹻脈は、股關節にある居髎（GB 29）を通ります。そのため、陽蹻脈のオープニングポイントとバランスポイントを使用すると、股關節を離れた場所から癒すことが出來ます。目の病氣、特に視覺コンピューターストレス症候群（OCSS）にも有効です。

5、エネルギーをそれ以上取り入れられない時、細胞情報を同化、統合できないとき、人生の變化や心理スピリチュアル的な進化によって神經系に過剰な負担がかかっている時に用いる

〈適應する症状〉重度の神經緊張、頭痛、精神的に圧倒されている、情動麻痺、考えすぎ、過剰なコントロール欲、神經がすり減った状態

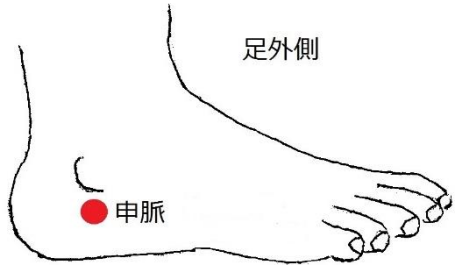
6、脊柱エネルギーの新たな DNA/RNA 構造を再編することによって生じる、エネルギーフィールドの左右のアンバランスを改善する

〈適應する症状〉エネルギーが左右で違うように感じる、斜面を歩いているような感覺、實際よりも床が低く感じる、エネルギーの反動を感じる

陽蹻脈についての覺え書き

- 陽蹻脈は、申脈から始まり、肩の上を通り首に沿って上行し、口に出て、内眼角(目がしら)に入る
- 陽蹻脈は、外ももを通り、風池で胆經と交わる
- 陽蹻脈が乱れると、より多くの陽が熱と化す

オープニングポイント：UB 62 申脈（しんみゃく）

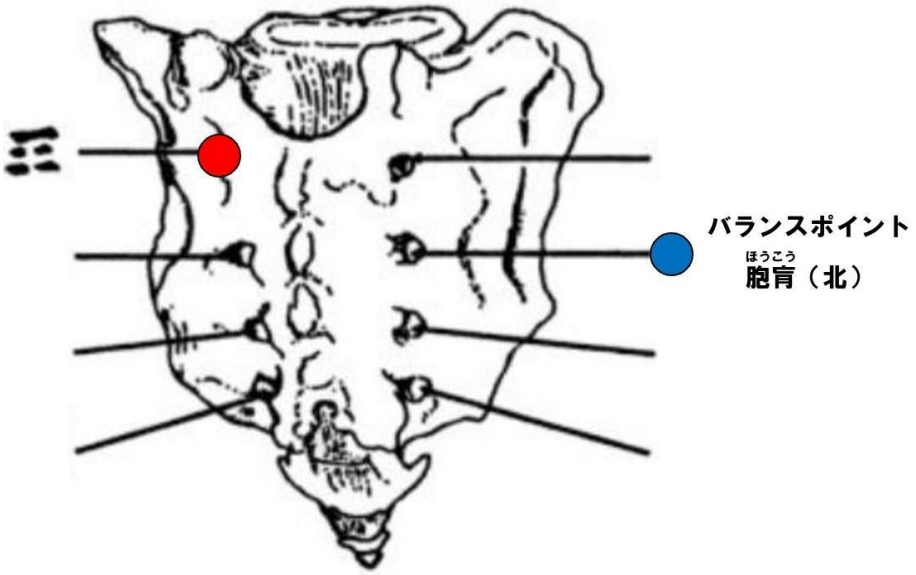


バランスポイント：SI 3 後谿（こうけい）



仙骨八仙洞（はっせんどう）・陽蹻脈（ようきょうみゃく）

八卦（はっけ）（艮（ごん））自然界（山）



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

陰蹻脈について

別名：腎経の別脈

ハーモニックキーノート：上昇する、輝かせる、天の意志に沿う

八脈交会穴：照海

ツボの位置：足の内くるぶしの真下のくぼんだところ

【効用】

1、萎縮症候群のうち、特定のケースに使用する

〈適應する症状〉脚の内側が弛緩し、脚の外側の筋肉がこわばることによって部分的に引っ張られ、つま先が内向きになっている

2、女性の下焦の過剰な高ぶり（實証）に使用する

〈適應する症状〉腹部膨滿感、腹部腫瘤、しこり、筋腫、難産、胎盤遺殘

3、陰蹻脈と陽蹻脈は、左右のバランスを整えることが出来る、脊柱エネルギーの新たな DNA/RNA 構造を再編することによって生じる、エネルギーフィールドの左右のアンバランスを改善する

〈適應する症状〉カラダの左右の構造的バランスのくずれ、エネルギーが左右で違うように感じる、斜面を歩いているような感覺、實際よりも床が低く感じる、エネルギーの反動を感じる

4、胃經の氣の循環に影響を与える

〈適應する症状〉足の筋力低下、重症の場合、筋萎縮

5、睡眠の乱れに使用する、目の病氣、特に視覺コンピューターストレス症候群（OCSS）に使用する、視覺やビジョンが開くのを調整する

〈適應する症状〉不眠、過眠ドライアイ、視力低下、パソコン作業中のイライラやかすみ目、視覺のゆがみと改善、意識の拡大と右腦知覺、目の奥の痛み

6、根底にある見捨てられ感によって生じる恐れを鎭める

〈適應する症状〉うつ、内向性、不眠、分離感

陰蹻脈についての覺え書き

- 陰蹻脈は、腎經の別脈である
- 陰蹻脈は、「照海」から始まり、下肢の内側を進み、外陰部を通る。
- 陰蹻脈は、喉を通り、目に至り、「睛明」で終わる
- 陰蹻脈は、腎の精と津液を目に運び、新しいコードと新しいビジョンをつなげる

オープニングポイント：KID 6 照海（しょうかい）

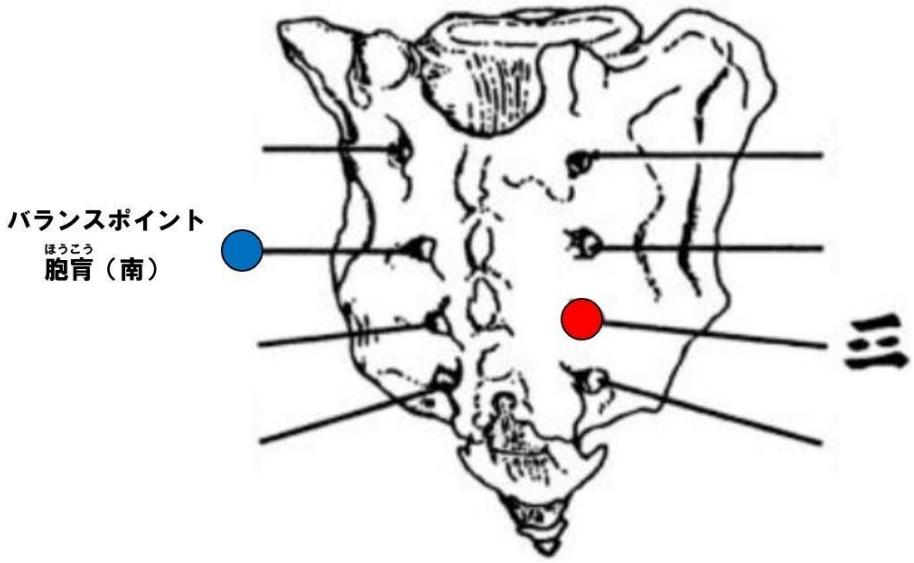


バランスポイント：LU 7 列缺（れっけつ）



仙骨八仙洞（はっせんどう）・陰蹻脈（いんきょうみゃく）

八卦（離）（はっけ り）自然界（火）



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

陰維脈について

別名：諸陰の会

ハーモニックキーノート：ネットワーク化する、内側に入る

八脈交会穴：内關

ツボの位置：手のひらを上にして、手首の曲がりじわから指幅３本上がったところ

【効用】

1、すべての陰經をつなげる。血虚、陰虚、特に心理的症状を呈すものに用いる

〈適應する症状〉不眠、不安、精神的な落ち着きのなさ

2、血を補い、心臓を強化する

〈適應する症状〉胸の痛み、胸が詰まるような感覚、胸の圧迫感や締め付け、不安、心勞、うつ、悪夢

3、血虚による頭痛に効果的

〈適應する症状〉首の後ろや後頭部の痛み

4、無条件の神意にハートを開く、ハートチャクラを開く

内關（P 6）は、内なる自己への扉を開き、新しい自分への一歩を踏み出すことへの不安を和らげます。内なる自己と外なる自己をつなげます。心を閉ざしている場合や、虐待に対するサバイバルのメカニズムとしてよく起こる感情の解離に対して、心を開くよう促します

〈適應する症状〉不安、怒り、退屈、グラウンディング不足、カラダの中にいない感覚

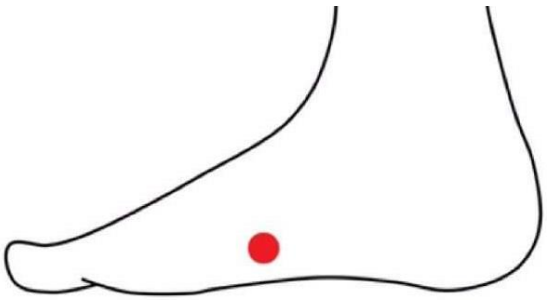
陰維脈についての覺え書き

・陰維脈は、築賓（KID 9）から始まり、胸部を通り、喉に入る
・陰維脈は、すべての陰經をまとめる
・陰維脈は、足の陰經（腎經、肝經、脾經）をまとめて、腹部、胸部につなげる

オープニングポイント：P 6 内関（ないかん）



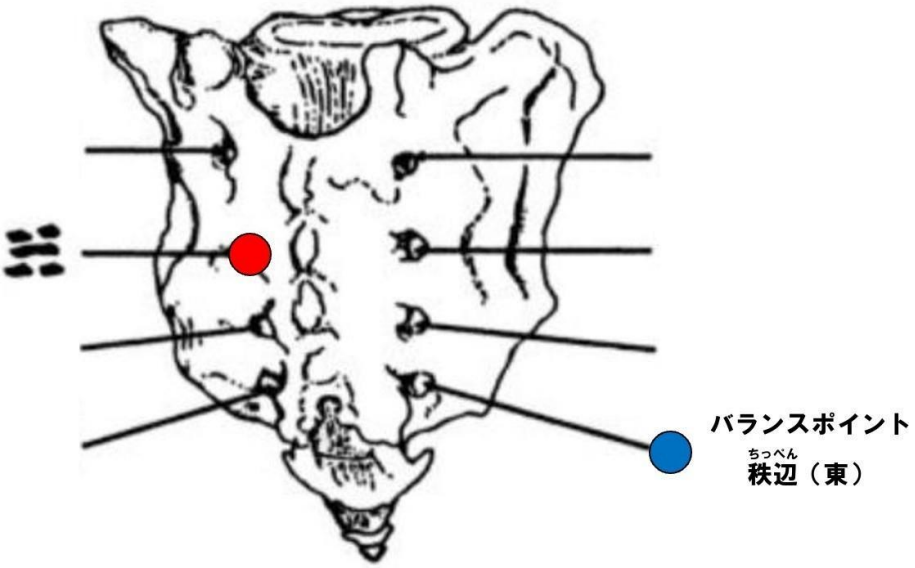
バランスポイント：SP 4 公孫（こうそん）



土踏まずの高いところの少し手前

仙骨八仙洞（はっせんどう）・陰維脈（いんいみゃく）

八卦（坎（かん））自然界（水）



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

陽維脈について

別名：諸陽の会

ハーモニックキーノート：ネットワーク化する、外側に出る

八脈交会穴：外關

ツボの位置：手首のシワより指２本分、肘のほうに下がった骨の間、横筋の中央より肘に向かって 4㎝ のところ、内關（P6）の反対側

【効用】

1、すべての陽經をつなげる。間欠熱に用いる

〈適應する症状〉寒感と熱感が交互にあらわれる症状

2、カラダの側面に作用する

〈適應する症状〉季肋部（みぞおち）の痛み、足外側の痛み、首側面の痛み

3、耳に作用し、肝の火の高ぶりによる耳の症状に用いる

〈適應する症状〉耳鳴り、難聴

4、感情のパターンとスピリチュアル的變容における小腸病の段階に作用する。

小腸病は、邪氣や有害なパターンが内側に入り込む直前の段階を指します。外關（SJ 5）は有害なパターンを取り除き、變容の道を浮かび上がらせます。肝で天命を聞き、ビジョンを見られるようにします

〈適應する症状〉無行動と優柔不斷の無限ループにとらわれているような感覚、内なる導きが聞こえない、または聞いていない、不要なものを手放すことが出來ないために新たな創造のエネルギーをもたらせない、手放すことに關する問題全般、失敗への恐れ

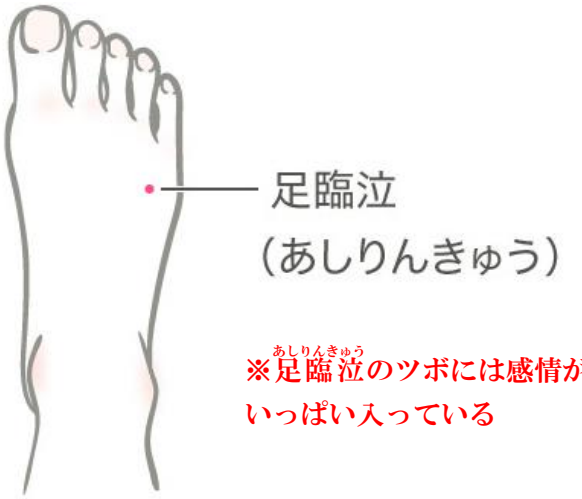
陽維脈についての覺え書き

- 陽維脈は胆經をなぞり、首の後ろを通り、督脈と連係する
- 陽維脈は、全陽經（膀胱經、胆經、胃經、大腸經、三焦經、小腸經）を督脈につなげる
- 陽維脈は、カラダ全體の外側をまとめる

オープニングポイント：SJ 5 外關（がいかん）



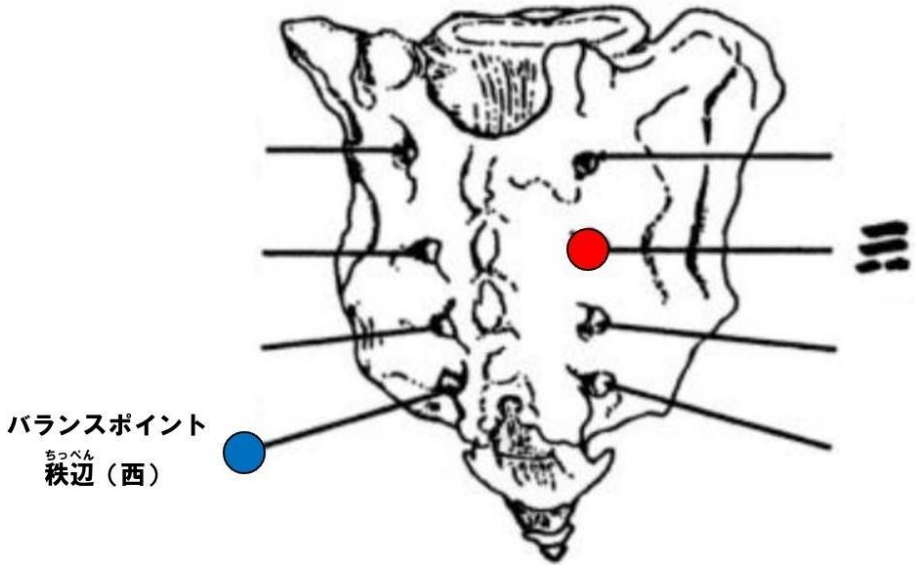
バランスポイント：GB 41 足臨泣（あしりんきゅう）



※足臨泣（あしりんきゅう）のツボには感情がいっぱい入っている

仙骨八仙洞（はっせんどう）・陽維脈（よういみゃく）

八卦（はっけ）（巽（そん））自然界（風）



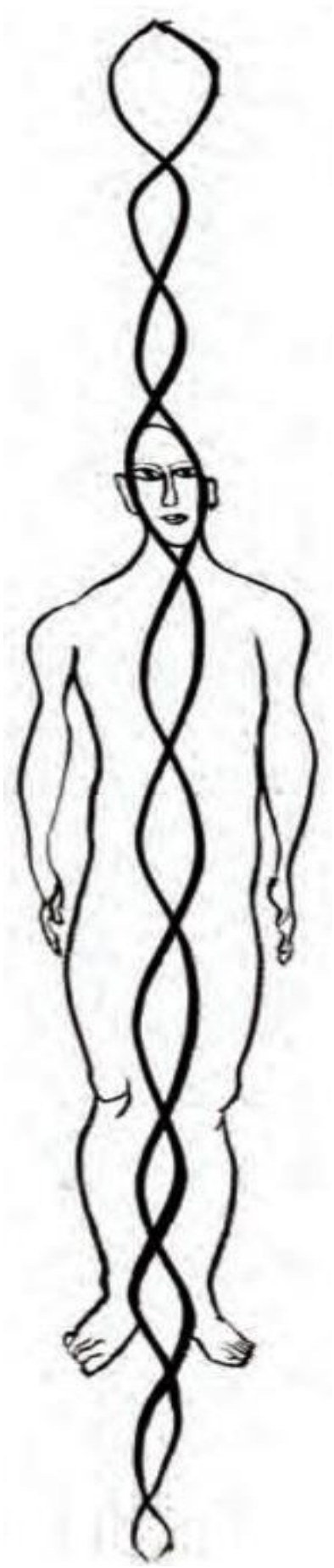
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

各奇經八脈に対應するチャクラ、ソルフェジオ音叉、惑星音叉

奇經八脈	チャクラ	奇經八脈の主な役割	ソルフェジオ音叉	惑星音叉
衝脈	8（雷）	靈の心、十二經の海	174Hz、285Hz	ニビル
督脈	7（天）	肉の心、陽經すべてを監督する	963Hz	天王星
陽蹻脈	6（山）	膀胱經の別ルート	852Hz	海王星
陽維脈	5（風）	陽經すべてを督脈に繋げる	741Hz	水星
陰蹻脈	4（火）	腎經の別ルート	639Hz	太陽、セドナ
帯脈	3（澤）	横方向に流れる經脈	528Hz	火星、木星
任脈	2（地）	陰經すべてを監督する	417Hz	冥王星、金星
陰維脈	1（水）	陰經すべてを任脈に繋げる	396Hz	土星

spirit	生命そのもの、音、炎、空氣、土、水で構成される
soul（靈の心）	spiritの表現器官、インスピレーションの原点
８つの原型細胞（潜在意識）	魂の設計圖、遺傳子の設計圖、今世の人生行路の予定表
奇經八脈（靈體）	原型細胞に最も近いもの、ＤＮＡの進化を司る
仙骨（幽體）	エネルギー・センター（チャクラ）を統括するもの
蝶形骨（肉の心）	松果體、腦下垂體、視床、視床下部を通して肉體を管理
十二經絡（肉體）	spirit、soulの宿る宇宙エネルギーの入れ籠

スピリット・ヒーリングはspirit、靈の心、潜在意識に直接働きかける。サイキック・ヒーリングは靈體～肉體まで働きかける。マグネティック・ヒーリングは肉體のみ働きかける。これがヒーリングの基本的原理になる。奇經八脈ヒーリングは８つの原型細胞に働きかけるという意味では、最もスピリット・ヒーリングに近いものになる。



古代靈シルバーバーチは「病氣治療も、靈的交信を通じての慰めも、さまざまな靈的現象も、究極的には人間が例外なく大靈（たいれい）の分靈（わけみたま）であること、すなわち今この時点においても靈的存在であるというメッセージに目を向けさせてはじめて意義があり、大靈（たいれい）から授かった靈的遺産を我がものとし、天命を成就するためには、ぜひともその理解が必要なのです」とヒーリングの意義を述べています。

そして、「攝理（せつり）が働かないことは絶対にありません。もしも働かないことがあるとしたら、大靈（たいれい）は大靈（たいれい）でなくなり、宇宙に調和もリズムも目的もなくなります。その大自然の攝理（せつり）の正確さと完璧さに全幅の信頼を置かないといけません」とも述べています。

靈が正常であれば肉體（にくたい）も健康です。靈に異常があれば、つまり靈と精神と身體（しんたい）との關係が一直線で結ばれていなければ、肉體（にくたい）も正常では有り得ません。この点をよく理解していただきたいのです。

こうした人間の本質的構造は、スピリチュアリズムを通して明らかにされた靈的眞理があってこそ解明された地上世界のスタンダードになるべき知識であり、こうした叡智が少しずつ普及されるに従い、地上世界の悲劇は自ずと減少していくでしょう。皆さんはこうした叡智を知れたことをここまで導いてくださった背後靈（SEPOUW）に感謝することです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

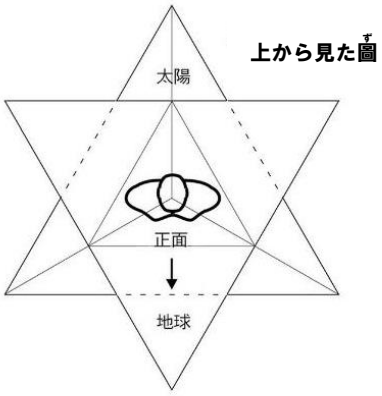
奇經八脈プロセス ver は「六芒星（マカバ）」を描くヒーリングである

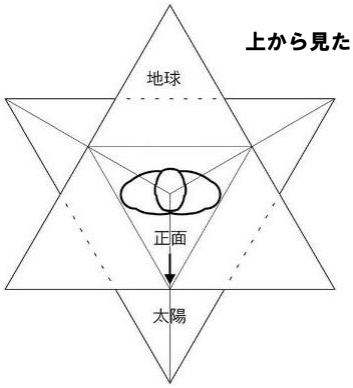


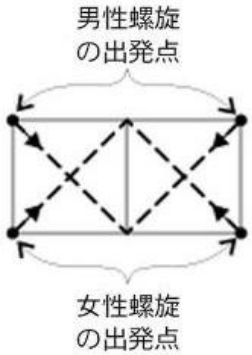
音叉セルフヒーリングでの奇經八脈のヒーリング法は「プロセス ver」「acutonics（アキュトニックス） ver」「五行 ver」の３パターンに分類されます。初級編では「オーム倍音セット」と「528Hz 倍音セット」による「プロセス ver」を扱うのが中心になります。

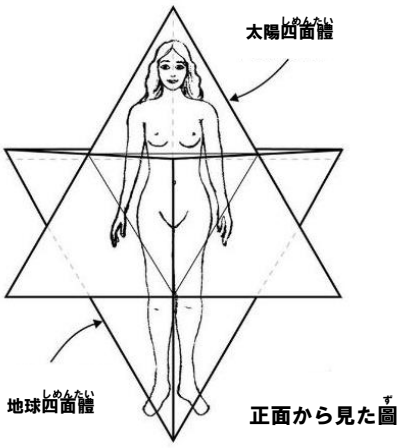
奇經八脈ヒーリングのプロセス ver は「ソルフェジオ音叉」で八脈交会穴（こうえけつ）を「８×８＝６４回」刺激する方法である「神聖（しんせい）ソルフェジオ・プロセス」という奥義を音叉セルフヒーリング講座中級編で學びます。これは「オーム・フィボナッチ音叉」でも同様のヒーリングが出來る奇經八脈ヒーリングの奥義になります。

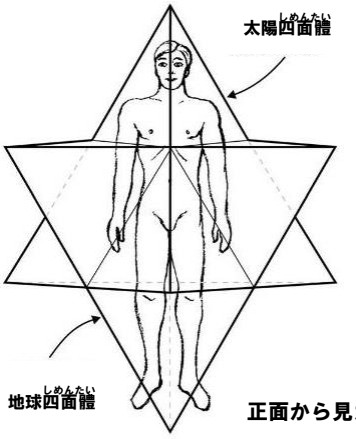
音叉セルフヒーリング初級編では「オーム倍音セット＋528Hz 倍音セット」で八脈交会穴（こうえけつ）を「８×４＝３２回」刺激する方法、「オーム倍音セット or 528Hz 倍音セット」で八脈交会穴（こうえけつ）を「８×２＝１６回」刺激する簡易型のパターンの２パターンがメインになります。

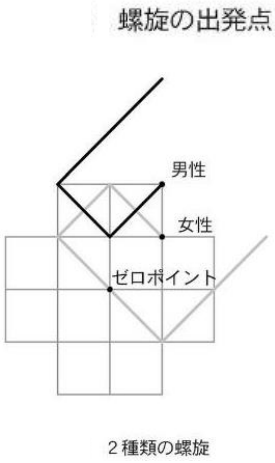












エネルギーの種類には「男性エネルギー（直線）」と「女性エネルギー（曲線）」というものが存在しており、この螺旋エネルギーが二身一體で働いています。この二身一體を統合させる方法が奇經八脈ヒーリング「プロセス ver」になります。

奇經八脈ヒーリング「プロセス ver」の基本原理は「六芒星」を描くことにあります。「プロセス ver」の手順は「逆三角形」、「正三角形」を描き、最終的に「マカバ」を描きます。マカバとは「二つの正四面體を組み合わせた立體（星形八面體）」です。

マカバとは古代から伝わる「神聖幾何學」のシンボルであり、別名「光の乗り物」とも呼ばれ、魂と身體を統合し、高次元の意識へ導く瞑想ツール、空間の浄化や波動調整のお守りとされています。エジプトのテクノロジーである神聖幾何學は奇經八脈と連携關係にあり、魂と身體を統合し、高次元の意識へ導く叡智だったのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

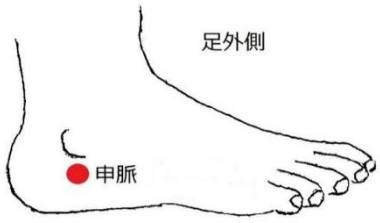
手　68.05Hz（ローオーム）　足　136.1Hz（オーム）				逆三角形（男性エネルギーの出發点）	
STEP	奇經八脈	交会穴の經穴	手足	チャクラバー	エネルギー層
1	督脈	後谿ー申脈	右手ー左足	7レギュラー、7ハーモニック	CHOAD體
2	任脈	列缺ー照海	左手ー右足	2レギュラー、2ハーモニック	EHTEL體
3	衝脈	公孫ー内關	右手ー左足	1ハーモニック、1オーバーハーモニック	HCIN體
4	帶脈	足臨泣ー外關	左手ー右足	3レギュラー、3ハーモニック	ASTLAL體
5	陽蹻脈	申脈ー後谿	右手ー左足	6レギュラー、6ハーモニック	KECI體
6	陰蹻脈	照海ー列缺	左手ー右足	4レギュラー、4ハーモニック	MENTAL體
7	陰維脈	内關ー公孫	右手ー左足	1レギュラー、1ハーモニック	AHANP體
8	陽維脈	外關ー足臨泣	左手ー右足	5レギュラー、5ハーモニック	CLSAL體

手　136.1Hz（オーム）　足　272.2Hz（ハイオーム）				逆三角形（女性エネルギーの出發点）	
STEP	奇經八脈	交会穴の經穴	手足	チャクラバー	エネルギー層
9	督脈	後谿ー申脈	左手ー右足	7レギュラー、7ハーモニック	CHOAD體
10	任脈	列缺ー照海	右手ー左足	2レギュラー、2ハーモニック	EHTEL體
11	衝脈	公孫ー内關	左手ー右足	1ハーモニック、1オーバーハーモニック	HCIN體
12	帶脈	足臨泣ー外關	右手ー左足	3レギュラー、3ハーモニック	ASTLAL體
13	陽蹻脈	申脈ー後谿	左手ー右足	6レギュラー、6ハーモニック	KECI體
14	陰蹻脈	照海ー列缺	右手ー左足	4レギュラー、4ハーモニック	MENTAL體
15	陰維脈	内關ー公孫	左手ー右足	1レギュラー、1ハーモニック	AHANP體
16	陽維脈	外關ー足臨泣	右手ー左足	5レギュラー、5ハーモニック	CLSAL體

1



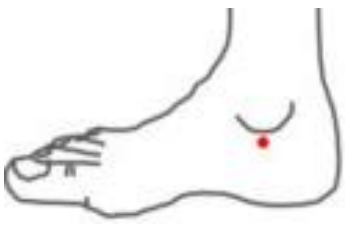
5



2



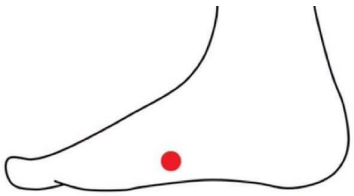
6



手　264Hz　足　132Hz				正三角形（男性エネルギーの出發点）	
STEP	奇經八脈	交会穴の經穴	手足	チャクラバー	エネルギー層
１７	督脈	後谿ー申脈	右手ー左足	７レギュラー、７ハーモニック	CHOAD 體
１８	任脈	列缺ー照海	左手ー右足	２レギュラー、２ハーモニック	EHTEL 體
１９	衝脈	公孫ー内關	右手ー左足	１ハーモニック、１オーバーハーモニック	HCIN 體
２０	帶脈	足臨泣ー外關	左手ー右足	３レギュラー、３ハーモニック	ASTLAL 體
２１	陽蹻脈	申脈ー後谿	右手ー左足	６レギュラー、６ハーモニック	KECI 體
２２	陰蹻脈	照海ー列缺	左手ー右足	４レギュラー、４ハーモニック	MENTAL 體
２３	陰維脈	内關ー公孫	右手ー左足	１レギュラー、１ハーモニック	AHANP 體
２４	陽維脈	外關ー足臨泣	左手ー右足	５レギュラー、５ハーモニック	CLSAL 體

手　528Hz　足　264Hz				正三角形（女性エネルギーの出發点）	
STEP	奇經八脈	交会穴の經穴	手足	チャクラバー	エネルギー層
２５	督脈	後谿ー申脈	左手ー右足	７レギュラー、７ハーモニック	CHOAD 體
２６	任脈	列缺ー照海	右手ー左足	２レギュラー、２ハーモニック	EHTEL 體
２７	衝脈	公孫ー内關	左手ー右足	１ハーモニック、１オーバーハーモニック	HCIN 體
２８	帶脈	足臨泣ー外關	右手ー左足	３レギュラー、３ハーモニック	ASTLAL 體
２９	陽蹻脈	申脈ー後谿	左手ー右足	６レギュラー、６ハーモニック	KECI 體
３０	陰蹻脈	照海ー列缺	右手ー左足	４レギュラー、４ハーモニック	MENTAL 體
３１	陰維脈	内關ー公孫	左手ー右足	１レギュラー、１ハーモニック	AHANP 體
３２	陽維脈	外關ー足臨泣	右手ー左足	５レギュラー、５ハーモニック	CLSAL 體

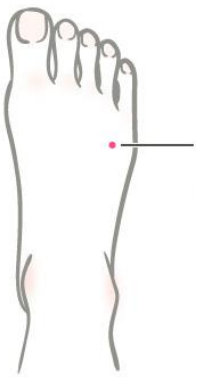
3



7



4



8



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

大靈（たいれい）の象徴としての北極星と、北極星を守護する北斗八星



ヒーリングの最大の目的とは、暗闇と無知の中で道を見失っている無数の人に、靈的眞理を知ることで得られる「導き」と「慰め」と「確信」をもたらすことです。地上世界でそれ以上に大切なことなどありません。

そして、奇經八脈は、サイキック・ヒーリングの最高峰として、その役割を担います



各奇經八脈は「エネルギー・センター」と対應(たいおう)しており、「エネルギー・センターに対應(たいおう)するソルフェジオ音叉」と「エネルギー・センターに対應(たいおう)する惑星音叉」を通して天球の音樂が８つの原型細胞に働きかけ、ＤＮＡを炎(ひかり)輝かせます。

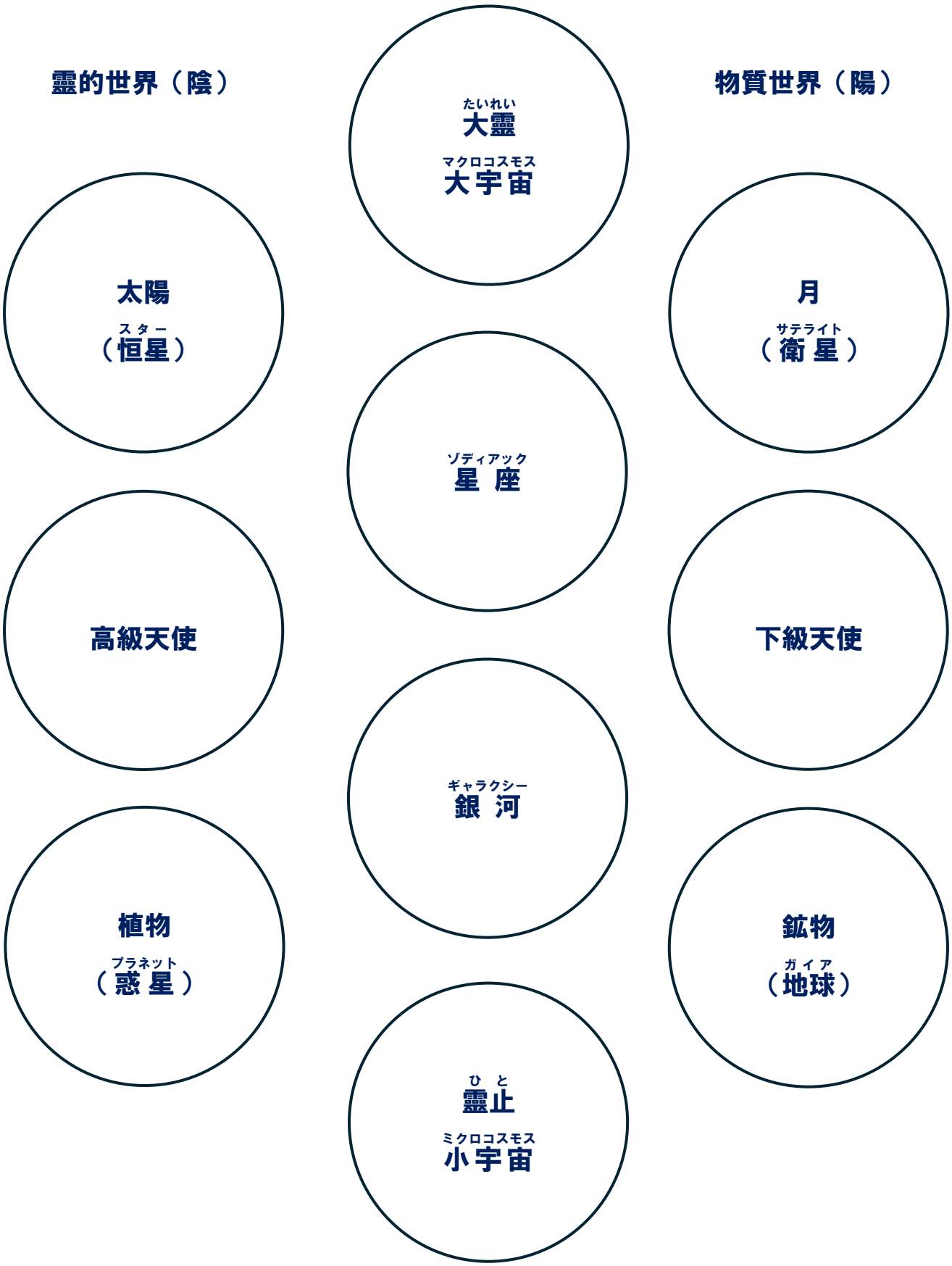
また、宇宙を司る８つの力を意味する八卦(はっけ)は、「北斗八星（※北斗七星に輔星(アルコル)を加える）」と照應(しょうおう)しており、奇經八脈のエネルギーを人體(じんたい)に吸収することで「北極星」からのエネルギーと結び合わせます。

星信仰の復活とは、奇經八脈を通して天球の音樂を地上で奏でることを意味していました

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【星信仰の復活に必要だった情報】





資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

一番古い中國の哲學者は老子であり、老子は「魂の奏でる音樂は、大いなる宇宙で奏でられる音樂の内にある」と記しました。また、儒家の始祖である孔子は、春秋時代の中國の思想家、哲學者であり、孔子の時代、古詩（『詩經』等）は、人の心（情緒）を豊かにする大切な教材の一つでした。

当時は、音樂が政治の場面においても重要な役割を持っていました。しかしそれ以上に孔子自身が音樂を愛し樂しんだことが知られています。音樂も文學と同じく人の情操、情緒や徳を育てる大切な教養であると感じていたのです。

また、孔子は星信仰の復活に關係する「北極星」と「北斗七星」を尊んでいます。「徳による政治は北極星に喩えられるだろう。天の中心にじっとして、諸々の星々はそれを共ぐる」といい、孔子にとって音樂は天に通じるものであり、礼に通じるものであり、政治に通じるものであり、人間の魂に通じるものだったのです。

莊子は中國・戰國時代の宋國の思想家、老子と同じく道教の始祖の一人です。中國古典『莊子』の著者とされている人物ですが、『太上助國救民総眞祕要』という書物には、「踏斗」と呼ばれる北斗七星の形に歩く技法が載っており、現在でも道教で使われています。

また、道教では天體としての「天」の存在において、太陽や太陰（月）よりも、天の中心・北極星、すなわち「太一」を尊び、これを道に仮託する場合があります。北極星を祀る者、もしくは、北極星を神格化したものを、道教では「天皇大帝」と呼びます。

安倍晴明を祀る「晴明神社」には以前、井戸の前に北斗七星が描かれていました。「太陽信仰である」と解釈されやすい神道ですが、新年最初の儀礼で、歴代の天皇は初日の出を拝まず、北斗七星を尊んだという記緑が殘っています。このように、古代では北極星と北斗八星が尊ばれていたのです。



現在、古今東西の宗教的思想の大半が「太陽信仰」か「月信仰」であり、クリスマスとイースターも元々は様々な宗教の「太陽信仰」をキリストの誕生、キリストの復活の日とした背景があります。

しかし、星信仰は歴史から消されてしまった状態であり、その名前さえ知らない人が沢山います。大宇宙と小宇宙は相關關係にありますが、太陽は「心」、月は「意識」、地球は「氣持ち」と相關關係にあり、星は「精神」と相關關係にあります。

太陽も月も星も、すべて「大靈」が生み出したものであり、宇宙と繋がり生きることは「自然」なことなのです。そして大靈を象徴していると考えられているのが古代では北極星だったのです。

星は「規則性」は、進化の法則の一環である「運行（自轉、公轉）」によって支配されており、その自轉、公轉の運行は規則性に従っており、古代、地上世界のあらゆる民族がそれを認識していました。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

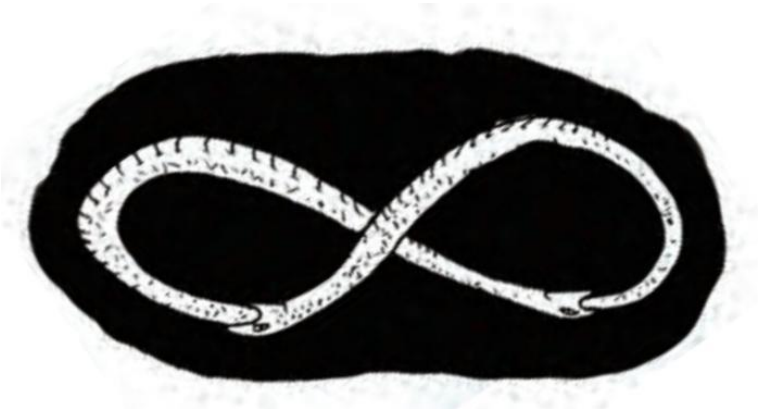
すべては自然法則に基づいており、生命あるものはすべて互いに影響を及ぼし合っています。あらゆる物質も、あらゆる天體も、互いに影響を及ぼし合っています。その根源の力は大靈の力です。大靈こそが全生命の始原です。

大靈とは全宇宙を創造した力、全生命を、太陽を、月を、星を、海を、山を、全宇宙を創造した力です。星のエネルギーには人體に影響を及ぼす放射性物質がありますし、人體に影響を及ぼせば靈的にも少なからず影響を及ぼすことになります。これが「靈的エネルギー」の本質です。

そして、全生命の始原により創造された自然界が人間に及ぼす影響力はかなり大きく、「太陽光線」、「海」、「大地（鉱物、植物）」にはヒーリング効果があり、これによって病が癒されることを「生命エネルギー」と呼びます。

靈的エネルギーと生命エネルギーを人體に取り入れ８つの原型細胞を刺激することで、人々は何のために生まれ、何のために生きるのか、自分自身とは何者なのか、さらなる靈的成長をするためには何が必要なのかを知るための「魂の開放のドラム」が始まるのです。

奇經八脈の叡智は、まさに北極星と北斗八星に繋がる叡智であり、生命の祝祭であり、魂の開放のドラムを意味し、「天命の九十始め」のための奥義であり、星信仰の復活による地球人類のＤＮＡの進化に必要なものだったのです。





第六章

三大奥義の深奥、水晶宮（しんおう　すいしょうきゅう）

妙見活法の最大の奥義、仙骨と蝶形骨

道教（タオ）の思想にあるCRYSTALS PALACE（クリスタル　パレス）

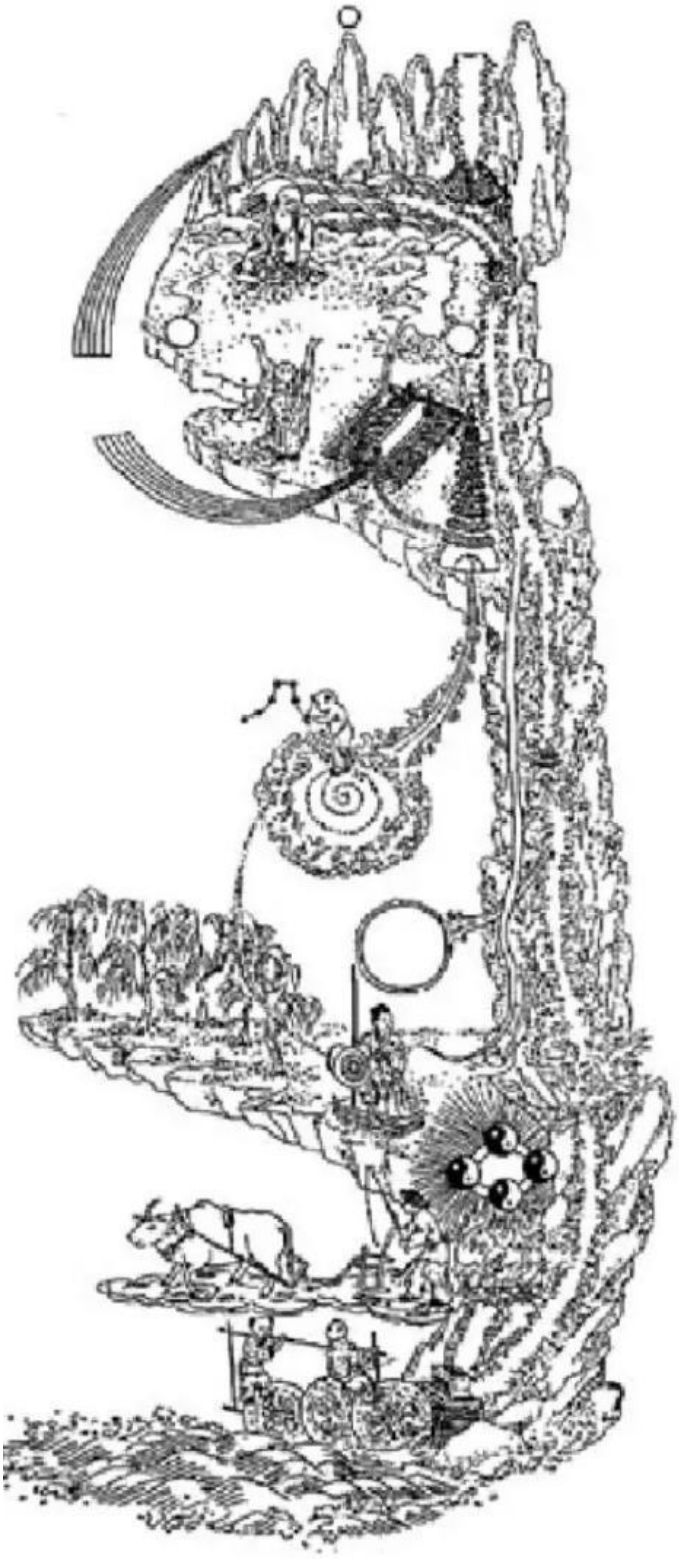
肉の心と肉體（DIKAG　にくたい）に作用する最大のメソッド

靈的新時代の扉を開く奥義のひとつを開示する



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

八卦、奇經八脈、仙骨と連動する「睛明」「四白」「魚腰」の經穴







水晶宮は、脳の眞ん中に存在しています。（中略）水晶宮は、松果體や視床、視床下部、腦下垂體のすべてを包み込んでいます。（中略）水晶宮は卵形のクリスタルのように感じられたり、水銀灯のように輝いて見えたりします。

（中略）ひとたび水晶宮が目覺めれば、まるで無數のクリスタルが光輝くように、それはあらゆる方向に照らし出されていきます。水晶宮はそれ自體で光を發し、外から光を受け取ることもできます。そして、わたし達の内奥に隱されてきた知恵と深遠な潜在能力を目覺めさせることも可能となるのです。

（中略）また水晶宮には「10 個の孔」があいており、そのそれぞれが「十天干」とつながっています。十天干は、中國の占星學では、大地に影響を与えているすべての天のエネルギーを司っているとされています。

『タオ人間醫學　～天地と融合するヒーリング・サイエンス』p.242～p.243

星信仰の復活の最後のブラックボックスが、道教の思想の、「水晶宮（CRYSTALS PALACE）」になり、この最後のブラックボックスは、当スクールしかメカニズムを解明させていない最大の秘匿情報になります。

CRYSTALS PALACEの鍵を握るのは『タオ人間醫學』にも記載されている「10 個の孔」であり、この「CRYSTALS PALACE に關係する 10 個の經穴」を解讀できた者が、過去には存在しません。

何故なら、CRYSTALS PALACEの 10 個の經穴の解讀には「奇經八脈」と「仙骨」のメカニズムの解明が必須条件だからであり、それが可能な時代が２１世紀の現代だったからです。これは靈界主導の地球人類救済計画のお陰で實現しました。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

道教では松果體は北極星と繋がり、視床と視床下部は北斗七星と繋がっているとされ、子宮、心臓、視床下部の三箇所が 23.5 度傾き、その方向が北極星に向けられています。

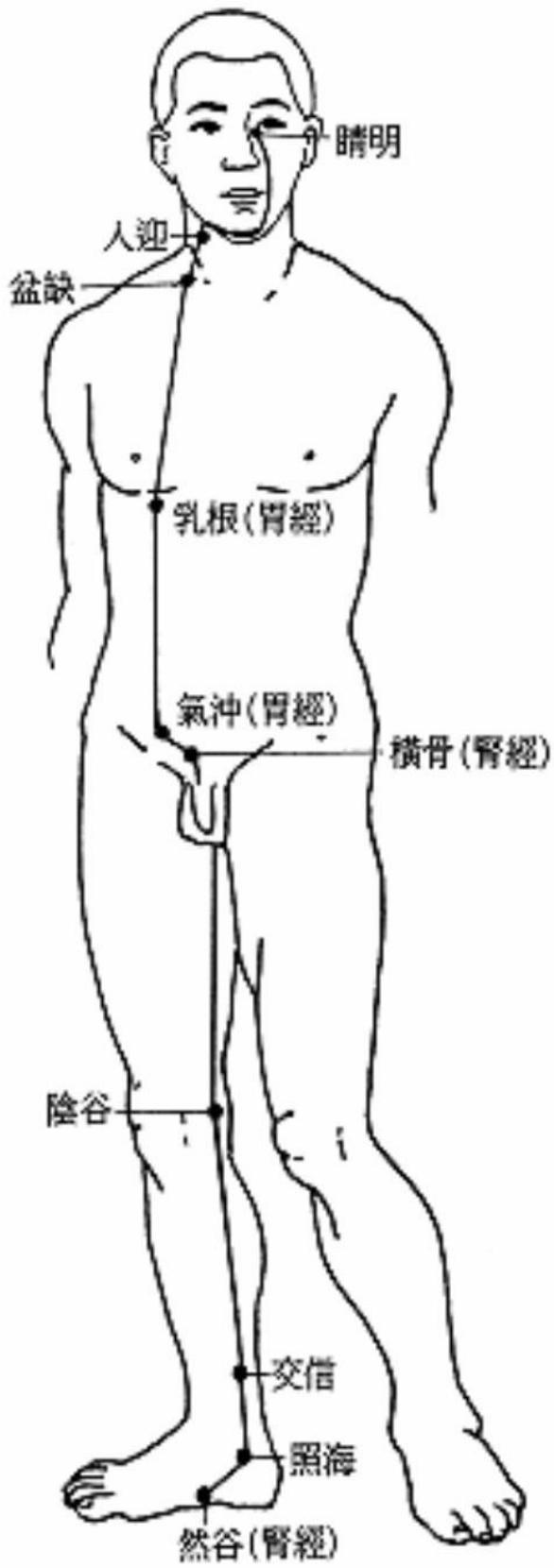
『タオ人間醫學』を讀み進めていくと、「蝶形骨（CRYSTALS PALACE）」が「北極星」、「仙骨八髎穴」が北斗八星と繋がるとされており、仙骨と蝶形骨は「不離一體」の關係性であることが分かります。

> 仙骨には「八仙洞」と呼ばれている八つの穴が開いています。そのうち、左の四つの穴は陽の側、右の四つが陰の側です。八つの穴は、宇宙を司る八つの力を意味する易の先天八卦の形をしています。仙骨の八つの穴は、北斗七星とも密接なつながりがあります。
>
> （訳注：北斗七星は、時によって輔星を加えて北斗八星と称することもある。日本ではキトラ古墳の天文圖に見える北斗八星が有名。タオでは、この八星と先天八卦との照應關係を想定しているわけである）
>
> 八つの穴はそれぞれ、北斗の各星のエネルギーを吸収し、それらを頭頂の百会に蓄えられた北極星からのエネルギーと結び合わせるのです。
>
> 『タオ人間醫學　～天地と融合するヒーリング・サイエンス』p.222～p.223

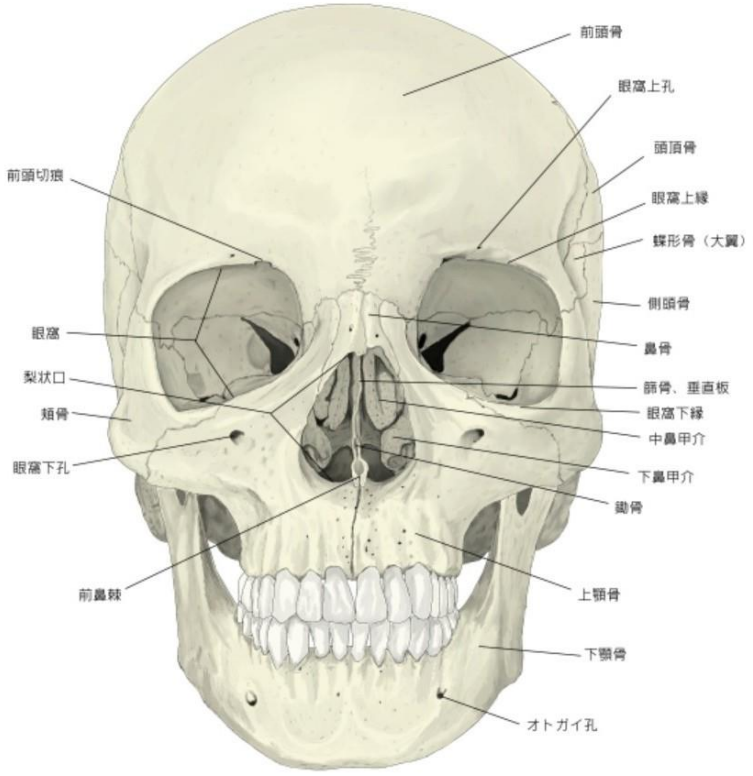
この北極星と北斗八星、蝶形骨と仙骨の失われたミッシングリンクを繋ぐ經穴のひとつは「陰蹻脈」の經穴である「睛明」であり、陰蹻脈のルートは子宮、心臓、視床下部の三箇所のルートを巡り、睛明を終点にしています。

他に耳ツボの「神門」の經穴も仙骨と繋がり、「玉枕」と「次髎」の經穴も「頭蓋仙骨療法」で使う經穴でもありますが、水晶宮一番重要性の高い經穴は「睛明」になります。

仙骨八髎穴と蝶形骨を繋ぐ、陰蹻脈の睛明



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

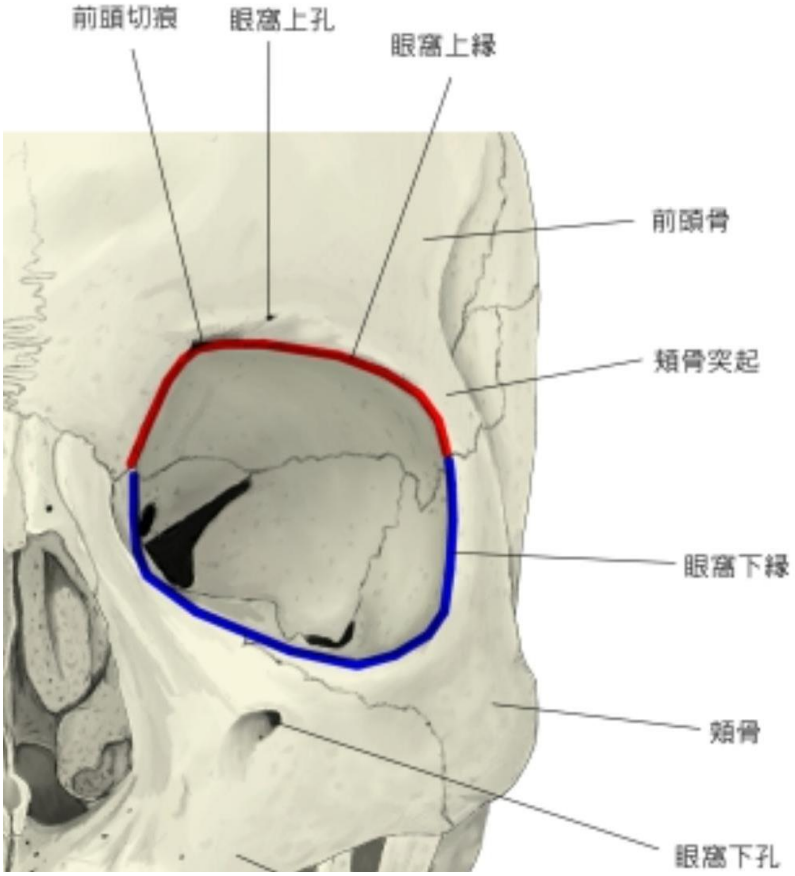


なぜ睛明が水晶宮（CRYSTALS PALACE）の鍵を握るのか？

道教でいう「水晶宮（CRYSTALS PALACE）」、すなわち蝶形骨の上にある松果體、腦下垂體、視床、視床下部のエリアは、解剖學的に**「眼窩（目の穴）の眞奥」**に位置しています。

陰蹻脈の終点としての睛明、仙骨から蝶形骨へのダイレクトルート

陰蹻脈は足の「照海」から始まり、腹部、胸部、咽喉を經て、最終的に**「睛明」**に到達します。睛明は、**陰蹻脈・陽蹻脈・膀胱經・胃經・小腸經の５つの脈が交わる「超重要交差点（五脈の会）」**です。睛明から入ったエネルギーは、眼窩の奥にある**「上眼窩裂（蝶形骨の孔）」**および**「視神經管（蝶形骨の孔）」**をダイレクトに通過し、腦下垂體や視床下部（クリスタルパレス）に突き刺さります。つまり、睛明を刺激することは、**仙骨で集めたエネルギーを心臓（神）を經由させて、蝶形骨の内部に直接「光」として射入するトリガー（引き金）**そのものになります。

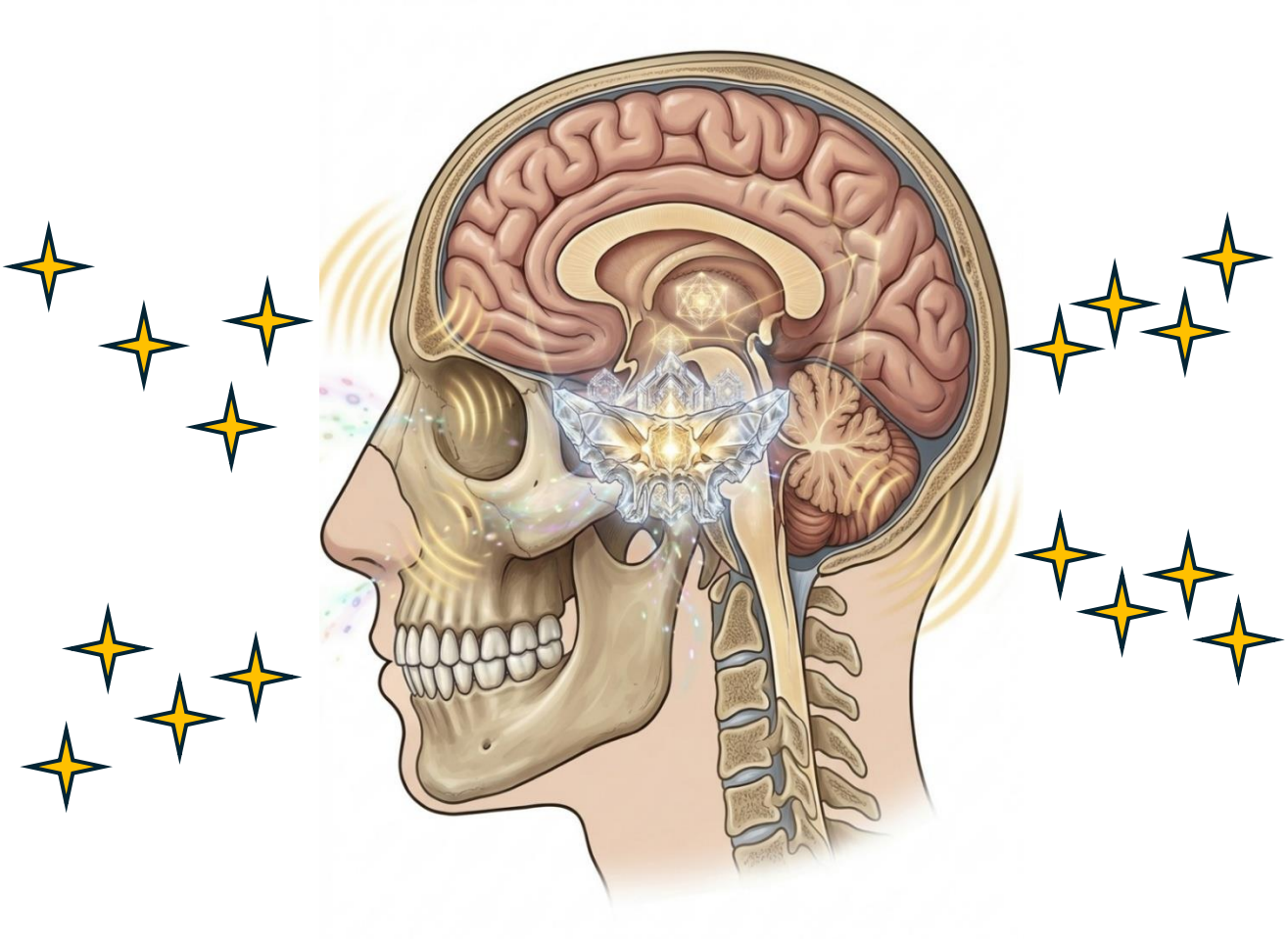


CRYSTALS PALACEヒーリングは、奇経八脈の「オープニング・ポイント」と「バランス・ポイント」の考え方のように「晴明」をオープニングポイントにするか、バランスポイントにするかで刺激するラインが變わります。

晴明の經穴は「**眼窩の眞奥**」を刺激するため必ず使います。この「**眼窩の眞奥（晴明）**」と合わせる經穴が「**眼窩下孔（※四白の經穴）**」と「**眼窩上孔（※魚腰の經穴）**」になり、合計「**６つの孔（三対の陰陽対比）**」が「**易經の六爻**」を表し、６４のＤＮＡコドンにアクセスする「**物理的キーボード**」になります。

「**晴明×四白（督脈、任脈）**」「**晴明×魚腰（帯脈、衝脈）**」「**四白×晴明（陽蹻脈、陰蹻脈）**」「**魚腰×晴明（陰維脈、陽維脈）**」の組み合わせの解明により、道教の思想の水晶宮の本質が「地球人類の靈性進化のためのもの」であることが明らかになりました。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



中山康直が提唱する「星信仰の復活」と「CRYSTALS PALACE」の關係性は、一言で言えば「宇宙の記憶を地球へ呼び戻し、人間の意識を多次元へと開くための『送受振機』としての關係」です。中山康直の語る「星信仰」は、単に夜空の星を崇めることではなく、「地球人もかつては宇宙のネットワークの一部であった」という記憶を思い出すことを指します。

蝶形骨に、カンナビノイド、星々の音、倍音、麻炭宝珠が合わさる時、スピリチュアルな視点では「宇宙の歴史や星々のエネルギーをそのまま保存できる最高峰の記憶結晶」であるCRYSTALS PALACEが輝き、眠っていた「星の遺傳子」が目覚め、ＤＮＡの進化が始まり、結果として「星信仰の復活」が精神的、身體的に達成されるというメカニズムです。

八卦、奇經八脈、仙骨、蝶形骨という「三大奥義のミッシングリンク」

八卦の圖	奇經八脈	仙骨	蝶形骨
 乾 けん	督脈 後谿、申脈	左下髎、右胞肓	右睛明、左四白
 坤 こん	任脈 列缺、照海	右上髎、左胞肓	左睛明、右四白
 震 しん	衝脈 公孫、内關	左中髎、右秩辺	右睛明、左魚腰
 兌 だ	帯脈 足臨泣、外關	右下髎、左秩辺	左睛明、右魚腰
 艮 ごん	陽蹻脈 申脈、後谿	左上髎、右胞肓	左四白、右睛明
 離 り	陰蹻脈 照海、列缺	右中髎、左胞肓	右四白、左睛明
 坎 かん	陰維脈 内關、公孫	左次髎、右秩辺	左魚腰、右睛明
 巽 そん	陽維脈 外關、足臨泣	右次髎、左秩辺	右魚腰、左睛明

このミッシングリンクの最大のポイントは「仙骨と蝶形骨」が「対」になっていること

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

十天干と連動するための殘り４つの孔「神門」「印堂」「上星」



しかし、６つの孔だけでは水晶宮の秘密は解明されません。『タオ人間醫學』で水晶宮には「10 個の孔」があいており、そのそれぞれが「十天干」とつながり、十天干は中國の占星學では、大地に影響を与えているすべての天のエネルギーを司っているとされています。なので、殘り４つの孔が、どの經穴なのかを判明させなくてはなりません。

これは結論から言ってしまえば、耳ツボの「神門」で２つの孔、「印堂」と「上星」の經穴の２つの孔を足して「10 個の孔」になり、CRYSTALS PALACEヒーリングでアプローチする經穴が決定します。これらが道教の思想の十天干につながる 10 個の孔なのです。

これで「奇經八脈」「仙骨」「蝶形骨」という人體の祕奥義が明かされ、「天球の音樂」「大麻」「クリスタル」という天體の祕奥義と融合させることで星信仰の復活が完成します。

水晶宮は「松果體、腦下垂體、視床、視床下部」のすべてを包み込み、知覺、運動神經線維と神經組織が織り交ざり、密集したネットワークを形成し、肉體の管理、コントロールを司る中樞であり、肉體の健康にとって最も重要な箇所になります。

人間の、靈の心が生まれる前に決めてきた魂の設計圖は「８つの原型細胞（潜在意識）」に記憶されたスイッチを押されるのを待っています。しかしスイッチが押されないまま地上人生を終える人間があまりにも多すぎるのが問題です。

眠っているスイッチを押すには、靈界の靈者が地上の人間を通して働きかける「スピリット・ヒーリング」ないし、スイッチを押せる可能性が高いのが、「奇經八脈の８つの交会穴（靈體）」→「仙骨八髎穴（幽體）」→「蝶形骨（肉の心）」の三大奥義のヒーリングになります。

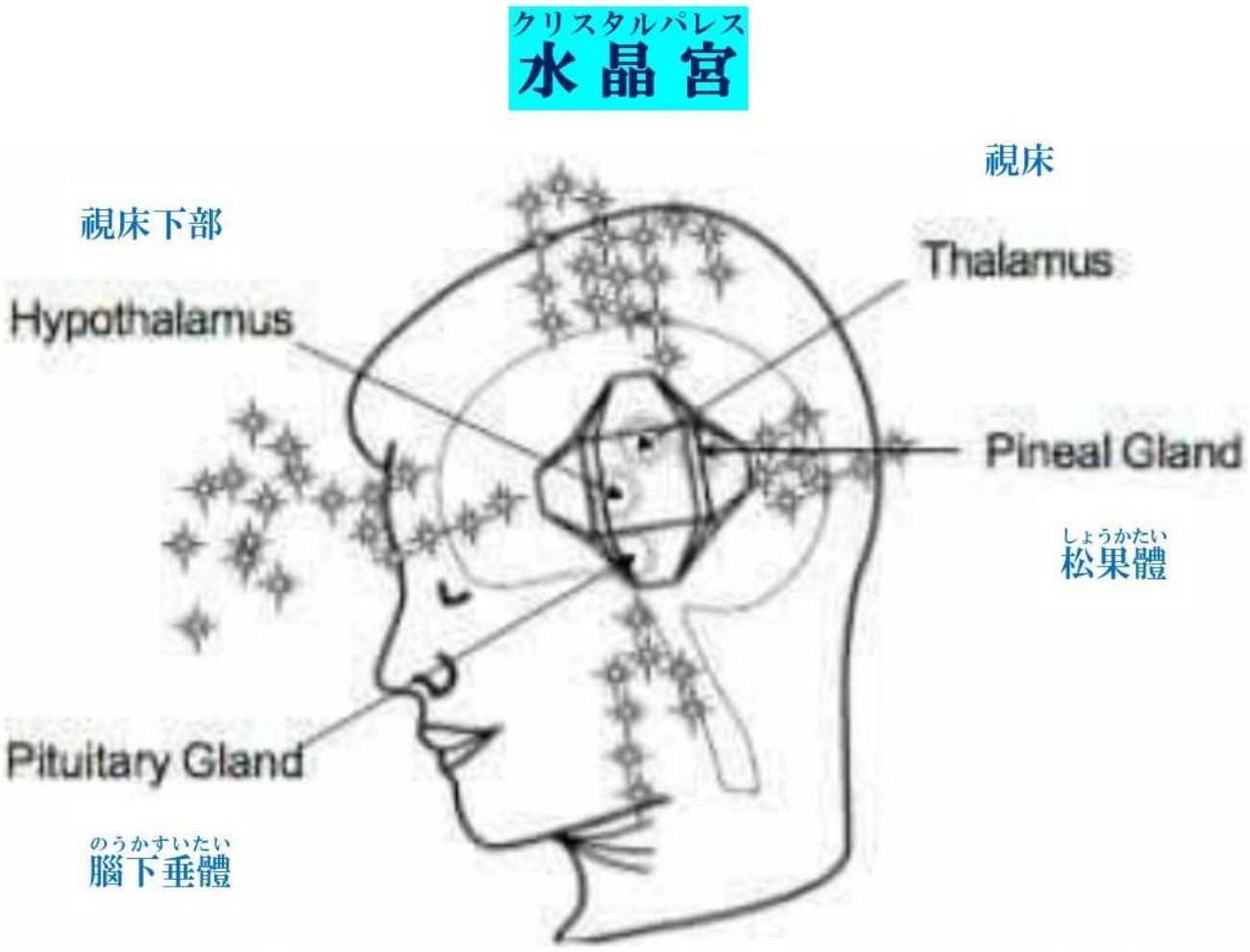
スピリット・ヒーリングのネルギーの流れは「great spirit」→「spirit」→「soul（靈の心）」→「８つの原型細胞（潜在意識）」の順番でエネルギーが流れ、サイキック・ヒーリングは「奇經八脈の８つの交会穴（靈體）」→「仙骨八髎穴（幽體）」→「蝶形骨（肉の心）」→「十二經絡の原穴（肉體）」の順番でエネルギーが流れています。

音叉ヒーリングは基本的に「マグネティック・ヒーリング」の分野ですが、星信仰の復活というテーマである「天球の音樂」、「倍音」、「大麻」、「クリスタル」、「三大奥義（奇經八脈、仙骨、蝶形骨）」を扱うことで、地上世界で最もスピリチュアル・ヒーリングに近いレベルのサイキック・ヒーリングを行うことが可能になります。

しかし、音叉セルフヒーリングの初級編のサウンドツールでは、奥義を本当の意味で扱いこなすことは出來ません。何故なら、中級編、上級編のサウンドツールがどうしても三大奥義の眞価を發揮するためには必要になるからです。しかし、それでも疑似的に靈的覺醒の體驗をすることは可能であり、毎日のセルフヒーリングとして欠かしてはなりません。

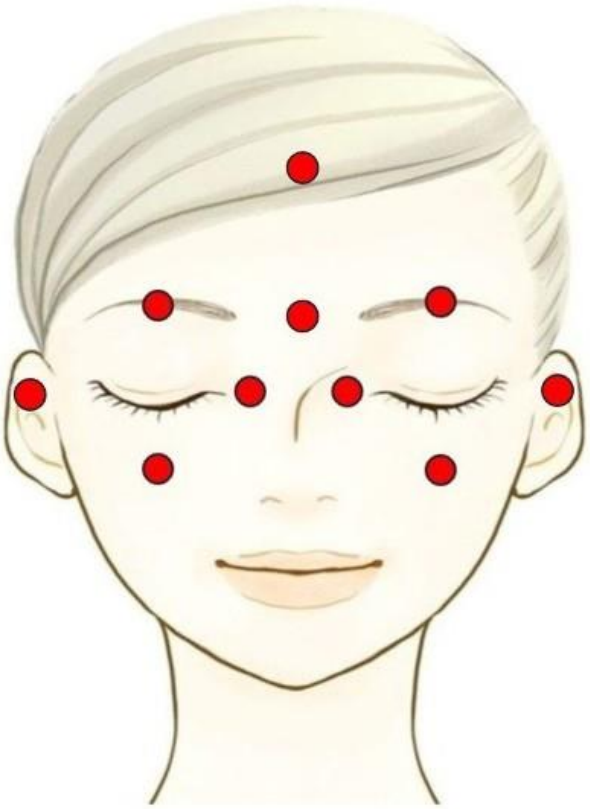
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

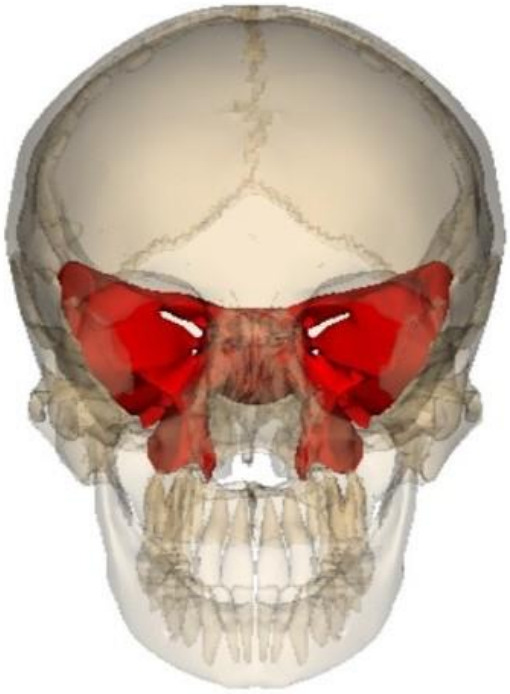
CRYSTALS PALACE（クリスタル パレス）を刺激する方法、手順



水晶宮（CRYSTALS PALACE）を活性化させるためには、「**神門**」「**印堂**」「**上星**」の經穴を刺激し、その上で「蝶形骨」の經穴である「**睛明（眼窩の眞奥）**」をオープニング・ポイントおよびバランス・ポイントに選んだ上で「**四白（眼窩下孔）**」と「**魚腰（眼窩上孔）**」を「八卦の順番に従って刺激していく」ことが基本になります。

その際に最重要になるのが、各種エナジーバーの「**音階**」の組み合わせ、音叉の「**基音**」と「**音程**」の組み合わせです。この部分が奇經八脈、仙骨、蝶形骨の三大奥義が眞価を發揮する「**最重要ポイント**」になります。そして「**倍音**」もセルフヒーリングに取り入れることで「**音叉セルフヒーリングの理論が完成**」します。

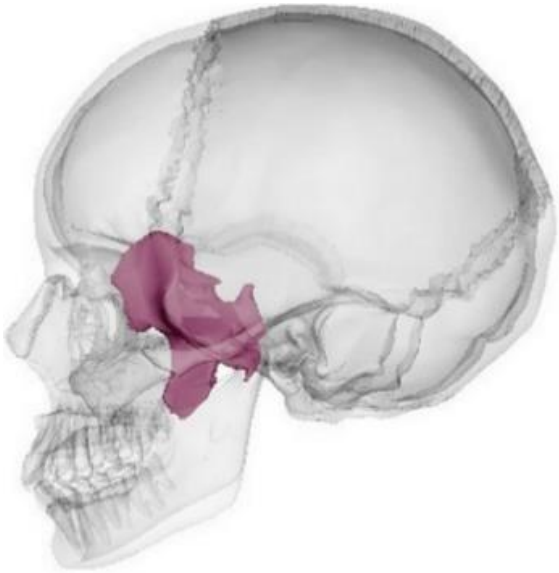




神門のツボの位置

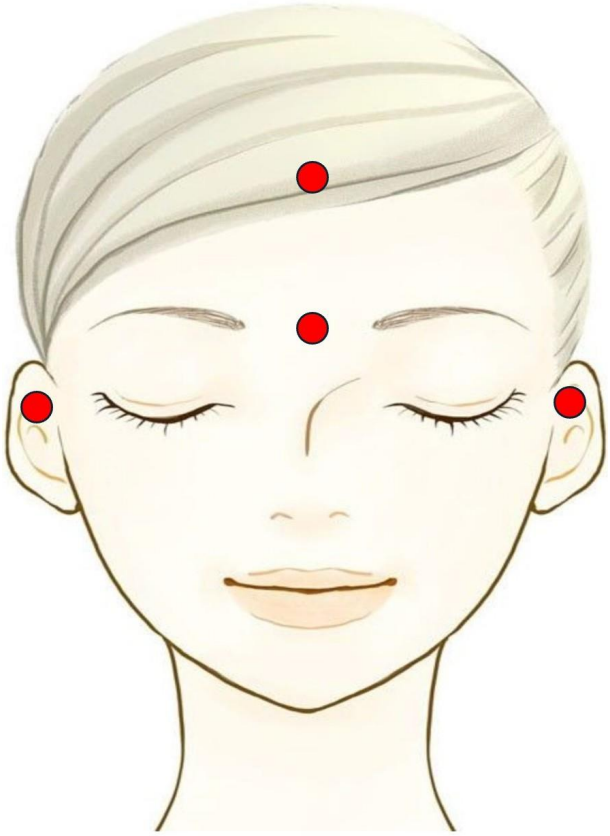
耳の上部にあるＹ字形の軟骨のくぼみの間にあります。





耳ツボを刺激する「神門メソッド」、別名「自律神経調整メソッド」は、仙骨調整を安全にやる方法であり、神門は蝶形骨を通して仙骨を刺激する経穴のひとつです。これが仙骨と蝶形骨を繋げる門のひとつであるのは間違いありません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



「神門」「印堂」「上星」の経穴は「松果體、腦梁」の活性化、「睛明」「四白」「魚腰」の経穴は「腦下垂體、視床、視床下部」の活性化の意味があり、松果體という器官は『シルバーバーチの靈訓』でも重要視されています。

> いにしえの賢人が指摘している“第３の目”とか“太陽神經叢”などを使用することもあります。そこが靈と精神と肉體の三者が合一する場なのです。（中略）そこから（ヒーラーのエネルギーが）患者の松果體ないしは太陽神經叢を通って體内に流れ込みます。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（六）』p.39～p.40

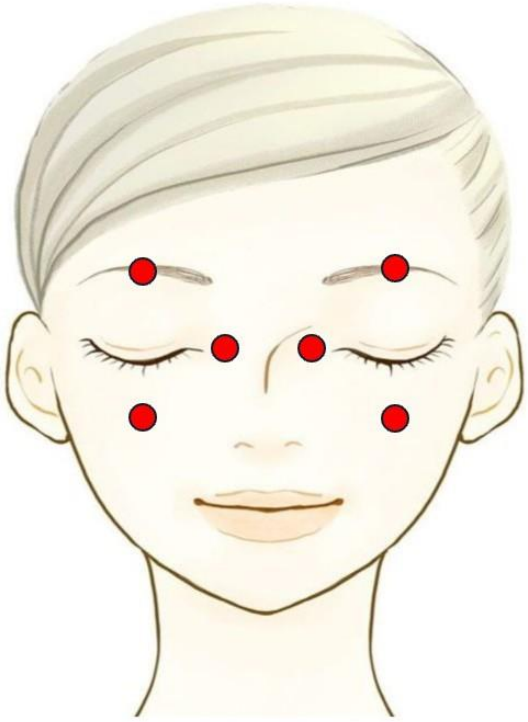
この２つは「松果體のシルバーコード」と「太陽神經叢のシルバーコード」のことを指しており、この２つは「蝶形骨（松果體のシルバーコードと連動）」と「仙骨（太陽神經叢のシルバーコードと連動）」しています。

初級編サウンドツールでCRYSTALS PALACE ヒーリングをする方法①	
①	【初級編サウンドツールで鳴らすエナジーバー】 **チャクラバーA^{6}＋B^{7}（レギュラータイプ）** **チャクラバーA^{6}＋B^{7}（ハーモニックタイプ）** 初級編サウンドツールでのCRYSTALS PALACEヒーリングでは、チャクラバーの「**レギュラー＋ハーモニック**」を必ず鳴らし「**立體的な超音波（倍音）**」を發生させ、大腦を超音波で調律する
②	神門の經穴 「68.05Hz＋136.1Hz（**オームの倍音セット**）」で３回当てる 「132Hz＋264Hz（528Hz **の倍音セット**）」で３回当てる ※当てた音叉の音程の組み合わせは、必ず左右の耳元に鳴らしてください。ここでの宇宙の音程を感じることを「**靜寂**」といいます。
③	印堂、上星の經穴 「264Hz＋528Hz（528Hz **の倍音セット**）」で３回当てる ※印堂、上星の經穴の「**最重要ポイント**」は音叉の「**倍音**」の組み合わせであり、中級編だと「**213Hz＋852Hz（852Hz の倍音セット）**」、上級編だと「**各種惑星音叉の倍音セットの組み合わせ**」で松果體、腦梁を活性化させる

そして腦梁は、「右腦」と「左腦」を繋いでいる器官であり、左右の大腦半球をつなぐ太い神經線維の束で、約２億本以上の神經線維が集中しており、左右の腦の情報連絡を担う重要な役割を果たします。

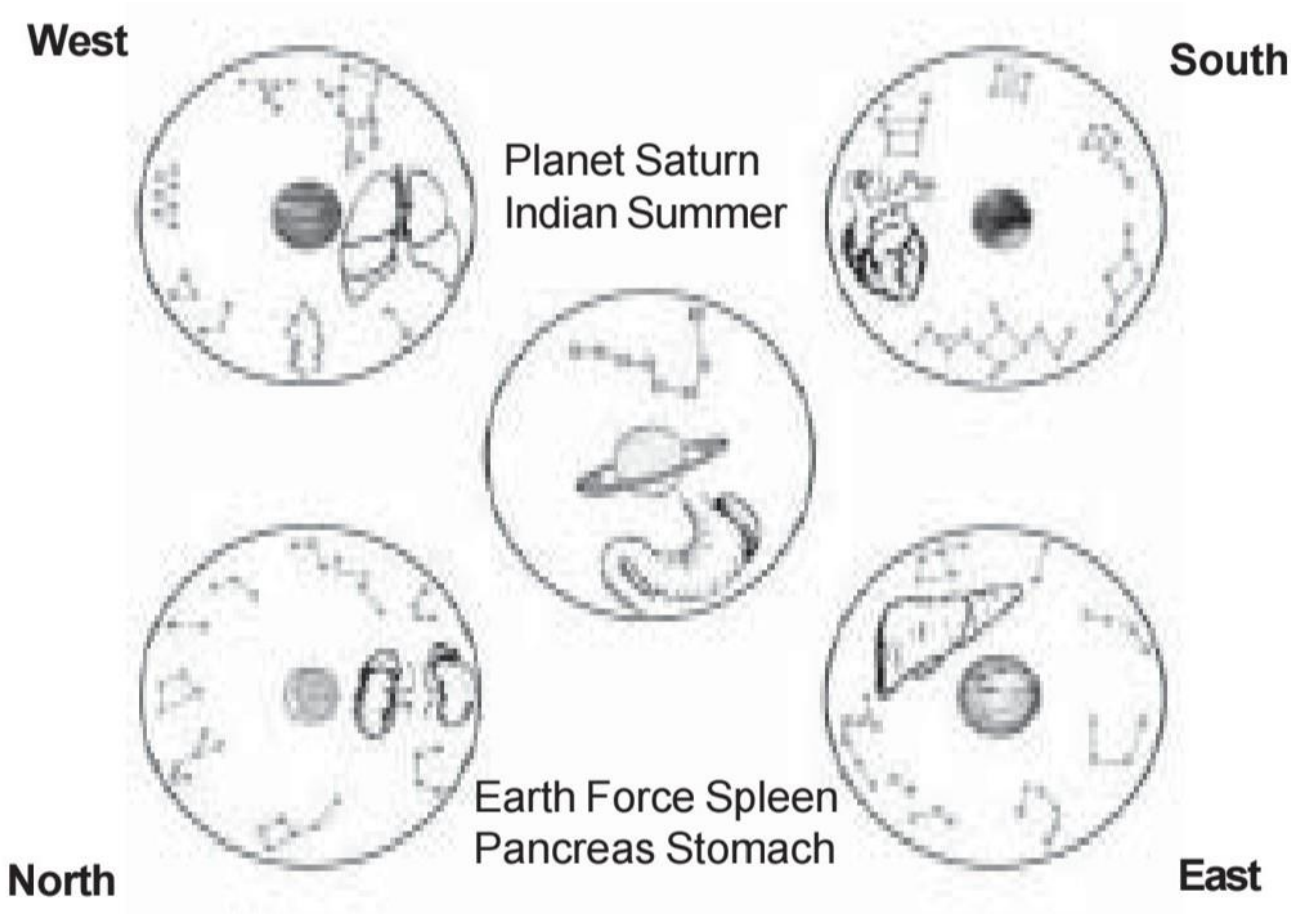
腦梁のスピリチュアルやエネルギー醫學の視点では、腦梁は「**陰陽（二極性）の統合**」を象徴する重要な架け橋であり、「**EXA PIECO DIKAG 靈の心と肉の心をコヒーレンス**」させる器官のひとつです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



經穴（ツボ）	位置	器官	主な役割
睛明（せいめい）	眼窩の眞奥（がんか　まおく）	腦下垂體（のうかすいたい）	視床下部（ししょうかぶ）からの命令で多様なホルモンの分泌（ぶんぴつ）し、肉體（にくたい）の調子を維持する内分泌中樞（ないぶんぴつちゅうすう）
四白（しはく）	眼窩下孔（がんかかこう）	視床下部（ししょうかぶ）	DIKAG 肉（にくたい）の心と肉體を通した生命活動をコントロールする司令塔
魚腰（ぎょよう）	眼窩上孔（がんかじょうこう）	視床（ししょう）	肉體（にくたい）の五感（ごかん）（味覺（みかく）、嗅覺（きゅうかく）、視覺（しかく）、触覺（しょっかく）、聽覺（ちょうかく））をコントロールしている器官

CRYSTALS PALACE（クリスタル　パレス）ヒーリングの中核である睛明（せいめい）、四白（しはく）、魚腰（ぎょよう）の經穴（ツボ）は、肉（DIKAG）の心、肉體（にくたい）と五感（ごかん）、肉體（にくたい）オーラをコントロールし、肉體（にくたい）の生命活動をコントロールする物質世界での最重要器官です。腦下垂體（のうかすいたい）、視床（ししょう）、視床下部（ししょうかぶ）を刺激すると、肉體（にくたい）に電氣が走ったような衝撃を感じる方が多くいます。それは、肉（DIKAG）の心を通して「電氣」の生成を行っており、それが蝶形骨をヒーリングする眞髄のひとつです。



蝶形骨（ちょうけいこつ）のオープニングポイントとバランスポイント

奇經八脈（きけいはちみゃく）と蝶形骨（ちょうけいこつ）の対應關係（たいおうかんけい）

奇經八脈（きけいはちみゃく）	蝶形骨（ちょうけいこつ）	チャクラ	症状
督脈（とくみゃく）（後谿（こうけい）、申脈（しんみゃく））	R睛明（せいめい） L四白（しはく）	7チャクラ	頭痛
陽蹻脈（ようきょうみゃく）（申脈（しんみゃく）、後谿（こうけい））	L四白（しはく） R睛明（せいめい）	6チャクラ	風邪、肩こり
任脈（にんみゃく）（列缺（れっけつ）、照海（しょうかい））	L睛明（せいめい） R四白（しはく）	2チャクラ	婦人科系、子宮
陰蹻脈（いんきょうみゃく）（照海（しょうかい）、列缺（れっけつ））	R四白（しはく） L睛明（せいめい）	4チャクラ	心臓、肺の疾患
衝脈（しょうみゃく）（公孫（こうそん）、内關（ないかん））	R睛明（せいめい） L魚腰（ぎょよう）	8チャクラ	血液循環
陰維脈（いんいみゃく）（内關（ないかん）、公孫（こうそん））	L魚腰（ぎょよう） R睛明（せいめい）	1チャクラ	ホルモンの分泌（ぶんぴつ）
帶脈（たいみゃく）（足臨泣（あしりんきゅう）、外關（がいかん））	L睛明（せいめい） R魚腰（ぎょよう）	3チャクラ	感情のデトックス
陽維脈（よういみゃく）（外關（がいかん）、足臨泣（あしりんきゅう））	R魚腰（ぎょよう） L睛明（せいめい）	5チャクラ	コミュニケーション全般

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





『タオ人間醫學』では、松果體は北極星と密接な關係を持ち、松果體は人間の生體時計であり、身體の羅針盤、視床、視床下部は北斗八星と繋がっていと記されています。松果體は「宇宙の男性的（陽）エネルギー」をチャージして働き、視床下部は「宇宙の女性的（陰）エネルギー」に充たされて機能しています。

両者の力が交わったとき、そこに強力で、かつバランスのとれた力が生み出されるのです。現代の脳科學において、CRYSTALS PALACEを意識した呼吸法でも、脳内の血流、神經傳達物質、自律神經系を劇的に變化させることが分かっています。

神門、印堂、上星の經穴を刺激すると、松果體からのメラトニン分泌が促され、質の高い睡眠、細胞の修復、アンチエイジング効果がもたらされます。そして睛明、四白、魚腰の經穴を刺激すると副交感神經を優位にし、本能やホルモンバランスを司る「視床下部」の過剰なストレス反應が抑えられ、心臟腦、大腦のネットワークが最適化されます。

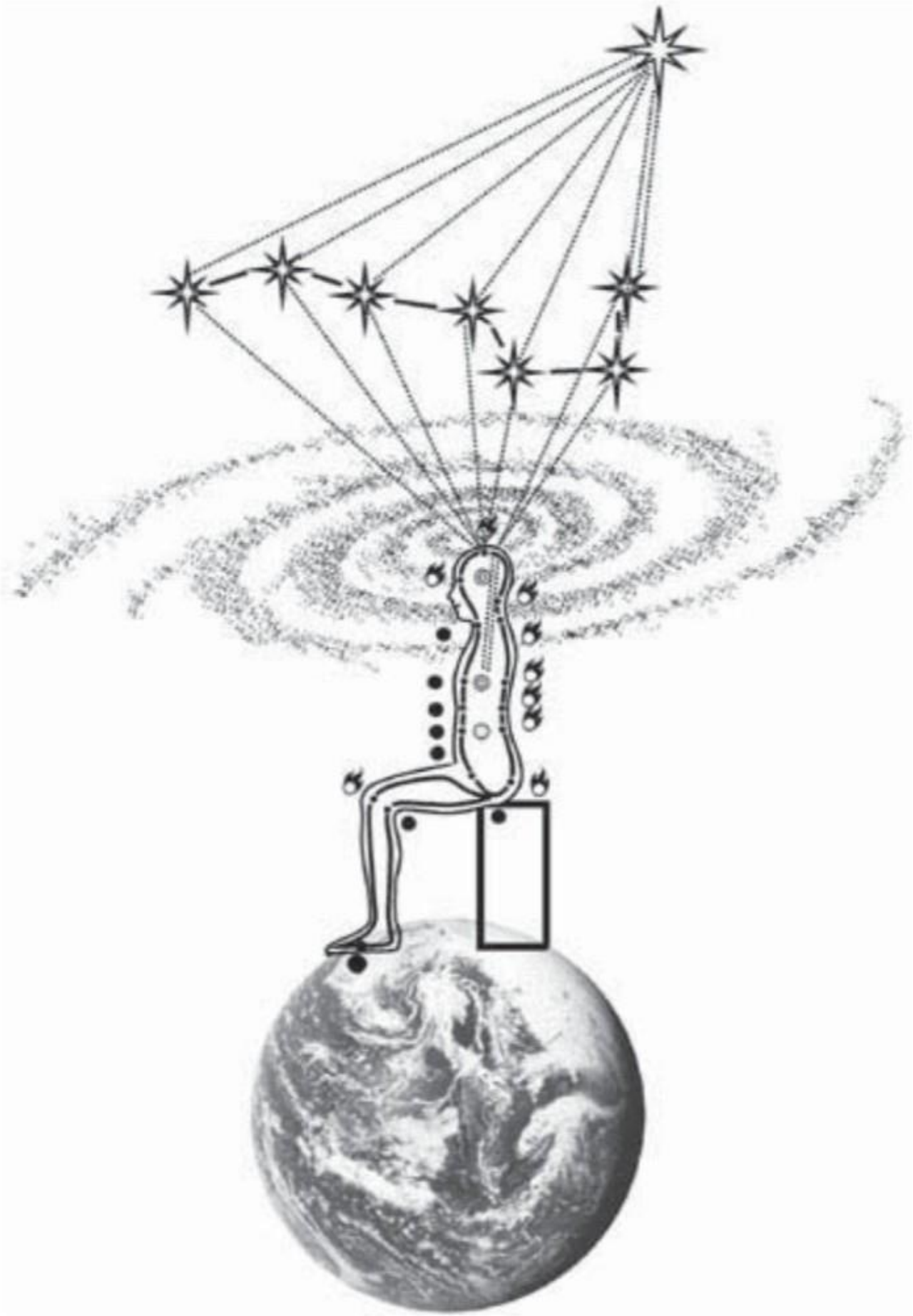
水晶宮を活性化させることは、「靈主肉従」の生き方をする上でも大切なことなのです

初級編サウンドツールでCRYSTALS PALACE ヒーリングをする方法②	
①	睛明、四白、魚腰の經穴を「8×4＝32回」刺激する ※最大のポイントは「基音」の設定。初級編サウンドツールの場合、「264Hz」を基音にするのがベスト
②	睛明、四白、魚腰の經穴の刺激する手順 ① R睛明＋L四白（督脈） ② L睛明＋R四白（任脈） ③ R睛明＋L魚腰（衝脈） ④ L睛明＋R魚腰（帯脈） ⑤ L四白＋R睛明（陽蹻脈） ⑥ R四白＋L睛明（陰蹻脈） ⑦ L魚腰＋R睛明（陰維脈） ⑧ R魚腰＋L睛明（陽維脈）
③	「8回」終わったら、同じ音程の組み合わせの音叉で印堂、上星の經穴を3回刺激し、次の音程の組み合わせにチェンジする ※初級編サウンドツールだと「264Hz＋128Hz」「264Hz＋136.1Hz」「264Hz＋132Hz」「264Hz＋528Hz」の組み合わせになるケースが多い
④	睛明、四白、魚腰の經穴の基音は、ソルフェジオ音叉だと「213Hz（852Hzの4オクターブ下）」になり、惑星音叉だと「227.43Hz（満月）」になる ※中級編サウンドツール、上級編サウンドツールからCRYSTALS PALACEヒーリングが眞価を發揮する理由は「基音」と「音程」の選定にある

松果體を刺激するの經穴のひとつ「百会」が「宇宙の男性的（陽）エネルギー」であり、ソルフェジオ音叉「174Hz or 963Hz」、惑星音叉「太陽」が適切。蝶形骨を刺激する睛明、四白、魚腰の經穴が「宇宙の女性的（陰）エネルギー」であり、ソルフェジオ音叉「852Hz」、惑星音叉「満月」が適切なのは偶然ではありません。

これらの陰陽のエネルギーを統合する最後の鍵が「惑星セドナ」になります

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





初級編最終章

音叉ヒーリングの価値と可能性

天球の音楽と靈的鍼灸の融合

共存共榮（きょうぞんきょうえい）の仕組み作りの實行

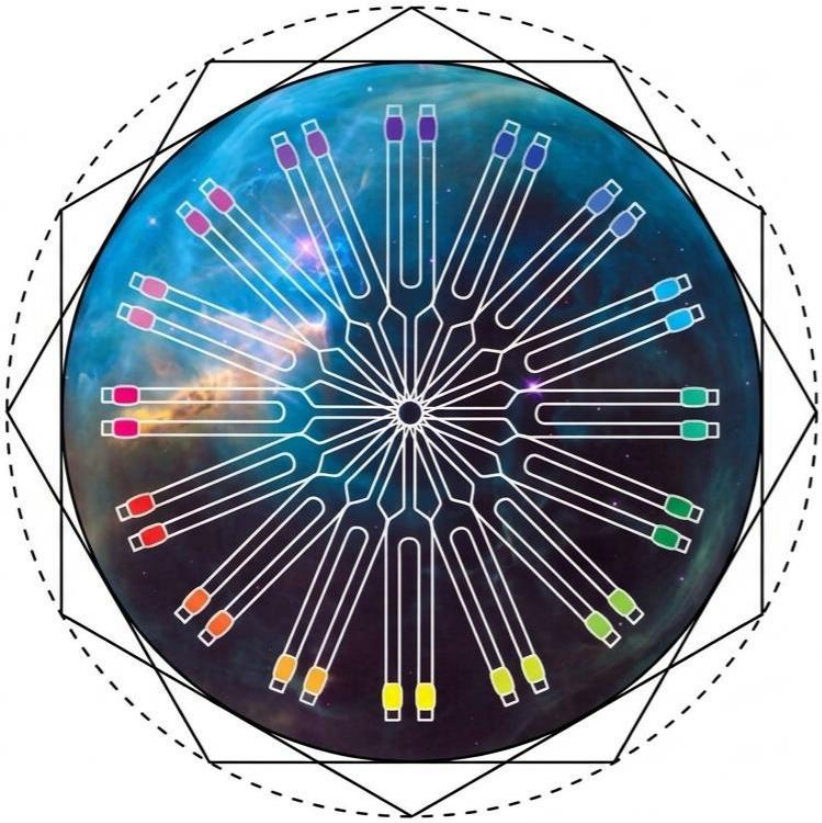
何とぞ人の役に立つ方法を教（おし）え給（たま）え

地球を救おうとするその行爲により、自らを救う



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

調和の具現化をしていく必要性



Q　本当に音叉によるセルフヒーリングの普及は、靈界主導の地球人類救済計画（スピリチュアリズム）の計画の中に含まれているのですか？

A　これは「ＹＥＳ」とも「ＮＯ」とも言えます。例えば、地上世界最高峰の音叉ヒーリングのスクールである「acutonics（アキュトニックス）統合醫學（いがく）研究所」および「Cosmictune（コスミックチューン）」のスクールに通って音叉ヒーリングを習得しても、それは靈界とは無關係です。

あくまでも『シルバーバーチの靈訓』と『スピリチュアリズムの思想體系（しそうたいけい）』を地上人生のバイブルにしなければ、音叉ヒーリングに価値はなくなります。音叉による生命（いのち）の調律の本質は、スピリチュアリズムでいう禱（いの）りのツールのひとつというだけです。

本当に大切なことは「調和の具現化」であり、音叉はそのための補助手段です

Q　調和の具現化についてを具體的に教えてもらえますか？

A　生きる意味である靈性の進化のためには、如何に眞理に氣づき、眞理を學び、眞理を實踐していき、眞理を普及するのか、これがDEVIKの本質であり、DEVIKとは生きる意味そのものです。そしてDEVIKとは自分自身の天命と才能に沿った「分かち合い」を實踐することが本質です。

現在、惑星地球の地上世界は分かち合いとは眞逆の「奪い合い」の文化です。競爭社會であり、如何に自分だけが利益になり、他者を蹴落とすことに力を注いでいる不調和な文化であり、その中で分かち合いを實踐することは、今の文化とは眞逆で生きることであり困難が多くなります。

ですが、分かち合いを實踐していき、この地球を少しでもより良い惑星にする努力をすることは、地球に生まれてきた意味の一つです。その實踐を通して靈性は進化していくのであって、その根本原理は「**共存共榮（※調和）の仕組み作り**」の實行をしていくことです。

共存共榮の仕組み作りの實行、これこそが調和の具現化です。靈的眞理の普及、音叉セルフヒーリングの普及、これらを成立させるためには「ユーワードというコミュニティーを通した共存共榮の仕組み作り」が必要であり、それが地球人類救済計画にも繋がる靈界側の目的になります。

Q　ユーワード以外のコミュニティーでも共存共榮の仕組み作りは可能ではありませんか？ユーワードに拘る必要はないと思いますが……

A　それも出來なくもありませんが、非常に難しいと言わざる得ません。そもそも、スピリチュアリズム普及會以外のコミュニティーは、靈界から見ればすべて不調和だからです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



Q　音叉ヒーリングで靈的覺醒を得られ、もう２度と苦しまないようになりますか？

A　そうした不純な動機から決して瞑想や禱りをしてはなりません。また、そうした不純な動機でヒーリングを受けるのも、完全にアウトです。「一刻も早く靈的な覺醒を得たい」という動機から音叉ヒーリングを始める人もいますが、そうした思いが強くなり過ぎると大きな問題を引き起こすことになります。

自己啓發セミナーやニューエイジ系全般のセミナーで行われている洗脳や靈能開發プログラムは、すべて靈的成長の法則から懸け離れてます。短期間に一氣に自分が變われると考えるのは非常に都合のいい話です。そうした動機で音叉ヒーリングに携わると、低級靈に憑依されるスキを与えることになってしまいます。

Q　音叉によるセルフヒーリングで健康になりたいという動機は不純ですか？

A　健康になりたい、病氣を自分で治したいという動機から音叉によるセルフヒーリングを始めることは靈界から認められている純粋な動機です。事實、音叉ヒーリングによって健康になる方は非常に多いです。

問題は、自分自身が音叉によるセルフヒーリングで健康になった後、それを周りに一切普及せず、独り占めしている人が多すぎることです。病氣で苦しんでいる人々をひとりでも多く救済しようとする意志の欠如のほうが、よっぽど不純と言えます。

Q　音叉によるセルフヒーリングで意識變換（いしきへんかん）は出來るものなのですか？

A　その人の音叉による生命（いのち）の調律の「**目的**」、音叉の「**音程（インターバル）**」の選定、知識と技術による「**再現性**」が一致したならば、時間はかかりますが意識變換（いしきへんかん）は出來るでしょう。しかし、意識變換（いしきへんかん）したところで「**現實の行動の調和**」まで可能かは別問題です。

Q　現實の行動の調和とは何ですか？

A　ナザレ人イエスは「**無私無欲**」と「**自己犧牲**」と定義しています。その対義語は「**私利私欲**」と「**自己滿足**」です。靈性の進化の絶対条件が無私無欲と自己犧牲になり、それには生まれる前に決めてきた「**人生設定圖（ブループリント）**」通りに生きるという、強い「**決心**」と「**覺悟**」が必要になるでしょう。

そもそも靈的知識をたずさえた者に樂な仕事はありません。知識が增えれば增えるほど、ますます調和の具現化のための苦難に遭遇すると覺悟してください。シルバーバーチは、ある日の交靈會（こうれいかい）で、こんなことを言うからわたしは人氣が出ないのでしょうねと述べています。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



Q　そもそも音叉による生命(いのち)の調律の最大の目的は何ですか？

A　簡単です。「何とぞわたしを人のために役立てる方法を教(おし)え給(たま)え」、そして「背後靈(SEPOUW)からそのためのインスピレーションを受け取るため」です。そのために音による靈的世界(デヴァチャン)の體驗(たいけん)が必要であり、それが背後靈(SEPOUW)とのオーラの一體化(いったいか)を促進し、常に背後靈(SEPOUW)からサインを仰ぎ、常に背後靈(SEPOUW)からサインを受け取れる状態に自分自身を靈的新生させるためです。

Q　背後靈(SEPOUW)からのインスピレーションは、誰でも受け取れるようになるのですか？

A　これは一概には言えませんが、地上人は大なり小なり背後靈(SEPOUW)からインスピレーションは受け取っています。しかし、その後にconscious mind(顯在意識)の声が邪魔をしてあれこれと理屈を言い始め、何か他に良い方法があるはずだと言い訳を始め、肉の心(DIKAG)を正当化してしまいます。しかし、いかに正当化しても、背後靈(SEPOUW)がすでに最も正しい道を指示しているものです。

Q　人の役に立つとは具體的には、どんなことを指しますか？

A　一番人の役に立つ行爲は「**靈的眞理の普及**」です。イエスは靈的眞理を知って、それだけでよしとするような姿勢に対して、それは自分だけよければいいというconscious mindのEGHO意識、利己主義と厳しく述べています。

また、「宗教とは何か？」「幸福とは何か？」「救済とは何か？」に対し、靈的眞理は「**靈性の進化**」という解答をしており、靈性の進化にとって役立つことが一番です。

また、靈界主導の地球人類救済計画の総指揮者であるナザレ人イエスは「**spirit優位、soul優位になっていない奉仕はすべて欺瞞である**」と述べており、欺瞞とは相手を意圖的に騙して本当のことを隠すこと、嘘や誤魔化しによって相手を欺く行爲を意味します。

本当の意味で人の役に立つには「**靈の心と肉の心のコヒーレンス状態**」は必須条件です。音叉による生命の調律は、２つの心を一致させ、さらには「**大靈の心である神意に一致**」させるための心の所作であり、それが日々の生活の中で生命の調律をする目的でもあります。

Q　地上人類で「spirit優位」、「soul優位」になっている存在は、どのくらいいるのですか？

A　殆どの地上人は「conscious mind」優位、簡單にいえば「肉の心」に支配されており、靈主肉従を完璧にコントロールしている人間は殆どいないと斷言できます。なので、良いことをやってるつもり、「自己滿足」に終始し、實質何の役にも立ってない僞善が横行しています。

世の中にはボランティア含め、奉仕活動をしている人間は一定數おり、本当の意味で悪人と呼べる人はごく少數ですが、それは結局地上世界のみしか視野にいれていないので、死後世界には役に立たないことが殆どであり、死後の間違った知識による弊害といえます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

健康としての音叉によるセルフヒーリング





Q　528Hz 倍音トライアルセットで病氣を改善することは可能ですか？

A　どういった病氣なのかによって答えは異なります。あくまでも 528Hz 倍音トライアルセットは導入編サウンドツールであり、万能ではありますが、病氣の内容次第では難しいでしょう。ただ、毎日使うことで予防醫學（よぼういがく）になるのは間違いない事實であり、病氣にならないライフスタイルを身につけるための導入編サウンドツールとも言えます。

Q　528Hz 倍音トライアルセットで、まずはどのようにセルフヒーリングをしたらいいのですか？

A　まずは毎日何かしらに使うことです。人間、どうぶつ、飲食物、空間、環境すべてに導入編セットは使えます。音叉を日常で使うことを「習慣化」させるのです。人生を好轉（こうてん）させる最大のコツは「自然法則（FUGEHEKIN）に適った生活習慣を身につける」ことです。

音叉を使うことを習慣化してしまう、これが最初のステップなので、初期の段階ではあまり使い方には拘らなくてもいいと思います。樂しく音叉を使う、これが一番です。また、導入編のオンライン講座は無料であり、そこで使い方を知ることもオススメです。

Q　特定の症状を改善したい場合、音叉のセットは何を選んだらいいですか？

A　これも病氣や症状の内容次第で答えは異なるでしょう。導入編、入門編、初級編のサウンドツールも「音叉のヘヴィーフォーク３本」で「¥35,000」から購入は出来るので、どんな症例かによって購入するサウンドツールをカスタマイズすることは可能です。

例えば、腰椎椎間板ヘルニアによって下半身不随で、車椅子生活を覺悟してくださいと醫者に宣告された男性に、「ボーンバランサー４本セット」をセルフヒーリングで使うことを薦め、毎日セルフヒーリングに使ったら、わずか３ヶ月で歩けるまで回復した事例もあります。

また、手の皮膚に疾患がある方に「**オゾンチューナー（78Hz）**」をオススメし、毎日使用していたら１ヶ月後には手の皮膚が綺麗になったケースもあり、他にも皮膚の疾患には惑星音叉の「土星」と「冥王星」が有効です。

自律神經失調症などの症状には「**ナーブ（50Hz）**」という神經細胞調整のチューナーにより自律神經失調症の症状が改善したという報告もあります。腰痛や肩こりにもナーブチューナーは有効であり、あらゆる痛みを消すのに有効なのが確認できます。

Q　病氣は心の問題が９割と仰ってますが、心や感情の問題に有効な音叉は何ですか？

A　ヘヴィーフォークは「ボディーワーク」、フォークは「エネルギーワーク」の違いがありますが、心や感情へのアプローチにはフォークタイプが効果的です。基本的に聖なるソルフェジオ音階９本セットで前世、胎内記憶、インナーチャイルドなどを癒せます。

腸心マップで自分自身の感情をチェックしながら、毎日ソルフェジオ音叉を使うことで、驚くほど意識變換に成功し、明るく前向きな性格に變わった人もいます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



Q　音叉による生命(いのち)の調律だけで、健康にはなれますか？

A　なれません。健康は「心」をベースに、「運動（肉體(にくたい)）」「食事（幽體(ゆうたい)）」「睡眠（靈體(れいたい)）」すべてを包括的に考える必要があり、日々の生活習慣が原点です。音叉による生命(いのち)の調律を習慣化し、予防醫學(よぼういがく)に取り入れるのは素晴らしいことです。

しかし、まったく運動をしない、食事は肉食、白砂糖をやめない、添加物まみれ、農藥まみれのものを食べるなどデタラメを繰り返し、「子午流注(しごるちゅう)」に沿った生活習慣を身につけてなければ、結局は病氣になるでしょう。

Q　528Hz 倍音トライアルセットで食品の農藥、添加物、化學物質を無害化して食べれば大丈夫でしょうか？

A　病氣にはなりづらくなるでしょう。しかし、間違った食事の代表格が肉食と白砂糖であり、それを完全に絶たなければ、根本解決にはなりません。

Q　病氣を治すのは「海水」「鉱物」「植物」、そして最後に「音」によって新次元の醫學になると述べましたが、そこを詳しく話せますか？

A　まず、海水は「塩」と「水」と置き換えていいかもしれませんが、塩と水の質を上げただけで病氣が改善するケースも多く、また「本物の海水」および「古代の海水」で病氣が改善するケースも多くあり、健康學のベースは「塩」と「水」にしなければなりません。

鉱物に關しては、かなりの大部分が鉱物に含まれますが、限定的に述べるなら「温泉」「岩盤浴」「パワーストーン」などは鉱物の力です。鉱物ミネラルも、黒雲母花崗斑岩をナノ化イオンにしたものであり、原点は鉱物の力です。鉱物もオーラを常に放射しており、病氣を治すのに特化した放射線を放った鉱物は世界各地にあります。

このように地上世界では、治療効果のある薬品を植物や鉱物から見つけることができるようになっています。植物にしても、地上世界のあらゆる所で、未知のハーブが人間によって發見されるのを待っています。

そもそも海水はミネラル、植物はソマチッド、鉱物はバクテリアというような三位一體の關係性になっており、これが人類から病氣をなくす三原則に繋がっています。そして、この三原則の共通項が「**回轉形態素粒波**」であり、「音」なのです。

しかし、地上人類はあまりに周波數に対して無關心かつ無知すぎます。これは靈的無知と同じ問題であり、「回轉形態素粒波」についてを追窮しようとしている人間があまりにいなすぎます。すべての問題は結局「回轉形態素粒波」なのにも關わらずです。

しかし、誰がなんと言おうと、「周波數」「海水」「鉱物」「植物」などの放射線により人類の病氣が蘇生されるという方程式は不變であり、自然界の偉大な力と言わざる得ません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

生命(いのち)の調律とは、全存在物を「蘇生化(FALF)」することが目的



シルバーバーチは、「地上生活なんかいい加減に送ればよいと言っているのではありません。あなたが送るべき全生活のほんのひとかけらに過ぎないことを申し上げているのです。その地球をよりよい生活の場とするために努力なさってください」と言っています。

地上人の地球環境や生命(いのち)全般に対する振る舞いは、宇宙から見ても異常であり、どう見ても問題があります。地上人類は、万物の生命(いのち)の一員であることを忘れて以来、この星に數々(かずかず)の蛮行、虐待という仕打ちを働き、未だにそれを辞めずにいます。

本来、生命(いのち)の調律は一人一人が地球に暮らす存在物を「蘇生化(FALF)」することが目的です。自らの魂心身(こんしんしん)の傷を癒さない限り、地球を癒すことは出来ません。人間の「意識變換(いしきへんかん)」と「現實の行動の調和」の双方があって初めて地球、またそこに住む鉱物、植物、どうぶつ達、人間に迷惑のかからない状態の第一歩が始まります。

ガン細胞というのは、典型的な人間が地球にやっている行爲を、同じように人間一人一人の細胞に行って、メッセージを送ってくれています。地球人が、このままずっと地球を痛めつけていれば、地球が終わってしまいますね。地球という星が、確實に破滅します。それは、地球人が住めなくなるということです。ガン細胞も同じことをやってくれています。正常な細胞をどんどん侵していくわけです。侵し尽くしてボディを失ってしまうと、ガン細胞は自分自身も破滅します。

『波動の法則　實踐體驗報告』p.78～p.79

地上世界の厄介な問題、および靈界の下層界の問題のすべてが、さまざまな形での利己主義、強欲、貪欲などの私利私欲によって引き起こされているというふうに考えればよろしい。原因はそれしかありません。

『シルバーバーチの靈訓　スピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべ』p.215

つまり地上世界は何かにつけて貪欲と利己主義が優先しているから戰爭と貧困、飢餓と悲劇、災難と混乱が絶えないのです。

『シルバーバーチの靈訓　スピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべ』p.168

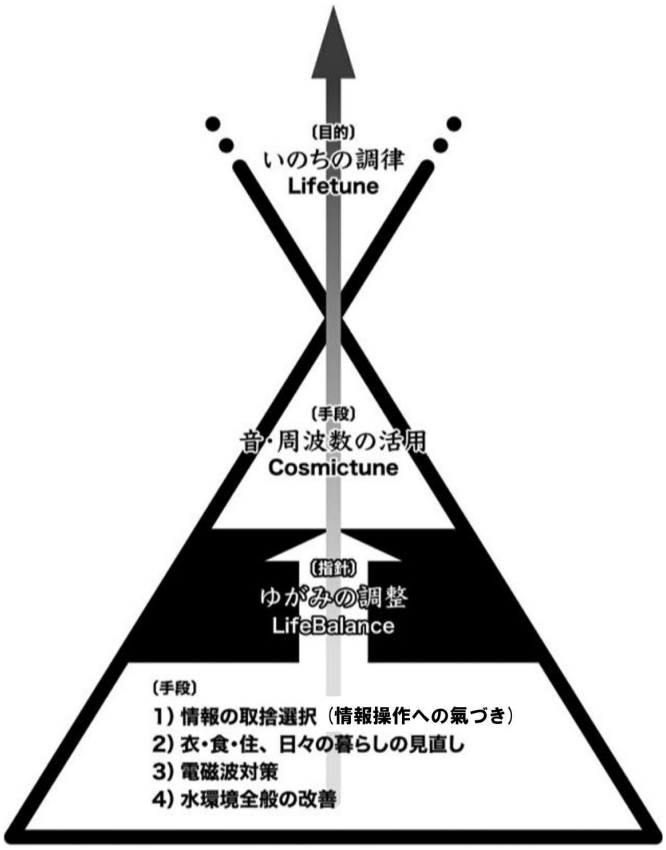
地上世界にもめごとや困難や不幸が絶えないのは、相變わらず強欲と利己主義と怨恨によって支配されているからです。物欲がガンのように人類の心の中樞に食い込んでいるためです。悪性のガンです。そのガン細胞が猛烈な勢いで増殖しております。

『古代靈シルバーバーチ　最後の啓示』p.139

全ての地球人は「地球を救おうとするその行爲により、自らを救う」立場にあることを學ぶ必要があります。それが靈的眞理の眞髄の一つであり、生命の調律の意味なのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

自然法則に適った正しい生活習慣（ルーティン）を身につけること



音叉による生命（いのち）の調律は、音、周波数の活用により、魂心身（こんしんしん）のゆがみの調整することが目的です。

スピリチュアリズムが明らかにした日常の靈的實踐論（れいてきじっせんろん）は、すべて同時に實踐（じっせん）することが大切であり、どれかひとつが欠けても成り立ちません。

そして人間が健康で暮らすには「自然法則に適った正しい生活習慣（ルーティン）を身につける」ことが、生命（いのち）の調律に必要なことになります。

人生を變（か）えるのは「**習慣（人生觀）**」と「**想い（EXA PIECO 靈の心優位）**」と「**行い（調和の實踐）**」が一致し、「**苦しみへの正しい対処（眞の感謝）**」を身につけることです。なので、付け焼き刃で形だけマネをしても、すべてが正しく整わない限り、そのメッキはすぐに剥がれ落ちます。

【スピリチュアリズムが明らかにした日常の靈的實踐論】

① EXA PIECO 靈の心優位の努力（禱（いの）り、靈的眞理の學習（がくしゅう）、欲望のコントロール）	想い
② 調和（DEVIK（デヴィック）、神意（あい）、奉仕、利他、分かち合い、協調）の實踐（じっせん）	行い
③ 靈的眞理に適った苦しみへの正しい対処	感謝
④ 自然法則に適った正しい生活習慣（ルーティン）を身につける	習慣

> 靈的知識を手にすれば、その時点からその活用の仕方に責任が付加されます。その知識の分だけ生活水準が高まらないといけません。高まらなかったら、その代償を支払わされます。（中略）知識がそこにあることを知りつつそれを活用することができないでいると、それによって逆にその人の靈性が弱められ、害をこうむることになりかねません。
>
> 『シルバーバーチの靈訓　スピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべ』p.227

人生の目的である靈性の進化は、長い長い期間をかけた嚴しい靈的成長のための努力によって得られるものです。別の表現をするならば「自然法則に一致した嚴しい日常生活の努力が、そのまま靈性の進化のための修行になっている」ということです。

日常生活を自然法則に適った生き方にする生活習慣、衣食住の暮らしの徹底的な見直しをしていき、質素な生き方、欲望をコントロールする生き方を身につけ、魂、精神、身體（しんたい）の健康を保つことがスタートラインです。そのためには電磁波対策、水環境の改善なども必要になってきます。

そし「てspirit（靈）優位」、「soul（魂）優位の努力を通して「靈的視野（れいてきしや）」を身につけていき、自分の利益を忘れた犧牲的な調和の實踐を通して「犧牲精神」が培われ、苦しみへの正しい対処を通して「眞の感謝」をしていき、背後靈（SEPOUW）への純粋な道具意識を通じて「靈界への道具意識」が養われるものなのです。これ以外に本物のスピリチュアルな能力を身につける方法はありません。

靈性の向上は、講演會（こうえんかい）やセミナーやワークのような短期間の實習で身につくものではありません。全身全靈で地球人類のために奉仕しようとしている高級靈の助力を引き寄せるには、ひたすら純粋で自己を滅却した犧牲精神が必要とされます。お金を払って講座を聽き、わずかばかりの知識の習得や實習（じっしゅう）をして身につくような次元の低いものではありません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

惑星地球と地球人類を甦らせるために





音叉ヒーリングの使用はなにも人間だけに限定する必要は一切ありません。例えば、どうぶつ達への治療に導入している人達もいますし、わたしもどうぶつ達のヒーリングに使用しています。經絡、經穴（ツボ）は、どうぶつ達それぞれ、人間と同じように存在します。

また、音叉を当てずとも、鳴らしているだけでもどうぶつ達はその音の波動に癒されています。どうぶつ達の波動のキャッチ能力は、基本的に人間より上です。音の周波数が自然界と共鳴し、どうぶつ達も自然に癒されていくのでしょう。普段は凶暴だというペットも、音叉の波動を浴びている間は大人しくなると、どうぶつと暮らしている方は必ず言います。

人間とどうぶつの基本的な關係は「高級天使」と「下級天使」の管理下の違いだけで、本來は神意（あい）による關係性を築くことが原則です。そしてその關係を築く役目は、一方的に人間に負わされています。

人間に他の生命體（せいめいたい）、鉱物、植物、どうぶつを支配する能力が与えられているということは、人間には「神の代理者」として、他の生命體（せいめいたい）を調和、協調關係、分かち合いすることが人間の「責任」と「義務」であることを意味しています

なぜなら人間は、大靈（たいれい）によって高度な知性と精神、そしてconscious mind（顕在意識）の自由意志という特権が与えられているからです。これまで地上世界の人間は「靈的無知」ゆえに、どうぶつ達と正しい關係を築くことができませんでした。

それどころか、大靈（たいれい）の自然法則（FUGEHEKIN）に反する「どうぶつ虐待」という間違った行爲に走ってきました。地上世界でどうぶつ虐待は常態化し、地上世界の人間は日々大きな罪を重ねています。これまでの地球の地上世界の實情（じつじょう）は、そうした神の計画から大きく外れていました。

現在では、本來は神意（あい）の対象であるはずのどうぶつ達が人間の食料にされています。神の計画の中には、どうぶつ達を殺して人間の食料にするというようなことは含まれていません。大靈（たいれい）がどうぶつ達に生命を与えたのはであって、人間が生命を与えたのではありません。

人間と同じように、どうぶつの生命は大靈（たいれい）のものなのです。したがって人間には、どうぶつ達の生命を奪う權利はなく、どうぶつ達を殺して食料とすることも許されていません。こうしたことを考えると、現在の地球の地上世界の人間がいかに異常な状態かが分かります。

また、人間に飼われているどうぶつ達の９割以上は精神が病んでしまっています。どうぶつ達は飼い主のせいでノイローゼになってしまっています。理由は、飼い主の勝手などうぶつ達への解釈によるコミュニケーション不足が最大の原因です。

しかし、飼い主とペットが、本質的な部分でコミュニケーションを取っている場合は、例外のようで、調和と神意（あい）のサイクルの表現になるようです。そうした本質的な部分でのコミュニケーションを促すという意味でも音叉は非常に有用です。

どうぶつ達の心を癒すことにより、地球人類も蘇生の方向に向かいます。どうぶつ達も我々人間と同じ生命であり、人間の都合で勝手に傷つけていい道理はありません。そうした自然法則に反した行爲は必ず当人に苦しみとなって返ってきます。それが法則だからです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





どうぶつ達を食料と考え殺害することは、最も自然法則(FUGEHEKIN)に反したEGHO的(エゴてき)な行爲(こうい)です。どうぶつ虐待や肉食は、人間の靈性の低さがもたらす「調和の欠如」という「神意(あい)という攝理(せつり)への違反行爲(いはんこうい)」です。

こうしたあまりにも常軌(じょうき)を逸したEGHO(エゴ)的な行爲に対して、人間はその罪に見合った罰としての苦しみを必ず背負うことになります。神意(あい)という攝理違反(せつりいはん)という「罪」は、苦しみという「罰」を通して償うことになります。

その償いの苦しみは、さまざまな病氣という形で必ず現れます。肉食が病氣の大きな原因であることは遠い地球の未來で醫學(いがく)の常識になっていきます。肉食が必要などという現在の間違った醫學(いがく)の見解は根本から修正されるようになります。

また、現代地球文化では新しい薬品や商品を開發するために「どうぶつ實驗」が盛んに行われています。しかし、そうした行爲も完全に間違いです。どうぶつ實驗などという虐待をしなくても、人間の病氣を癒す方法はいくらでもあります。

弱い立場のどうぶつ達を利用しなくても、もっと治療効果のある療法は存在します。海水、鉱物、植物、そして音叉セルフヒーリングもその一つです。シルバーバーチは、どうぶつ實驗についてこのように意見を述べています。

———いわゆるどうぶつ實驗では本当に役立つものは得られないということを人類が理解する段階はもう來ているのでしょうか。そのことに理解がいけば、それは道德的ならびに靈的生活における大きな進歩を意味することになるのでしょうか———

どうぶつ實驗によって何一つ役立つものが得られないというわけではありません。が、その手段は間違っていると申し上げているのです。何の罪もないどうぶつに殘酷な仕打ちをすることは靈的なことすべてに反するからです。人間は自分のすることに責任を取らされます。

動機は正しいといえるケースも沢山ありますし、それはそれとして靈的發達に影響を及ぼします。攝理とはそういうものなのです。がしかし、神は、子等がどうぶつへの略奪と殘忍な行爲によって健康になるようには計画しておられません。それは改めて強調する必要を認めないほど明らかなことでしょう。

學者が道を間違えているのはそこのところです。人間の方がどうぶつより大切な存在である。よってそのどうぶつを實驗台として人間の健康と幸福の增進をはかる權利がある、という弁解をするのですが、これは間違っております。共存共榮こそが攝理なのです。

『シルバーバーチの靈訓（八）』p.191～p.192

どうぶつ達の生命も、等しく平等であり、わたし達人間と何も變わりません。その神意すべき仲間、どうぶつ達にも、深い癒しが必要であることを忘れてはなりません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

ある日のシルバーバーチの交霊會で、一人の参加者がシルバーバーチに「イエスはどうしてどうぶつへの神意を説かなかったのですか？」と質問しました。

それに対してシルバーバーチは――「（2000 年以上前の地上人類は）当時はまだ人々の靈性が低く、どうぶつに対する神意を示す段階にまで至っていなかったのです」と答えています。イエスの時代には、人間同士の神意の重要性を明らかにすることで精いっぱいだったのです。

> 自然界の生命はすべてが複雑にからみ合っており、人間の責任は、人間どうしを超えて草原のどうぶつや空の小鳥にまで及んでいます。抵抗するすべを知らない、か弱い存在に苦痛を与えることは、ぜひとも阻止しなくてはなりません。（中略）小鳥やどうぶつに対して平氣で殘酷なことをする者は、人間に対しても平氣で殘酷なことをするものです。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（八）』p.204～p.205

スピリチュアリズムは、地上人類史上初めての本格的などうぶつ福祉運動であり、スピリチュアリズムは、人間だけを悲劇から救済することだけを目的としているわけではありません。人間を含めた、地球上のすべてのどうぶつ達を悲劇から救済することも目的としています。

人間がEGHO意識に走り、自分たちの利益と幸福だけを追い求めて他のどうぶつ達を犠牲にするなら結局、神が人間のために用意してくれた幸福を手にすることはできなくなります。地上人類はそこを正しく理解し、生き方を調和に改める必要があるのです。

スピリチュアリズムの地球人類救済計画、ならびに地球人類の靈性の向上のための最後の關門は、地球人類の悲劇である「地球環境破壊、どうぶつ虐待」の問題をどう解決するかが最大の鍵です。音叉による生命の調律は、その問題を解決するための糸口になり、万物を尊ぶ生き方へのシフトを促します。





現在の地球人類が抱える様々な問題の解決策は、「地球人類が靈性を高める努力」以外にはありません。「地球環境破壊、どうぶつ虐待」の問題の解決は、人々が自然法則(FUGEHEKIN)に適った生き方をして初めて可能になります。

環境問題とも密接に關わっている農業ですが、農業の問題は深刻な健康被害を生み出しています。地球人類の未來の農業は、靈的眞理の普及と、音叉による生命(いのち)の調律を通して、靈性を高めた上で「ソマチッド(妖精)」と「バクテリア(精靈)」を味方につける「靈性農業」にしていかなければなりません。

音叉は使う周波數次第ですが、生命の根本原理に關わる「ソマチッド(妖精)」と「バクテリア(精靈)」を活性化させるので自然界にもよい影響を与えるのは当然です。地上の人間が大靈(たいれい)の自然法則(FUGEHEKIN)に適った生き方を心がけ、調和の實踐(じっせん)を意識していたならば、ソマチッド(妖精)とバクテリア(精靈)と最も親しい關係を築くことが出來ます。

人間が大靈(たいれい)の自然法則(FUGEHEKIN)に忠實に従っていれば、ソマチッド(妖精)の協力のもとで、ある程度まで自然界をコントロールすることが可能です。「音と微小生命體(おと びしょうせいめいたい)が相互(そうご)に調律し合う」ことで、わたし達は自然界を蘇生させることも出來るのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





音叉により宇宙と人をつなげるならば、地球と人をつなげることも可能です。また、人を癒せるならば地球を癒すことも可能です。こうした柔軟な發想は世界各地で水面下で拡がっており、それを實踐（じっせん）している方々は少數ながらも存在します。

Acutonics（アキュトニックス）統合醫學（いがく）研究所では、音叉を使った植物の栽培法のレクチャーを教えています。音叉の振動音を植物に与えることにより、植物の成長が促進され、元氣になったり収穫量が増えたり早まったりします。

種に音叉の音を浴びせる、土（とその容器）　に音叉の振動を傳（つた）えるなど、様々なやり方で音叉の振動や周波数を植物に傳（つた）えます。もちろん使用する音叉はどれでも良いわけではなく、それぞれの方法論で決まっています。

また、ワイン生産にもサウンドツールを活用し、それらがどのような影響を与えるのかの研究もされており、それに対する結果もきちんと出ております。



こうした背景から農業への應用にもサウンドツールが有用なのは間違いありませんが、現實的にはまだまだ地上世界にその考えは普及はされていません。それどころか、現代科學で証明されていることを疑う人間が殆どです。

靈的眞理の普及と、音叉による生命の調律の普及が地上世界で進んでいったならば、地上世界の悲劇の問題を根本的に解決できます。靈的眞理の普及は「小規模と大規模の戰爭」、「教育のマインド・コントロールによる魂の牢獄」、「分かち合い意識の欠如による飢餓、貧困」を解決に導きます。

そして、音叉による生命の調律の普及は「精神性の退廃、墜落による顯在意識のEGHO意識の增大」、「地球環境破壞、どうぶつ虐待」、「調和の攝理に反した行爲による病人の激增」の問題を解決に導きます。

これは決して理想論ではなく、あくまでも現實的にこの話をしています。宇宙と人を繋ぐ方法が現實にあることを知り、意識を再び目覺めさせ、この大宇宙の聖なる原則を體驗する方法が既にスピリチュアリズムを通して確立されているからです。

あとは、地上人生をかけて眞理への信仰實踐と、生命の調律の普及をするかだけです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

天球の音楽と三大奥義の融合の価値と可能性



ソルフェジオ音叉、チャクラ音叉、惑星音叉は、ピタゴラスの時代から続く「**天球の音楽**」のひとつの完成形であり、音叉が凄いというよりも「**宇宙の音程**」が凄いというのが本質であり、ソルフェジオ音叉、惑星音叉ともに 1970 年代に開発されています。

この天球の音楽という分野も「星信仰の復活」には必要なテーマであり、パイステ社のプラネットゴングが開発されたのも 1987 年であり、その後に様々なヒーリング楽器が生み出されているのも地球人類救済計画に必要なものだったからです。

> 神の計画の中で音楽は一種名状しがたい役割を演じているようである。
>
> 『シルバーバーチの霊訓（十）』p.104



また、「Frozen Music（凍った音樂）」といわれる「神聖幾何學（しんせいきかがく）」も天球の音樂のひとつであり、形態波動エネルギー研究所から生み出された様々な「FALF（ファルフ）製品」も、地球人類救済計画のひとつとして生み出された、れっきとした天球の音樂の一つです。

天球の音楽という思想は、古代ギリシャの數學者（すうがくしゃ）ピタゴラスから生まれました。ピタゴラスは弦の長さの比率（1:2 や 2:3 など）が美しい不協和音のない和音（音樂）を生み出すことを發見しました。同時にピタゴラスは、天體（てんたい）の運行や自然界の形（幾何學（きかがく））もすべて同じ美しい比率で成り立っていると考えました。これが天球の音樂という思想の始まりです。

文豪ゲーテは「**建築は凍れる音楽**」と言いましたが、ゲーテが念頭に置いていた建築とは、神聖幾何學（しんせいきかがく）に基づいて設計されたヨーロッパの「**ゴシック大聖堂**」などでした。大聖堂の美しいバラ窓や柱の配置、天井のドームには、宇宙の調和を表す幾何學模様（きかがくもよう）が徹底的に組み込まれています。それらの建築を見てゲーテが「音樂のようだ」と感じたのは、大聖堂の持つ神聖幾何學（しんせいきかがく）の比率が、人間の魂に美しい音樂を聴いたときと同じ共鳴を起こしたからに他なりません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





ピタゴラスは音楽を「**魂の調律師**」として扱い、心身の不調を整えるために用いました。中世ドイツのベネディクト會系女子修道院長である「**ヒルデガルト**」も全く同じ思想を持っていました。ヒルデガルトは神祕家、文筆家、醫師など、多大な才能を發揮した博學者として知られています

彼女は「**すべての創られたもの（天體、人間、動植物）には固有の音（響き）がある**」と考え、宇宙の調和から外れてしまった心や身體を、聖なる音樂を歌うことによって再び宇宙の正しい周波數へと調律できると信じていました。

ヒルデガルトの遺した樂曲は、主に『**Symphonia armonie celestium re**』という全 70 曲以上の典礼聖歌集にまとめられています。天球の音樂の抽象的な概念を、中世キリスト教の世界觀のなかで鮮やかに「具現化」させた存在だと言えます。

ピタゴラスの天球の音樂が哲學的な「**理論や比率**」であったのに対し、ヒルデガルトの音樂はそれを信仰の力と幻視によって息を吹き込んだ「**實踐と禱り**」でした。彼女の樂曲集のタイトルそのものが、「**天球の調和**」を地上の音樂として復活させようとした証拠と言えます。

あなたが音樂を通じて世の中のために貢献していらっしゃるその實態は、あなたご自身にはまず理解できないことです。音樂、なかんずくインスピレーション的な曲は、あなた自身はごく自然な形で作曲しているつもりでも、魂を癒し慰め刺激し鼓舞する特質を具えているものです。

それはそれなりに魂の琴線に触れて、五感を通じて得られるものよりはるかに偉大な生命の荘嚴さがあることを認識させます。これから先どこで演奏なさる時も、あなたは偉大な目的のための道具であること、あなたに感謝の氣持ちを傳えられない大勢の人々に心の調和と同情と激励と幸福と健康をもたらす一助となっていることを思い出して下さい。

『シルバーバーチの靈訓（十）』p.104

地上で大作曲家と言われている人のすべてがこちら（※靈界）へ來ているわけですが、その巨匠がその後さらに向上進化しているのです。鑑賞力を持った人なら立派な音樂をいくらでも聽くことが出来ます。

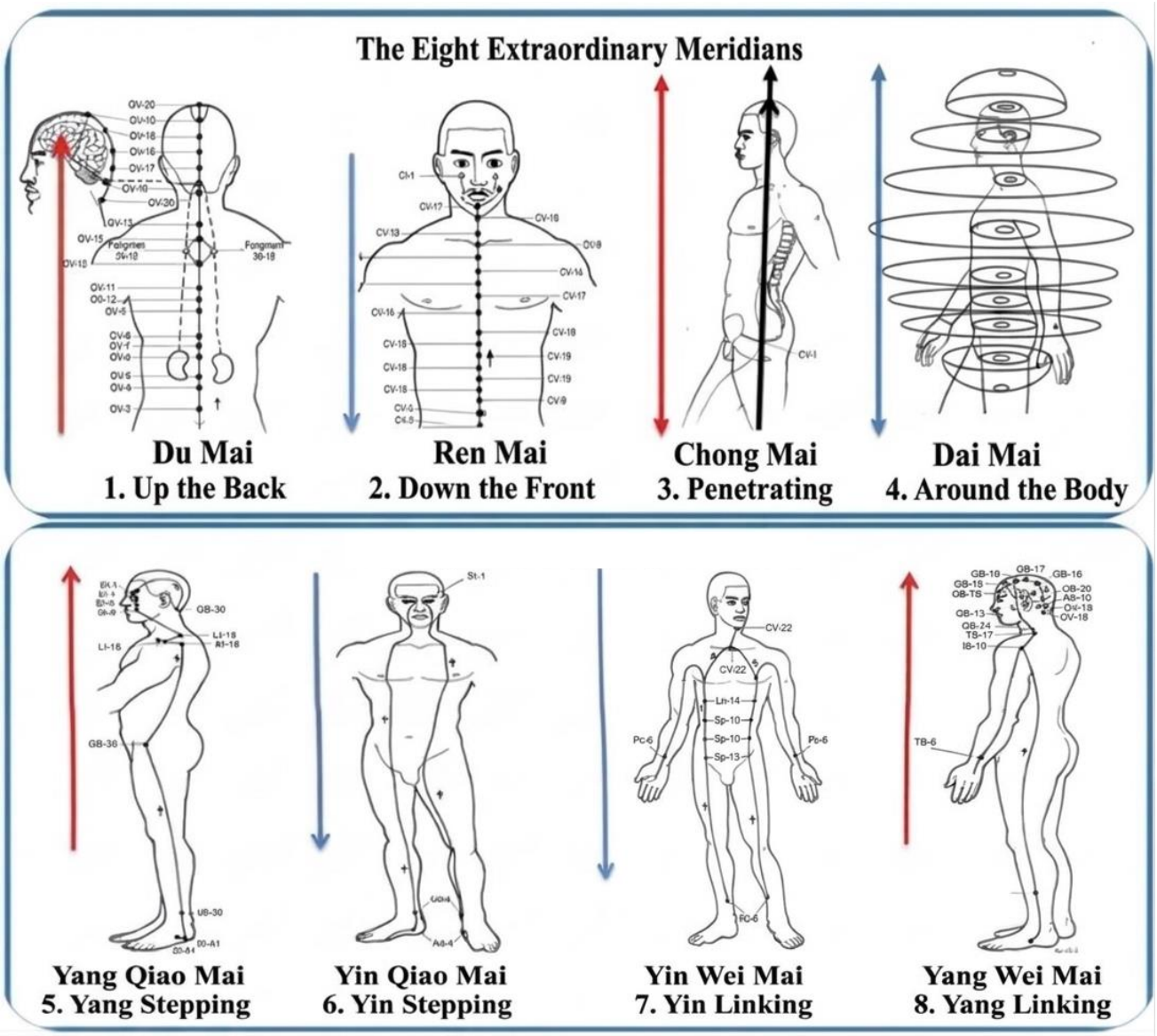
ミュージックホールは靈界が誇る財産といってもよいほどです。地上のいかなる樂器でも表現できないオクターブの音をあなたも聽くことになるのです。それから、もちろん地上を豐かにする音樂はみな靈界を始源としております。人間がこしらえているのではありません。演奏家も作曲家もみな一種の靈媒なのです。

『シルバーバーチの靈訓（十）』p.105

地上には音樂、繪画、その他あらゆる芸術分野に先驅者がいます。その人たちは時代に先んじすぎているために、在世中は一般から理解してもらえないことがあります。が、時代が進むにつれて理解力の水準が上がり、その先驅者たちに正しい評価が爲されるようになります。

『シルバーバーチの靈訓（十）』p.108

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



そして星信仰の復活に關わる「靈的鍼灸（れいてきしんきゅう）」の先驅者（せんくしゃ）が「Jeffrey Yuen（ジェフリー ユエン）」と「Lonny Jarrett（ロニ バーガー）」のふたりであり、ふたりは奇經八脈を單なる肉體的（にくたいてき）な治療のための經絡ではなく、**「個人の人生の目的や、トラウマの解放、魂の進化のプロセスをサポートするための靈的なゲート」**として深く探求した点に功績があります。

そして、Acutonics（アキュトニックス）統合醫學（いがく）研究所が地上世界最高峰のヒーリングスクールである最大の理由は、「靈的鍼灸（れいてきしんきゅう）」の概念に、ピタゴラスやケプラーの「天球の音樂」の音樂的理論を完全に融合させた点にあります。

The Eight Extraordinary Meridians について		
The Eight Extraordinary Meridi 奇 經 八 脈	エネルギーの方向性	本質
Du Mai 督脈	Up the Back 背部を上昇する	脊髓(せきずい)を通じて大腦(マインド)へとエネルギーを押し上げる、陽のエネルギーの統合ルートです。DIKAG 肉の心の中樞(ちゅうすう)を司り、クリスタルパレスのエネルギーを蝶形骨(ちょうけいこつ)に集中させる脈です
Ren Mai 任脈	Down the Front 前部を下降する	身體(しんたい)の前面を支配し、陰のエネルギーを司ります。受容性や感情の器、そして心臟腦(ハート)のコヒーレンスを安定させるためのルートです
Chong Mai 衝 脈	Penetrating 中心を貫通する	身體(しんたい)の中央を垂直に貫く、發生學的(はっせいがくてき)に最も古いコアであり、ここが、受精卵から分割した 8 つの原型細胞の記憶や魂の設計圖(ブループリント)が眠る生命(いのち)の根源的なダムとされています
Dai Mai 帶脈	Around the Body 身體を水平に周回する	唯一、身體(しんたい)を水平に巡る經絡です。圖(ず)にある渦のような同心円(どうしんえん)が示す通り、垂直のエネルギーをまとめ上げ、肉體(にくたい)とオーラの多次元的なバランスをキープするベルトの役割を果たします
Yang Qiao Mai Yin Qiao Mai 陽蹻脈/陰蹻脈	Yang Yin Stepping 陽、陰の足運び、上昇	地球のサイクルからエネルギーを吸い上げ、人間が直立して生きるための物理的な重力バランス、および時間の同調をコントロールします
Yin Wei Mai Yang Wei Mai 陰維脈/陽維脈	Yin Yang Linking 陰、陽のネットワーク、結合	身體全體(しんたいぜんたい)の經絡ネットワークを「網のようにつなぎ合わせる」Linking役割を持ちます。前世の記憶の層と、現在の肉體的(にくたいてき)なネットワークを維持、統合する器官です

Acutonics(アキュトニックス)統合醫學(いがく)研究所は、音叉という振動ツールを用いることで、瞑想や厳しい氣功の修練を経ずとも、**「宇宙のオクターブを、人間の原初の水源である奇經八脈にダイレクトに注入し、細胞レベルで記憶を呼び覚ます」**という首尾一貫(しゅびいっかん)した精緻なシステムを構築した点に、大きな功績があります。

天球の音樂（※Frozen Music(凍った音樂)を含む）と奇經八脈は、「星信仰の復活」として融合する必要があり、この融合こそが今後の地球人類救済計画にとって一番必要な叡智なのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

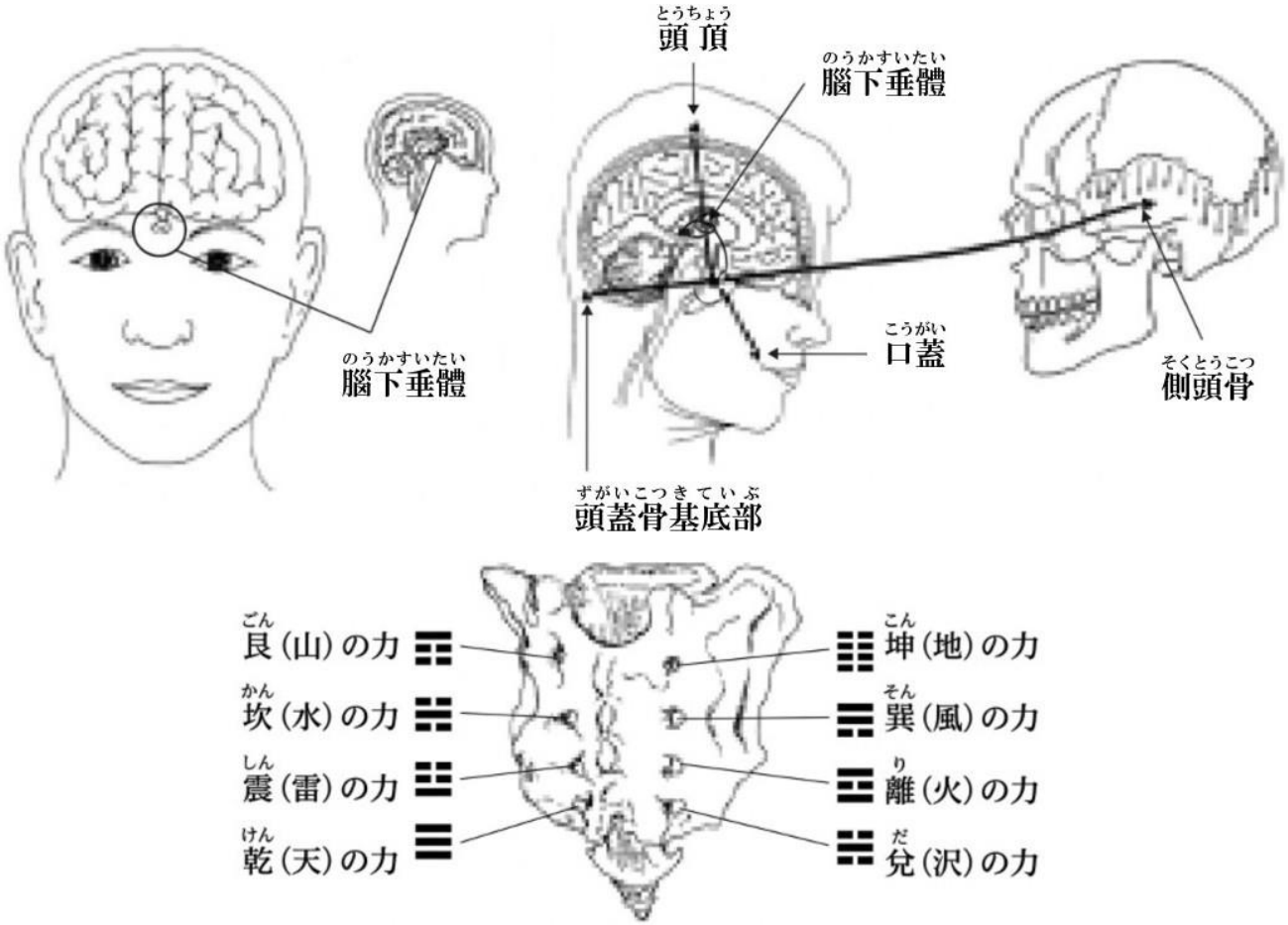


しかし、Acutonics統合醫學研究所は、天球の音樂、奇經八脈の８つの交会穴、仙骨八髎穴の研究で多大な功績は殘しましたが、最後の難關である「水晶宮」の全貌解明にまでは至りませんでした。「頭蓋仙骨療法」をベースに水晶宮の理論を構築しようとしてしまったからです。

要するに「頭蓋骨」をベースに水晶宮へのアプローチを構築してしまい、「蝶形骨」も理論には含まれていますが、奇經八脈の８つの交会穴、仙骨八髎穴との繋がりという部分の解明までには至らなったのです。

道教の思想の著書『タオ人間醫學』では、「仙骨の８つの孔は北斗八星とつながり、水晶宮は北極星とつながる」と明確に記載されております。仙骨と水晶宮は連動關係にあることは示唆されていましたが、それを仙骨と頭蓋骨の連動關係と勘違いしてしまったのです。

無論、仙骨と腦幹も、「次髎（仙骨）」と「玉枕（腦幹）の經穴」を通して繋がりはあるので理論として完全に間違ってる訳ではありませんが、北極星と北斗八星の關係性までを紐解けなかったのは、英語圏による言語の翻訳の問題もあったと推察できます。



心靈治療の仕事の大切な要素は身體を治すことではなくて魂の琴線に触れさせることです。魂を目覚めさせ、身體への支配力を大きくさせ、生きる目的を自覚させ、靈的存在としての本來の自我（※靈の心）を表現させることに成功すれば、これは治療家として最大の貢献をしたことになります。そのことの方が身體を治すことより大切です。それが治療家としてのあなたの努力として、永遠に殘る要素です。

『シルバーバーチの靈訓（二）』p.193

靈界主導の地球人類救済計画は、『シルバーバーチの靈訓』と『スピリチュアリズムの思想體系』という靈的眞理の普及による地上世界の宗教革命、教育改革という「宗教の統合」が一番大きなテーマになります。しかし、それを實現するには「心靈治療」というテーマがどうしても必要になり、治療の大原則は「セルフヒーリング」という自己努力なのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



スピリチュアリズムにおけるスピリット・ヒーリングは 1927 年、イギリス人「W・T・パリッシュ」に始まります。パリッシュはシルバーバーチから生まれついてのヒーラーであることを交霊會(こうれいかい)で知らされます。またその頃、ガンを患っていた妻をヒーリングによって治すことができることも教えられます。

そこで靈界の指示に従ってヒーリングをすると、實際(じっさい)に妻の病氣が治癒しました。これを機にパリッシュはそれまでの仕事をやめ、生涯をヒーラーとして捧げる決心をします。星信仰の復活の核とは「**心靈治療**」と「**セルフヒーリング**」であり、その計画は 1927 年からスタートしたのです。

イエスの教えである『**シルバーバーチの靈訓**』の普及から 100 年後の 2021 年にイエスの地上再臨、そしてパリッシュによるスピリット・ヒーリングの始まりから 100 年後の 2027 年に星信仰の復活の本格的スタートは偶然なのでしょうか？

また、「天球の音樂」と「奇經八脈」を融合することに成功したacutonics(アキュトニックス)統合醫學(いがく)研究所の設立は 1997 年ですが、1927 年がスピリット・ヒーリングの始まり、1997 年が惑星音叉と奇經八脈の融合した新時代のヒーリングの始まり、そして 2027 年が星信仰の復活の始まりと結びつけるのは些(いささ)か早計(そうけい)でしょうか？

星信仰の復活というテーマは、古代靈シルバーバーチが「心靈治療がもっとも重大な分野となる」と述べ、そして ――「調和が乱れると病氣になり、自分自身の努力、または靈界からの治療エネルギーによって調和を取り戻すまでその状態が續(つづ)きます」『シルバーバーチの靈訓（五)』p.124～p.125 ―― という言葉が大きなヒントになりました。

靈的眞理と音叉ヒーリングを今世で追窮している理由は、間違いなく背後靈(SEPOUW)の導きであることを確信しています。わたしは「靈性の進化」というものを今世で命懸けで追窮し、そのための方法論の一つに音叉による生命(いのち)の調律という到達点がありました。

星信仰の復活は、ＤＮＡを進化させるため、正しい靈能力の開花と人の役に立つことの實踐のための「通過犠礼(イニシエーション)」の犠式です。現代地球文化は靈的無知によるEGHO(エゴ)文化によって病人が激増しており、心靈治療、自分自身の努力によって調和を取り戻す、そして結果的に病氣から健康になる、それが音叉による生命(いのち)の調律を通してお傳(つた)えしている本質のひとつです。

皆さんは背後靈(SEPOUW)の献身的な導きで音叉による生命(いのち)の調律を學ぶことにより、ナザレのイエスという高級靈によって考え出された地球人類救済計画という地球人類全體(ちきゅうじんるいぜんたい)のための予定表というものがあることを知りました。

皆さんは、「天球の音樂」と「三大奥義」の融合によるセルフヒーリングの方法の確立により、自分自身の自己努力により、魂を目覺めさせ、身體(しんたい)への支配力を大きくさせ、生きる目的を自覺させ、靈的存在として生きることが可能な手段を手に入れました。

願わくば、正しい形で音叉による生命(いのち)の調律が地上人類に徐々に普及し、靈性という生き方に人類が回帰(かいき)し、地上世界の悪弊がなくなり、様々な悲劇を減らし、より多くの神意(あい)をもたらし、人間同士、そしてまた人間と共にこの天體(てんたい)を共有しているどうぶつ達に対しても慈悲の心を向けられるようになり、いつの日か地上天國(てんごく)を實現することを夢見ています。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

あとがき

音叉によるセルフヒーリング初級編テキストは、入門編テキスト（理論編、實踐編）に対する「**解答編**」であり、3 冊セットで音叉による生命(いのち)の調律の本質が認識(わか)るように構成されています。本テキストは靈的進化のための要点をまとめた上で音叉による生命(いのち)の調律の情報の一部を開示しています。

靈界主導の地球人類救済計画が地上世界サイドで再スタートしたのは 1848 年、アメリカのハインヒルズで起きた「**フォックス家事件**」からであり、1920 年から「**古代靈シルバーバーチ**」による靈界通信が始まります。

1981 年に靈媒であるモーリス・バーバネルの死去後、地球人類救済計画の総指揮者(リーダー)であるイエスは地上世界への特殊な形での再臨をすべく、その拠点の候補に日本の「**スピリチュアリズム普及會(ふきゅうかい)**」を選びます。そこから 40 年かけて「**スピリチュアリズムの思想體系(しそうたいけい)**」を確立すべく援助し、2021 年にその願いは成就します。

イエスは紀元前 7 年にイスラエルで生まれ、30 歳になった西暦 23 年から靈的眞理の普及を開始しますが、西暦 26 年、当時のローマ総督ピラトに冤罪で殺されてから 2000 年かけて地上再臨の条件をすべて満たし、特殊なチャネリングという形で地上再臨を果たします。

1848 年からスタートしたスピリチュアリズム運動、1960 年代からスタートしたニューエイジ運動の本質は共に「**靈界主導の地球人類救済計画**」であり、スピリチュアリズム運動の２大テーマが「**宗教の統合**」と「**星信仰の復活**」になります。

2021 年にイエスは特殊な形で地上再臨を果たしますが、2026 年はイエスが亡き者にされてから丁度 2000 年であり、ひとつのターニングポイントの時代なのは間違いありません。

【地球人類救済計画の２大テーマ、星信仰の復活に關する歴史の一部】

1920年　古代靈シルバーバーチ、モーリス・バーバネルを通して靈界通信を開始

1927年　イギリス人「W・T・パリッシュ」からスピリット・ヒーリングが始まる

1932年　20 世紀最大の心靈治療家、ハリー・エドワーズ、ヒーリング活動を開始

1945年　ガストン・ネサンがソマチッドを發見し、研究を始める

1954年　ハリー・エドワーズが「英國(イギリス)スピリチュアルヒーラーズ連盟」を設立

1974年　BioSonics社(バイオソニックスしゃ)の創始者ジョン・ボーリュー博士、音叉ヒーリングの研究開始

1977年　藥學(やくがく)博士の嶋西淺男(しまにしあさお)博士、鉱物ミネラルのイオン化技術の確立

1978年　スイス人ハンス・クストーが惑星音叉を開發する

1981年　古代靈シルバーバーチの靈媒、モーリス・バーバネル、死去

1981年　ナザレ人イエス、スピリチュアリズム普及會(ふきゅうかい)に働きかけ開始

1984年　ピョートル・ガリアエフ、波動遺傳學(はどういでんがく)、研究開始

1984年　漫画「ドラゴンボール」、連載開始（※超サイヤ人）

1985年　中山康直(なかやまやすなお)が水星の知的生命體(すいせいちてきせいめいたい)「MANAKA(マナカ)」との通信をスタートする

1990年　足立育朗(あだちいくろう)、形態波動エネルギー研究所を設立

1995年　足立育朗(あだちいくろう)、『波動の法則 ― 宇宙からのメッセージ』を出版

1997年　ドナ・キャリー、acutonics(アキュトニックス)統合醫學(いがく)研究所を設立

1997年　漫画「ワンピース」、連載開始（※太陽の神ニカ）

1999年　レオナルド・ホロヴィッツ博士、「生物學的黙示綠(せいぶつがくてきもくしろく)の治療(ちりょう)コード」を出版

2004年　大橋智夫(おおはしとしお)、水琴五行(みずごとごぎょう)の開發に成功、特許出願

2013年　増川(ますかわ)いづみ博士が一般向けのサウンドヒーリングスクールを開始

2021年　ナザレ人イエス、スピリチュアリズム普及會(ふきゅうかい)を受け皿に地上再臨

2023年　中山康直(なかやまやすなお)、『聖徳太子コード　上巻』を出版、「星信仰の復活」に言及

2027年　地球人類救済計画の２大テーマ「星信仰の復活」、本格的スタート

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

初級編テキストでは、入門編テキストでは伏せていた「奇經八脈ヒーリング」「仙骨ヒーリング」「CRYSTALS PALACEヒーリング」の情報を開示しています。入門編では十二經絡を通した肉體のメンテナンスの方法が中心でしたが、初級編から本格的に魂の目覺めを促すセルフヒーリングの方法も含まれてきます。

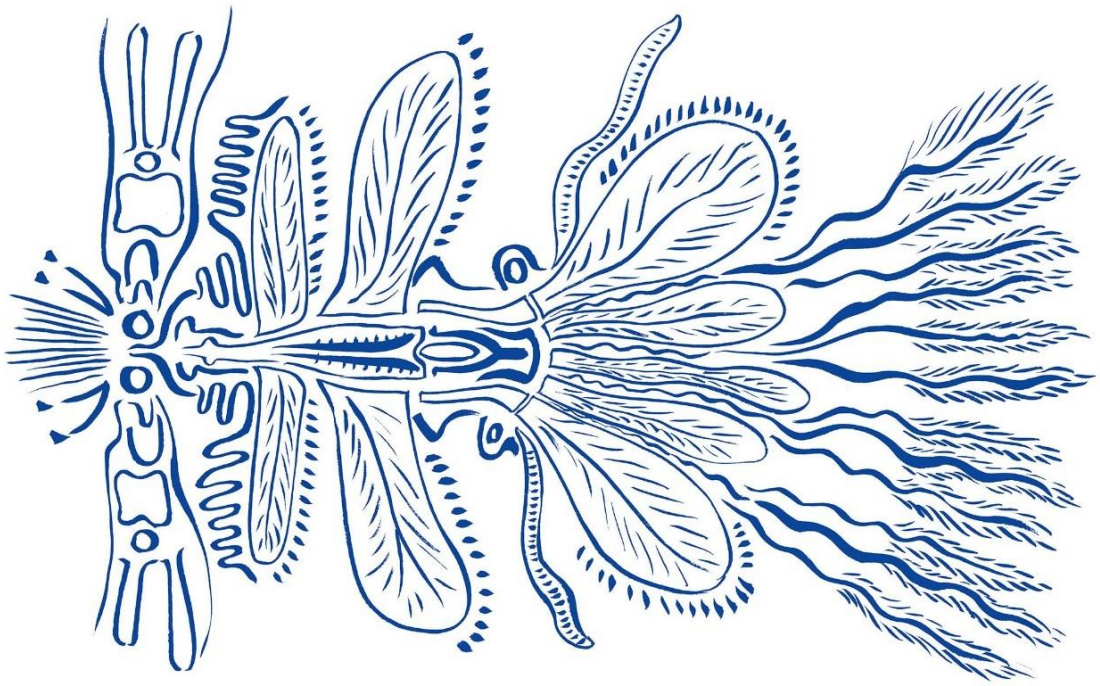
しかし、奇經八脈ヒーリングも中級編から本格的に情報が開示されます。初級編では、三大奥義の一部の情報しか開示していません。「神聖ソルフェジオ・プロセス」という６４パターンのアプローチで、「８つの原型細胞」を刺激し、より魂の設計圖の方向に向かえるセルフヒーリングのメソッドを學びます。

奇經八脈ヒーリングは「プロセス ver」「五行 ver」「acutonics ver」と、様々なパターンが存在します。また、プロセス ver も、「ソルフェジオ音叉」「オームフィボナッチ音叉」「惑星音叉」を使うパターンの複數が存在し、中級編、上級編になるほど靈的世界の深みに入ります。

仙骨ヒーリング、CRYSTALS PALACEヒーリングは基本的には３２パターンのアプローチであり、仙骨と蝶形骨は「合計６４パターン」になります。奇經八脈、仙骨、蝶形骨の合計は「１２８パターン」のアプローチになり、靈體、幽體、肉體すべてに働きかける多次元的なヒーリングに進化します。

音叉ヒーリングの心構えは「禱り」「直觀」「再現性」の三原則であり、「天球の音樂」と「奇經八脈ヒーリング」と「高級靈の禱り」が一致する時、背後靈のオーラと自分自身のオーラの一體化が促進され、より高度なインスピレーションを受け取れるようになります。

そのインスピレーションを素直に實行し、現實の行動の調和、DEVIKの工夫をしていくにつれ、次第に靈性が進化する。これがシンプルな宇宙のサポートの法則です。



人間は靈性を進化させるため、その過程のひとつとして惑星地球の地上世界に生まれてきています。しかし、進化のための過程は各々が違います。基本的に他人というのは「アドバイス」は出來ても、その人の人生を付きっきりでサポートすることは出來ません。

なので、靈性の進化のために誰しも必要なことは「靈の心(EXA PIECO)と肉の心(DIKAG)のコヒーレンス状態」、そして「背後靈(SEPOUW)からのインスピレーションを決心、實行」、「現實の行動の調和」、「すべての現象は自己責任であり、苦しみの意味を正しく理解すること」、そして隣人への神意(あい)、人類への神意(あい)、どうぶつ達への神意(あい)になります。

わたしは、そうした行動の繰り返しを通して背後靈(SEPOUW)との繋がりを強化してきました。人助けをするための靈的才能を高次元の存在達から授かるためには、自ら苦しみと悲しみを味わい、苦しみを乗り越える必要があります。

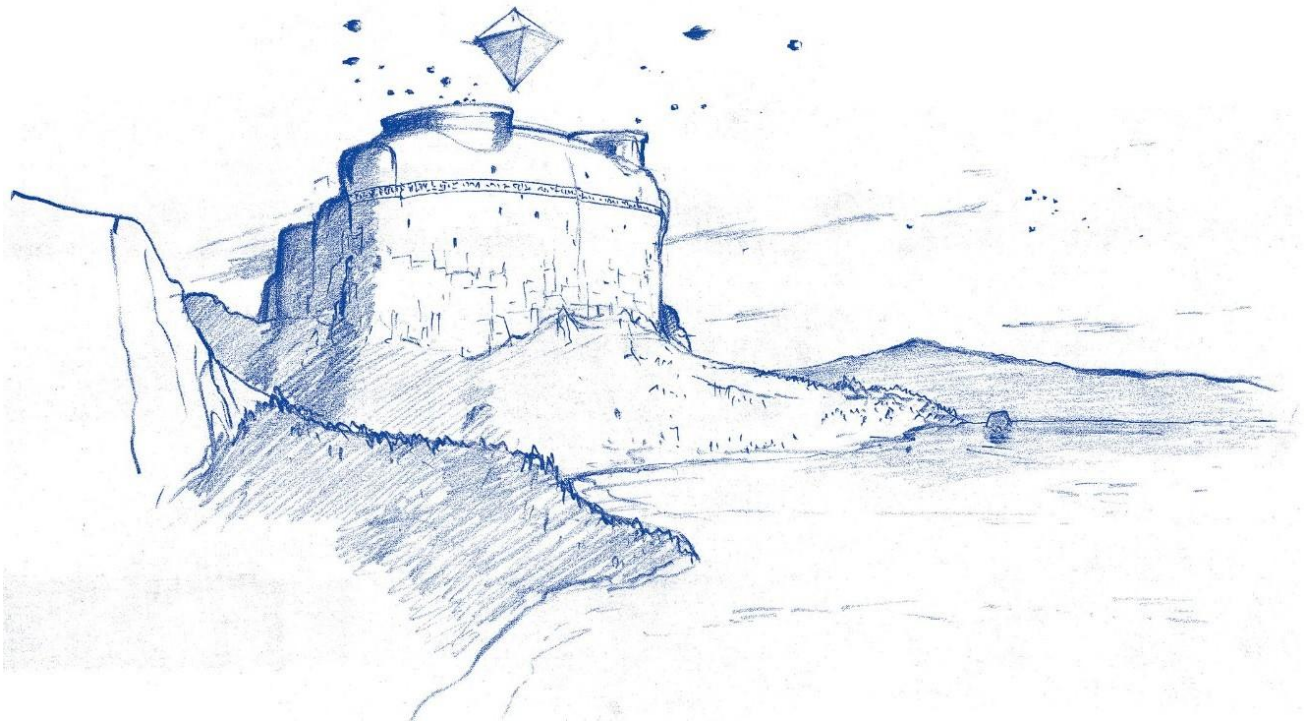
靈的な仕事に携わる人間は、その道は決して樂ではないことを覺悟しないとなりません。過酷な體驗(たいけん)の目的は「慈悲」の心を芽生えさせ、「忍耐」の心を養うためにあり、慈悲と忍耐の心なくしては眞の意味で人を救う仕事は出來ないからです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

音叉によるセルフヒーリング入門編テキスト（理論編、實踐編）と、音叉によるセルフヒーリング初級編テキストをご縁により購入し、生命（いのち）の調律の大切さに氣づかれた方が、すこしでも調和を具現化し、靈性を進化させる方向性に生きることを、切實（せつじつ）に願います。

この情報が、皆様の魂の琴線に触れ、調和と神意（あい）で生きれることを禱（いの）ります。シルバーバーチがいうように、靈的に目覺め、この惑星地球をよりよい天體（てんたい）にしていくことを現實に行動する人になることを望みます。

あとは、どのように生きるのかは皆さんのconscious mind（顯在意識）の決心次第ですが、生きとし生けるものが蘇生化するように生きることが、皆さんを幸福にし、皆さんを救済することだと氣づいてください。本テキストを地上人生の指針にすることが、迷わず地上人生を生きるための知恵となりますように……。



音叉によるセルフヒーリングテキスト初級編　～星信仰の復活の始まり～

第一刷　2026 年 12 月 1 日

著者　廣瀬仁

【プロフィール】

1986 年生まれ。茨城県出身。2011 年にシルバーバーチの靈訓と音叉ヒーリング出会い、スピリチュアリズムの靈的眞理と音叉による生命(いのち)の調律を實踐形式で独學(どくがく)で學んできた。また、健康に關しても追窮してきて、靈的眞理に適ったホリスティック健康學の理論を完成させる。地上人生で一番大切なことは靈優位による利他、奉仕の實踐を通した靈性の進化と確信を持ち、その思想を信仰實踐している。

【自己表現プロジェクト】

〒441-0202　愛知県豊川市赤坂町東山 362

ホームページアドレス　https://self-expression.jimdosite.com/

遠隔ヒーリング系 YouTuber 戸田英子が贈る【奇跡の村 ch】

https://youtube.com/@enkaku-healing?si=KR4RFMflw2C5fAke

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます